奥 羽 大 学

教育・研究業績集

歯学部・薬学部

2011 年度～2015 年度

奥羽大学教育･研究業績集　目次

歯 学 部

〈基礎系〉

生体構造学（口腔解剖学）
生体構造学（口腔組織学）
生体構造学（法歯学）
口腔病態解析制御学（口腔感染免疫学）
口腔病態解析制御学（口腔病理学）
口腔病態解析制御学（歯科薬理学）
口腔機能分子生物学（口腔生理学）
口腔機能分子生物学（口腔生化学）
生体材料学（生体材料学）
口腔衛生学（口腔衛生学）

〈臨床系〉

歯科保存学（保存修復学）
歯科保存学（歯内療法学）
歯科保存学（歯周病学）
歯科補綴学（冠橋義歯学）
歯科補綴学（有床義歯学）
歯科補綴学（口腔インプラント学）
口腔外科学（口腔外科学）
口腔外科学（歯科麻酔学）
成長発育歯学（歯科矯正学）
成長発育歯学（小児歯科学）
放射線診断学（歯科放射線学）
総合臨床医学（総合臨床医学）
臨床研修

奥羽大学教育･研究業績集　目次

〈教養系〉

生体材料学（物理学）
生体材料学（化学）
口腔機能分子生物学（生物学）
心理学
文学

薬 学 部

歯 学 部

〈基礎系〉

奥羽大学 歯学部 歯学科

宇佐美　晶信

USAMI Akinobu

歯学科

出身大学院

東京歯科大学・歯学研究科・博士課程　2003年 修了

取得学位

博士　東京歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2005年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2007年04月	―	2012年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2012年04月	―	2014年03月
奥羽大学 教授［本務］	2014年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本解剖学会
歯科基礎医学会
日本小児歯科学会
日本法歯科医学会
日本口腔インプラント学会

論文

1) The morphological studies of root resorption of maxillary primary canines and thair relation with the position of successive permanent teeth using Micro-CT（共著）. [Pediatric dental journal, 21 (2), (2011), 145-153]

   Hideki Saka, Taisuke Koyama, Yuichi Tamatsu, Akinobu Usami, Yoshinobu Ide

2) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 230-236]

   板橋仁，今関肇，宇佐美晶信，影山勝保　他

3) 奥羽大学歯学部　平成 22 年度 I.C.T. Ⅱにおけるアンケート. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 213-218]

   岡田英俊，阿部匡聡，前田豊信，茂呂祐利子，車田文雄，大須賀謙二，宇佐美晶信

4) 奥羽大学歯学部　I.C.T. Ⅰにおけるアンケート. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

   松山仁昭，古山昭，宇佐美晶信

5) Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection.. [Surgical and radiologic anatomy, (2014)]

   Hamada T, Usami A, Kishi A, Kon H, Takada S

6) Expression of Myogenic Regulatory Factors in the Pharyngeal Muscle of the Mouse Embryos. [Ohu University Dental Journal, 42 (4), (2015), 133-140]

   A. Kishi, H. Saito, A. Usami

著書

1) 口腔顎顔面解剖ノート. [学建書院,2014]

   井出吉信、阿部信一、下田信治、高橋富久、藤村朗、安藤禎紀、入江一元、宇佐美晶信、江尻貞一、景山幾男、近藤信太朗、佐藤和彦、塩崎一成、野坂洋一郎、松尾雅斗、松永智、渡邉竜太

担当授業科目

口腔解剖学実習	2005年04月	―	継続中
生命基礎科学Ⅰ	2007年04月	―	2014年03月
解剖学実習	2008年04月	―	継続中
口腔解剖学	2008年04月	―	継続中
解剖学	2008年04月	―	継続中
口腔インプラント学	2009年04月	―	継続中
(歯)I.C.T.Ⅱ	2014年04月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

解剖学実習におけるプロジェクターの使用 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
解剖学実習におけるプリント教材の作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2005年04月	―	継続中
東北歯科専門学校におけるプロジェクターの使用 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
東北歯科専門学校におけるプリントの配布 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
東北歯科専門学校におけるプリント教材の作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2006年05月	―	継続中
2 年生講義プリントの作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2008年04月	―	継続中
6 年生講義プリントの作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2008年04月	―	継続中
第 22 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2008年05月	―	継続中
第 23 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2008年08月	―	継続中

学会・委員会等活動

歯科基礎医学会［代議員］	2014年10月	―	継続中
日本解剖学会［代議員］	2015年01月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

斉藤　博

SAITO Hiroshi

歯学科

取得学位

博士　岩手大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　准教授［本務］	1981年04月	―	1986年09月
奥羽大学歯学部歯学科　講師［本務］	1986年10月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科　准教授［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
日本解剖学会
奥羽大学歯学会

研究発表

横隔神経の走行と解剖学的ランドマークとの関係 [解剖学会総会]
（2012年03月26日 ― 2012年03月28日，甲府市）

三次元コンピュータグラフィックス (3DCG) を用いた嚥下モデル製作の試み〓舌の詳細構造のモデル化と機能の考察 [第 19 回日本摂食●嚥下リハビリテーション学会学術集会]
（2013年09月22日 ― 2013年09月23日，岡山県倉敷市）

担当授業科目

口腔解剖学実習	2003年04月	―	継続中
解剖学	2003年04月	―	継続中
解剖学実習	2003年04月	―	継続中
臨床総合講義	2005年05月	―	継続中
臨床実習	2005年05月	―	継続中
生命基礎科学 I	2007年04月	―	2013年04月

学会・委員会等活動

歯科基礎医学会［評議員］	1989年04月	―	2013年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

岸　飛鳥

KISHI Asuka

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2013年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

渡邊　弘樹

WATANABE Hiroki

歯学科

出身大学院

岡山大学・医学研究科・医学博士課程生理系解剖学専攻・博士課程　1987年 修了

取得学位

博士　岡山大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　教授［本務］　2008年04月　－　継続中

奥羽大学歯学研究科　教授［兼務］　2008年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本解剖学会
歯科基礎医学会
国際歯科研究学会（ＩＡＤＲ）
米国骨代謝学会
米国細胞生物学会
日本酸化ストレス学会
奥羽大学歯学会

論文

1) ヒト顎下腺の成長発育に伴う BMP と BMP レセプターの局在.［奥羽大学歯学誌, 39（1）,（2012）, 1-10］

安部仁晴、中川敏浩、高橋進也、渡邊弘樹

2) Immunohistochemical investigation of lymphatic vessel formation control in mouse tooth development. –Lymphatic vessel-forming factors and receptors in tooth development in mice.–(jointly worked).［Tissue and Cell (Elsevier), 44,（2012）, 170-181］

S.Takahashi, K.Ambe, H.Kon, S.Takada, T.Ohno, H.Watanabe

3) Expression of Mn-SOD,iNOS and eNOS mRNAs in Osteoblasts from the Maxilla of Osteopetrotic Mice (jointly worked).［Anatomia Histologia Embryologia (Blackwell Verlag and Willy), 42（2）,（2013）, 124-129］

M.Kuwana,H.Watanabe,S.Abe,T.Yanagisawa,J.Sasaki

4) Expression profiles of NOS isoforms in gingiva of nNOS knockout mice..［Tissue and Cell, 46（2）,（2014）, 122-126］

M.Ishioka,Y.Ishizuka,S.Shintani,T.Yanagisawa,T.Inoue,J.Sasaki,H.Watanabe

5) Immunohistochemical localization of Nox1,Nox4 and Mn-SOD in mouse femur during endochondral ossification.［Tissue and Cell, 46（6）,（2014）, 433-438］

K.Ambe H.Watanabe S.Takahashi T.Nakagawa

6) Immunohistochemical localization of Nox in mouse circumvallate papillae　.［Tissue and Cell, 47（6）,（2015）, 550-558］

Yoshiaki Kashiwabara,Kimiharu Ambe,Toshihiro Nakagawa, Hiroki Watanabe

---

著書

1) 組織学・口腔組織学　附　初期発生と顎顔面の発生　第 4 版.［わかば出版（シエン社）,2014］

磯川桂太郎、稲井哲一朗、中村雅典、山本　仁、渡邊弘樹

2) カラーアトラス　口腔組織発生学　第 4 版.［わかば出版,2016］

磯川桂太郎、稲井哲一郎、入江一元、大島勇人、岡田裕之、菊池憲一郎、柴田俊一、下田信治、高橋理、滝川俊也、中村雅典、羽毛田慈之、羽地達次、原田英光、本田雅規、山本敏男、山本　仁、渡邊弘樹

総説・解説記事

1) Production and physiological role of NO in the oral cavity. . [Japanese Dental Science Review, 52 (1), (2016), 14-21]

Kimiharu Ambe,Hiroki Watanabe, Shinya Takahashi, Toshihiro Nakagawa, Junzo Sasaki

研究発表

マウスの歯牙発生におけるリンパ管の形成制御に関する免疫組織化 学的検索 [第 51 回奥羽大学歯学会]
(2011年06月11日，郡山)

Lymph vessel-forming factors and receptors in tooth develop -ment in mice.[ASBMR 2011 Annual Meetong]
(2011年09月16日 － 2011年09月20日，San Diego，California，USA)

Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femur during endochondral ossification.[ASBMR 2011 Annual Meetong]
(2011年09月16日 － 2011年09月20日，San Diego，California，USA)

大理石骨病マウス大腿骨における一酸化窒素合成酵素（NOS）の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
(2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜)

マウス歯乳頭および歯髄におけるリンパ管形成制御に関する VEGF-C, -D,VEGFR-3 の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
(2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜)

Lymph vessel-forming factors and receptors in tooth develop -ment in mice.[第 52 回奥羽大学歯学会]
(2011年11月12日，郡山)

Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femur during endochondral ossification.[第 52 回奥羽大学歯学会]
(2011年11月12日，郡山)

マウス歯髄発生における NOS の発現 [第 117 回日本解剖学会総会全国学術大会]
(2012年03月26日 － 2012年03月28日，甲府)

大理石骨病マウス大腿骨における活性酸素合成酵素の発現 [第 117 回日本解剖学会総会全国学術大会]
(2012年03月26日 － 2012年03月28日，甲府)

Immunohistochemical localization of Nox1 and Nox4 in mouse femur during endochondral ossification[14th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry]
(2012年08月26日 － 2012年08月29日，Kyoto，Japan)

op/op マウス大腿骨における活性酸素合成酵素（Nox ファミ リー）の発現 [第 54 回歯科基礎医学会学術大会]
(2012年09月15日 － 2012年09月16日，郡山)

マウス歯髄発生における NOS に関する免疫組織化学的検索 [日本解剖学会第 58 回東北・北海道連合地方会]
(2012年09月22日 － 2012年09月23日，山形)

Immunohistochemical localization of Nox1 and Nox4 in mouse femor during endochondral ossification[第 54 回奥羽大学歯学会]
(2012年11月10日，奥羽大学)

op/op マウス大腿骨におけるフリーラジカルの発現 [第 118 回日本解剖学会総会、全国学術集会]
(2013年03月28日 － 2013年03月30日，高松　（香川大学医学部神経機能形態学））

マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Ｎｏｘ) の発現 [第 118 回日本解剖学会総会、全国学術集会]
(2013年03月28日 － 2013年03月30日，高松　香川大学医学部)

Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification[2nd joint meeting of the international bone and mineral society(IBMS) and The japanese society for bone　and mineral research(JSBMR)]
(2013年05月28日 － 2013年06月01日，神戸国際会議場)

マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Ｎｏｘ）の局在 [第 55 回歯科基礎医学会総会]
(2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山　マスカットホール　岡山大学歯学部)

マウス大腿骨における活性酸素除去酵素（ＳＯＤ）の発現 [第 55 回歯科基礎医学会総会]
(2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山　岡山大学歯学部)

Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification.[第 56 回奥羽大学歯学会]
(2013年11月09日，郡山　　奥羽大学歯学部)

虚血再灌流モデルラットを用いた咬筋における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 119 回非本解剖学会総会、全国学術集会]
(2014年03月27日 － 2014年03月29日，自治医科大学　医学部)

虚血再灌流がラット頬粘膜に及ぼす影響：活性酸素合成酵素の発現からの検討 [第 119 回日本解剖学会総会全国学術集会]
(2014年03月27日 － 2014年03月29日，自治医大、医学部)

マウス有郭乳頭および味蕾における活性酸素合成酵素の分布　[第 119 回日本解剖学会総会、全国学術集会]
（2014年03月27日 － 2014年03月29日，栃木、下野、　自治医大医学部）
In situ hybridization 法を用いたマウス成長板における一酸化窒素合成酵素（NOS）の検出 [第 56 回歯科基礎医学会学術大会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福岡　福岡国際会議場　福岡歯科大学）
マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素の発現 [日本解剖学会第 60 回東北、北海道連合支部学術集会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福島、福島県立医科大学、神経解剖· 発生学講座）
マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，福島県郡山　奥羽大学歯学部）
大会企画シンポジウム NO, the subsequent evolution ： Expression of nitric oxide synthase (NOS) in bone[第 120 回日本解剖学会総会 · 全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸（神戸国際会議場））
Lymphangiogenesis and NOS localization in the healing process after tooth extraction in a mouse diabetes model[第 120 回日本解剖学会総会 · 全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms after peripheral nerve transection in mice[第 120 回日本解剖学会総会 · 全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）
Immunohistochemical localization of nitric oxide synthase(NOS) isoforms after peripheral nerve transsection in mice[第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟ときメッセ）
マウス末梢神経切断後の一酸化窒素合成酵素（ＮＯＳ）の発現 [第６０回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日，郡山、奥羽大学）
坐骨神経切断後の再生過程における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 [第 121 回日本解剖学会総会 · 全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日，郡山　　ビックパレットふくしま）
虚血再灌流により発生した一酸化窒素は咬筋を障害する [第 121 回日本解剖学会総会 · 全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日，郡山市、ビックパレットふくしま）

担当授業科目

歯科医学概論	2011年04月	－	2011年08月
生命基礎科学Ｉ	2011年04月	－	2012年02月
口腔組織学	2011年04月	－	2012年02月
臨床実習	2011年04月	－	2011年06月
臨床実習	2011年04月	－	2012年03月
臨床総合講義	2011年07月	－	2012年02月
統合科目Ⅳ	2011年09月	－	2012年02月
口腔組織学実習	2011年09月	－	2012年02月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 口腔組織学	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 生命基礎科学Ｉ	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 口腔組織学実習	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2012年06月
(歯) 臨床総合講義	2012年07月	－	2013年02月
(歯) 統合科目Ⅳ	2012年09月	－	2013年02月
(歯) 臨床総合演習	2013年04月	－	2013年06月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 生命基礎科学Ｉ	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 口腔組織学	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床総合講義	2013年07月	－	2014年02月
(歯) 口腔組織学実習	2013年09月	－	2014年03月
(歯) 臨床実習	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 生命基礎科学Ｉ	2014年04月	－	2015年02月
(歯) 臨床総合演習	2014年04月	－	2014年06月
(歯) 口腔組織学	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 臨床総合講義	2014年07月	－	2014年12月
(歯) 口腔組織学実習	2014年09月	－	2015年02月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	－	2016年01月
(歯) 臨床実習	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 口腔組織学	2015年04月	－	2016年03月

(歯) 臨床実習	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 基礎歯学概論	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 口腔組織学実習	2015年08月	―	2016年03月

その他教育活動及び特記事項

授業の工夫 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
実習書の改訂 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2008年04月	―	継続中
学友会顧問 ［活動区分 ：学友会 · 同好会等の指導］	2010年04月	―	2012年03月
第二学年学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2011年04月	―	2012年03月
第３８回歯科医学教育者ワークショップ：学生の集まる魅力ある大学にするためのプランニング ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2011年12月		
第二学年学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2012年04月	―	2013年03月
教科書「組織学 · 口腔組織学附初期発生と顎顔面の発生第 4 版」の編集、執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2013年03月	―	2014年03月
第六学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2013年04月	―	2014年03月
学友会アーチェリー部顧問 ［活動区分 ：学友会 · 同好会等の指導］	2013年04月	―	継続中
第二学年学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2014年04月	―	2015年03月
第 6 学年学力向上試験委員 ［活動区分 ：クラス担任］	2015年04月	―	2016年03月
教科書「カラーアトラス口腔組織発生学第 4 版」の分担執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2015年04月	―	2016年03月

学会・委員会等活動

日本解剖学会［日本解剖学会学術評議員 (代議員)］	2001年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［奥羽大学歯学会評議員］	2008年04月	―	継続中
歯科基礎医学会［歯科基礎医学会評議員（代議員)］	2008年09月	―	継続中
日本解剖学会［第 120 回日本解剖学会総会日本生理学会大会合同の大会企画シンポジウムオーガナイザー］	2014年04月	―	2015年03月
日本解剖学会［第 121 回日本解剖学会総会学術集会実行委員］	2015年04月	―	2016年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

中川　敏浩

NAKAGAWA toshihiro

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2007年04月	―	継続中
奥羽大学歯学部歯学科 助教授［本務］	1999年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1996年10月	―	1999年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1989年04月	―	1996年09月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
歯科基礎医学会
日本解剖学会
日本癌学会
口腔組織培養学会
硬組織再生生物学会
日本レーザー歯学会
日本老齢歯科医学会

論文

1) ヒト顎下腺の成長発育に伴う BMP と BMP レセプターの局在.［奥羽大学歯学誌, 39（1）,（2012）, 1-10］

安部仁晴、中川敏浩、**髙**橋進也、渡邊弘樹

2) Immunohistochemical Localization of Nox1, Nox4 and Mn-SOD in Mouse Femur during Endochondral Ossification.［Tissue and Cell, 46（6）,（2014）, 433-438］

K.Ambe H.Watanabe S.Takahashi T.Nakagawa

研究発表

Lymph vessel-forming factors and receptors in tooth develop -ment in mice.［ASBMR 2011 Annual Meetong］
（2011年09月16日 ― 2011年09月20日, San Diego, California, USA）

Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femur during endochondral ossification.［ASBMR 2011 Annual Meetong］
（2011年09月16日 ― 2011年09月20日, San Diego, California, USA）

マウス歯乳頭および歯髄におけるリンパ管形成制御に関する VEGF-C, -D,VEGFR-3 の発現［第 53 回歯科基礎医学会学術大会］
（2011年09月30日 ― 2011年10月02日, 岐阜）

大理石骨病マウス大腿骨における一酸化窒素合成酵素（NOS）の発現［第 53 回歯科基礎医学会学術大会］
（2011年09月30日 ― 2011年10月02日, 岐阜）

Lymph vessel-forming factors and receptors in tooth develop -ment in mice.［第 52 回奥羽大学歯学会］
（2011年11月12日, 郡山）

Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femur during endochondral ossification.［第 52 回奥羽大学歯学会］
（2011年11月12日, 郡山）

マウス歯髄発生における NOS の発現［第 117 回日本解剖学会総会全国学術大会］
（2012年03月26日 ― 2012年03月28日, 甲府）

大理石骨病マウス大腿骨における活性酸素合成酵素の発現［第 117 回日本解剖学会総会全国学術大会］
（2012年03月26日 ― 2012年03月28日, 甲府）

Immunohistochemical localization of Nox1 and Nox4 in mouse femur during endochondral ossification［14th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry］
（2012年08月26日 ― 2012年08月29日, Kyoto, Japan）

op/op マウス大腿骨における活性酸素合成酵素（Nox ファミ リー）の発現［第 54 回歯科基礎医学会学術大会］
（2012年09月15日 ― 2012年09月16日, 郡山）

マウス歯髄発生における NOS に関する免疫組織化学的検索 [日本解剖学会第 58 回東北・北海道連合地方会]
（2012年09月22日 － 2012年09月23日，山形）
Immunohistochemical localization of Nox1 and Nox4 in mouse femur during endochondral ossification[第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山）
op/op マウス大腿骨におけるフリーラジカルの発現 [第 118 回日本解剖学会総会・全国学術大会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日，高松）
マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 118 回日本解剖学会総会・全国学術大会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日，高松）
Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification.[2nd Joint Meeting of the International Bone and Mineral Society(IBMS) and The Japanese Society for Bone and Mineral Research(JSBMR)]
（2013年05月28日 － 2013年06月01日，Kobe）
マウス大腿骨における活性酸素除去酵素（SOD）の発現 [第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山）
マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の局在 [第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山）
閉経初期の子宮筋腫の細胞死に関する電顕的研究 [平成 25 年度福島県産科婦人科学会秋季学術集会]
（2013年09月29日，福島）
Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification[第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日，郡山）
マウス有郭乳頭および味蕾における活性酸素合成酵素の分布 [第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月27日 － 2014年03月29日，下野）
マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [日本解剖学会第 60 回東北・北海道連合支部学術集会]
（2014年09月06日 － 2014年09月07日，福島）
IN situ hybridization 法を用いたマウス成長板における一酸化窒素合成酵素（NOS）の検出 [第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福岡）
マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，郡山）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms after peripheral nerve transection in mice[第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）
Lymphangiogenesis and NOS localization in the healing process after tooth extraction in a mouse diabetes model[第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）

その他教育活動及び特記事項

奥羽大学歯学部歯科医学教育者ワークショップ　2004年04月 － 継続中
［活動区分 ：その他特記事項］
教育研修講演会　2004年07月 － 継続中
［活動区分 ：その他特記事項］
卓球部顧問　2008年04月 － 継続中
［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］

奥羽大学 歯学部 歯学科

安部　仁晴

AMBE kimiharu

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔組織学・博士課程　1997年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科口腔解剖学第二講座　助手［本務］	1997年04月	ー	1998年09月
奥羽大学歯学部歯学科口腔解剖学第二講座　講師［本務］	1998年10月	ー	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科生体構造学講座・口腔組織学分野　助教［本務］	2007年04月	ー	2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科生体構造学講座・口腔組織学分野　准教授［本務］	2015年04月	ー	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本解剖学会
歯科基礎医学会

論文

1) ヒト顎下腺の成長発育に伴う BMP と BMP レセプターの局在.［奥羽大学歯学誌, 39 (1), (2012), 1-10］

安部仁晴、中川敏浩、**髙**橋進也、渡邊弘樹

2) Immunohistochemical investigation of lymphatic vessel formation control in mouse tooth development. –Lymphatic vessel-forming factors and receptors in tooth development in mice–.［Tissue and Cell, 44 (3), (2012), 170-181］

S. Takahashi, K. Ambe, H. Kon, S. Takada, T. Ohno, H. Watanabe

3) Immunohistochemical Localization of Nox1, Nox4 and Mn-SOD in Mouse Femur during Endochondral Ossification.［Tissue and Cell, 46 (6), (2014), 433-438］

K. Ambe, H. Watanabe, S. Takahashi, T. Nakagawa

4) Immunohistochemical Localization of Nox in Mouse Circumvallate papillae.［Tissue & Cell, 47 (6), (2015), 550-558］

Y. Kashiwabara, K. Ambe, T. Nakagawa, H. Watanabe

5) Fibroblast VEGF-receptor 1 expression as molecular target in periodontitis.［Journal of Clinical Periodontology , 43 (2), (2016), 128-137］

M. Ohshima, Y. Yamaguchi, K. Ambe, M. Horie, A. Saito, T. Nagase, K. Nakashima, H. Ohki, T. Kawai, Y. Abiko, P. Micke, K. Kappert

---

総説・解説記事

1) 活性酸素と Nox ファミリー.［奥羽大学歯学誌, 40 (2), (2013), 124-124］

安部仁晴

2) Production and physiological role of NO in the oral cavity.［Japanese Dental Science Review, 52 (1), (2016), 14-21］

K. Ambe, H. Watanabe, S. Takahashi, T. Nakagawa, J. Sasaki

研究発表

マウスの歯牙発生におけるリンパ管の形成制御に関する免疫組織化 学的検索 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，郡山）
Lymph vessel-forming factors and receptors in tooth develop -ment in mice. [ASBMR 2011 Annual Meetong]
（2011年09月16日 － 2011年09月20日，San Diego，California，USA）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femur during endochondral ossification.[ASBMR 2011 Annual Meetong]
（2011年09月16日 － 2011年09月20日，San Diego，California，USA）
マウス歯乳頭および歯髄におけるリンパ管形成制御に関する VEGF-C, -D,VEGFR-3 の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜）
大理石骨病マウス大腿骨における一酸化窒素合成酵素（NOS）の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜）
Lymph vessel-forming factors and receptors in tooth develop -ment in mice.[第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日，郡山）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femur during endochondral ossification.[第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日，郡山）
マウス歯髄発生における NOS の発現 [第 117 回日本解剖学会総会全国学術大会]
（2012年03月26日 － 2012年03月28日，甲府）
大理石骨病マウス大腿骨における活性酸素合成酵素の発現 [第 117 回日本解剖学会総会全国学術大会]
（2012年03月26日 － 2012年03月28日，甲府）
Immunohistochemical localization of Nox1 and Nox4 in mouse femur during endochondral ossification[14th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry]
（2012年08月26日 － 2012年08月29日，Kyoto，Japan）
op/op マウス大腿骨における活性酸素合成酵素（Nox ファミ リー）の発現 [第 54 回歯科基礎医学会学術大会]
（2012年09月15日 － 2012年09月16日，郡山）
マウス歯髄発生における NOS に関する免疫組織化学的検索 [日本解剖学会第 58 回東北・北海道連合地方会]
（2012年09月22日 － 2012年09月23日，山形）
Immunohistochemical localization of Nox1 and Nox4 in mouse femur during endochondral ossification.[第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山）
op/op マウス大腿骨におけるフリーラジカルの発現 [第 118 回日本解剖学会総会・全国学術大会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日，高松）
マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 118 回日本解剖学会総会・全国学術大会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日，高松）
Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification.[2nd Joint Meeting of the International Bone and Mineral Society(IBMS) and The Japanese Society for Bone and Mineral Research(JSBMR)]
（2013年05月28日 － 2013年06月01日，Kobe）
マウス大腿骨における活性酸素除去酵素（SOD）の発現 [第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山）
マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の局在 [第 55 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山）
Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification.[第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日，郡山）
マウス有郭乳頭および味蕾における活性酸素合成酵素の分布 [第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月27日 － 2014年03月29日，下野）
虚血再灌流モデルラットを用いた咬筋における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月27日 － 2014年03月29日，下野）
虚血再灌流がラット頬粘膜に及ぼす影響：活性酸素合成酵素の発現からの検討 [第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月27日 － 2014年03月29日，下野）
マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [日本解剖学会第 60 回東北・北海道連合支部学術集会]
（2014年09月06日 － 2014年09月07日，福島）
IN situ hybridization 法を用いたマウス成長板における一酸化窒素合成酵素（NOS）の検出 [第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福岡）

マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，郡山）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) in bone [第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms after peripheral nerve transection in mice [第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）
Lymphangiogenesis and NOS localization in the healing process after tooth extraction in a mouse diabetes model [第 120 回日本解剖学会総会・全国学術集会、第 92 回日本生理学会大会　合同大会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日，神戸）
Immunohistochemical localization of nitric oxide synthase (NOS) isoforms after peripheral nerve transection in mice [第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟）
マウス末梢神経切断後の一酸化窒素合成酵素（NOS）の発現 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日，郡山）
虚血再灌流により発生した一酸化窒素は咬筋を障害する [第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日，郡山）
虚血再灌流により発生した一酸化窒素は咬筋を障害する [第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日，郡山）
坐骨神経切断後の再生過程における一酸化窒素合成酵素（NOS）の発現 [第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日，郡山）

担当授業科目

臨床実習 (PBL も含む)	2010年04月	－	2011年06月
総合学習Ⅱ	2011年04月	－	2012年02月
臨床実習	2011年04月	－	2011年06月
総合学習Ⅲ	2011年04月	－	2012年02月
口腔組織学	2011年04月	－	2012年02月
生命基礎科学Ⅰ	2011年04月	－	2012年02月
臨床総合講義	2011年07月	－	2012年02月
口腔組織学実習	2011年09月	－	2012年02月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 生命基礎科学Ⅰ	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 口腔組織学	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 総合学習Ⅱ	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 総合学習Ⅲ	2012年04月	－	2013年02月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2012年06月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 臨床総合講義	2012年07月	－	2013年02月
(歯) 口腔組織学実習	2012年09月	－	2013年02月
(歯) 生命基礎科学Ⅰ	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2013年06月
(歯) 総合学習Ⅲ	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 総合学習Ⅱ	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 口腔組織学	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床総合講義	2013年07月	－	2014年02月
(歯) 口腔組織学実習	2013年09月	－	2014年03月
(歯) 口腔組織学実習	2014年04月	－	2015年03月
臨床実習	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 生命基礎科学Ⅰ	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 口腔組織学	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 臨床総合講義	2014年04月	－	2015年02月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	－	2016年01月
(歯) 臨床実習	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 臨床実習	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 口腔組織学	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 基礎歯学概論	2015年04月	－	2016年03月

(歯) 口腔組織学実習　2015年08月　－　2016年03月

その他教育活動及び特記事項

授業の工夫　2003年04月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］

実習書の作成　2003年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］

歯科医学教育者ワークショップ　2004年04月　－　継続中
［活動区分 ：その他特記事項］

教育研修講演会　2004年07月　－　継続中
［活動区分 ：その他特記事項］

2 学年クラス担任　2012年04月　－　2014年03月
［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］

2 学年クラス担任　2015年04月　－　継続中
［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議員］　2015年04月　－　継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

第 23 回　奥羽大学　歯学部 · 薬学部　公開講座　2014年09月
［活動区分 ：公開講座］

奥羽大学 歯学部 歯学科

花岡　洋一

HANAOKA YOICHI

歯学科

出身大学院

東京歯科大学・歯学研究科・法歯学・博士課程　1984年 修了

取得学位

博士　東京歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］　2014年11月　－　継続中

所属学会・委員会

日本法医学会
国際法医学会
国際歯科医学会
歯科基礎医学会
日本法歯科医学会

総説・解説記事

1) 山形県警察歯科医会研修会.［形歯会報, (637), (2014), 12-13］
花岡洋一

2) 地域に求められる防災計画の整合性.［新聞 QUINT, (229), (2015), 1-1］
花岡洋一

3) 強制猥褻被疑事件鑑定.［南大 · 強捜第 159 号, (2015), 1-9］
花岡洋一

4) 強制猥褻被疑事件鑑定.［南大 · 強捜第 159 号, (2015), 1-9］
花岡洋一

5) 窃盗被疑事件鑑定.［町田 · 強捜, (2015), 1-3］
花岡洋一

6) 窃盗被疑事件鑑定.［町田 · 強捜, (2015), 1-3］
花岡洋一

7) 強盗被疑事件鑑定.［多摩 · 強捜 2 第 703 号, (2015), 1-7］
花岡洋一

8) 強盗被疑事件鑑定.［多摩 · 強捜 2 第 703 号, (2015), 1-7］
花岡洋一

9) 強盗被疑事件鑑定.［多摩 · 強捜 2 第 871 号, (2015), 1-7］
花岡洋一

10) 強盗被疑事件鑑定.［多摩 · 強捜 2 第 871 号, (2015), 1-7］
花岡洋一

11) 強盗致傷事件鑑定.［立川 · 鑑第 2292 号, (2015)］
花岡洋一

12) 強盗致傷事件鑑定.［立川 · 鑑第 2292 号, (2015), 1-5］
花岡洋一

13) 強盗被疑事件鑑定.［立川・鑑第 2493 号,（2015）, 1-4］
花岡洋一

14) 強盗被疑事件鑑定.［立川・鑑第 2493 号,（2015）, 1-4］
花岡洋一

15) 死体遺棄事件鑑定.［山形県警死体遺棄被疑事件,（2015）, 1-5］
花岡洋一

16) 建造物侵入被疑事件鑑定.［町田・強捜 1 第 2797 号,（2015）, 1-7］
花岡洋一

17) 住居侵入・強盗未遂被疑事件鑑定.［武蔵・刑第 4245 号,（2015）, 1-6］
花岡洋一

18) 強制わいせつ被疑事件鑑定.［八王・強捜 2 第 5530,（2015）, 1-8］
花岡洋一

19) 警察歯科医会研修会.［形歯会報,（650）,（2016）, 15-16］
花岡洋一

20) 建造物侵入被疑事件鑑定.［小松・強捜第 154 号,（2016）, 1-8］
花岡洋一

研究発表

京橋歯科医師会における活動報告および身元確認システム［第 14 回警察歯科医会全国大会］
（2015年08月29日，仙台市）

担当授業科目

(歯) 法歯学　2014年11月　ー　継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

山形県警察歯科医会研修会　2014年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
鹿沼地区歯科医師警察連絡会総会　2014年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
三島市学校歯科研修会　2014年12月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
身元確認に関する歯科医師研修会　2015年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
日本小児歯科学会専門医セミナー　2015年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
町田市歯科医師会警察歯科部会講演会　2015年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
台東・浅草警察歯科医師会講習会　2015年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
身元確認に関する歯科医師研修会　2015年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
東京都立川市歯科医師会学術講演会　2015年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
茨城海上保安部講演会　2015年03月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
東京都品川歯科医師会警察・災害医療対策委員会講演会　2015年03月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
杉並区歯科医師会警察協力医会研修会　2015年05月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
刑事訴訟法第 197 条第 2 項に基づく捜査関係事項照会　2015年06月
［活動区分 ：その他］
庄歯会総会ならびに講演会　2015年08月
［活動区分 ：講演会・セミナー］

東京都中央区総合防災訓練　2015年09月
［活動区分 ：その他］
東京都歯科衛生士会平成 27 年度第 2 回学術研修会　2015年09月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
武蔵野市歯科医師会身元確認講習会　2015年10月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
川口市身元確認訓練事前会議および身元確認訓練講習会　2015年10月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
東京都練馬区歯科医師会公衆衛生講演会　2015年10月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
奥羽大学同窓会福島県支部研修会　2015年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
山形県警察歯科医会研修会　2015年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
品川区学校保健会歯科医部会　2015年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
茨城県警察歯科協議会　2015年12月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
東京都荒川区歯科医師会警察協力医会講習会　2015年12月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
身元確認に関する歯科医師研修会　2016年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
岩手県歯科医師会児童虐待防止研修会　2016年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
東大和警察歯科医会講演会　2016年02月
［活動区分 ：講演会・セミナー］

奥羽大学 歯学部 歯学科

清浦　有祐

KIYOURA Yusuke

歯学科

出身大学院

東京女子医科大学・医学研究科・微生物学免疫学・博士課程　1986年 修了

取得学位

博士　東京女子医科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 教授［本務］	2004年06月	―	継続中
奥羽大学歯学部 大学院研究科長［兼務］	2014年04月	―	継続中
奥羽大学歯学部 倫理審査委員会委員長［兼務］	2012年04月	―	継続中
奥羽大学歯学部 動物実験委員会委員長［兼務］	2014年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本歯周病学会
歯科基礎医学会
日本結合組織学会
日本細菌学会

論文

1) Candida albicans enhances invasion of human gingival epithelial cells and gingival fibroblasts by Porphyromonas gingivalis.（共著）. [Microbial Pathogenesis, 51 (4), (2011), 250-254]

Tamai R, Sugamata M, Kiyoura Y

2) Candida albicans のマクロファージ様細胞からの選択的サイトカイン産生誘導作用（共著）. [奥羽大学歯学誌, 39 (2), (2012), 80-86]

呂　正仁、玉井利代子、清浦有祐

3) Candida albicans によってマクロファージ様細胞から誘導さ れるサイトカイン産生に対する alendronate の増強作用（共著）. [奥羽大学歯学誌, 39 (2), (2012), 95-102]

伊藤榮一、玉井利代子、清浦有祐

4) ヒト歯肉線維芽細胞からの炎症性サイトカイン産生に対する amphotericinB の修飾作用（共著）. [奥羽大学歯学誌, 39 (2), (2012), 87-94]

小林良誌、玉井利代子、清浦有祐

5) Amphotericin B Up-regulates Lipid A-induced IL-6 Production via Caspase-8.（共著）. [Journal of Dental Research, 91 (7), (2012), 709-714]

Tamai R, Sugamata M, Kiyoura Y

6) Candida albicans and Candida parapsilosis rapidly up-regulate galectin-3 secretion by human gingival epithelial cells. [Mycopathologia, 177 (1-2), (2014), 75-79]

Tamai R, Kiyoura Y

7) 〓 Innate Immunity to Candida albicans. [Japanese Dental Science Review, (2015)]

Yusuke Kiyoura, Riyoko Tamai

8) 再現性が高い口腔カンジダ症マウスモデル. [奥羽大学歯学誌, 42 (3), (2015), 55-63]

菊池直宏、玉井利代子、清浦有祐

9) アジスロマイシンの免疫修飾作用. [奥羽大学歯学誌, 42 (3), (2015), 45-53]

寺本育司、玉井利代子、清浦有祐

10) Beyond bone remodeling–emerging functions of osteoprotegerin in host defense and microbial infection. [Integrative Molecular Medicine, 2 (6), (2015)]

Michiyo Kobayashi-Sakamoto, Riyoko Tamai, Yusuke Kiyoura

著書

1) 口腔微生物学 第 4 版. [学建書院,2013]

石原和幸、小川知彦、落合邦康、落合智子、葛城啓彰、鎌口有秀、上西秀則、清浦有祐、古西清司、柴田幸永、玉井利代子、長環、中澤太、浜田信城、前田信子、宮川博史

2) オーラルヘルスケア機能性食品の開発と応用ーアンチエイジングを目指した口腔ケアを中心にー. [シーエムシー出版,2013]

清浦有祐ほか

3) 口腔微生物学第５版ー感染と免疫ー（共著）. [学建書院,2015]

清浦有祐他

研究発表

真菌によるヒト歯肉上皮細胞への Porphyromonas gingivalis の侵入菌数の増加 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，福島）

Heat-killed Candida albicans promotes invasion of human gingival epithelial cells and gingival fibroblasts by Porphyromonas gingivalis [International Union of Microbiological Societies 2011 Congress]
（2011年09月06日 － 2011年09月10日，北海道）

Candida albicans 加熱死菌によるヒト歯肉癌上皮細胞への Porphyromonas gingivalis の侵入菌数の増加 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜）

Amphotericin B upregulates lipid A-induced IL-6 production via caspase-8 by gingival fibroblasts [第 85 回日本細菌学会総会]
（2012年03月27日 － 2012年03月29日）

リピドAが誘導する IL-6 産生に対するアムホテリシン B の相乗効果 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日，福島）

ヒト歯肉線維芽細胞による lipid A 誘導 IL-6 および IL-8 産生に おけるアムホテリシン B の効果 [第 54 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日，福島）

ジンジパインによるヒト歯肉上皮細胞からの IL-33 発現誘導 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，福島）

Amphotericin B upregulates lipid A-induced IL-6 and IL-8 production [第 60 回国際歯科研究会日本部会 (JADR) 総会 · 学術大会]
（2012年12月14日 － 2012年12月15日，新潟コンベンションセンター）

ジンジパインによるアレルギー性サイトカイン誘導をターゲットとしたアレルギー疾患の制御 [第 29 回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い（平成 24 年度)」]
（2013年01月12日，歯科医師会館 1 階大会議室 （東京都千代田区九段北 4--1--20））

Porphyromonas gingivalis 由来 fimbriae およびリポペプチドによる樹状細胞からの IL-33 発現誘導 [第 56 回春季日本歯周病学会学術大会]
（2013年05月30日 － 2013年06月01日，タワーホール船堀）

口腔カンジダ症マウスモデルにおける免疫抑制剤の影響 [日本老年歯科医学会第 24 回学術大会]
（2013年06月04日 － 2013年06月06日，大阪国際会議場）

Candida albicans による歯肉癌上皮細胞 Ca9-22 の galectin-3 放出増加 [第 55 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山コンベンションセンター）

Candida albicans の galectin-3 分泌増加作用 [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）

Candida albicans upregulates galectin-3 secretion by Ca9-22 cells [第 42 回日本免疫学会学術集会]
（2013年12月11日 － 2013年12月13日，岡山コンベンションセンター）

Candida species upregulate galectin-3 secretion by human gingival epithelial cells [第 87 回日本細菌学会総会]
（2014年03月26日 － 2014年03月28日，タワーホール船堀）

アジスロマイシン水和物による J774.1 細胞の炎症性サイトカイン産生制御 [日本老年歯科医学会第 25 回学術大会]
（2014年06月13日 － 2014年06月14日，電気ビルみらいホール）
炎症性サイトカイン産生におけるアジスロマイシン水和物の抑制効果 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月21日，奥羽大学）
窒素含有 bisphosphonates による TLR4 リガンド誘導 IL-1 β 産生の増加に与える Smad3 活性化の影響 [第 56 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福岡国際会議場）
アジスロマイシンの免疫修飾作用 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
再現性が高い口腔カンジダ症マウスモデルの作成 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
Pretreatment with alendronate upregulates lipid A-induced IL-1 β production via Smad3 activation [第 43 回日本免疫学会学術集会]
（2014年12月10日 － 2014年12月12日，国立京都国際会館）
Smad3 活性化を介した窒素含有 bisphosphonate による細胞傷害の増加 [第 69 回日本細菌学会東北支部総会]
（2015年08月21日 － 2015年08月22日）
Smad3 活性化を介した窒素含有 bisphosphonate による caspase-1 放出の増加 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日）

担当授業科目

(薬) 臨床検査学	2009年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

授業に討議を導入 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	－	継続中
「口腔細菌学講義」プリント作成 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	－	継続中
教育研修講演会 ［活動区分 ：その他特記事項］	2003年07月	－	継続中
「口腔細菌学実習」プリント作成 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年09月	－	継続中
討議方法の改善 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2004年04月	－	継続中
奥羽大学歯学部第 4 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2004年04月	－	継続中
補助教材の改良 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年04月	－	継続中
双方向性授業の発展 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2006年04月	－	継続中
臨床との関連に明らかにして学生の興味の向上を図る ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議員］	1999年04月	－	継続中
歯科基礎医学会［評議員］	2000年04月	－	継続中
日本結合組織学会［評議員］	2002年04月	－	継続中
歯科基礎医学会［理事］	2006年04月	－	継続中
日本歯周病学会［評議員］	2007年04月	－	継続中
奥羽大学歯学会［理事］	2008年04月	－	継続中
歯科基礎医学会［第 54 回歯科基礎医学会学術大会・総会会頭］	2012年09月		
日本細菌学会［評議員］	2015年01月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

福島県郡山市衛生検査精度管理専門委員 ［活動区分 ：その他］	2007年04月	－	2014年03月
国際歯周内科学研究会 第 10 回学術大会特別講演 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年04月		
まちなかライブ ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年06月		
まちなかライブ ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年08月		

奥羽大学 歯学部 歯学科

玉井　利代子

TAMAI Riyoko

歯学科

出身大学院

東北大学・歯学研究科・博士課程　2002年 修了

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2006年10月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2007年04月	―	2011年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2011年04月	―	継続中

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
日本細菌学会
日本免疫学会
国際歯科研究学会
日本エンドトキシン学会
奥羽大学歯学会
日本老年歯科医学会
日本歯周病学会

論文

1) Candida albicans enhances invasion of human gingival epithelial cells and gingival fibroblasts by Porphyromonas gingivalis.（共著）. [Microbial Pathogenesis, 51（4）,（2011）, 250-254]

Tamai R, Sugamata M, Kiyoura Y

2) Candida albicans によってマクロファージ様細胞から誘導されるサイトカイン産生に対する alendronate の増強作用. [奥羽大学歯学誌, 39（2）,（2012）, 95-102]

伊藤榮一、玉井利代子、清浦有祐

3) Candida albicans のマクロファージ様細胞からの選択的サイトカイン産生誘導作用. [奥羽大学歯学誌, 39（2）,（2012）, 80-86]

呂　正仁、玉井利代子、清浦有祐

4) ヒト歯肉線維芽細胞からの炎症性サイトカイン産生に対する amphotericinB の修飾作用. [奥羽大学歯学誌, 39（2）,（2012）, 87-94]

小林良誌、玉井利代子、清浦有祐

5) Amphotericin B Up-regulates Lipid A-induced IL-6 Production via Caspase-8（共著）. [Journal of Dental Research, 91（7）,（2012）, 709-714]

Tamai R, Sugamata M, Kiyoura Y

6) Candida albicans and Candida parapsilosis rapidly up-regulate galectin-3 secretion by human gingival epithelial cells. [Mycopathologia, 177（1-2）,（2014）, 75-79]

Tamai R, Kiyoura Y

7) 〓 Innate Immunity to Candida albicans. [Japanese Dental Science Review, 51（3）,（2015）, 59-64]

Yusuke Kiyoura, Riyoko Tamai

8) 再現性が高い口腔カンジダ症マウスモデル. [奥羽大学歯学誌, 42（3）,（2015）, 55-63]

菊池直宏、玉井利代子、清浦有祐

9) アジスロマイシンの免疫修飾作用. [奥羽大学歯学誌, 42（3）,（2015）, 45-53]

寺本育司、玉井利代子、清浦有祐

10) Beyond bone remodeling–emerging functions of osteoprotegerin in host defense and microbial infection. [Integrative Molecular Medicine, 2 (6), (2015), 384-390]

Michiyo Kobayashi-Sakamoto, Riyoko Tamai, Yusuke Kiyoura

著書

1) 口腔微生物学第４版ー感染と免疫ー（共著）. [学建書院,2013]

小川知彦他

2) 口腔微生物学第５版ー感染と免疫ー（共著）. [学建書院,2015]

清浦有祐他

研究発表

真菌によるヒト歯肉上皮細胞への Porphyromonas gingivalis の侵入菌数の増加 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）

Heat-killed Candida albicans promotes invasion of human gingival epithelial cells and gingival fibroblasts by Porphyromonas gingivalis[International Union of Microbiological Societies 2011 Congress]
（2011年09月06日 － 2011年09月16日，北海道）

Candida albicans 加熱死菌によるヒト歯肉癌上皮細胞への Porphyromonas gingivalis の侵入菌数の増加 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日）

Amphotericin B upregulates lipid A-induced IL-6 production via caspase-8 by gingival fibroblasts[第 85 回日本細菌学会総会]
（2012年03月27日 － 2012年03月29日，長崎ブリックホール）

リピドAが誘導する IL-6 産生に対するアムホテリシン B の相乗効果 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日，奥羽大学）

ヒト歯肉線維芽細胞による lipid A 誘導 IL-6 および IL-8 産生におけるアムホテリシン B の効果 [第 54 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日，奥羽大学）

Amphotericin B upregulates lipid A-induced IL-6 and IL-8 production[第 60 回国際歯科研究会日本部会 (JADR) 総会 · 学術大会]
（2012年12月14日 － 2012年12月15日，新潟コンベンションセンター）

Porphyromonas gingivalis 由来 fimbriae およびリポペプチドによる樹状細胞からの IL-33 発現誘導 [第 56 回春季日本歯周病学会学術大会]
（2013年05月30日 － 2013年06月01日，タワーホール船堀）

口腔カンジダ症マウスモデルにおける免疫抑制剤の影響 [日本老年歯科医学会第 24 回学術大会]
（2013年06月04日 － 2013年06月06日，大阪国際会議場）

Candida albicans による歯肉癌上皮細胞 Ca9-22 の galectin-3 放出増加 [第 55 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山コンベンションセンター）

Candida albicans の galectin-3 分泌増加作用 [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）

Candida albicans upregulates galectin-3 secretion by Ca9-22 cells[第 42 回日本免疫学会学術集会]
（2013年12月11日 － 2013年12月13日，幕張メッセ）

Candida species upregulate galectin-3 secretion by human gingival epithelial cells[第 87 回日本細菌学会総会]
（2014年03月26日 － 2014年03月28日，タワーホール船堀）

アジスロマイシン水和物による J774.1 細胞の炎症性サイトカイン産生制御 [日本老年歯科医学会第 25 回学術大会]
（2014年06月13日 － 2014年06月14日，電気ビルみらいホール）

炎症性サイトカイン産生におけるアジスロマイシン水和物の抑制効果 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月21日，奥羽大学）

窒素含有 bisphosphonates による TLR4 リガンド誘導 IL-1 β 産生の増加に与える Smad3 活性化の影響 [第 56 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福岡国際会議場）

アジスロマイシンの免疫修飾作用 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）

再現性が高い口腔カンジダ症マウスモデルの作成 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
Pretreatment with alendronate upregulates lipid A-induced IL-1 β production via Smad3 activation [第 43 回日本免疫学会学術集会]
（2014年12月10日 － 2014年12月12日，国立京都国際会館）
Smad3 活性化を介した窒素含有 bisphosphonate による細胞傷害の増加 [第 69 回日本細菌学会東北支部総会]
（2015年08月21日 － 2015年08月22日）
Smad3 活性化を介した窒素含有 bisphosphonate による caspase-1 放出の増加 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日）

担当授業科目

口腔細菌学実習	2006年10月	－	2013年03月
口腔細菌学	2009年04月	－	2013年03月
口腔細菌学	2011年04月	－	2012年03月
総合学習Ⅲ	2011年04月	－	2013年03月
口腔細菌学	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 口腔感染免疫学実習	2014年04月	－	継続中
(歯) 口腔感染免疫学	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 口腔感染免疫学Ⅱ	2015年04月	－	継続中
(歯) 口腔感染免疫学Ⅰ	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

「口腔細菌学実習」プリント作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2006年10月	－	継続中
「口腔細菌学講義」プリント作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2007年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

歯科基礎医学会［代議員］	2011年04月	－	継続中
歯科基礎医学会［第 54 回歯科基礎医学会学術大会 · 総会準備委員長］	2012年09月		
日本老年歯科医学会［専門医認定試験問題作成審査委員］	2013年01月	－	2014年06月
日本細菌学会［東北支部地方委員］	2014年08月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

小林　美智代

KOBAYASHI Michiyo

歯学科

出身大学院

北海道大学・歯学研究科・博士課程　1998年 修了

取得学位

博士　北海道大学
学士　大阪大学
学士　大阪大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2015年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

国際歯科研究学会 (The International Association for Dental Research)
日本細菌学会
歯科基礎医学

論文

1) マダニディフェンシンの中腸由来細菌に対する抗菌活性.［Journal of Germfree Life and Gnotobiology, (2011)］

磯貝恵美子, 秋葉敬斉, 関翔太, 堀初弘, 磯貝浩, 小林美智代, 奥村一彦

2) Anti-glucosyltransferase IgY suppresses salivary mutans streptococci in healthy young adults.［The Journal of the American Dental Association, (2011)］

Nguyen SV, Icatlo FC Jr Nakano T Isogai E, Hirose K, Mizugai H, Kobayashi-Sakamoto M, Isogai H, Chiba I.

総説・解説記事

1) Beyond bone remodeling–emerging functions of osteoprotegerin in host defense and microbial infection.［Integrative Molecular Medicine, (2015)］

Michiyo Kobayashi-sakamoto, Riyoko Tamai, Yusuke Kiyoura

研究発表

Thrombin induces osteoprotegerin production via the phosphatidylinositol 3-kinase pathway in human microvascular endothelial cells［10th World Congress on Inflammation］
(2011年06月01日)

LL-37 は血管形成制御を担う抗菌ペプチドである［北海道医療大学歯学会］
(2011年06月01日)

トロンビンは血管内皮細胞においてオステオプロテゲリンの産生を誘導する［第 32 回日本炎症再生医学会］
(2011年06月01日)

消化管由来の病原および非病原細菌を接種された無菌マウスにおける単一細菌の定着と炎症性サイトカインおよび末梢血細胞数［無菌生物］
(2011年06月01日)

LL-37 induces angiostatic activity through FPRL1 in microvascular endothelial cells［45th Meeting of CED-IADR］
(2011年08月01日)

ニコチンと LPS は血管内皮細胞の TLR-2 の mRNA 発現を誘導する［日本口腔衛生学会］
(2011年08月01日)

Cathelicidin Antimicrobial Peptide, LL-37 has Proangiogenic and Angiostatic Activity in Human Microvascular Endothelial Cells［IUMS International Union of Microbiological Societies］
(2011年10月01日)

Thrombin Induces Osteoprotegerin Production via the Phosphatidylinositol 3-kinase Pathway in Human Microvascular Endothelial Cells [IUMS International Union of Microbiological Societies]
（2011年10月01日）
Foods-induced innate immune responses of Paneth cell α-defensin uncover novel functions of foods [International Society for Nutraceuticals and Functional Foods]
（2011年11月01日）
Smad3 活性化を介した窒素含有 bisphosphonate による細胞傷害の増加 [第 69 回日本細菌学会東北支部総会]
（2015年08月21日 － 2015年08月22日）
Smad3 活性化を介した窒素含有 bisphosphonate による caspase-1 放出の増加 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日）

担当授業科目

(歯) 口腔感染免疫学実習　2015年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

伊東　博司

ITO Hiroshi　　生年月日 1956年08月11日

歯学科

出身大学院

広島大学・歯学研究科・博士課程　1986年 修了

取得学位

博士　広島大学
学士　広島大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 准教授［本務］　1999年04月 ― 2008年11月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］　2008年12月 ― 継続中

所属学会・委員会

日本癌学会
日本病理学会
日本歯周病学会
歯科基礎医学会
日本臨床口腔病理学会
顕微鏡学会
奥羽大学歯学会

論文

1) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討.［奥羽大歯学誌,（2011）］

浜田智弘、金秀樹、川原一郎、高田訓、大野敬、遊佐淳子、伊東博司

著書

1) 頭頸部腫瘍Ⅱ 上気道・咽頭・口腔腫瘍と歯原性腫瘍.［文光堂,2015］

伊東 博司，櫻井 裕子，遊佐 淳子

その他教育活動及び特記事項

顕微鏡デジタルカメラの活用　2003年04月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
改訂実習書の作成　2003年04月 ― 継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］
改訂学生用病理標本顕微鏡写真集の作成　2003年04月 ― 継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］
レポート点数評価を一部実施　2003年06月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
液晶プロジェクターの導入　2003年06月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
新標本の活用　2003年10月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
臨床総合講義口腔病理学の講義プリント作成　2004年04月 ― 継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］
実習評価の改訂　2004年10月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
実習室テレビモニター・コンピューターの活用　2004年10月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
講義室にての説明を実施　2005年10月 ― 継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］

小テストの実施　2005年10月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］
実習レポート課題の改訂　2006年09月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］
新標本の活用　2007年10月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］
新型顕微鏡デジタルカメラの活用　2008年07月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］

奥羽大学 歯学部 歯学科

遊佐　淳子

YUSA Junko

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔病理学・博士課程　1999年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1999年04月	ー	2002年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2002年04月	ー	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2007年04月	ー	2016年03月

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
日本病理学会
奥羽大学歯学会
日本口腔病理学会
日本口腔粘膜学会
日本口腔科学会
日本口腔外科学会
日本小児口腔外科学会
日本口腔診断学会

論文

1) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討（共著）.［奥羽大歯学誌, 38（2）,（2011）, 95-100］
浜田智弘、金秀樹、川原一郎、高田訓、大野敬、遊佐淳子、伊東博司

2) 下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の１例.［日口診誌, 24（3）,（2011）, 419-422］
川原一郎、高田訓、浜田智弘、金秀樹、大野敬、杉浦淳子

3) 凝固モード炭酸ガスレーザー照射後ラット顎二腹筋の組織変化.［奥羽大歯学誌, 39（2）,（2012）, 43-55］
加藤美菜、遊佐淳子、櫻井裕子、伊東博司

4) 口蓋隆起部に発生した扁平上皮癌の臨床的検討.［奥羽大歯学誌, 39（3）,（2012）, 171-176］
金秀樹、浜田智弘、菅野勝也、佐藤淳、高田訓、大野敬、森陰由喜、櫻井裕子、遊佐淳子、清野和夫

5) Le Fort I 型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討.［日口診誌, 26（2）,（2013）, 202-205］
浜田智弘, 金秀樹, 川原一郎, 高田訓, 大野敬, 櫻井裕子, 遊佐淳子, 森蔭由喜

6) 頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例.［奥羽大歯学誌, 40（4）,（2013）, 179-182］
川原一郎, 高田訓, 福元梨沙, 河西敬子, 浜田智弘, 金秀樹, 大野敬, 遊佐淳子, 伊東博司

7) 腺性歯原性嚢胞と鑑別を要した含歯性嚢胞の１例.［奥羽大歯学誌, 40（2）,（2013）, 179-182］
櫻井裕子, 遊佐淳子, 小澤亮, 伊東博司, 赤城陽一郎, 浜田智弘, 菅野勝也, 森蔭由喜, 高田訓

8) 外科的処置や外傷の既往を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎嚢胞の１例　ー臨床的および病理組織学的検討ー.［日口診誌, 27（3）,（2014）, 244-248］
高橋進也, 浜田智弘, 金秀樹, 川原一郎, 高田訓, 大野敬, 遊佐淳子, 櫻井裕子

9) 炭酸ガスレーザー照射後ラット歯肉の組織変化ー Hsp47、テネイシン C およびフィブロネクチンの発現状況—.［奥羽大歯学誌, 42（3）,（2015）, 65-48］
小澤亮、遊佐淳子、櫻井裕子、伊東博司

著書

1)　頭頸部腫瘍Ⅱ　上気道・咽頭・口腔腫瘍と歯原性腫瘍.［文光堂,2015］

森永正二郎, 高田隆, 長尾俊孝, 遊佐淳子　他

研究発表

舌縁後縁部に発生したリンパ上皮性嚢胞の１例［第 56 回日本口腔外科学会学術大会］
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
口蓋隆起部に生じた扁平上皮癌の１例［第 56 回日本口腔外科学会学術大会］
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の１例［第 50 回 日本口腔外科学会北日本地方会］
（2012年06月23日 － 2012年06月24日）
口腔内に発生したリンパ上皮性嚢胞の２例［第 57 回日本口腔外科学会学術大会］
（2012年10月19日 － 2012年10月21日）
口腔扁平苔癬より癌化し再発と多発を繰り返した疣贅性癌の治療経験［第 39 回 日本口腔外科学会　北日本支部学術集会］
（2013年06月28日 － 2013年06月29日）
歯肉腫瘍の一例［第 77 回 日本病理学会東北支部学術集会］
（2013年07月28日）
下顎腫瘍［第 24 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術集会］
（2013年08月28日 － 2013年08月30日）
左側上顎臼歯部に発生した術後性上顎嚢胞に類似した嚢胞の臨床的検討［第 58 回 日本口腔外科学会総会・学術集会］
（2013年10月11日 － 2013年10月13日）
下顎骨内に原発した癌腫の３例［第 103 回 日本病理学会総会］
（2014年04月24日 － 2014年04月26日）
頚部腫瘤の一例［第 79 回 日本病理学会東北支部総会・学術集会］
（2014年07月19日 － 2014年07月20日）
上頚部腫瘍の１例［第 25 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術集会　］
（2014年08月17日 － 2014年08月29日）
下唇に発生した静脈石の１例［第 59 回 日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2014年10月17日 － 2014年10月19日）
摘出開窓術を用いた広範なエナメル上皮腫の治療経験［第 58 回 奥羽大学歯学会］
（2014年11月08日）
上顎小臼歯部に発生した中心性歯原性線維腫の１例［第 58 回 奥羽大学歯学会］
（2014年11月08日）
頚部に発生した石灰化上皮腫の１例［第 41 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会］
（2015年06月27日 － 2015年06月28日）
ラット歯原上皮におけるケラチン・ビメンチンの発現様式［第 57 回歯科基礎医学会学術大会］
（2015年09月11日 － 2015年09月13日）
下顎角部から筋突起部に及ぶ広範な単純性骨嚢胞の治療経験［第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）

その他教育活動及び特記事項

スライドプロジェクターによる画像の提示　2003年10月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
講義内容のまとめをプリントとして配布　2004年09月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］
講義録プリントの作成　2006年06月　－　継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］
スライドプロジェクターおよびＯＨＰによる画像の提示　2007年09月　－　継続中
［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］

奥羽大学 歯学部 歯学科

櫻井　裕子

SAKURAI Yuuko

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・矯正歯科学・博士課程　1998年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　助手［本務］　1998年04月　－　2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科　助教［本務］　2007年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本矯正歯科学会
奥羽大学歯学会
歯科基礎医学会
日本口腔外科学会
日本臨床口腔病理学会

論文

1) 術後 30 年で多発性顎嚢胞の再発を認めた基底細胞母斑症候群の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 129-133］
川原一郎，浜田智弘，金秀樹，高田訓，大野敬，櫻井裕子，伊東博司

2) 寒天印象材の迷入による頬部異物肉芽腫の 1 例.［日本口腔外科学会雑誌, 58（11）,（2012）, 642-645］
川原一郎，浜田智弘，高田訓，金秀樹，大野敬，櫻井裕子

3) 凝固モード炭酸ガスレーザー照射後ラット顎二腹筋の組織変化.［奥羽大学歯学誌, 39（2）,（2012）, 43-55］
加藤美菜，遊佐淳子，櫻井裕子，伊東博司

4) 口蓋隆起部に発生した扁平上皮癌の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 171-176］
金秀樹，浜田智弘，菅野勝也，佐藤淳，高田訓，大野敬，森陰由喜，櫻井裕子，遊佐淳子，清野和夫

5) 舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 39（4）,（2012）, 227-230］
佐藤淳，浜田智弘，川原一郎，金秀樹，高田訓，大野敬，櫻井裕子，伊東博司，森陰由喜

6) 腺性歯原性嚢胞との鑑別を要した含歯性嚢胞の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 40（2）,（2013）, 121-123］
櫻井裕子，遊佐淳子，小澤亮，伊東博司，赤城陽一郎，浜田智弘，菅野勝也，森陰由喜，高田訓

7) Le Fort I 型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討.［日本口腔診断学会雑誌, 26（2）,（2013）, 202-205］
浜田智弘，金秀樹，川原一郎，高田訓，大野敬，櫻井裕子，遊佐淳子，森陰由喜

8) 外科的処置や外傷の既往を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎骨嚢胞の 1 例—臨床的および病理組織学的検討—.［日本口腔診断学会雑誌, 27（3）,（2014）, 244-248］
高橋進也，浜田智弘，金秀樹，川原一郎，高田訓，大野敬，遊佐淳子，櫻井裕子

9) 炭酸ガスレーザー照射後ラット歯肉の組織変化-Hsp47, テネイシン C およびフィブロネクチンの発現状況-.［奥羽大学歯学誌, 42（3）,（2015）, 65-78］
小澤亮, 遊佐淳子, 櫻井裕子, 伊東博司

著書

1)　頭頸部腫瘍Ⅱ．［文光堂,2015］

森永正二郎，高田隆，長尾俊孝，櫻井裕子　他

研究発表

舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
口蓋部に発生した唾液腺過形成を伴う筋上皮腫の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
口蓋隆起に生じた扁平上皮癌の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
口腔内に発生したリンパ上皮性嚢胞の 2 例 [第 57 回日本口腔外科学会学術大会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日，横浜）
歯肉腫瘍の 1 例 [第 77 回日本病理学会東北支部学術集会]
（2013年07月28日，新潟市）
下顎腫瘍 [第 24 回日本臨床口腔病理学会学術大会]
（2013年08月28日 － 2013年08月30日，東京都）
下顎骨に生じた歯原性嚢胞に由来する原発性骨内扁平上皮癌の 1 例 [第 58 回日本口腔外科学会学術大会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日，福岡市）
下顎骨内に原発した癌腫の 3 例 [第 103 回日本病理学会総会]
（2014年04月24日 － 2014年04月26日，広島市）
頚部腫瘤の一例 [第 79 回日本病理学会東北支部学術集会]
（2014年07月19日 － 2017年07月20日，盛岡市）
上頚部腫瘍の 1 例 [第 25 回日本臨床口腔病理学会学術大会]
（2014年08月27日 － 2014年08月29日，新潟市）
下唇に発生した静脈咳の 1 例 [第 59 回日本口腔外科学会総会]
（2014年10月17日 － 2014年10月19日，東京）
ラット歯原上皮におけるケラチン・ビメンチンの発現様式 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟）

担当授業科目

口腔病理学実習　2007年09月　－　継続中

その他教育活動及び特記事項

講義内容のまとめをプリントとして配付　2009年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］
PowerPoint による画像の提示　2009年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］

奥羽大学 歯学部 歯学科

鈴木　恵子

SUZUKI Keiko

歯学科

出身大学院

千葉大学・薬学研究科・修士課程　1978年 修了

取得学位

博士　昭和大学
修士　千葉大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬理学会
歯科基礎医学会

論文

1) Effects of mechanical stimulation on the expression of Na+/Ca2+ exchanger mRNA and orientation of F-actin filaments in cultured osteoblastic cells..［Dent Med Res, (2011)］

   Sakai N, Suzuki K, Morohashi T, Yamada S

2) Pam3CSK4, a TLR2 Agonist, Induces Osteoclastogenesis in RAW 264.7 Cells..［Dent Med Res, (2012)］

   Yano A, Suzuki K, Yamamoto M, Yamada S

3) Delphinidin, one of major anthocyanidins, prevents bone loss through the inhibition of excessive osteoclastogenesis in osteoporosis model mice..［PLoS One, (2014)］

   Moriwaki S, Suzuki K, Muramatsu M, Nomura A, Inoue F, Into T, Yoshiko Y, Niida S

4) Osteodystrophy in Cholestatic Liver Diseases Is Attenuated by Anti-γ-Glutamyl Transpeptidase Antibody.［PLoS One, (2015)］

   Kawazoe Y, Miyauchi M, Nagasaki A, Furusho H, Yanagisawa S, Chanbora C, Inubushi T, Hyogo H, Nakamoto T, Suzuki K, Moriwaki S, Tazuma S, Niida S, Takata T

研究発表

TLR2 アゴニストである Pam3CSK4 による破骨細胞形成とマウス頭蓋骨骨吸収作用について［第 54 回春季日本歯周病学会学術大会］
（2011年05月）

TLR2 アゴニストである Pam3CSK4 による破骨細胞形成とラット上顎口蓋骨骨吸収作用について［第 31 回昭和歯学会総会］
（2011年07月）

TLR2 アゴニストである Pam3CSK4 による破骨細胞形成とラット上顎口蓋骨骨吸収作用について［第 29 回日本骨代謝学会］
（2011年07月）

Pam3CSK4, a TLR2 agonist, induces in vitro osteoclastogenesis RANKL-independently and resorbs alveolar bone in rats.［ASBMR 2011 Annual Meeting］
（2011年09月）

植物アントシアニジンの骨破壊抑制効果［第 30 回日本骨代謝学会学術集会］
（2012年07月）

炎症性骨破壊における Toll-like receptor の関与［薬力学研究会受賞記念講演会］
（2013年02月）

Pam3CSK4, a TLR2 agonist, induces in vitro osteoclastogenesis RANKL-independently and resorbs calvarial and alveolar bone in vivo.［15th International Congress of Immunology］
（2013年08月）

新規ビスホスホネート MPMBP が骨粗鬆症モデルラットの骨形成に及ぼす影響 [第 35 回日本炎症・再生医学会]
（2014年07月）
新規ビスホスホネートが卵巣摘出ラットの骨形成に及ぼす作用 [第 73 回日本矯正歯科学会]
（2014年10月）
炎症性骨破壊における 破骨細胞の動態-バイオイメージングによる解析 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月）
破骨細胞は、骨基質を吸収するだけではなく、核数が多くなると骨細胞も吸収する [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月）
卵巣摘出骨粗鬆症モデルラットへの新規ビスホスホネート投与による骨量改善と作用機序について [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月）

担当授業科目

(歯) 歯科薬理学Ⅰ	2015年04月	―	継続中
(歯) 歯科薬理学Ⅱ	2015年04月	―	継続中
(歯) 歯科薬理学実習	2015年04月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

第 24 回奥羽大学歯学部・薬学部公開講座―奥羽大学発健康宣言 2015　2015年10月
［活動区分 ：公開講座］
平成 27 年度東北地方在宅保健師等会連絡会議での講演　2015年12月
［活動区分 ：講演会・セミナー］

奥羽大学 歯学部 歯学科

鈴木　礼子

SUZUKI Reiko

歯学科

出身大学院

北海道大学・歯学研究科・歯学基礎系専攻（口腔解剖学）・博士課程　2001年 修了

取得学位

博士　北海道大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　助教［本務］　2014年04月　－　2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科　准教授［本務］　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
日本免疫学会
奥羽大学歯学会
日本薬理学会

論文

1) Morphological assessment of bone mineralization in tibial metaphyses of ascorbic acid-deficient ODS rats.. [Biomed Res., 32 (4), (2011), 259-269]

   Hasegawa T, Li M, Hara K, Sasaki M, Tabata C, de Freitas PH, Hongo H, Suzuki R, Kobayashi M, Inoue K, Yamamoto T, Oohata N, Oda K, Akiyama Y, Amizuka N

2) Immunolocalization of sclerostin synthesized by osteocytes in relation to bone remodeling in the interradicular septa of ovariectomized rats.. [J Electron Microsc. (Tokyo)., 61 (5), (2012), 309-320]

   Guo Y, Li M, Zhusheng L, Yamada T, Sasaki M, Hasegawa T, Hongo H, Tabata C, Suzuki R, Oda K, Yamamoto T, Kawanami M, Amizuka N

3) Scleostin is differently immunolocalized in metaphyseal trabecules and cortical bones of mouse tibiae.. [Biomed Res. , 34 (3), (2013), 153-159]

   Hasegawa T, Amizuka N, Yamada T, Liu Z, Miyamoto Y, Yamamoto T, Sasaki M, Hongo H, Suzuki R, de Freitas PH, Yamamoto T, Oda K, Li M

4) Altered distribution of bone matrix proteins and defective bone mineralization in klotho-deficient mice.. [Bone, 7 (1), (2013), 206-219]

   Sasaki M, Hasegawa T, Yamada T, Hongo H, de Freitas PH, Suzuki R, Yamamoto T, Tabata C, Toyosawa S, Yamamoto T, Oda K, Li M, Inoue N, Amizuka N

5) Altered distribution of extracellular matrix proteins in the periodontal ligament of periostin-deficient mice.. [Histol Histopathol., 29 (6), (2014), 731-742]

   Tabata C, Hongo H, Sasaki M, Hasegawa T, de Freitas PH, Yamada T, Yamamoto T, Suzuki R, Yamamoto T, Oda K., Li M, Kudo A, Iida J, Amizuka N

総説・解説記事

1) The distribution of osteocytic lacunar-canalicular system, and immunolocalization of FGF23 and sclerostin in osteocytes.. [J Oral Biosci., 54 (1), (2012), 37-42]

   Amizuka N, Hongo H, Sasaki M, Hasegawa T, Suzuki R, Tabata C, Ubaidus S, Masuki H, Ying G, de FreitasPH, Oda K, Li M

2) Bone-Orchestrating Cells, Osteocytes.. [Hokkaido J Dent Sci., 32 (2), (2012), 93-103]

Hongo H, Hasegawa T, Sasaki M, Suzuki R, Masuki H, Yamada T, Shimoji S, Kawanami M, Yamamoto T, Amizuka N

3) Morphological aspects of the biological function of the osteocytic lacunar canalicular system and of osteocyte-derived factors.. [Oral Sci Int., 9 (1), (2012), 1-8]

Sasaki M, Hongo H, Hasegawa T, Suzuki R, Zhusheng L, de Freitas PHL, Yamada T, Oda K, Yamamoto T, Li M, Totsuka Y, Amizuka N

4) Medial vascular calcification: a new concept challenging the classical paradigm of dystrophic calcification.. [Hookaido J Dent Sci., 34 (1), (2013), 2-10]

Hasegawa T, Sasaki M, Liu Z, Yamada T, Yamamoto T, Hongo H, Suzuki R, Miyamoto Y, Yamamoto T, de Freitas PHL, Li M, Amizuka N

研究発表

副甲状腺ホルモン投与による骨細胞性骨溶解の可能性について [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日）

副甲状腺ホルモン投与による骨細胞性骨溶解に関する組織化学的検索 [第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2012年03月26日 － 2012年03月28日）

Pretreatment with alendronate upregulates lipid A-induced IL-1 β production via Smad3 activation [第 43 回日本免疫学会学術集会]
（2014年12月10日 － 2014年12月12日，国立京都国際会館）

炎症性骨破壊における破骨細胞の動態-バイオイメージングによる解析 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟市）

破骨細胞は、骨基質を吸収するだけではなく、核数が多くなると骨細胞も吸収する ～破骨細胞は核数依存的に異なった機能を発現するのか？ ～[第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟市）

担当授業科目

(歯) 口腔感染免疫学実習	2014年09月	－	2015年03月
(歯) 歯科薬理学Ⅰ	2015年04月	－	2015年08月
(歯) 歯科薬理学実習	2015年04月	－	2015年08月
(歯) 歯科薬理学Ⅱ	2015年04月	－	2015年08月
(歯) 歯科薬理学Ⅰ	2015年09月	－	2016年03月
(歯) 基礎歯学概論	2015年09月	－	2015年10月

奥羽大学 歯学部 歯学科

長岡　正博

NAGAOKA Masahiro

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔衛生学・博士課程　2005年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2005年04月 － 2007年03月

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2007年04月 － 2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔衛生学会
日本カウンセリング学会
歯科基礎医学会

論文

1) Effect of Oxidized Galectin-1 on Neuropathic Pain in Rats. [Pharmacometrics, 88 (1), (2015), 23-29]

Nagaoka M, Terasawa R, Kadoya T, Yonehara N

研究発表

ニコチンと LPS は血管内非細胞の TLR-2 の mRNA 発現を誘導する [第 60 回日本口腔衛生学会総会学術大会]
（2011年05月19日 － 2011年05月21日，千葉）

小学１年生時の歯科保健指標とう蝕罹患性の推移について [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，福島）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 2）[第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，福島）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 1）[第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，福島）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 1）[第 52 回日本歯科医療管理学会総会 · 学術大会]
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，神奈川）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 2）[第 52 回日本歯科医療管理学会総会 · 学術大会]
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，神奈川）

大震災において歯科医師として果たした役割―検死派遣活動 · 口腔管理支援―[第１回東北口腔衛生学会総会 · 学術大会]
（2011年11月26日，青森）

航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 1 報）[第 136 回日本歯科保存学会春季学術大会]
（2012年06月，沖縄県）

航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 2 報）[第 137 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2012年11月，広島県）

奥羽大学歯学部５年生の喫煙状況と禁煙支援教育効果 [第 62 回日本口腔衛生学会総会学術大会]
（2013年05月，長野）

航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 3 報）[第 138 回日本歯科保存学会春季学術大会]
（2013年06月，福岡県）

航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 4 報）[第 139 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2013年10月，秋田）

侵害性疼痛およびシクロオキシゲナーゼに対するキトサンオリゴ糖の効果 [第 56 回歯科基礎医学会]
（2014年09月，福岡県）

税務署職員における口腔衛生指導 (航空自衛隊隊員との比較) [第 141 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2014年10月，山形）

税務署職員における口腔衛生指導 (航空自衛隊隊員との比較) 第 2 報 [第 142 回日本歯科保存学会春季学術大会]
（2015年06月，福岡県）
破骨細胞は、骨基質を吸収するだけではなく、核数が多くなると骨細胞も吸収する～破骨細胞は核数依存的に異なった機能を発現するのか？ ～[第 57 回歯科基礎医学会]
（2015年08月，新潟県）
炎症性骨破壊における破骨細胞の動態―バイオイメージングによる解析―[第 57 回歯科基礎医学会]
（2015年08月，新潟県）
税務署職員における口腔衛生指導 (航空自衛隊隊員との比較) 第 3 報 [第 143 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2015年11月，東京都）

担当授業科目

口腔衛生学	2010年04月	―	2014年03月
(歯) 口腔衛生学実習	2010年04月	―	2013年07月
臨床実習 (PBL も含む)	2010年04月	―	2014年03月
(歯) 歯科薬理学実習	2014年04月	―	継続中
(歯) 臨床実習	2014年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

宗形　芳英

MUNAKATA Yoshiei

歯学科

出身大学院

東北大学・歯学研究科・博士課程　1982年 修了

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1987年04月	―	1988年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1988年04月	―	1999年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	1999年04月	―	2008年11月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］	2008年12月	―	継続中

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
日本補綴歯科学会
日本生理学会
顎口腔機能学会
奥羽大学歯学会
日本実験力学会

論文

1) マウスの舌および軟口蓋における味覚受容器の発生過程.［奥羽大学歯学雑誌, 38（3）,（2011）, 103-114］
加川千鶴世、大須賀謙二、宗形芳英、鈴木康生

2) 視覚情報の変化がタッピング時の下顎位に及ぼす影響.［日本顎口腔機能学会誌, 18（1）,（2011）, 66-67］
宗形芳英、北見修一

3) ショウジョウバエの餌選択行動における poxn 発現脳ニューロンの役割.［日本味と匂学会誌, 19,（2012）, 343-344］
古山　昭、大須賀謙二、宗形芳英

4) 顎―頸協調運動が開口反応時間におよぼす影響.［日本実験力学会講演論文集, 13,（2013）, 315-316］
北見修一、宗形芳英、大須賀謙二、古山　昭

5) Twin Block 装置を用いた咀嚼運動が筋活動に与える影響.［Orthodontic Waves-Japanese Edition, 72(1) ；1-9, 72（1）,（2013）, 1-9］
海野幸恵、中村真治、宗形芳英、福井和徳

6) 反応時間法を使ったヒト顎運動の解析.［奥羽大学歯学誌, 40,（2013）, 45-52］
北見修一、宗形芳英、大須賀謙二、古山　昭

7) 味覚障害モデルショウジョウバエの行動学的解析.［日本味と匂学会誌, 20,（2013）, 245-246］
小島忠之、古山　昭、磯野邦夫、浜田智弘、大須賀謙二、宗形芳英

8) 視覚情報の変化が咀嚼運動に及ぼす影響.［日本実験力学会講演論文集, 14,（2014）, 353-354］
宗形芳英、北見修一、大須賀謙二、古山　昭

9) 顎反応時間におよぼす顎‐頸協調運動の影響.［奥羽大学歯学誌, 41,（2014）, 15-21］
北見修一、宗形芳英、大須賀謙二、古山　昭

10) Twin Block 療法によるⅡ級不正咬合者の筋活動の変化と姿勢の関連性.［東北矯正歯科学会雑誌, 22（1）,（2014）, 5-14］
山野辺晋也、西村幸恵、宗形芳英、福井和徳

11)　視覚情報が咀嚼筋活動の制御機構に及ぼす影響.［日本顎口腔機能学会雑誌, 21（2）,（2015）, 109-117］

宗形芳英、北見修一

著書

1)　基礎歯科生理学　第６版.［医歯薬出版,2014］

森本俊文、山田好秋、二ノ宮裕三、岩田幸一、宗形芳英　他

その他教育活動及び特記事項

ＩＴ機器の利用とデモンストレーションの導入 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年09月	―	継続中
講義内容の改定 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年09月	―	継続中
重要事項の絞込み ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年09月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本生理学会［評議員］	1990年04月	―	継続中
顎口腔機能学会［評議員］	1996年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［評議員］	1999年04月	―	継続中
歯科基礎医学会［代議員］	2000年04月	―	継続中
歯科基礎医学会［理事］	2012年04月	―	2015年03月
日本実験力学会［評議員］	2012年04月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

FM ラジオに出演 ［活動区分 ：その他］	2012年06月

奥羽大学 歯学部 歯学科

大須賀　謙二

OHSUGA Kenji　　生年月日 1966年08月10日

歯学科

出身大学院

東京都立大学・理学研究科・生物科学・博士課程　　1997年 修了

取得学位

博士　東京都立大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　　2002年04月 － 2007年03月

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　　2007年04月 － 2016年03月

所属学会・委員会

日本比較生理生化学会
日本動物学会
奥羽大学歯学会
日本味と匂学会
歯科基礎医学会

論文

1) マウスの舌および軟口蓋における味覚器の発生過程ー受容器の発現時期と味覚機能発現についてー.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 103-114］

加川千鶴世，大須賀謙二、宗形芳英、鈴木康夫

2) 反応時間法を使ったヒト顎運動の解析.［奥羽大学歯学誌, 40（1）,（2013）, 45-52］

北見修一、宗形芳英、大須賀謙二、古山　昭

3) 顎反応時間および顎ー頸協調運動の影響.［奥羽大学歯学誌, 41（1）,（2014）, 15-21］

北見修一、宗形芳英、大須賀謙二、古山昭

研究発表

マウスにおける味細胞の発生・分化［第 53 回歯科基礎医学会学術大会］
（2011年09月30日 － 2012年10月02日）
反応時間からみた顎運動の特徴［第 53 回歯科基礎医学会学術大会］
（2011年09月30日 － 2011年10月02日）
カプサイシンの皮下投与により生じるカエルの機械性アロディニア［第 54 回歯科基礎医学会学術大会］
（2012年09月14日 － 2012年09月16日）
ショウジョウバエの餌選択行動における poxn 発現脳ニューロンの役割［日本味と匂学会第 46 回大会］
（2012年10月03日 － 2012年10月05日）
味覚障害が QOL に与える影響のショウジョウバエ味覚変異系統を用いた検討［第 54 回奥羽大学歯学会］
（2012年11月10日）
顎反応運動に関連する脳機能の特徴［第 90 回日本生理学会］
（2013年03月27日 － 2014年03月29日）
頭位および視覚情報の変化がタッピング時の下顎位に及ぼす影響［第 13 回日本実験力学会バイオメカニクス分科会］
（2014年03月）
視覚情報の変化が咀嚼運動に及ぼす影響［日本実験力学会 2014 年度次講演会］
（2014年08月）
視覚情報による咀嚼運動の制御［第 56 回歯科基礎医学会学術大会］
（2014年09月）
反応時間からみた顎運動の特徴と関連する脳機能の検討［第 54 回奥羽大学歯学会］
（2014年11月10日）
学反応時間に及ぼす発語の影響［日本実験力学会 2015 年次講演会］
（2015年08月26日 － 2015年08月27日）

担当授業科目

生命基礎科学Ⅰ	2010年04月	―	2012年01月
臨床実習	2011年04月	―	2012年02月
臨床総合演習	2011年04月	―	2011年06月
生命基礎科学Ⅰ	2011年04月	―	2012年01月
I.C.T. Ⅱ	2011年04月	―	2012年01月
口腔生理学	2011年04月	―	2012年01月
総合学習Ⅱ	2011年04月	―	2012年01月
口腔生理学実習	2011年04月	―	2011年07月
臨床総合講義	2011年07月	―	2011年12月
(歯) 臨床実習	2012年04月	―	2012年06月
(歯) 臨床実習	2012年04月	―	2013年03月
(歯)I.C.T. Ⅱ	2012年04月	―	2013年01月
(歯) 総合学習Ⅱ	2012年04月	―	2013年01月
(歯) 口腔生理学実習	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 口腔生理学	2012年04月	―	2013年01月
(歯) 総合学習Ⅲ	2012年04月	―	2013年01月
(歯) 生命基礎科学Ⅰ	2012年04月	―	2013年01月
(歯) 臨床総合講義	2012年07月	―	2012年12月
(歯) 臨床実習	2013年04月	―	2014年03月
(歯) 臨床総合演習	2013年04月	―	2013年06月
(歯) 口腔生理学	2013年04月	―	2014年01月
(歯) 総合学習Ⅲ	2013年04月	―	2014年01月
(歯) 総合学習Ⅱ	2013年04月	―	2014年01月
(歯) 口腔生理学実習	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 生命基礎科学Ⅰ	2013年04月	―	2014年01月
(歯)I.C.T. Ⅱ	2013年04月	―	2014年01月
(歯) 臨床総合講義	2013年07月	―	2014年12月
(歯) 臨床実習	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 臨床総合演習	2014年04月	―	2014年06月
(歯) 口腔生理学	2014年04月	―	2014年12月
(歯)I.C.T. Ⅱ	2014年04月	―	2014年12月
(歯) 生命基礎科学Ⅰ	2014年04月	―	2014年12月
(歯) 臨床総合講義	2014年07月	―	2014年12月
(歯)CBL 演習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 口腔生理学	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 情報リテラシーⅡ	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 基礎歯学概論	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 口腔生理学実習	2015年09月	―	2015年12月
(歯)CBL 演習	2015年09月	―	2015年12月

その他教育活動及び特記事項

口腔生理学実習 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
講義 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

古山　昭

FURUYAMA Akira　　生年月日 1970年07月01日

歯学科

出身大学院

東北大学・理学研究科・生物学専攻・博士課程　　2002年 単位取得満期退学

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　　2005年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本味と匂学会
日本動物学会
日本比較生理生化学会
歯科基礎医学会
日本疼痛学会
日本生理学会

論文

1) Peripheral glutamate receptors are required for hyperalgesia induced by capsaicin.. [Pain research and treatment, (2012)]

Jin YH, Takemura M, Furuyama A, Yonehara N.

2) Behavioral analysis of Drosophila transformants expressing human taste receptor genes in the gustatory receptor neurons. [Journal of neurogenetics, 26 (2), (2012), 198-205]

Adachi R, Sasaki Y, Morita H, Komai M, Shirakawa H, Goto T, Furuyama A, Isono K.

3) ショウジョウバエの餌選択行動における poxn 発現脳ニューロンの役割. [日本味と匂学会誌, 19 (3), (2012), 343-344]

古山　昭 · 大須賀　謙二 · 宗形　芳英

4) 味覚障害モデルショウジョウバエの行動学的解析. [日本味と匂学会誌, 20 (3), (2013), 245-246]

小嶋　忠之、古山　昭 · 磯野　邦夫、浜田　智弘、大須賀　謙二 · 宗形　芳英

5) イースト摂食がショウジョウバエの塩摂取行動に与える影響. [日本味と匂学会誌, 21 (3), (2014)]

古山　昭、小嶋　忠之 · 宗形　芳英

6) ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築. [日本味と匂い会誌, 21 (3), (2014)]

小嶋　忠之 · 古山　昭 · 磯野　邦夫 · 浜田　智弘 · 宗形　芳英 · 高田　訓

研究発表

ショウジョウバエ Gr5a 発現味細胞欠損が摂食行動に及ぼす影響 [日本味と匂学会第 45 回大会]
（2011年10月05日 － 2011年10月07日）
機能不全な味覚感覚器を持つショウジョウバエの摂食行動 [第 89 回日本生理学会]
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）
The effect of capsaicin on the defensive reflexes for thermal and mechanical stimuli in frog [第 34 回日本比較生理生化学会大会]
（2012年07月06日 － 2012年07月08日）
ショウジョウバエの餌選択行動における poxn 発現脳ニューロンの役割 [日本味と匂学会第 46 回大会]
（2012年10月03日 － 2012年10月05日）
ショウジョウバエ摂食行動諸過程における Poxn 発現ニューロンの役割 [第 90 回日本生理学会]
（2013年03月27日 － 2013年03月29日）

味覚障害モデルショウジョウバエの行動学的解析 [日本味と匂学会第 47 回大会]
（2013年09月05日 － 2013年09月07日）
Poxn 発現味覚ニューロンのショウジョウバエ摂食行動における機能 [第 55 回歯科基礎医学会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日）
nactivation of Gr5a-expressing taste neurons disrupts multiple taste modalities in the ingestion behavior of Drosophila [XXIVth International Conference of European Chemoreception Research Organization]
（2014年09月10日 － 2014年09月14日）
ショウジョウバエ外部味覚器の糖および塩の摂食における機能 [日本動物学会 第 85 回大会]
（2014年09月11日 － 2014年09月13日）
ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築 [日本味と匂学会　第 48 回大会]
（2014年10月02日 － 2014年10月04日）
イースト摂食がショウジョウバエの塩摂取行動に与える影響 [日本味と匂学会　第 48 回大会]
（2014年10月02日 － 2014年10月04日）

担当授業科目

口腔生理学実習	2003年04月	－	継続中
臨床実習 (PBL 含む)	2008年04月	－	継続中
I.C.T. Ⅰ	2009年04月	－	2015年03月
生命基礎科学Ⅰ	2009年09月	－	継続中
口腔生理学	2011年04月	－	継続中
(歯) 情報リテラシーⅠ	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

授業の工夫 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本味と匂学会［評議委員］	2008年04月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

加藤　靖正

KATO Yasumasa

歯学科

出身大学院

横浜市立大学・医科学研究科・耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科学・博士課程　2005年 修了

取得学位

博士　横浜市立大学
博士　北里大学
学士　北里大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　教授［本務］　2010年04月　－　継続中
奥羽大学組換え DNA 共同研究施設　施設長［兼務］　2010年04月　－　継続中
奥羽大学歯学研究科口腔生理 · 生化学　教授［兼務］　2010年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本生化学会
歯科基礎医学会
日本癌学会
神奈川歯科大学学会
がん転移学会
日本唾液腺学会
The Metastasis Research Society
日本バイオセラピィ学会
マトリックス研究会
日本結合組織学会
日本病理学会
American Society of Biochemistry and Molecular Biology
日本癌治療学会
日本歯科医学教育学会
International Society of Cancer Metabolism

論文

1) 学校法人神奈川歯科大学の学生 · 職員における習慣的喫煙経験と性 · 年齢，学生の所属，職員の職種，健康状態，および喫煙に対する知識 · 意識との関係.［神奈川歯学, 46（1）,（2011）, 57-64］

山本龍生，加藤靖正，菅谷　彰，塚本秀人，辻本勝美，中村澄夫，林田丞太，町田宏夫，平田幸夫

2) Unusual computed tomography findings of radionecrosis after chemoradiation of stage IV hypopharyngeal cancer: a case report.［Journal of Medical Case Report, 5（1）,（2011）, 25］

Baba, Y., Kato, Y., and Ogawa, K.

3) Present and Future of EGFR Inhibitors for Head and Neck Squamous Cell Cancer (共著).［Journal of Oncology, 2012,（2012）, 986725］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, and Kato Y.

4) Cetuximab for head and neck cancer from bench to clinic..［Journal Solid Tumors, 2（6）,（2012）, 16-22］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y.

5) Xanthogranuloma of the external auditory canal mimicking a benign tumor: a case report..［Case Reports in Otolaryngology, 2012,（2012）, 298089］

Yoshihama K, Kato Y, and Baba Y.

6) Vocal cord actinomycosis mimicking a laryngeal tumor. .［Case. Rep. Otolaryngol., 2013,（2013）, 361986］

Yoshihama K, Kato Y, and Baba Y.

7) Levocetirizine hydrochloride tablet improves the nasal conditions of patients with cedar pollen allergy and maintains their QOL.. [Clin. Exp. Med. Sci., 1 (7), (2013), 329-341]

Baba Y, Yoshihama K, Nishiyama T, and Kato Y

8) Acidic extracellular microenvironment and cancer.. [Cancer Cell International, 13, (2013), 89]

Kato Y, Ozawa S, Miyamoto C, Maehata Y, Suzuki A, Maeda T, Baba Y.

9) The contribution of leukemia inhibitory factor (LIF) for embryo implantation differs among strains of mice.. [Immunobiology , 219 (7), (2014), 512-521]

Kobayashi R, Terakawa J, Kato Y, Azimi S, Inoue N, Ohmori Y, Hondo E.

10) Nasopharyngeal leiomyomatous hamartoma: case report. [BMC Ear, Nose and Throat Disorders, 14, (2014), 5]

Nishiyama T, Kato Y, Baba Y

11) Acidic extracellular pH promotes epithelial mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model. [Cancer Cell International, 14 (1), (2014), 129]

Suzuki A, Maeda T, Baba Y, Shimamura K, Kato Y.

12) Suppressed rate of carcinogenesis and decreases in tumour volume and lung metastasis in CXCL14/BRAK transgenic mice. [Scientific Reports, 5, (2015), 9083]

Hata R, Izukuri K, Kato Y, Sasaki S, Mukaida N, Maehata Y, Miyamoto C, Akasaka T, Yang X, Nagashima Y, Takeda K, Kiyono T, Tniguchi M.

13) Mineral trioxide aggregate induces osteoblastogenesis via Atf6. [Bone Reports, 2, (2015), 36-43]

Maeda T, Suzuki A, Yuzawa S, Baba Y, Kimura Y, Kato Y.

14) CRISPR/Cas9 を用いた MC3T3-E1 細胞における Gpr81 遺伝子のノックアウト. [奥羽大学歯学誌, 41 (3-4), (2015), 123-128]

前田豊信, 鈴木厚子, 湯澤 仁, 馬場 優, 加藤靖正.

15) The role of bevacizumab in the management of head and neck squamous cell carcinoma patients.. [Chemotherapy, 40 (3), (2015), 1000163]

Baba Y, Kato Y

16) Deguelin Induced Apoptosis by Targeting both EGFR-Akt and IGF1R-Akt Pathways in Head and Neck Squamous Cell Cancer Cell Lines. [BioMed Research International, 2015, (2015), 657179]

Baba Y, Fujii M, Maeda T, Suzuki A, Yuzawa S, Kato Y.

17) RhoA mediates the expression of acidic extracellular pH-induced matrix metalloproteinase-9 mRNA through phospholipase D1 in mouse metastatic B16-BL6 melanoma cells.. [International Journal of Oncology, 48 (3), (2016), 1251-1257]

Maeda T, Yuzawa S, Suzuki A, Baba Y, Nishimura Y, Kato Y.

著書

1) 口腔生化学　第５版. [医歯薬出版,2011]

監修：早川太郎、須田立雄、木崎治俊、編著：畑隆一郎、高橋信博、宇田川信之、東　俊文、上条竜太郎、石崎　明、加藤靖正

2) Hypotheses in Clinical Medicine. [Nova ,2012]

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

3) The Research and Biology of Cancer II . [iConcept Press,2014]

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

4) International Manual of Oncology Practice. [Springer International Publishing AG,2015]

Baba Y, Nishiyama T, Kato Y

研究発表

Production of transgenic mice resistant to cancer cell growth and metastasis -Toward Cancer Therapy using Endogenous Tumor Suppressing Chemokines-.[2nd International Conference on Cancer Immunotherapy and Immunomonitoring.]
（2011年05月02日 － 2011年05月05日，Budapest Hungary.）
ケモカイン CXCL14/BRAK は幹細胞分化促進因子か?[第 43 回日本結合組織学会学術大会・第 58 回マトリックス研究大会合同学術集会]
（2011年06月10日 － 2011年06月11日，大分）
NK cell-dependent suppression of tumor growth and metastasis in CXCL14/BRAK transgenic mice.[Roche/Nature Medicine Symposium on Cancer Immunology and Immunotherapy.]
（2011年09月11日 － 2011年09月13日，Nutley New Jersey, USA.）
オステオネクチンノックアウトマウスの肺における遺伝子発現プロファイリング [第 53 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜）
ROCK 阻害剤 (fasudil) は抗腫瘍性ケモカイン (CXCL14/BRAK) の細胞外分泌促進を介して腫瘍進展を抑制する [第 53 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2011年09月30日 － 2011年10月02日，岐阜）
ケモカイン CXCL14/BRAK トランスジェニックマウスは癌の増殖と転移を抑制する [第 70 回日本癌学会学術総会]
（2011年10月03日 － 2011年10月05日，名古屋）
TRPM5 は、酸性細胞外 pH シグナルに関与し、メラノーマの肺転移に関与する [第 70 回日本癌学会学術総会]
（2011年10月03日 － 2011年10月05日，名古屋）
Expression of chemokine BRAK/CXCL14 suppresses tumor growth and metastasis NK cell dependently and increases survival rate of tumor-bearing mice.[Ninth AACR-Japanese Cancer Association Joint Conference: Breakthroughs in Basic and Translational Cancer Research.]
（2012年02月21日 － 2012年02月25日，Maui, Hawaii, USA.）
NK cells are indispensable for suppression of tumor growth and metastasis in transgenic mice over-expressing chemokine CXCL14/BRAK.[American Association for Cancer Research Annual Meeting 2012.]
（2012年03月31日 － 2012年04月04日，Chicago, USA.）
高転移性 Lewis 肺癌細胞の pH 依存性　[第 44 回日本結合組織学会学術大会・第 59 回マトリックス研究大会合同学術集会]
（2012年06月07日 － 2012年06月08日，東京）
Expression of chemokine CXCL14/BRAK suppresses tumor cell metastasis.[90th International Association for Dental Research.]
（2012年06月20日 － 2012年06月23日，Iguaçu Falls, Brazil.）
Acidic extracellular pH induces epithelial-mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model.[14th International Biennial Congress the Metastasis Research Society.]
（2012年09月02日 － 2012年09月05日，Brisbane, Australia.）
頭頸部扁平上皮癌細胞において酸化ストレスは腫瘍抑制性ケモカイン BRAK/CXCL14 の発現を抑制する [第 54 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日，郡山）
ケモカイン CXCL14/BRAK は癌細胞の肺転移を抑制する [第 54 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日，郡山）
酸性細胞外 pH は上皮間葉移行を誘導する微小環境因子である [第 54 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日，郡山）
CXCL14/BRAK の発現は癌の増殖と転移を抑制し担癌マウスの寿命を延長する [第 71 回日本癌学会学術総会]
（2012年09月19日 － 2012年09月21日，札幌）
酸性細胞外 pH は、ルイス肺癌細胞の上皮間葉移行を誘導する [第 71 回日本癌学会学術総会]
（2012年09月19日 － 2012年09月21日，札幌）
Epithelial-mesenchymal transition and extracellular acidic pH. [3rd Symposium of the International Society for Proton Dynamics in Cancer.]
（2012年10月12日 － 2012年10月13日，Kyoto）
PubMed を過信してはいけない.[第 45 回日本結合組織学会学術大会/第 60 回マトリックス研究会合同学術大会]
（2013年06月28日 － 2013年06月29日，和歌山）
上皮間葉系移行における酸性細胞外 pH の急性影響と慢性影響 [第 22 回日本がん転移学会学術集会・総会]
（2013年07月11日 － 2013年07月12日，松本）
唾液中 Histatin5 濃度と苦味受容体遺伝子発現の関連.[第 47 回　日本味と匂学会]
（2013年09月05日 － 2013年09月07日，仙台）

癌に強くなる遺伝子の発見.[第 86 回日本生化学会大会]
（2013年09月11日 － 2013年09月13日，横浜）
酸性細胞外 pH への順化は，酸性細胞外 pH 刺激の感受性を増加し，MMP9 の産生能と運動能を促進する.[第 86 回日本生化学会大会]
（2013年09月11日 － 2013年09月13日，横浜）
ケモカイン CXCL14/ BRAK は多段階癌抑制分子である.[第 55 回歯科基礎医学会学術大会]
（2013年09月20日 － 2013年09月22日，岡山）
CXCL14/BRAK は多機能癌抑制分子である.[第 72 回日本癌学会学術総会]
（2013年10月03日 － 2013年10月05日，横浜）
腫瘍の悪性形質に対する酸性細胞外 pH の急性および慢性影響.[第 72 回日本癌学会学術総会]
（2013年10月03日 － 2013年10月05日，横浜）
Adaptation to acidic extracellular pH induces epithelial- mesenchymal transition as stable phenotype in Lewis lung carcinoma model. The[4th Annual Meeting of the International Society for Proton Dynamics in Cancer.]
（2013年10月12日 － 2013年10月13日，Munich，Germany.）
Tumor-suppressing chemokine CXCL14/BRAK is a cell-surface associated matrix component.[9th Pan Pacific Connective Tissue Societies Symposium.]
（2013年11月24日 － 2013年11月27日，Hong Kong，China）
酸性細胞外 pH は，がん細胞の悪性形質を促進する微小環境因子である.[第 5 回アクリジンオレンジ治療研究会]
（2014年01月25日 － 2014年10月26日，京都）
微小環境が発癌、癌の進展を制御する：癌に強いマウスの作製.[第 46 回日本結合組織学会学術大会/第 61 回マトリックス研究会大会 合同学術集会]
（2014年06月05日 － 2014年06月07日，名古屋）
Mineral Trioxide Aggregate セメントの骨形成作用.[第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月23日，郡山）
Neutrophlic granule proteins (Ngp) is a SPARC target gene to be reduced.[15th International Biennial Congress the Metastasis Research Society]
（2014年06月28日 － 2014年07月01日，Heidelberg，Germany）
Expression of chemokine CXCL14/BRAK whether in melanoma cells or in non-tumor cells in their environment suppresses metastasis to the lung.[15th International Biennial Congress the Metastasis Research Society]
（2014年06月28日 － 2014年07月01日，Heidelberg，Germany）
MC3T3-E1 細胞において、MTA は ATF6 を介して石灰化を促進させる.[第 56 回歯科基礎医学会学術大会]
（2014年09月25日 － 2014年09月27日，福岡）
苦味受容体遺伝子の発現量の比較 [第 48 回　日本味と匂学会]
（2014年10月02日 － 2014年10月04日，静岡）
MTA は骨芽細胞様細胞で ATF6 を介して石灰化を促進させる.[第 87 回日本生化学会大会]
（2014年10月15日 － 2014年10月18日，京都）
Atf6 is involved in mineral trioxide aggregate-induced osteoblastic differentiation of MC3T3-E1 cells [第 47 回日本結合組織学会学術大会]
（2015年05月15日 － 2015年05月16日，東京）
がんの肺転移抑制におけるケモカイン BRAK と NKT 細胞との相乗作用 [第 47 回日本結合組織学会学術大会]
（2015年05月15日 － 2015年05月16日，東京）
Production of cancer resistant mice by introducing-chemokine CXCL14 gene into the wild type C57BL/6 (WT) mice[1st Nature Immunology – Cellular & Molecular Immunology Joint Conference: Inflammation, Stress and Immune Homeostasis]
（2015年06月17日 － 2015年06月19日，Hefei，China.）
口腔扁平上皮癌細胞の酸性細胞外 pH の馴化は癌幹細胞様細胞を濃縮する [第 24 回日本がん転移学会学術集会・総会]
（2015年07月23日 － 2015年07月24日，大阪）
酸性細胞外 pH は，EMT を促進誘導する微小細胞外環境因子として機能するか？ [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟）
がんの肺転移抑制におけるケモカイン CXCL14/BRAK と NKT 細胞との相乗作用 [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟）

担当授業科目

臨床実習	2010年04月	－	継続中
生命基礎科学Ⅱ	2010年04月	－	2015年03月
口腔生化学実習	2010年04月	－	継続中
臨床総合講義	2010年09月	－	継続中

口腔生化学Ⅰ　2010年09月　－　継続中

学会・委員会等活動

日本結合組織学会［評議委員］　2002年04月　－　継続中
歯科基礎医学会［評議委員］　2008年04月　－　2015年03月
日本結合組織学会［理事］　2009年06月　－　2011年05月
歯科基礎医学会［代議委員］　2015年04月　－　継続中
がん転移学会［評議委員］　2015年10月　－　継続中
日本生化学会［評議委員］　2015年11月　－　継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

査読　2006年01月　－　継続中
［活動区分 ：ボランティア活動］
Editorial Board member　2008年01月　－　継続中
［活動区分 ：ボランティア活動］

奥羽大学 歯学部 歯学科

前田　豊信

MAEDA Toyonobu　　生年月日 1974年06月17日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔生化学・博士課程　　2004年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　　2004年04月 ― 2015年03月

奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］　　2015年04月 ― 継続中

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
骨代謝医学会
日本生化学会
結合組織学会
保存学会

論文

1) 学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査―総合学習Ⅱ・Ⅲ―. ［奥羽大学歯学会誌, 39, (2012), 163-170］

鈴木史彦、岡田英俊、茂呂祐利子、前田豊信、横瀬敏志

2) Acidic extracellular microenvironment and cancer.. ［Cancer Cell Int., (2013)］

Kato Y, Ozawa S, Miyamoto C, Maehata Y, Suzuki A, Maeda T, Baba Y

3) Acidic extracellular pH promotes epithelial mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model.. ［Cancer Cell Int., (2014)］

A Suzuki., Maeda T, Y Baba, K Shimamura, Y Kato.

4) CRISPR / Cas9 を用いた MC3T3-E1 細胞における Gpr81 遺伝子のノックアウト. ［奥羽歯学誌, 41 (1), (2015), 123-128］

前田 豊信、鈴木 厚子、湯澤 仁、馬場 優、加藤 靖正

5) Deguelin Induced Apoptosis by Targeting both EGFR-Akt and IGF1R-Akt Pathways in Head and Neck Squamous Cell Cancer Cell Lines. ［BioMed Research International, 2015, (2015), 65717］

Y Baba., M Fujii., T Maeda., A Suzuki., S Yuzawa, Y Kato.

6) Mineral trioxide aggregate induces osteoblastogenesis via Atf6. ［Bone Reports, (2015)］

Maeda T, Suzuki A, Baba Y, Yuzawa S, Kimura Y, Kato Y.

7) RhoA mediates the expression of acidic extracellular pH-induced matrix metalloproteinase-9 mRNA through phospholipase D1 in mouse metastatic B16-BL6 melanoma cells.. ［ International Journal of Oncology, 48 (3), (2016), 1251-1257］

Toyonobu Maeda,Satoshi Yuzawa, Atsuko Suzuki, Yuh Baba, Yukio Nishimura, Yasumasa Kato

研究発表

各種試作 MTA セメントによる培養細胞に及ぼす影響 [日本保存学会 2011 年度春期大会第 134 回]
(2011年06月)

オステオネクチンノックアウトマウスの肺における遺伝子発現プロファイリング [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
(2011年09月)

酸化チタン含有試作合成 MTA セメントにおける MC3T3-E1 細胞の分化促進 [日本保存学会 2011 年度秋期大会第 135 回]
（2011年10月 － 2110年10月）
学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査　　—総合学習Ⅱ・Ⅲ—. [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月）
高転移性 Lewis 肺癌細胞の pH 依存性 [第 44 回日本結合組織学会学術大会・第 59 回マトリックス研究大会合同学術集会]
（2012年06月）
酸性細胞外 pH は上皮間葉移行を誘導する微小環境因子である. [第 54 回歯科基礎医学会学術大会]
（2012年09月）
Acidic extracellular pH induces epithelial-mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model.[14th International Biennial Conference on Metastasis Research Society.]
（2012年09月）
Epithelial-mesenchymal transition and extracellular acidic pH.[3rd Symposium of the International Society for Proton Dynamics in Cancer (Kyoto).]
（2012年10月）
酸性細胞外 pH への順化は，酸性細胞外 pH 刺激の感受性を増加し，MMP9 の産生能と運動能を促進する [第８６回日本生化学会大会]
（2013年09月）
唾液中 Histatin5 濃度と苦味受容体遺伝子発現の関連 [第４７回日本味と匂学会]
（2013年09月）
Adaptation to acidic extracellular pH induces epithelial- mesenchymal transition as stable phenotype in Lewis lung carcinoma model.[The 4th Annual Meeting of the International Society for Proton Dynamics in Cancer (ISPDC).]
（2013年10月）
Mineral Trioxide Aggregate セメントの骨形成作用 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月）
Neutrophlic granule proteins (Ngp) is a SPARC target gene to be reduced[15th International Biennial Congress the Metastasis Research Society]
（2014年06月）
MC3T3-E1 細胞において、MTA は ATF6 を介して石灰化を促進させる。[第 56 回 歯科基礎医学会学術大会]
（2014年09月）
MTA による ATF6 を介した骨芽細胞の石灰化促進作用 [日本保存学会 2014 年度秋期大会第 141 回]
（2014年10月）
苦味受容体遺伝子発現量の比較 [第 48 回　日本味と匂学会]
（2014年10月）
MTA は骨芽細胞様細胞で ATF6 を介して石灰化を促進させる。[第 87 回 日本生化学会]
（2014年10月）
苦味受容機構と hTAS2Rs 発現量の関連 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月）
小胞体ストレスセンサー ATF6 を介した石灰化の一例 [第 36 回東北骨代謝学会]
（2015年02月07日）
Mineral Trioxide Aggregate による MC3T3-E1 細胞における 分化促進は Atf6 を介して起こる。[第 47 回日本結合組織学会学術大会]
（2015年05月15日 － 2015年05月16日，東京）
Mineral Trioxide Aggregate による MC3T3-E1 細胞における分化促進は Atf6 を介して起こる。[第 47 回日本結合組織学術大会]
（2015年05月16日）
口腔扁平上皮癌細胞の酸性細胞外 pH への長期曝露による癌幹細胞濃縮の誘導 [第 59 回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日）
酸性細胞外 pH は、EMT を促進する微小環境細胞外環境因子として機能するか？ [第 57 回歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日，新潟）

担当授業科目

生命基礎科学Ⅱ	2004年04月	－	2013年03月
口腔生化学実習	2004年04月	－	継続中
口腔生化学Ⅰ	2009年04月	－	継続中
口腔生化学Ⅱ	2010年04月	－	継続中
統合科目Ⅳ	2010年07月	－	2012年03月
(歯) 情報リテラシーⅡ	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

授業方法の工夫 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2004年04月	―	継続中
軟式野球同好会　顧問 ［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］	2009年08月	―	2012年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

湯澤　仁

YUZAWA Satoshi

歯学科

出身大学院

日本大学・松戸歯学研究科・微生物学・免疫学・博士課程　2012年 修了

取得学位

博士　日本大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2014年04月　－　2019年03月

所属学会・委員会

日本生化学会
歯科基礎医学会
日本がん転移学会

論文

1) Sublingual vaccination with fusion protein consisting of the functional domain of hemagglutinin A of *Porphyromonas gingivalis* and *Escherichia coli* maltose-binding protein elicits protective immunity in the oral cavity. [FEMS Immunology & Medical Microbiology, 64 (2), (2011), 265-272]

   Satoshi Yuzawa, Tomoko Kurita-Ochiai, Tomomi Hashizume, Ryoki Kobayashi, Yoshimitsu Abiko, Masafumi Yamamoto

2) Glucosyltransferase-I is Capable of Functioning as an Adjuvant to Promote Immune Responses Against the Co-administered Protein Glucosyltransferase-B. [International Journal of Oral-Medical Sciences, 10 (4), (2012), 353-361]

   Satoshi Yuzawa, Tomomi Hashizume, Ryoki Kobayashi, Tomoko Kurita-Ochiai, Masafumi Yamamoto

3) CRISPR / Cas9 を用いた MC3T3-E1 細胞における Gpr81 遺伝子のノックアウト. [奥羽大学歯学誌, 41 (3,4), (2014), 123-128]

   前田豊信　鈴木厚子　湯澤　仁　馬場　優　加藤靖正

4) Mineral trioxide aggregate induces osteoblastogenesis via Atf6. [Bone Reports, (2015), 36-43]

   Maeda, T., Suzuki, A., Yuzawa, S., Baba, Y., Kimura, Y., Kato, Y

5) Deguelin Induces Apotosis by Targeting Both EGFR-Akt and IGF1R-Akt Pathways in Head and Neck Squamous Cell Cancer Cell Lines. [BioMed Research International, (2015)]

   Baba, Y., Fujii, M., Maeda, T., Suzuki, A., Yuzawa, S., Kato, Y.

研究発表

Porphyromonas gingivalis の hemagglutinin A 抗原領域とマルトース結合タンパクの複合タンパクの舌下免疫による抗原特異的抗体応答誘導 [第 54 回秋季日本歯周病学会]
（2011年09月24日，海峡メッセ下関）

IL-15 のアジュバント活性を用いた粘膜免疫誘導型 HIV ワクチンの開発 [第 12 回日大口腔科学会学術大会]
（2012年09月02日，日本大学松戸市学部）

スギ花粉症に対する舌下免疫療法の治療効果と血中抗体価の関与 [第 63 回日本アレルギー学会秋季学術大会]
（2013年11月28日 － 2013年11月30日，ホテルニューオータニ）

口腔扁平上皮癌細胞の酸性細胞外 pH への長期曝露による癌幹細胞濃縮の誘導 [奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

鈴木　厚子

SUZUKI atsuko　　生年月日 1957年03月06日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔機能学　口腔生理 · 生化学・博士課程　2015年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2005年04月	ー	2009年03月
奥羽大学歯学部 講師［本務］	2009年04月	ー	2013年03月
奥羽大学歯学部 助教［本務］	2015年04月	ー	2016年03月

所属学会・委員会

日本小児歯科学会
歯科基礎学会
日本生化学会
日本結合組織学会
日本がん転移学会

論文

1) Acidic extracellular pH induces epithelial-mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model.. ［14th International Biennial Conference on Metastasis Research, (2012)］

   Kato Y, Suzuki A, Maeda T, Shimamura K.

2) Epithelial-mesenchymal transition and extracellular acidic pH. . ［3rd Symposium of the International Society for Proton Dynamics in Cancer. , (2012)］

   Kato Y, Suzuki A, Maeda T, Shimamura K.

3) CRISPR/Cas9を用いたMC3T3-E1細胞におけるGpr81遺伝子のノックアウト. ［奥羽大学歯学誌 , (41), (2014), 123-128］

   前田豊信、鈴木厚子、湯澤　仁、馬場　優、加藤靖正

4) Acidic extracellular pH promotes epithelial mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model. ［Cancer Cell International 14:129 2014., (2014)］

   Suzuki A, Maeda T, Baba Y, Shimamura K, Kato Y,

5) Deguelin induced apoptosis by targeting both EGFR-Akt and IGF1R-Akt pathways in head and neck squamous cell cancer cell lines. ［BioMed Research International , (2015)］

   Baba Y, Fujii M, Maeda T, Suzuki A, Yuzawa S, Kato Y,

6) Mineral trioxide aggregate induces osteoblastogenesis via Atf6. ［Bone Reports 2:36-43 2015, (2015)］

   Maeda T, Suzuki A, Yuzawa S, Baba Y, Kato Y,

7) RhoA mediates acidic extracellular pH-induced matrix metalloproteinase-9 mRNA expression through phospholipase D1 in mouse metastatic B16-BL6 melanoma cells. ［ International Journal of Oncology, (2016)］

   Toyonobu Maeda,Satoshi Yuzawa, Atsuko Suzuki, Yuh Baba, Yukio Nishimura, Yasumasa Kato

総説・解説記事

1)　5. Acidic extracellular microenvironment and cancer. [Cancer Cell International 13:89 2013., (2013)]

Kato Y, Ozawa S, Miyamoto S, Maehata Y, Suzuki A, Maeda T,

研究発表

乳歯列唇側部過剰歯が外傷を受けた 1 症例 [小児歯科学会]
（2011年10月25日）

エックス線 CT による埋伏過剰歯の三次元的観察 [小児歯科学会]
（2012年04月25日）

スペシャルオリンピックスに参加して、ボランティア活動の概要 [奥羽大学　歯学会]
（2012年06月，福島県郡山市）

乳臼歯の隣接面を含む複雑窩洞におけるコンポジットレジン修復に関する研 究：窩洞形態と充填方法 [小児歯科学会]
（2013年04月25日）

6. Epithelial-mesenchymal transition and extracellular acidic pH [3rd Symposium of the International Society for Proton Dynamics in Cancer]
（2013年10月）

Acidic extracellular pH induces epithelial-mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model. [14th International Biennial Conference on Metastasis Research]
（2014年08月）

Acidic extracellular pH promotes epithelial mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model [奥羽大学　歯学会]
（2014年11月，福島県郡山市）

小胞体ストレスセンサー ATF6 を介した石灰化の一例 [東北骨代謝学会]
（2015年02月07日，宮城県仙台市）

Mineral Trioxide Aggregate による MC3T3-E1 細胞における分化促進は Atf6 を介して起こる。[日本結合組織学会]
（2015年05月16日，東京都品川区）

口腔扁平上皮がん細胞の酸性細胞外 pH の長期暴露による癌幹細胞濃縮の誘導 [第 59 回　奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日）

Mineral　Trioxide　Aggregate　セメントの骨形成作用 [第 57 回　奥羽大学歯学会]
（2015年06月21日）

酸性細胞 外 pH は、 E MT を 促進 誘 導 する 微 小 細胞 外 環境 因子として機能する か？ [第 57 回　歯科基礎医学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月13日）

担当授業科目

(歯) 口腔生化学Ⅱ	2015年04月	－	継続中
口腔生化学実習	2015年04月	－	継続中
生命基礎科学Ⅰ	2015年06月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

歯科健診 ［活動区分 ：ボランティア活動］	2004年04月	－	2013年03月
日本救急医学会ＩＣＬＳ ［活動区分 ：小中高との連携］	2005年11月	－	継続中
いわき市歯科医師会 BLS/AED 講習会 ［活動区分 ：その他］	2007年08月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

岡田　英俊

OKADA Hidetoshi

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部　助手［本務］	1995年05月	―	2002年03月
奥羽大学歯学部　講師［本務］	2002年04月	―	2006年03月
奥羽大学歯学部　准教授［本務］	2007年04月	―	2014年03月
奥羽大学　教授［本務］	2014年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本歯科理工学会
奥羽大学歯学会
日本歯科保存学会
日本補綴歯科学会

論文

1) 金銀パラジウム合金製クラスプの口腔内における変色と金属組織との関連．［奥羽大学歯学誌, 38（2），(2011), 71-76］

加藤謙一，岡田英俊　他

2) 奥羽大学歯学部　平成 22 年度 I.C.T Ⅱにおけるアンケート．［奥羽大学歯学誌, 38（4），(2011), 213-218］

岡田英俊，阿部匡聡 他

3) 学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査‐総合学習Ⅱ・Ⅲ‐．［奥羽大学歯学誌, 39（3），(2012), 163-170］

鈴木史彦，岡田英俊　他

4) 平成 23 年度生体材料・歯科材料学実習における鋳造体の調査．［奥羽大学歯学誌, 39（1），(2012), 17-21］

岡田英俊，石田喜紀 他

5) ナノサイズ PMMA とユージノールを基材とした仮着材の試作．［奥羽大学歯学誌, ３９（3），(2012), 141-150］

龍方一朗，岡田英俊　他

6) CAD ／ CAM システムにより異なる材料を用いて製作したコーピングの適合精度．［奥羽大学歯学誌, 40（1），(2013), 31-38］

五月女稔，石田喜紀，岡田英俊

7) 乳臼歯の隣接面を含む複雑窩洞におけるコンポジットレジン修復に関する研究-窩洞形態と充填方法-．［小児歯科学会雑誌, 52（1），(2014), 12-25］

猪狩道代，岡田英俊，島村和宏

8) メタクリレート系ポリマーを基材とした歯科用仮着材の開発-練和方法の違いが諸性質に及ぼす影響-．［奥羽大学歯学誌, 41（1），(2014), 9-14］

岡田英俊，及川　均　他

9) HA コーティングが顎骨の応力分布に及ぼす効果―三次元有限要素解析と光弾性実験―．［奥羽大学歯学誌, 41（1），(2014), 23-28］

八木原淳史，岡田英俊　他

10) 無歯顎患者に対しインプラントオーバーデンチャーで口腔機能を再建した 1 症例．［奥羽大学歯学誌, 41（2），(2014), 57-61］

及川　均，岡田英俊 他

研究発表

平成 22 年度 ICT Ⅱにおけるアンケート調査 [奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）
PMMA とユージノールを基材とした仮着材の試作（２）[日本歯科理工学会学術講演会]
（2011年10月22日 － 2011年10月23日）
PdCu—xAg 合金の凝固速度を変えた時の組織と物性の変化 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2011年10月22日 － 2011年10月23日）
金銀パラジウム合金と歯冠補綴用レジンの接着強さに対する表面処理の影響 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2011年10月22日 － 2011年10月23日）
ナノサイズ PMMA とユージノールを基材とした仮着材の試作 [奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
CAD/CAM システムにより異なる材料を用いて製作したコーピングの適合精度 [奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
高濃度の Pd を含有する Co-Cr 系および NI-Cr 系合金の組織と物性の関連 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2012年04月14日 － 2012年04月15日）
PEMA を基材とする仮着材の開発 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2012年04月14日 － 2012年04月15日）
学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査-総合学習Ⅱ・Ⅲ-[奥羽大学歯学会]
（2012年06月09日）
金銀パラジウム合金と歯冠補綴用レジンの接着強さに対するイトロ処理の影響 [奥羽大学歯学会]
（2012年06月09日）
インプラント鋳造アバットメントと各種合金との鋳接部の観察 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2012年10月13日 － 2012年10月14日）
PEMA を基材とする仮着材の開発（2）　—仮着材除去後における支台材料と合着材の接着強さ—[奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
乳臼歯の隣接面を含む複雑窩洞に対するコンポジットレジン修復に関する検討—窩洞形態と充填方法—[奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
14K 金合金の鋳造組織に及ぼす微量の Al 添加の影響 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年04月13日 － 2013年04月14日）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年04月13日 － 2013年04月14日）
PMMA を基材とした仮着材の試作 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年04月13日 － 2013年04月14日）
インプラント鋳造アバットメントと貴金属合金との鋳接について [日本歯科理工学会 支部セミナー]
（2013年08月03日）
Au-Pd 合金製インプラント部材と数種の金合金との鋳接界面の分析 [日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年10月21日 － 2013年10月22日）
PMMA を基材とした仮着材の試作（2）-被圧変位量について-[日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年10月21日 － 2013年10月22日）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発—粉末粒径の相違が及ぼす影響について—　[奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
数種の貴金属合金と Au-Pd-Pt 合金製インプラント部材の腐食挙動 [第 63 回歯科理工学会学術講演会]
（2014年04月13日）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発（2）—練和方法と粉末粒径について—[第 63 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2014年04月13日）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発（3）—練和時間と粉液比について—[第 64 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2014年10月05日）
インプラント鋳造アバットメントと貴金属合金との鋳接について [奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発（４） —強度と溶出について—[第 65 回歯科理工学会学術講演会]
（2015年04月11日 － 2015年04月12日）
ヨードチンキを用いた浸漬試験による数種の貴金属合金の評価 [第 65 回歯科理工学会学術講演会]
（2015年04月11日 － 2015年04月12日）

担当授業科目

生体材料・歯科材料学Ⅱ	2010年04月	―	継続中
生体材料・歯科材料学実習	2010年04月	―	継続中
生体材料・歯科材料学Ⅰ	2010年09月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

空手道部　顧問 ［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］	2002年04月	―	継続中
授業方法の工夫 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
プリント作成 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	―	継続中
３年生　クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2009年04月	―	2012年03月
６年生　クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2012年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本歯科理工学会［評議員］	2004年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［評議員］	2007年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［理事］	2008年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

石田　喜紀

ISHIDA Yoshinori　　生年月日 1970年05月19日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　　2003年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2003年04月	―	2006年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2006年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2007年04月	―	2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本歯科理工学会
歯科チタン学会
日本補綴歯科学会
日本歯科保存学会

論文

1) 金銀パラジウム合金製クラスプの口腔内における変色と金属組織との関連.［奥羽大学歯学誌, 39+（1),（2011), 17-21］

加藤謙一，石田喜紀，岡田英俊

2) 平成 23 年度生体材料 · 歯科材料学実習における鋳造体の調査.［奥羽大学歯学誌, 39（1),（2012), 17-21］

岡田英俊，石田喜紀，龍方一朗，川島　功，小磯和夫，猪狩道代

3) ナノサイズ PMMA とユージノールを基材とした仮着材の試作.［奥羽大学歯学誌　, 39（3),（2012), 141-150］

龍方一朗，岡田英俊，石田喜紀

4) CAD ／ CAM システムにより異なる材料を用いて製作したコーピングの適合精度.［奥羽大学歯学誌, 40（1),（2013), 31-38］

五月女稔，石田喜紀，岡田英俊

5) メタクリレート系ポリマーを基材とした歯科用仮着材の開発　-練和方法の違いが諸性質に及ぼす影響-.［奥羽大学歯学誌, 41（1),（2014), 9-14］

岡田英俊，及川　均，龍方一朗，石田喜紀，林　幹太，　覚本嘉美，川島　功，八木原淳史，遠藤　学，大塚保光

6) 銅濃度の異なる金銀パラジウム合金の硬さと耐久性.［奥羽大学歯学誌, 42（1,2),（2015), 27-31］

川島　功，林　幹太，石田喜紀，岡田英俊，阿部匡聡

著書

1) 歯科理工学教育用語集　第 2 版.［医歯薬出版,2011］

淺岡憲三、荒木吉馬、石田喜紀、宇尾基弘　他

2) スタンダード歯科理工学　第 5 版　‐生体材料と歯科材料‐.［学建書院,2013］

鈴木一臣，楳本貢三，岡崎正之，中嶌　裕，西山典弘ほか

3) スタンダード歯科理工学　第 6 版　‐生体材料と歯科材料‐.［学建書院,2016］

中嶌　裕，西山典弘，宮崎　隆，米山隆之ほか

総説・解説記事

1)　デジタルテクノロジーの歯科利用. [奥羽大学歯学誌, 42 (1,2), (2015), 18]

石田喜紀

研究発表

平成 22 年度 ICT Ⅲにおけるアンケート調査 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，郡山市）
PMMA とユージノールを基材とした仮着材の試作（2）[第 58 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2011年10月22日 － 2011年10月23日，郡山市）
金銀パラジウム合金と歯冠補綴用レジンの接着強さに対する表面処理の影響 [第 58 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2011年10月22日 － 2011年10月23日，郡山市）
CAD/CAM システムにより異なる材料を用いて製作したコーピングの適合精度 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日，郡山市）
高濃度の Pd を含有する Co-Cr 系および NI-Cr 系合金の組織と物性の関連 [第 59 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2012年04月14日 － 2012年04月15日，徳島県）
PEMA を基材とする仮着材の開発 [第 59 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2012年04月14日 － 2012年04月15日，徳島県）
金銀パラジウム合金と歯冠補綴用レジンの接着強さに対するイトロ処理の影響 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
インプラント鋳造アバットメントと各種合金との鋳接部の観察 [第 60 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2012年10月13日 － 2012年10月14日，福岡県）
PEMA を基材とする仮着材の開発（2）　—仮着材除去後における支台材料と合着材の接着強さ—[第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山市）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発 [第 61 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年04月19日 － 2013年04月20日，東京都）
14K 金合金の鋳造組織に及ぼす微量の Al 添加の影響 [第 61 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年04月19日 － 2013年04月20日，東京都）
PMMA を基材とした仮着材の試作 [第 61 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年04月19日 － 2013年04月20日，東京都）
インプラント鋳造アバットメントと貴金属合金との鋳接について [日本歯科理工学会北海道・東北支部夏期セミナー]
（2013年09月01日，岩手県）
PMMA を基材とした仮着材の試作（2）-被圧変位量について-[第 62 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年10月19日 － 2013年10月20日，新潟市）
Au-Pd 合金製インプラント部材と数種の金合金との鋳接界面の分析 [第 62 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2013年10月19日 － 2013年10月20日，新潟市）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発 —粉末粒径の相違が及ぼす影響について—[第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日，郡山市）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発（2）—練和方法と粉末粒径について—[第 63 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2014年04月12日 － 2014年04月13日，東京都）
ナノサイズ PMMA とユージノールを基材とした仮着材の試作 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2014年04月12日，郡山市）
数種の貴金属合金と Au-Pd-Pt 合金製インプラント部材の腐食挙動 [第 63 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2014年04月12日 － 2014年04月13日，東京都）
平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間における ICT Ⅲ学生アンケート結果に関する検討平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間における ICT Ⅲ学生アンケート結果に関する検討 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月21日，郡山市）
メタクリレート系ポリマーを応用した歯科用仮着材の開発（3）—練和時間と粉液比について—[第 64 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2014年10月04日 － 2014年10月05日，広島市）
インプラント鋳造アバットメントと貴金属合金との鋳接について [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，郡山市）
ヨードチンキを用いた浸漬試験による数種の貴金属合金の評価 [第 65 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2015年04月11日 － 2015年04月12日）

修復物補助用アドヒーシブ付きスティックの接着強さ [第 66 回日本歯科理工学会学術講演会]
（2015年10月03日 － 2015年10月04日）
PEMA とアネトールを主成分とする仮着材の開発 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）

担当授業科目

(歯) 生体材料 · 歯科材料学Ⅱ	2015年04月	－	2105年07月
(歯) 生体材料 · 歯科材料学実習	2015年04月	－	2105年07月
(歯) 生体材料 · 歯科材料学Ⅰ	2015年09月	－	2015年12月

その他教育活動及び特記事項

授業方法の工夫 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	－	継続中
実習書作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	－	継続中
第２学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2012年04月	－	2013年03月
第３学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2013年04月	－	2015年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

廣瀬　公治

HIROSE Kimiharu

歯学科

出身大学院

明海大学・歯学研究科・環境生態 · 免疫系・博士課程　1989年 修了

取得学位

博士　明海大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部　教授［本務］　2006年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本口腔衛生学会
東北口腔衛生学会

論文

1) Anti-cell-associated glucosyltransferase immunoglobulin Y supression of salivary mutans streptococci inhealthy young adults.［JADA, 142（8）,（2011）, 943-949］

Nguyen,SV., Icatlo,FC., Nakano,T.,Isogai, E.,Hirose,K.,Mizugai,H.,Kobayashi,M.,Isogai,H.,Chiba,I.

2) ニコチンが免疫担当細胞に及ぼす作用について.［みちのく歯学会雑誌, 42,43（1,2）,（2012）, 48-49］

廣瀬公治、沼田　匠

3) 培養環境 pH が及ぼす骨芽細胞のサイトカイ産生についての研究.［奥羽大歯学誌, 39（4）,（2012）, 219-226］

黒田栄子、廣瀬公治、佐藤直生、福井和徳

4) 歯肉上皮細胞における抗菌タンパク質産生機構に関する研究.［Orthdontic Waves Japanese Edition, 72（1）,（2013）, 17-24］

佐藤直生、廣瀬公治、大植一樹、福井和徳

5) 塩化リチウムによるβ-catenin のリン酸化阻害がラット象牙芽細胞分化と ectodin 発現に及ぼす影響について.［日本歯科保存学雑誌, 56（3）,（2013）, 231-238］

門倉弘志、山崎崇秀、和田康弘、菊井徹哉、西村　翼、廣瀬公治、天野和義、横瀬敏志

6) 歯周疾患の疫学指標の問題点と課題.［日本口腔衛生学会雑誌, 64,（2014）, 299-304］

森田　学、天野敦雄、伊藤博夫、齋藤俊行、佐藤　勉、廣瀬公治、山本龍生、川崎弘二

7) ニコチンによるマクロファージからの炎症性サイトカイン産生促進機構の検索.［奥羽大歯学誌, 41（3,4）,（2014）, 107-114］

沼田　匠

8) レチノイン酸はヒト歯肉上皮細胞からの抗菌ペプチド産生を誘導する.［奥羽大学歯学雑誌, 41（3,4）,（2014）, 99-105］

渡辺　敦、福井和徳、廣瀬公治

著書

1) 新版　家族のための歯と口の健康百科.［医歯薬出版,2013］

伊藤公一　他編著

総説・解説記事

1)　口腔の健康から全身の健康へ.［こぶし, 90, (2012), 8-13］

廣瀬公治

研究発表

１．トロンビンは血管内皮細胞においてオステオプロテゲリンの産生を誘導する［第 32 回日本炎症再生医学会］
（2011年06月02日 － 2011年06月03日，京都市）
学齢期における健やかに食べる機能の育成支援に関する保健活動［第６０回日本口腔衛生学会総会］
（2011年10月08日 － 2011年10月10日，千葉県松戸市）
学校歯科保健管理における児童の生れ月に対する配慮について［第６０回日本口腔衛生学会総会］
（2011年10月08日 － 2011年10月10日，千葉県松戸市）
Porphyromonasu gingivalis 線毛の阻害作用におけるβインテグリン CD11/CD18 の重要性［第６０回日本口腔衛生学会総会］
（2011年10月08日 － 2011年10月10日，千葉県松戸市）
ニコチンによるマクロファージの TLR-2 発現誘導について［第６０回日本口腔衛生学会総会］
（2011年10月08日 － 2011年10月10日，千葉県松戸市）
トロンビンは血管内皮細胞のおいてオステオプロテゲリンの産生を誘導する［第６０回日本口腔衛生学会総会］
（2011年10月08日 － 2011年10月10日，千葉県松戸市）
ニコチンが修飾する歯肉上皮細胞からの炎症性サイトカインの誘導［第６１回日本口腔衛生学会総会］
（2012年05月25日 － 2012年05月27日，横須賀市）
低う蝕罹患状況による齲蝕罹患性リスク要因の有効性の検討［第６１回日本口腔衛生学会総会］
（2012年05月25日 － 2012年05月27日，横須賀市）
Porphyromonas gingivalis 線毛による単球様 M1 細胞のアポトーシスの阻害作用に関する情報伝達機構の検討［第６１回日本口腔衛生学会総会］
（2012年05月25日 － 2012年05月27日，横須賀市）
う蝕リスク要因の低う蝕罹患状況における有用性について［第６５回東北地区歯科医学会］
（2012年10月20日 － 2012年10月21日，山形市）
ニコチンが免疫担当細胞に及ぼす作用について［第６５回東北地区歯科医学会］
（2012年10月20日 － 2012年10月21日，山形市）
敷地内全面禁煙実施後の歯学部学生の喫煙状況と禁煙教育効果［第 62 回日本口腔衛生学会・総会］
（2013年05月15日 － 2013年05月17日，長野県松本市）
ニコチンは単球におけるカスパーゼ１の発現を増強する［第 62 回日本口腔衛生学会総会］
（2013年05月15日 － 2013年05月17日，長野県松本市）
小学 1 年時の齲蝕リスク要因を用いたスクリーニング精度について［第 62 回日本口腔衛生学会・総会］
（2013年05月15日 － 2013年05月17日，長野オ権松本市）
齲蝕リスク要因としての小学低学年期の「歯垢の状態」［第 63 回日本口腔衛生学会・総会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本市）
奥羽大学歯学部 5 年生の喫煙状況と禁煙支援教育効果［第 63 回日本口腔衛生学会総会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本市）
Porphyromonas gingivalis による肺上皮細胞からの LL37 の発現について［第 63 回日本口腔衛生学会・総会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本市）
骨芽細胞 MC3T3E1 細胞における TNF-α による単球走化性因子 MCP-1 の発現誘導作用について［第 63 回日本口腔衛生学会・総会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本市）
学校歯科健診における CO 保有状況の年度間比較［第 67 回東北地区歯科医学会総会］
（2014年10月18日 － 2014年10月19日，青森市）
Porphyromonas gingivalis 線毛による単球様 M1 細胞のアポトーシス阻害作用に関する tyrosine kinase の役割［第 62 回日本口腔衛生学会・総会］
（2015年05月15日 － 2015年05月17日，長野県松本市）
緑茶カテキンによる Streptococcus mutans に対する抗菌活性およびバイオフォルム形成抑制［第 64 回日本口腔衛生学会総会］
（2015年05月27日 － 2015年05月29日，茨城県つくば市）
骨芽細胞 MC3T3E1 細胞における TNF-α 誘導性 MCP-1 の発現機構について［第 64 回日本口腔衛生学会・総会］
（2015年05月27日 － 2015年05月29日，茨城県つくば市）
Porphyromonas gingivalis が肺上皮細胞に与える影響［第 64 回日本口腔衛生学会・総会］
（2015年05月27日 － 2015年05月29日，茨城県つくば市）
学童期における CO の齲蝕発病状況について［第 64 回日本口腔衛生学会・総会］
（2015年05月27日 － 2015年05月29日，茨城県つくば市）

担当授業科目

口腔衛生学	2006年04月	―	継続中
口腔衛生学実習	2006年04月	―	継続中
社会歯科学	2006年04月	―	2012年03月
臨床総合講義	2006年09月	―	継続中
統合科目Ⅳ	2007年09月	―	継続中
(歯) 社会歯科学	2014年04月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

形成的評価 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
ＰＢＬチュートリアル導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
講義要点資料配布 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
定期試験設計図（ブループリント）配布 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年11月	―	継続中
口から毒ガスって本当？ ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2011年04月	―	2013年03月
歯周病とメタボとの関連 ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2013年07月		

学会・委員会等活動

東北口腔衛生学会［幹事長］	2008年05月	―	継続中
日本口腔衛生学会［理事］	2008年05月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

齋藤　高弘

SAITO Takahiro　　生年月日 1952年01月15日

歯学科

取得学位

博士　東京歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1978年05月	―	1987年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1987年04月	―	1990年03月
奥羽大学歯学研究科 講師［兼務］	1990年04月	―	1991年10月
奥羽大学歯学部歯学科 助教授［本務］	1990年11月	―	1999年03月
奥羽大学歯学研究科 助教授［兼務］	1991年11月	―	1999年03月
奥羽大学歯学研究科 教授［兼務］	1999年04月	―	2005年03月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］	1999年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］	2007年04月	―	2012年03月
奥羽大学歯学研究科 教授［兼務］	2007年04月	―	2012年03月
奥羽大学歯学部歯学科 学生部長［兼務］	2010年04月	―	2016年03月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］	2012年04月	―	2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本小児歯科学会
東北地区歯科医学会
日本口腔衛生学会
日本障害者歯科学会
日本歯科医療管理学会
日本歯科医学教育学会
国際障害者歯科学会
日本歯科保存学会
国際歯科研究学会日本部会

論文

1) 全身合併症を有する患者における局所麻酔後の循環動態についての臨床的検討.［日本歯科医療管理学会雑誌, ４６（１）, (2011), ４２-４７］

田中克典，川合宏仁，島村和宏，山﨑信也，釜田　朗，瀬川　洋，佐々木重夫，齋藤高弘

2) 各種光照射器の特性　―高出力 LED 照射器との比較―.［奥羽大学歯学誌, ３８（４）, (2011), ２０７-２１２］

釜田　朗，森川公博，板倉慧典，齋藤高弘

3) 下顎第一小臼歯過剰根（４歯）のエックス線による根管の観察.［奥羽大学歯学誌, ３８（４）, (2011), １９９-２０５］

田中茂之，塩野正幸，高橋和裕，佐々木重夫，齋藤高弘

4) Effect of mold temperature on the microstructure and corrosion properies of a 14-karat gold alloy.［Dental Materials Journal, ３１（４）, (2012), ６６９-６７３］

Kazuo KOISO, Takahiro SAITO and Isao KAWASHIMA

5) 奥羽大学歯学部学生の喫煙状況と喫煙に関する意識調査.［口腔衛生会誌, ６５（３）, (2015), ２９５-２９９］

瀬川　洋，大橋明石，齋藤高弘

6) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策.［日本歯科医療管理学会雑誌, ５０（４）, (2016), ２４４-２５０］

安部将太，山崎信也，川合宏仁，島村和宏，瀬川　洋，佐々木重夫，清野晃孝，齋藤高弘

著書

1) 口から診える　症候群・病気.［一般社団法人　日本障害者歯科学会,2012］

池田正和，黒木良和　編：齋藤高弘　ほか

2) 判例からみた医療安全　歯科医療に求められる戦略的なリーガルリスクマネージメント.［わかば出版株式会社,2014］

小林　馨，足立　進，中島　丘　齋藤高弘　他

研究発表

ニッケルチタンファイルのＪ字状彎曲根管に対する切削特性［第１３４回日本歯科保存学会］
（2011年06月09日 － 2011年06月10日，浦安市）
歯科衛生士学生に対するレセプトコンピュータ実習［第５２回　日本歯科医療管理学会］
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，横浜市）
歯学部学生の喫煙状況に関する研究　—タバコ増税の影響について—［第５２回　日本歯科医療管理学会］
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，横浜市）
インプラント手術に対する静脈鎮静法の検討［第５２回　日本歯科医療管理学会］
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，横浜市）
奥羽大学歯学部臨床実習の改善と評価（第３報）　—選択実習導入後の臨床実習成績と国試結果との関連—［第３０回　日本歯科医学教育学会］
（2011年07月16日 － 2011年07月17日，東京都）
オーラルモイスチャーに新たな指標とした口腔保健プログラム導入の試み［日本歯科医療管理学会東北支部大会］
（2011年10月16日，山形市）
東日本大震災の被災状況と歯科医療活動について［日本歯科医療管理学会東北支部大会］
（2011年10月16日，山形市）
酸化チタン含有試作合金 MTA セメントによる MC3T3-E1 細胞の分化促進作用［第１３５回　日本歯科保存学会］
（2011年10月21日 － 2011年10月22日，大阪市）
歯科医療現場における方言使用［第５２回奥羽大学歯学会］
（2011年11月12日，郡山市）
スキルス・ラボを活用した研修歯科医および医員の５年間の実績［第５２回奥羽大学歯学会］
（2011年11月12日，郡山市）
歯学部学生の喫煙状況に関する研究　—東日本大震災前後の状況—［第１回　東北口腔衛生学会］
（2011年11月26日，青森市）
A Study of Intravenous Sedation for Implant Surgery.［AADR］
（2012年03月21日 － 2012年03月24日，Florida,USA）
スペシャルオリンピックスに参加して　—その２　ボランティア・スタッフの意識調査—［第５３回奥羽大学歯学会］
（2012年06月16日，郡山市）
スペシャルオリンピックスに参加して　—その１　ボランティア活動の概要—［第５３回奥羽大学歯学会］
（2012年06月16日，郡山市）
知的障害者に対するボランティア・スタッフの意識調査—スペシャルオリンピックスにおけるアンケートから—［第５３回　日本歯科医療管理学会］
（2012年07月07日 － 2012年07月08日，那覇市）
新たな指標としての Oral moisture の予備調査［第５３回　日本歯科医療管理学会］
（2012年07月07日 － 2012年07月08日，那覇市）
障害者の全身麻酔下歯科治療が BMI に及ぼす影響について［第５３回　日本歯科医療管理学会］
（2012年07月07日 － 2012年07月08日，那覇市）
シミュレーション実習の評価　—平成 21 年度と平成 23 年度との比較—［第５３回　日本歯科医療管理学会］
（2012年07月07日 － 2012年07月08日，那覇市）
強度の異常絞扼反射を有する患者における全身麻酔を含めた包括的歯科治療の経験［第２９回　日本障害者歯科学会］
（2012年09月28日 － 2012年09月30日，札幌市）
スペシャルオリンピックスにおけるボランティア活動［第２９回　日本障害者歯科学会］
（2012年09月28日 － 2012年09月30日，札幌市）
歯学部学生の喫煙状況と加濃式社会的ニコチン依存度調査票による検討　—東日本大震災前後の比較—［第１６回日本歯科医療管理学会東北支部大会］
（2012年10月07日，仙台市）
東日本大震災に被災した，いわき市の被災状況と歯科医療活動について［日本歯科医学会］
（2012年11月09日 － 2012年11月11日，大阪市）

スキルス・ラボを活用した研修歯科医および医員の５年間の実績 [日本歯科医学会]
（2012年11月09日 － 2012年11月11日，大阪市）
重度の以上絞扼反射患者に対して全身麻酔下歯科治療と系統的脱感作により対応した症例 [第５４回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山市）
慶熙大学国際交流研修報告 [第５４回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山市）
敷地内全面禁煙実施後の歯学部学生の喫煙状況と禁煙教育効果 [日本口腔衛生学会]
（2013年05月15日 － 2013年05月17日，松本市）
知的障がい者や自閉症患者に対するミタゾラム経口投与について [第５４回　日本歯科医療管理学会]
（2013年06月29日 － 2013年06月30日，瑞穂市）
オーラルモイスチャーとペリオスクリーンの関連性 [第５４回　日本歯科医療管理学会]
（2013年06月29日 － 2013年06月30日，瑞穂市）
上顎前歯部の経過観察にクラウンフォーマーを用いた症例 [第３０回　日本障害者歯科学会]
（2013年10月11日 － 2013年10月12日，神戸市）
スポーツドリンクの習慣摂取により多数う蝕に罹患した１型糖尿病患児の１例 [第３０回　日本障害者歯科学会]
（2013年10月11日 － 2013年10月12日，神戸市）
各種シーラーが垂直加圧根管充填時の充**塡**材到達度と根尖封鎖性に及ぼす影響 [第１３９回　日本歯科保存学会]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田市）
中枢神経の先天性髄鞘形成不全を伴う患児の日帰り全身麻酔経験 [第１７回日本歯科医療管理学会東北支部大会]
（2013年11月17日，青森市）
奥羽大学歯学部附属病院におけるヒヤリハット医療事故報告　―平成 20 年度から平成 24 年度について―[第１７回日本歯科医療管理学会東北支部大会]
（2013年11月17日，青森市）
奥羽大学歯学部附属病院における障がい者歯科診療の流れ [第１７回日本歯科医療管理学会東北支部大会]
（2013年11月17日，青森市）
院内で CPA となった１症例 [第１７回日本歯科医療管理学会東北支部大会]
（2013年11月17日，青森市）
奥羽大学歯学部 5 年生の喫煙状況と禁煙支援教育効果 [第 63 回日本口腔衛生学会]
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 5 報）[第 140 回日本歯科保存学会]
（2014年06月19日 － 2014年06月20日，大津市）
被災地における口腔ケア推進事業の試み [第 55 回日本歯科医療管理学会]
（2014年07月19日 － 2014年07月20日，札幌市）
住民健診における歯科的検査項目導入の有用性と生活習慣，歯周病および口腔乾燥度の関連性 [第 67 回東北地区歯科医学会]
（2014年10月18日 － 2014年10月19日，青森市）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊との比較）[第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
掌蹠膿胞症と診断された患者の根管治療症例 [第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
髄腔模型歯を用いた根管形成と根管充填実習の評価 [第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
生活歯漂白方法の比較検討　―卵殻による漂白効果の評価ならびに表面粗さ―[第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
平成 26 年度　慶熙大学国際交流報告 [第５８回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，郡山市）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月14日 － 2014年11月16日，仙台市）
東日本大震災の障がいのある人の歯科保健に関するアンケート調査 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月14日 － 2014年11月16日，仙台市）
福島県における震災後の歯科に関するアンケート調査　―　県内の障がいのある方への調査　―[日本歯科医療管理学会東北支部第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，盛岡市）
当院における日帰り全身麻酔 6 年間 1,037 例における回復時間の統計 [日本歯科医療管理学会東北支部第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，盛岡市）

仮設住宅入居者に対する口腔ケア推進事業 [第 56 回日本歯科医療管理学会]
（2015年05月30日 － 2015年05月31日，岡山市）
歯学部附属病院における過去１年間のインシデントレポート分析と改善の１方策 [第 56 回日本歯科医療管理学会]
（2015年05月30日 － 2015年05月31日，岡山市）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）第２報 [第１４２会日本歯科保存学会]
（2015年06月25日 － 2015年06月26日，北九州市）
事業所健診における歯科的検査項目導入の取り組み [第 68 回東北地区歯科医学会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，盛岡市）
奥羽大学歯学部附属病院における医療安全対策 [日本歯科医療管理学会東北支部第 19 回学術大会]
（2015年11月08日，秋田市）
事業所健診における歯科的検査項目導入の試み [日本歯科医療管理学会東北支部第 19 回学術大会]
（2015年11月08日，秋田市）
UCLA 小児歯科における Open Airway Method を用いた全身麻酔管理方法に関する検討 [日本歯科医療管理学会東北支部第 19 回学術大会]
（2015年11月08日，秋田市）
税務署職員による口腔衛生指導（口腔自衛隊との比較）[143 回日本歯科保存学会]
（2015年11月12日 － 2015年11月13日，東京都）

担当授業科目

臨床実習	2011年04月	－	2011年06月
歯科医療人間学Ⅱ	2011年04月	－	2011年07月
歯科医療人間学Ⅳ	2011年04月	－	2011年07月
臨床実習	2011年05月	－	2012年02月
歯科医療人間学Ⅰ	2011年05月	－	2012年01月
歯科医学概論	2011年07月		
臨床総合講義	2011年09月	－	2011年12月
歯科医療人間学Ⅲ	2011年09月	－	2012年01月
臨床総合演習	2011年09月		
統合科目Ⅲ	2011年09月	－	2011年11月
歯科医学史	2011年10月		
統合科目Ⅳ	2011年11月		
臨床の実際	2011年11月		
(歯) 歯科医療人間学Ⅱ	2012年04月	－	2012年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅳ	2012年04月	－	2012年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅰ	2012年04月	－	2013年01月
(歯) 臨床実習	2012年05月	－	2012年06月
(歯) 臨床総合講義	2012年09月	－	2012年11月
(歯) 歯科医療人間学Ⅲ	2012年09月	－	2013年01月
(歯) 歯科医学史	2012年09月	－	2012年11月
(歯) 統合科目Ⅳ	2012年11月		
(歯) 歯科医療人間学Ⅱ	2013年04月	－	2013年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅳ	2013年04月	－	2013年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅰ	2013年04月	－	2014年01月
(歯) 歯科医学史	2013年09月	－	2013年11月
(歯) 歯科医療人間学Ⅲ	2013年09月	－	2014年01月
(歯) 歯科医療人間学Ⅳ	2014年04月	－	2014年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅲ	2014年04月	－	2014年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅰ	2014年04月	－	2014年12月
(歯) 臨床総合演習	2014年05月		
(歯) 歯科医学史	2014年09月	－	2014年10月
(歯) 歯科医療人間学Ⅱ	2014年09月	－	2014年12月
(歯) 障害者歯科学	2014年09月	－	2014年12月
(歯) 医療コミュニケーション学Ⅱ	2015年04月		
(歯) 臨床総合講義	2015年06月		
(歯) 医療コミュニケーション学Ⅰ	2015年08月	－	2015年12月
(歯) 障害者歯科学	2015年08月	－	2015年12月
(歯) 医療倫理学	2015年09月	－	2015年12月
(歯) 口腔衛生学実習	2015年09月	－	2015年12月
(歯) 医療コミュニケーション学Ⅲ	2015年09月	－	2015年12月

その他教育活動及び特記事項

韓国 · 慶熙大学とのスポーツ交流 ［活動区分 ：学友会 · 同好会等の指導］	1994年08月	―	継続中
学友会顧問 ［活動区分 ：学友会 · 同好会等の指導］	2006年04月	―	継続中
学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2007年04月	―	継続中
平成 23 年度 CBT 問題作成ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2011年05月	―	2012年03月
地域会参加 ［活動区分 ：その他特記事項］	2011年06月	―	2011年07月
平成 25 年度 CBT 問題作成ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2013年05月	―	2014年03月

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議員］	1992年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［評議員］	1996年06月	―	継続中
日本障害者歯科学会［評議員］	2000年01月	―	2016年03月
日本歯科医学教育学会［評議員］	2001年05月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［理事］	2004年04月	―	2016年03月
日本歯科医療管理学会［編集委員］	2004年04月	―	2016年03月
日本歯科医療管理学会［常任理事］	2006年04月	―	2016年03月
日本障害者歯科学会［代議員］	2008年01月	―	2016年03月
奥羽大学歯学会［監事］	2010年04月	―	2016年03月
日本歯科医療管理学会［東北支部監事］	2010年04月	―	2016年03月
日本歯科医療管理学会［倫理委員長］	2013年04月	―	2016年03月

学外の社会活動（高大・地域連携等）

東北地区歯科医学学会運営委員 ［活動区分 ：その他］	1999年04月	―	2016年03月
スペシャルオリンピックス（猪苗代） ［活動区分 ：ボランティア活動］	2012年02月		
郡山北警察署協議会 ［活動区分 ：その他］	2013年04月	―	2016年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

瀬川　洋

SEGAWA Hiroshi　　生年月日 1957年01月17日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔衛生学・博士課程　1990年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 助手［本務］	1990年04月	―	1993年03月
奥羽大学歯学部 講師［本務］	1993年04月	―	1996年09月
奥羽大学歯学研究科 講師［兼務］	1995年04月	―	1996年09月
奥羽大学歯学部 助教授［本務］	1996年10月	―	2007年03月
奥羽大学歯学研究科 助教授［兼務］	1996年10月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部 准教授［本務］	2007年04月	―	2013年03月
奥羽大学歯学研究科 准教授［兼務］	2007年04月	―	2013年03月
奥羽大学歯学部 教授［本務］	2013年04月	―	継続中
奥羽大学歯学研究科 教授［兼務］	2013年04月	―	継続中

所属学会・委員会

国際歯科研究学会日本部会 (Japanese Associaition for Dental Research)
一般社団法人日本口腔衛生学会
奥羽大学歯学会
東北地区歯科医学会
日本公衆衛生学会
東北口腔衛生学会
国際歯科研究学会 (International Association for Dental Research)
日本歯科医療管理学会
公益社団法人日本歯科医師会
日本歯科医学教育学会
世界歯科連盟 (World Dental Federation)
日本歯科医療管理学会東北支部
一般社団法人福島県歯科医師会
一般社団法人日本障害者歯科学会
社団法人日本学校歯科医会
日本ドライマウス研究会
抗加齢歯科医学研究会
日本禁煙学会
日本禁煙科学会

論文

1) 全身的合併症を有する患者における局所麻酔の循環変動についての臨床的検討. [日本歯科医療管理学会雑誌, 46 (1), (2011), 42-47]

田中克典, 川合宏仁, 島村和宏, 山崎信也, 釜田　朗, 瀬川　洋, 佐々木重夫, 齋藤高弘

2) 防ごう子どもへの暴力プロジェクト—児童養護施設における歯科保健活動—. [みちのく歯学会雑誌, 42· 43 (1· 2), (2012), 24-25]

瀬川　洋, 島村和宏, 池山丈二, 村澤健一, 安藤昌廣, 松崎賢治, 金子　振

3) 学校における歯科健康診断 ～ 健康教育にどう活かすか ～ . [日本学校歯科医会会誌, 116, (2014), 35-39]

瀬川　洋

4) 福島県における被災地口腔ケア推進事業の概要. [みちのく歯学会雑誌, 45 (1· 2), (2014), 61-63]

瀬川　洋, 田口慎哉, 福元梨紗, 高田　訓, 池山丈二, 池田知弘, 五十嵐　稔, 金子　振

5) 住民健診における歯科的検査項目導入の有用性と生活習慣、歯周病および口腔乾燥度の関連性. [みちのく歯学会雑誌, 45 (1· 2), (2014), 64-67]

瀬川　洋, 仁瓶　仁, 渡邉洋二郎, 高原一雄, 永井光男, 藤田富夫, 斎藤高弘, 野崎洋文

6) 学校におけるフッ化物応用の普及 · 啓発. [大阪府学校歯科医会雑誌, 19, (2015), 1-4]

瀬川　洋

7) 奥羽大学歯学部学生の喫煙状況と喫煙に関する意識調査. [口腔衛生会誌, 65 (3), (2015), 295-299]

瀬川　洋, 大橋明石, 齋藤高弘

8) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策. [日本歯科医療管理学会雑誌, 50 (4), (2016), 244-250]

安部将大, 山崎信也, 川合宏仁, 島村和宏, 瀬川　洋, 佐々木重夫, 清野晃孝, 齋藤高弘

9) 児童生徒の健康は　歯から　食から　元気から—実践しよう　３ステップケア—. [大阪府学校歯科医会雑誌, 20, (2016), 1-4]

瀬川　洋

著書

1) 歯科医療管理　医療の質と安全確保のために (共著). [医歯薬出版株式会社,2011]

高津茂樹, 永山正人, 末**高**武彦, 尾崎哲則, 瀬川　洋他

2) 学校歯科医のための食育マニュアル (監修). [石橋アート社,2012]

監修　瀬川　洋

3) 判例からみた医療安全. [わかば出版株式会社,2014]

瀬川　洋

総説・解説記事

1) 特集　これから学校歯科医が考えるべきこと　「余震にも原発の放射性物質にもそして夏の暑さにも負けずに」. [府学歯報, 49, (2011), 37-39]

瀬川　洋

2) 特集　スポーツドリンクの飲用を考える. [府学歯報, 50, (2012), 37-39]

瀬川　洋

3) 園 · 学校におけるフッ化物応用ガイドブック. [府学歯報, (2013), 01-22]

金森市造　瀬川　洋　他

4) オーラルモイスチャーに着目した口腔保健プログラムの活用事例. [歯界展望, (特別), (2013), 175-175]

瀬川　洋, 橋本直樹, 島村和宏, 齋藤高弘

研究発表

小学校１年生時の歯科保健指導指標とう蝕罹患性の推移 [第 51 回奥羽大学歯学会]
(2011年06月11日，奥羽大学病院棟５階臨床講義室(郡山市))

歯科衛生士学生に対するレセプトコンピューター実習 [第 52 回日本歯科医療管理学会総会 · 学術大会]
(2011年07月08日 － 2011年07月10日，神奈川県歯科医師会館(横浜))

歯学部学生の喫煙状況に関する研究—タバコ増税の影響について—[第 52 回日本歯科医療管理学会総会 · 学術大会]
(2011年07月08日 － 2011年07月10日，神奈川県歯科医師会館(横浜))

インプラント手術に対する静脈内鎮静法の検討—ブトルファノール · ミダゾラム · デクスメデトミジンとブトルファノール · ミダゾラム · プロポフォールの比較—[第 52 回日本歯科医療管理学会総会 · 学術大会]
(2011年07月08日 － 2011年07月10日，神奈川県歯科医師会館(横浜))

学齢期における「健やかに食べる機能の育成支援」に関する保健活動 [第 60 回日本口腔衛生学会・総会]
（2011年10月08日 － 2011年10月10日，日本大学松戸歯学部）
東日本大震災の被災状況と歯科医療活動について [日本歯科医療管理学会平成 23 年度東北支部・第 15 回学術大会]
（2011年10月16日，山形県歯科医師会館）
オーラルモイスチャーを新たな指標とした口腔保健プログラム導入の試み [日本歯科医療管理学会平成 23 年度東北支部・第 15 回学術大会]
（2011年10月16日，山形県歯科医師会館）
歯学部学生の喫煙状況に関する研究—東日本大震災前後の状況—[第 1 回東北口腔衛生学会]
（2011年11月26日，青森県青森市　青森県歯科医師会館）
歯学部学生の喫煙状況と心理的ニコチン依存度—東日本大震災前後の状況—[第 6 回日本禁煙学会学術総会]
（2012年04月07日 － 2012年04月08日，宮城県仙台市　仙台国際センター）
防ごう子どもへの暴力プロジェクト第 1 報—児童養護施設入所者の歯科保健状態—[第 61 回日本口腔衛生学会・総会]
（2012年05月25日 － 2012年05月27日，神奈川県横須賀市　神奈川歯科大学）
知的障害者に対するボランティア・スタッフの意識調査—スペシャル・オリンピックスにおけるアンケートから—[第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月06日 － 2012年07月08日，沖縄県男女共同参画センターてぃるる(沖縄)）
新たな指標としての Oral moisture の予備的調査 [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月06日 － 2012年07月08日，沖縄県男女共同参画センターてぃるる(沖縄)）
障害者の全身麻酔下歯科治療が BMI に及ぼす影響について [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月06日 － 2012年07月08日，沖縄県男女共同参画センターてぃるる(沖縄)）
シュミレーション実習の評価 [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月06日 － 2012年07月08日，沖縄県男女共同参画センターてぃるる(沖縄)）
歯学部学生の喫煙状況と加濃式社会的ニコチン依存度調査票による検討 [日本歯科医療管理学会平成 24 年度東北支部総会・第 16 回学術大会]
（2012年10月07日，宮城県歯科医師会館(仙台)）
防ごう子どもへの暴力プロジェクト—児童養護施設における歯科保健活動—[第 65 回東北地区歯科医学会]
（2012年10月20日 － 2012年10月21日，山形県歯科医師会館(山形)）
東日本大震災に被災した, いわき市の被災状況と歯科医療活動について [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月09日 － 2012年11月11日，インテックス大阪）
Oral moisture に着目した口腔健康プログラムの活用事例 [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月09日 － 2012年11月11日，インテックス大阪）
歯学部学生の喫煙状況と禁煙教育の効果 [第 7 回日本禁煙科学会学術総会 in いわて]
（2012年11月17日 － 2012年11月18日，いわて県民情報交流センター(アイーナ)）
奥羽大学における敷地内全面禁煙の取り組み [第 7 回日本禁煙科学会学術総会 in いわて]
（2012年11月17日 － 2012年11月18日，いわて県民情報交流センター(アイーナ)）
敷地内全面禁煙実施後の歯学部学生の喫煙状況と禁煙教育効果 [第 62 回日本口腔衛生学会・総会]
（2013年05月15日 － 2013年05月17日，キッセイ文化ホール(長野県松本市)）
知的障がい者や自閉症患者に対するミダゾラム経口投与について [第 54 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2013年06月28日 － 2013年06月30日，朝日大学 6 号館(岐阜県穂積市)）
オーラルモイスチャーとペリオスクリーンの関連性 [第 54 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2013年06月28日 － 2013年06月30日，朝日大学 6 号館(岐阜県穂積市)）
安全・安心・信頼の歯科医療 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第 17 回学術大会認定医研修会]
（2013年11月17日，青森県歯科医師会館(青森県青森市)）
中枢神経の先天性髄鞘形成不全を伴う患児の日帰り全身麻酔経験 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第 17 回学術大会]
（2013年11月17日，青森県歯科医師会館(青森県青森市)）
院内で CPA となった 1 例 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第 17 回学術大会]
（2013年11月17日，青森県歯科医師会館(青森県青森市)）
奥羽大学歯学部附属病院における障がい者歯科診療の流れ [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第 17 回学術大会]
（2013年11月17日，青森県歯科医師会館(青森県青森市)）
奥羽大学歯学部附属病院におけるヒヤリハット医療事故報告 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第 17 回学術大会]
（2013年11月17日，青森県歯科医師会館(青森県青森市)）
本学歯学部 3 年生の喫煙状況と禁煙支援教育の効果 [第 3 回東北口腔衛生学会]
（2013年11月30日，宮城県歯科医師会館(宮城県仙台市)）

奥羽大学５年生の喫煙状況と禁煙支援教育効果 [第 63 回日本口腔衛生学会・総会]
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本市民会館 崇城大学ホール　熊本市国際交流会館(熊本県熊本市)）
安全・安心・信頼に根ざした医療連携 [第 55 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2014年07月09日，ニューオータニイン札幌）
被災地における口腔ケア推進事業の試み [第 55 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2014年07月18日 － 2014年07月20日，ニューオータニイン札幌(北海道札幌市)）
「むし歯ゼロで立歯式の町」をめざした地域歯科保健活動 [福島県歯科医師会学術大会]
（2014年08月31日，奥羽大学・第２講義棟(福島県郡山市)）
福島県における被災地口腔ケア推進事業の概要 [第 67 回東北地区歯科医学会]
（2014年10月18日 － 2014年10月19日，青森県歯科医師会館(青森)）
住民健診における歯科的検査項目導入の有用性と生活習慣、歯周病および口腔乾燥度の関連性 [第 67 回東北地区歯科医学会]
（2014年10月18日 － 2014年10月19日，青森県歯科医師会館(青森)）
立歯式で「むし歯ゼロ」をめざした歯科保健活動の取り組み [第４回東北口腔衛生学会]
（2014年11月15日，福島県歯科医師会館(福島県福島市)）
福島県における被災地口腔ケア推進支援事業について [第４回東北口腔衛生学会]
（2014年11月15日，福島県歯科医師会館(福島県福島市)）
当院における日帰り全身麻酔６年間 1,037 例における回復時間の統計 [日本歯科医療管理学会平成 26 年度東北支部総会・第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，岩手県歯科医師会館(岩手県盛岡市)）
福島県における震災後の歯科に関するアンケート調査―県内の障がいのある方への調査―[日本歯科医療管理学会平成 26 年度東北支部総会・第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，岩手県歯科医師会館(岩手県盛岡市)）
仮設住宅入居者に対する口腔ケア推進事業 [第 56 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2015年05月29日 － 2015年05月31日，岡山国際交流センター(岡山県岡山市)）
歯学部附属病院における過去１年間のインシデントレポート分析と改善の１方策 [第 56 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2015年05月29日 － 2015年05月31日，岡山国際交流センター(岡山県岡山市)）
福島県における仮設住宅入居者に対する口腔ケア推進事業の検証 [第 68 回東北地区歯科医学会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，岩手県歯科医師会館(盛岡)）
新しい歯周炎試験紙の開発 [第 68 回東北地区歯科医学会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，岩手県歯科医師会館(盛岡)）
事業所健診における歯科的検査項目導入の取り組み [第 68 回東北地区歯科医学会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，岩手県歯科医師会館(盛岡)）
事業所健診における歯科的検査項目導入の試み [日本歯科医療管理学会平成 27 年度東北支部総会・第 19 回学術大会]
（2015年11月08日，秋田県歯科医師会館(秋田市)）
UCLA 小児歯科における Open Airway Method を用いた全身麻酔管理方法に関する検討 [日本歯科医療管理学会平成 27 年度東北支部総会・第 19 回学術大会]
（2015年11月08日，秋田県歯科医師会館(秋田市)）
奥羽大学歯学部附属病院における医療安全対策 [日本歯科医療管理学会平成 27 年度東北支部総会・第 19 回学術大会]
（2015年11月08日，秋田県歯科医師会館(秋田市)）

担当授業科目

歯科医療人間学Ⅰ	2011年05月	－	2012年01月
歯科医療人間学Ⅱ	2011年05月	－	2011年06月
口腔衛生学実習	2011年05月	－	2011年07月
CBL 演習	2011年06月		
総合学習Ⅲ	2011年07月		
歯科医療管理学	2011年09月	－	2012年01月
(歯) 口腔衛生学実習	2012年04月	－	2012年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅱ	2012年04月	－	2013年07月
歯科医療人間学Ⅰ	2012年04月	－	2013年01月
(歯) 歯科医療管理学	2012年09月	－	2013年01月
口腔衛生学実習	2013年04月	－	2013年07月
(歯) 歯科医療管理学 (改)	2013年04月	－	2013年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅰ	2013年04月	－	2014年01月
(歯) 歯科医療人間学Ⅲ	2013年09月	－	2014年01月
(歯) 歯科医療人間学Ⅱ	2013年09月	－	2014年01月
(歯) 歯科医療管理学	2014年04月	－	2014年07月
(歯) 歯科医療人間学Ⅲ	2014年04月	－	2014年07月

(歯) 歯科医療人間学Ⅰ	2014年04月	―	2014年12月
(歯) 歯科医療人間学Ⅱ	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 口腔衛生学実習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 医療コミュニケーション学Ⅱ	2015年04月	―	2015年07月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	―	2015年10月
(歯) 医療コミュニケーション学Ⅰ	2015年08月	―	2015年12月
(歯) 口腔衛生学実習	2015年09月	―	2015年12月
(歯) 歯科医療管理学	2015年09月	―	2015年12月
(歯) 医療コミュニケーション学Ⅲ	2015年09月	―	2015年12月
(歯) 臨床実習	2015年11月		

その他教育活動及び特記事項

第６学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2010年04月	―	2015年03月
第４学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2015年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

一般社団法人日本口腔衛生学会［評議員］	1993年04月	―	継続中
東北口腔衛生学会［幹事］	1993年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［評議員］	1994年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［評議員］	1994年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［理事］	1998年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会東北支部［理事］	2002年04月	―	継続中
一般社団法人日本口腔衛生学会［認定医委員会委員］	2002年07月	―	2015年05月
一般社団法人日本口腔衛生学会［指導医小委員会委員］	2006年04月	―	2015年05月
一般社団法人日本口腔衛生学会［査読委員］	2008年05月	―	継続中
東北口腔衛生学会［幹事会事務局長］	2009年04月	―	2012年03月
日本歯科医療管理学会［常任理事］	2010年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会東北支部［支部長］	2010年04月	―	継続中
日本禁煙学会［Scientific Advisor］	2011年04月	―	継続中
日本公衆衛生学会［地方試験委員会委員］	2011年04月	―	継続中
一般社団法人日本口腔衛生学会［理事］	2011年05月	―	2013年05月
一般社団法人日本口腔衛生学会［疫学研究支援委員会委員］	2012年04月	―	2015年05月
日本歯科医療管理学会［会則等改正特別委員会委員］	2012年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［教育課程委員会委員長］	2012年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［認定医制度委員会委員］	2012年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［認定医資格認定審査会委員］	2012年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［学会活性化特別委員会委員］	2012年04月	―	継続中
一般社団法人日本口腔衛生学会［代議員］	2013年05月	―	継続中
奥羽大学歯学会［理事 (渉外・広報)］	2014年04月	―	継続中
東北口腔衛生学会［学会長］	2014年11月		
一般社団法人日本口腔衛生学会［禁煙推進委員会委員］	2015年05月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

健康ふくしま 21 評価検討会委員 ［活動区分 ：その他］	2001年09月	―	2011年10月
磐梯町歯科保健計画策定に関する支援 ［活動区分 ：その他］	2006年04月	―	継続中
福島県耶麻郡磐梯町学校医 (歯科) ［活動区分 ：その他］	2008年04月	―	継続中
郡山市公共事業評価委員会委員 ［活動区分 ：その他］	2008年10月	―	継続中
平成 22 年・23 年度東北方面隊オピーニオンリーダー (東北方第 392 号) ［活動区分 ：その他］	2010年03月	―	2012年03月
平成 23 年度磐梯町学校・幼稚園健康診断 ［活動区分 ：その他］	2011年04月	―	2011年06月
磐梯町立磐梯第二小学校における学校歯科医としての保健活動 ［活動区分 ：その他］	2011年08月		
平成 23 年度大阪府学校歯科医会学術講演会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2011年09月		
平成 23 年度磐梯町就学時健康診断 ［活動区分 ：その他］	2011年10月		

磐梯町平成 23 年度立歯式記念講演　2011年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
郡山市立冨田小学校口腔衛生講話　2011年11月
［活動区分 ：小中高との連携］
東大阪市民健康フェスタ 2011 歯の健康講座 (主催東大阪市 · 東大阪市公衆衛生協力会)　2011年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
平成 23 年度学校歯科医研修会 (（社）福島県歯科医師会主催)　2011年12月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
平成 24 年度磐梯町学校 · 幼稚園健康診断　2012年05月
［活動区分 ：その他］
街中ライブ　2012年06月
［活動区分 ：公開講座］
郡山市総合計画審議会委員　2012年06月 ― 2012年10月
［活動区分 ：その他］
ヘルシースマイル事業いわき支部研修会　2012年08月
［活動区分 ：小中高との連携］
ヘルシースマイル事業耶麻支部研修会　2012年08月
［活動区分 ：小中高との連携］
平成 24 年度禁煙支援研修会 (（社）福島県歯科医師会主催)　2012年09月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
2012 年奥羽大学歯学部 · 薬学部出張講座「歯と薬の話」　2012年09月
［活動区分 ：公開講座］
教養講座　2012年10月
［活動区分 ：公開講座］
学校保健会養護教諭部会会津支部研修会　2012年10月
［活動区分 ：小中高との連携］
郡山市立冨田小学校口腔衛生講話　2012年11月
［活動区分 ：小中高との連携］
磐梯町平成 24 年度立歯式記念講演　2012年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
ヘルシースマイル事業相双支部研修会　2012年12月
［活動区分 ：小中高との連携］
平成 24 年度福島県学校保健会いわき支部研修会　2012年12月
［活動区分 ：小中高との連携］
奥羽大学歯学部同窓会岩手県支部学術講演会　2013年01月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
学校保健会耶麻支部養護教諭部会研究協議会　2013年01月
［活動区分 ：小中高との連携］
平成 25 年度磐梯町学校 · 幼稚園健康診断　2013年05月
［活動区分 ：その他］
社団法人日本学校歯科医会　学校歯科医生涯研修制度　基礎研修会　2013年05月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
奥羽大学歯学部同窓会山形県支部学術講演会　2013年05月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
お口の健康まつり　市民公開講座　2013年06月
［活動区分 ：公開講座］
ECO COLLABO EVENT 2013 こおりやま　親子でエコ体験　2013年07月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
保健講話　2013年07月
［活動区分 ：小中高との連携］
郡山歯科医師会地域保健研修会における講演　2013年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
平成 25 年度安全衛生推進大会特別講演　2013年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
妊産婦歯科疾患予防検討会委員　2013年11月 ― 2014年03月
［活動区分 ：その他］
磐梯町平成 25 年度立歯式記念講演　2013年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部認定医研修会　2013年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］

郡山市立冨田小学校口腔衛生講話　2013年11月
［活動区分 ：小中高との連携］
第 57 回 (平成 25 年度) 大阪府学校歯科保健研究大会における特別講演 (主催一般社団法人大阪府学校歯科医会)　2013年12月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
平成 25 年度 第 57 回大阪府学校歯科保健研究大会　2013年12月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
妊産婦歯科疾患予防対策研修会　2014年02月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
小児期う蝕予防対策強化研修会　2014年08月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
磐梯町平成 26 年度立歯式記念講演　2014年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
郡山市立冨田小学校口腔衛生講話　2014年11月
［活動区分 ：小中高との連携］
郡山歯科医師会地域保健研修会における講演　2015年02月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
奥羽大学歯学部同窓会栃木県支部における講演　2015年05月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
南会津保健所における医療安全に関する講演　2015年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
磐梯町平成 27 年度立歯式記念講演　2015年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
郡山市立冨田小学校口腔衛生講話　2015年11月
［活動区分 ：小中高との連携］
奥羽大学歯学部同窓会秋田県支部における講演　2015年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
奥羽大学歯学部同窓会宮城県支部における講演　2015年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
平成 27 年度栃木県歯科保健指導者講習会　2015年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］

奥羽大学 歯学部 歯学科

車田　文雄

KURUMADA Fumio　　生年月日 1958年11月03日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・歯科保存学・博士課程　　1990年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 准教授［本務］　　2011年10月　－　継続中

所属学会・委員会

日本歯科保存学会
日本レーザー歯学会
奥羽大学歯学会
日本口腔衛生学会
日本口腔衛生学会東北地方会
防衛衛生学会

論文

1) 逆根管充**塡**材として使用した mineral trioxide aggregate の辺縁封鎖性と硬度における血液汚染物の影響．[日本歯科保存学雑誌, 53 (3), (2013)]

佐々木重夫、木村裕一、今井啓全、佐藤穏子、釜田　朗、車田文雄、天野義和、他

研究発表

小学１年生時の歯科保健指標とう蝕罹患性の推移について [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月，郡山市）
平成 22 年度 ICT Ⅱにおけるアンケート調査 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月，郡山市）
郡山駐屯地における新隊員教育についての一考察 [第 57 回防衛衛生学会]
（2012年01月，東京都）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導 [第 136 回日本歯科保存学会]
（2012年06月27日 － 2012年06月29日，沖縄県宜野湾市）
テアフラビン生理機能について [静岡県・静岡市地域結集型研究開発プログラム平成 24 年度研究会]
（2012年09月21日 － 2012年09月22日，静岡市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第２報）[第 137 回日本歯科保存学会]
（2012年11月21日 － 2012年11月23日，広島市）
小学１年生時の歯科保健指標とう蝕罹患性の推移について [東北口腔衛生学会]
（2012年12月08日，秋田市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地隊員等における保健指導—モチベーションの up—[第 58 回防衛衛生学会]
（2013年01月30日 － 2013年01月31日，東京都）
ニッケルチタンロータリーファイルの破折特性—X 線回折と走査電子顕微鏡による所見—[第 138 回日本歯科保存学会]
（2013年06月27日 － 2013年06月28日，福岡市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第３報）[第 138 回日本歯科保存学会]
（2013年06月27日 － 2013年06月28日，福岡市）
各種シーラーが垂直加圧充**塡**時の充**塡**到達度と根尖封鎖性に及ぼす影響 [第 139 回日本歯科保存学会]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第４報）[第 139 回日本歯科保存学会]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地隊員等における保健指導—第２報—[第 59 回防衛衛生学会]
（2014年01月25日 － 2014年01月26日，東京都）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第５報）[第 140 回日本歯科保存学会]
（2014年06月19日 － 2014年06月20日，大津市）

掌し膿疱症と診断された患者の根管治療症例 [第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
税務者職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）[第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
髄腔模型歯を用いた根管形成と根管充**塡**実習の評価 [第 141 回日本歯科保存学会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形市）
航空自衛隊大滝根山分屯基地隊員等における保健指導―第３報―[第 60 回防衛衛生学会]
（2015年02月05日 － 2015年02月06日，東京都）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）第２報 [第 142 回日本歯科保存学会]
（2015年06月25日 － 2015年06月26日，北九州市）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）第３報 [第 143 回日本歯科保存学会]
（2015年11月12日 － 2015年11月13日，東京都）
航空自衛隊大滝根山分屯基地隊員等における保健指導―第４報―[第 61 回防衛衛生学会]
（2016年02月04日 － 2016年02月05日，東京都）

担当授業科目

医療倫理学	2001年04月	－	継続中
口腔衛生学実習	2003年04月	－	継続中
医療と法	2005年04月	－	2015年03月
医療と哲学	2005年04月	－	2013年03月
自己表現論	2006年04月	－	2013年03月
ＣＢＬ演習	2007年10月	－	継続中
心理学	2007年10月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

歯学部カウンセラー（学生部委員） ［活動区分 ：その他特記事項］	2001年04月	－	継続中
講義におけるプリント作成ならびにメディア機器の活用 (歯学部第 6 学年) ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2002年04月	－	継続中
講義におけるプリント作成ならびにメディア機器の活用 (薬学部第 1 学年) ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本口腔衛生学会東北地方会［幹事］	2003年04月	－	継続中
日本レーザー歯学会［認定医委員会幹事］	2012年04月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

福島県緊急スクールカウンセラー ［活動区分 ：小中高との連携］	2001年04月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

大橋　明石

OHASHI Akashi

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　2002年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2002年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔衛生学会

論文

1) 奥羽大学歯学部学生の喫煙状況と喫煙に関する意識調査.［口腔衛生会誌, (2015)］
瀬川　洋、大橋　明石、齋藤　高弘

2) 福島県における仮設住宅居住者に対する口腔ケア推進事業の検証.［みちのく歯學會雑誌, (2016)］
瀬川　洋, 大橋明石, 板橋　仁, 高田　訓, 池山丈二, 金子　振

3) 事業所健診における歯科的検査項目導入の取り組み.［みちのく歯學會雑誌, (2016)］
瀬川　洋, 原　寿夫, 野崎洋文, 大橋明石, 高原一雄, 永井光男, 藤田富夫, 齋藤高弘

研究発表

小学 1 年生時の歯科保健指標とう蝕罹患性の推移について［第 51 回奥羽大学歯学会 (福島)］
（2011年06月）
ニコチンによるマクロファージの TLR-2 発現誘導について［口腔衛生学会・総会 (千葉松戸) 第 60 回］
（2011年10月）
ニコチンと LPS は血管内皮細胞の TLR-2 の mRNA 発現を誘導する［口腔衛生学会・総会 (千葉松戸) 第 60 回］
（2011年10月）
う蝕罹患性要因と児童の出生月との関連性について［東北口腔衛生学会 (青森) 第 1 回］
（2011年11月）
ニコチンが修飾する歯肉上皮細胞からの炎症性サイトカインの誘導［日本口腔衛生学会・総会 (神奈川・横須賀) 第 61 回］
（2012年05月）
ニコチンは単球におけるカスパーゼ—1 の発現を増強する［62 回日本口腔衛生学会・総会 (長野県・松本)］
（2013年05月）
本学歯学部 3 年生の喫煙状況と禁煙支援教育の効果［第 3 回東北口腔衛生学会 (宮城県仙台市)］
（2013年11月）
Porphyromonas gingivalis による肺上皮細胞からの LL-37 の発現について［第 63 回日本口腔衛生学会・総会］
（2014年05月，熊本県）
奥羽大学歯学部 5 年生の喫煙状況と禁煙支援教育効果［第 63 回日本口腔衛生学会・総会］
（2014年05月，熊本県）
CO の学年別保有状況の推移とう蝕罹患性［第 4 回東北口腔衛生学会］
（2014年11月，福島県）
立歯式で「むし歯ゼロ」をめざした歯科保健活動の取り組み［第 4 回東北口腔衛生学会］
（2014年11月，福島県）
Porphyromonas gingivalis が肺上皮細胞に与える影響［第 64 回日本口腔衛生学会・総会］
（2015年05月）
福島県における仮設住宅入居者に対する口腔ケア推進事業の検証［第 68 回東北地区歯科医学会］
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，盛岡県盛岡市）

事業所健診における歯科的検査項目導入の取り組み [第 68 回東北地区歯科医学会]
（2015年10月31日 ― 2015年11月01日）

担当授業科目

口腔衛生学	2010年04月	―	継続中
臨床実習 (PBL も含む)	2010年04月	―	継続中
臨床総合講義	2010年07月	―	継続中
(歯) 口腔衛生学実習	2014年08月	―	継続中
(歯) 基礎歯学概論	2015年04月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

わかたけ保育園フッ素応用実習 ［活動区分 ：その他］	2006年05月	―	継続中
歯の健康フェア ［活動区分 ：その他］	2006年06月	―	継続中
磐梯町の歯 · 口の健康診断 ［活動区分 ：その他］	2008年05月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

結城　昌子

YUUKI Masako

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 助手［本務］	1977年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部 助手［本務］	2007年04月	―	2012年03月
奥羽大学歯学部 助手［本務］	2012年04月	―	2015年03月
奥羽大学歯学部 助教［本務］	2015年04月	―	2017年07月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔衛生学会
東北地区歯科医学会

論文

1) 疫学的手法を用いたう蝕ハイリスク児童検出指標の検索.［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 123-130］

結城昌子

2) 米沢市の学校歯科健診票からみた口腔衛生状態 —20 年—.［みちのく歯学会雑誌, 46（1,2）,（2015）, 65-67］

結城昌子

著書

1) 生活と健康　—測定と評価法—.［株式会社学健書院,2016］

荒川浩久, 薄井司文歩, 川村和章, 木本一成, 車田文雄, 瀬川洋, 竹下玲, 平田幸夫, 廣瀬公治, 松本勝, 安井利一, 結城昌子

研究発表

小学 1 年生時の歯科保健指標とう蝕罹患性の推移について［第 51 回奥羽歯学会］
（2011年06月11日，福島）
学校歯科保健管理における児童の生まれ月に対する配慮について［第 60 回日本口腔衛生学会・総会 (］
（2011年10月08日 ― 2011年10月10日，千葉）
疫学によるう蝕ハイリスク児検出指標の検討［第 52 回奥羽歯学会］
（2011年11月21日，福島）
う蝕罹患性要因と児童の出生月との関連性について［第 1 回東北口腔衛生学会］
（2011年11月26日，青森）
低齲蝕罹患状況によるう蝕罹患性リスク要因の有効性の検討［第 61 回日本口腔衛生学会・総会］
（2012年05月25日 ― 2012年05月27日，神奈川）
低う蝕罹患状況に対応するう蝕リスク要因の予測性の評価［第 65 回東北地区歯科医学会］
（2012年10月20日 ― 2012年10月21日，山形）
低う蝕罹患状況に対応するう蝕リスク要因の予測性の評価［第 2 回東北口腔衛生学会］
（2012年12月08日，秋田）
小学 1 年時のう蝕リスク要因を用いたスクリーニング精度について［第 62 回日本口腔衛生学会・総会］
（2013年05月15日 ― 2013年05月17日，長野）
学校歯科健診「歯垢の状態」項目の歯科保健指導への活用性［第 66 回東北地区歯科医学会］
（2013年10月19日 ― 2013年10月20日，秋田）
小学低学年時の「歯垢の状態」とう蝕罹患性について［第 3 回東北口腔衛生学会］
（2013年11月30日，宮城）

う蝕リスク要因としての小学低学年期の「歯垢の状態」[第 62 回日本口腔衛生学会・総会]
（2014年05月29日 － 2014年05月31日，熊本）
学校歯科健診における CO 保有状況の年度間比較 [第 67 回東北地区歯科医学会]
（2014年10月18日 － 2014年10月19日，青森）
CO の学年別保有状況の推移とう蝕罹患性 [第 4 回東北口腔衛生学会]
（2014年11月15日，福島）
学童期における CO のう蝕発病状況について [日本口腔衛生学会]
（2015年05月27日 － 2015年05月29日，千葉県つくば市）
米沢市の学校歯科健診票からみた口腔衛生状態 —20 年—[第 68 回東北地区歯科医学会]
（2015年11月01日，岩手県）
米沢市における児童・生徒の 20 年間の歯科保健状態 [第 5 回東北口腔衛生学会]
（2015年11月14日，岩手県）

担当授業科目

口腔衛生学実習	2011年04月	－	2011年09月
臨床実習	2011年04月	－	2012年02月
(歯) 口腔衛生学実習	2012年04月	－	2012年09月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2013年01月
(歯) 口腔衛生学実習	2013年04月	－	2013年09月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2014年01月
(歯) 臨床実習	2014年04月	－	2015年02月
(歯) 口腔衛生学実習	2014年09月	－	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	－	2016年01月
口腔衛生学実習	2015年09月	－	2015年11月

その他教育活動及び特記事項

モデル・コア・カリキュラム平成 22 年度改訂版の内容を歯学部全教員が確認する ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2011年08月		
「学生が寝ない授業の仕方」 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2011年09月		
学生が集まる魅力ある大学にするためのプランニング　—高校生が奥羽大学に魅力を感じない理由— ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2011年12月		
「国試合格へ導く教育のあり方 ー教員の意識改革の必要性-」 ［活動区分 ：その他特記事項］	2012年06月		
FDWS について ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2012年11月		
研究の進め方Ⅰ「研究計画の立案から研究成果のまとめ方まで」 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年04月		
第 41・42・44 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年05月	－	2013年09月
「歯科医師国家試験とは」 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年05月		
「歯科医師国家試験とは」 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年05月		
予防医学への推進 ー骨粗鬆法スクリーニングと現実ー ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年07月		
教育には人情が必要だ ～ ライセンスを獲得するための教育は特別なのか？ ～ ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年08月		
「心がけている授業スタイル」 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年10月		
第 41・42・44 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2013年11月	－	2014年03月
授業参観の実施結果報告および平成 26 年度歯学部 FD 事業計画 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2014年02月		
平成 26 年度第 1 回歯科医学教育者ワークショップを開催 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2014年06月		
平成 26 年度第 2 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2014年08月		
平成 26 年度第 3 回歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2014年10月		

「歯科大学・歯学部教育の質の保証」,「私立歯科大学協会　教務研修会報告」　2015年02月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
「授業参観、打倒 108 回実施後のアンケート結果」,「平成 27 年度事業計画について」　2015年02月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
「本学の教育・研究の質保証」の第三者による評価について　2015年04月
［活動区分 ：教育上の能力に関する大学等の評価］
平成 27 年度第 1 回歯科医学教育者ワークショップを開催　2015年06月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
平成 27 年度第 2 回歯科医学教育者ワークショップを開催　2015年06月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
平成 27 年度第 3 回歯科医学教育者ワークショップを開催　2015年07月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
「歯学教育認証評価制度等に関して」　2015年08月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
「本学の教育・研究の質保証」の第三者による評価について　2　2015年10月
［活動区分 ：教育上の能力に関する大学等の評価］
「本学の教育・研究の質保証」の第三者による評価について　3　2015年12月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
「授業参観、打倒 109 回実施後のアンケート結果」,「平成 27 年度事業計画について」　2016年02月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］
「教育方法に関する FD 研修会」　2016年03月
［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］

学外の社会活動（高大・地域連携等）

郡山市環境審議会委員　2007年09月　－　2013年03月
［活動区分 ：その他］

歯 学 部

〈臨床系〉

奥羽大学 歯学部 歯学科

山田　嘉重

YAMADA Yoshishige　　生年月日 1965年06月03日

歯学科

出身大学院

東京医科歯科大学・歯学研究科・小児歯科・博士課程　　1996年 修了

取得学位

学士　東京医科歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 准教授［本務］　　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本小児歯科学会
日本レーザー歯学会
日本歯科保存学会
日本歯内療法学会
東北歯内療法学会

論文

1) ブロメラインとオレンジオイルを用いた試作齲蝕象牙質除去剤に対する評価. ［日本歯科保存学会誌, 54（2）,（2011）, 143-153］

山田嘉重，増田宜子，川中岳雄，木村裕一，真鍋厚史，久光 久，藤島昭宏，宮崎隆

2) 各種漂白剤の漂白効果と歯に及ぼす影響. ［日本歯科保存学雑誌, 54（3）,（2011）, 162-168］

木村裕一，今井啓全，佐藤穏子，佐藤克，山崎信夫，山田眞義，天野義和，増田宜子，山田嘉重，亀田歩，木庭健次

3) Nd：YAG レーザーと試作齲蝕象牙質除去剤を併用したう蝕象牙質除去効果の評価. . ［日本レーザー歯学会誌, 22（2,3）,（2011）, 85-92］

山田嘉重，木村裕一

4) Histological examination of experimentally infected root canals after preparation by Er:YAG laser irradiation. ［Laser Med Sci, 26,（2011）, 749-754］

Kimura Y, Tanabe M, Imai H, Amano Y, Masuda Y, Yamada Y

5) Md:YAG レーザーを併用した根管処置. ［Dental Medicine Research, 32（2）,（2012）, 117-121］

山田嘉重

6) Adhesiveness of various glass ionomer cements to tooth cavities treated with Carisolv. ［J Clin Pediatr Dent, 37（2）,（2012）, 117-121］

Yamada Y, Hossain M, Kimura Y, Masuda Y, Asiri JA

7) In vitro guidance of dental pulp cells by Nd:YAG laser-irradiated endothelial cells. ［Photomed Laser Surg, 30,（2012）, 315-319］

Masuda YM, Yamada Y, Kimura Y

8) Removal of organic debris with Er:YAG laser irradiation and microleakage of fissures sealants in vitro. ［Laser Med Sci,（2012）］

Hossain M, Yamada Y, Masuda-Murakami Y, Nakamura Y

9) Effects of tooth coating material and finishing agent on bleached enamel surfaces by KTP laser. ［Laser Therapy, 22（2）,（2013）, 125-130］

Kameda A, Masuda Y, Toko T, Yamada Y, Kimura Y, Tamaki Y, Muyazaki T

10) 逆根管充填材として使用した mineral trioxide aggregate の辺縁封鎖能と硬度における血液汚染物の影響.［日本歯科保存学雑誌, 56（3）,（2013）, 200-207］

佐々木重夫、木村裕一、今井啓全、佐藤穏子、釜田朗、車田文雄、山崎信夫、山田眞義、天野義和、増田宜子、山田嘉重、木庭健治

11) 根管洗浄剤による歯科用充填材に及ぼす影響について。表面形態の観察と表面粗さの分析.［日本歯内療法学会雑誌, 26（1）,（2014）, 16-23］

増田 宜子, 山田 嘉重、木村 裕一, 八幡 祥生, 坂上 斉, 鈴木 重紀, 高林 正行, 藤島 昭宏, 宮崎 隆

12) The study of chitosan-citrate solution as a root canal irrigant: a preliminary report.［Journal of Oral Hygiene & Health,（2014）］

Suzuki S, Masuda Y, Morisaki H, Yamada Y, Kuwata H, Miyazaki T

13) KTP レーザーによる生活歯漂白―褐色鶏卵卵殻を使用した基礎研究―.［日本レーザー歯学会誌, 26（2）,（2015）, 67-72］

木庭健次、木村裕一、山田嘉重、増田宜子、佐藤穏子

総説・解説記事

1) 新しい試作う蝕溶解剤を用いた根管治療の有効性に関する基礎的研究.［別冊 Quintessence 今だからこそ押さえておきたい！ 世界の歯内療法の潮流,（2014）］

山田嘉重、増田宜子、木村裕一、宮崎隆

2) 逆根管充填材として用いた MTA の汚染が封鎖性と微小硬さに及ぼす影響.［別冊 Quintessence 今だからこそ押さえておきたい！ 世界の歯内療法の潮流,（2014）］

木村裕一、山田嘉重、増田宜子、木庭健治

研究発表

根管洗浄剤が歯科用充填剤に及ぼす影響［第 134 回日本歯科保存学会］
（2011年06月09日 － 2011年06月10日）
昭和大学歯科病院歯内治療科における紹介患者の臨床統計［第３２回日本歯内療法学会］
（2011年07月30日 － 2011年07月31日）
血管内皮細胞がラット培養歯髄細胞へ与える影響について［第 135 回日本歯科保存学会］
（2011年10月20日 － 2011年10月21日）
BO 試薬による根管拡大・形成時の操作性向上の可能性に対する検討［第 135 回日本歯科保存学会］
（2011年10月20日 － 2011年10月21日）
破折歯根根管に対する貼薬法への検討［第 11 回日本外傷歯学会］
（2011年11月26日 － 2011年11月27日）
試作新規齲蝕除去剤を用いた齲蝕除去後に使用する修復材への検討［第 49 回日本小児歯科学会］
（2011年11月28日 － 2011年11月29日）
BO 試薬を併用した Er:YAG レーザーによる歯石除去効果の向上に関する検討［第 23 回日本レーザー歯学会］
（2011年12月03日 － 2011年12月04日）
MTA の硬化と裏層剤と接着について［第 136 回日本歯科保存学会］
（2012年06月28日 － 2012年06月29日）
血管内皮細胞と歯髄細胞の共培養がラット培養歯髄細胞の石灰化へ与える影響について［第 136 回日本歯科保存学会］
（2012年06月28日 － 2012年06月29日）
生体に安全な薬剤と超音波洗浄を併用した時のスメアー層除去効果の検討［第 136 回日本歯科保存学会］
（2012年06月28日 － 2012年06月29日）
MTA と各種ボンディング剤を用いたコンポジットレジンとの接着について［第 136 回日本歯科保存学会］
（2012年06月28日 － 2012年06月29日）
BO 試薬を用いた根管処置の有効性に関する基礎的研究［第 137 回日本歯科保存学会］
（2012年11月22日 － 2012年11月23日）
BO 試薬と Er：YAG レーザー併用による齲蝕除去効果促進に関する検討［第 24 回日本レーザー歯学会］
（2012年12月01日 － 2012年12月02日）
Basic study on the effectiveness for root canal treatment with the new prototype caries removal reagent［The 9th world endodontic Congress (HEA2013)］
（2013年05月24日 － 2013年05月26日）

Effects of contamination on sealing ability and microhardness of mineral trioxide aggregate as a root-end filling material［The 9th world endodontic Congress (HEA2013)］
（2013年05月24日 － 2013年05月26日）
Effect of Co-culture of Endothelial cells and Pulp cells on the Gene expression of Angiogenic growth factors［The 9th world endodontic Congress (HEA2013)］
（2013年05月24日 － 2013年05月26日）
根管洗浄剤としてのキトサン含有クエン酸溶液の抗菌効果：基礎的研究［第 138 回日本歯科保存学会］
（2013年06月27日 － 2013年06月28日）
Evaluation of prototype of Caries removal reagents［2nd Meeting of the IADR-Asia Pacific Region］
（2013年08月21日 － 2013年08月23日，tailand）
Evaluation of anitibacterial effect of chitosan-citrate solution［2nd Meeting of the IADR-Asia Pacific Region］
（2013年08月21日 － 2013年08月23日）
胎生マウスにおけるアメロジェニン遺伝子発現様式の検討［第 14 回エナメル質比較発生学懇話会］
（2013年08月29日 － 2013年08月30日）
BO 試薬併用による半導体レーザーのう蝕除去効果の可能性に関する基礎的検討［第 25 回日本レーザー歯学会］
（2013年09月28日 － 2013年09月29日）
クエン酸・酒石酸配合 BO 試薬におけるスミヤー層除去効果向上への検討［第 139 回日本歯科保存学会］
（2013年10月17日 － 2013年10月18日）
根管洗浄剤としてのキトサンークエン酸溶液の評価［昭和歯学会］
（2013年12月07日）
The study of prototype caries removal reagent as for a root canal treatment［The 3rd Trilateral Dental Symposium on “ Advance in Zirconia and its use as a dental materials ”］
（2014年06月14日，東京）
Evaluation of anitibacterial effect of chitosan-citrate solution［ The 3rd Trilateral Dental Symposium on “ Advance in Zirconia and its use as a dental materials ”］
（2014年06月14日）
アルジネート印象材から創製したケイ酸セメントのラット培養歯髄細胞に対する影響について［第 140 回日本歯科保存学会］
（2014年06月19日 － 2014年06月20日）
モルホニン歯科用液の効果的な作用時間［第 140 回日本歯科保存学会］
（2014年06月19日 － 2014年06月20日）
歯科用 CT を用いて歯根破折を診断した症例［第 60 回昭和大学学士会］
（2014年06月28日）
カテキンおよび次亜塩素酸水を用いた試作根管洗浄液による E faecalis への殺菌効果に対する基礎的研究［第 35 回日本歯内療法学会］
（2014年07月13日 － 2014年07月14日，新潟）
試作カテキン根管洗浄液による E faecalis への殺菌効果への検討［第 141 回日本歯科保存学会］
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）
Nd:YAG レーザー照射による血管内皮細胞の血管新生に関与する因子発現への影響について［第 26 回日本レーザー歯学会］
（2014年12月06日 － 2014年12月07日，東京）
失活した根未完成歯に対し revascularization を行った症例［第 61 回昭和歯学会］
（2014年12月06日，東京）
BO 試薬併用による半導体レーザーのう蝕除去効果の可能性に関する基礎的検討（第 2 報）［第 27 回日本レーザー歯学会］
（2015年06月06日 － 2015年06月07日，北海道）
根管内貼薬水酸化カルシウム製剤除去時の根尖孔部からの溢出に対する検討［第 142 回日本歯科保存学会］
（2015年06月25日 － 2015年06月26日，福岡）
非洗浄下における化学ー機械的齲蝕除去法の問題点に関する検討。［第 143 回日本歯科保存学会］
（2015年11月12日 － 2015年11月13日，東京）

担当授業科目

(歯) 保存修復学実習	2015年04月	－	2015年07月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	－	2015年12月
(歯) 保存修復学Ⅱ	2015年04月	－	2015年07月
(歯) 保存修復学Ⅰ	2015年08月	－	2015年12月

学会・委員会等活動

東北歯内療法学会［委員］	2015年10月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

菊井　徹哉

KIKUI Tetsuya

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1993年04月	―	1998年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1998年04月	―	2000年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2000年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学　歯学会
日本口腔外科学会
日本歯科理工学会
JADR/IADR
日本歯科保存学会
日本歯周病学会
日本レーザー歯学会

論文

1) 歯学部４学年学生に対する炭酸ガスレーサー安全使用への教育効果について．［日本レーザー歯学会誌, 23（1），(2011), 2-11］

中　貴弘，菊井徹哉，門倉弘志，和田康弘，和田隆史，金子友紀，西村　翼，川原直樹，佐藤正文，松岡哲明，大塩健司，塩崎洋堂，横瀬敏志

2) 塩化リチウムによるβ-catenin のリン酸化阻害がラット象牙芽細胞分化と ectodin 発現に及ぼす影響について．［日本歯科保存学雑誌, 56（3），(2013), 231-238］

門倉弘志，山崎崇秀，和田康弘，菊井徹哉，西村　翼，廣瀬公治，天野義和，横瀬敏志

3) 骨粗鬆層モデル動物における炭酸ガスレーザーの組織学的検討．［日本歯科保存学雑誌, 56（5），(2013), 468-476］

和田康弘，門倉弘志，西村　翼，山崎崇秀，菊井徹哉，横瀬敏志

その他教育活動及び特記事項

第４学年　保存修復学　Ⅱ ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
講義実習の捕捉資料の製作 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	―	継続中
第４学年　保存修復学　実習指針 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	―	継続中
日本歯科保存学会　認定医（９７６号） ［活動区分 ：その他特記事項］	2004年07月	―	継続中
スキー部顧問 ［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］	2005年04月	―	継続中
第３学年　保存修復学　Ⅰ ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
第６学年　臨床総合講義 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2006年07月	―	継続中
第４学年　総合学習Ⅱ　演習 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第３学年　総合学習Ⅱ ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第３学年　総合学習Ⅳ ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2008年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

田中　恵梨

Tanaka Eri

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

昆野　加奈子

KONNO Kanako

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

木村　裕一

KIMURA Yuichi　　生年月日 1960年03月15日

歯学科

出身大学院

九州大学・歯学研究科・歯学基礎系口腔生化学専攻・博士課程　　1989年 修了

取得学位

博士　九州大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］　　2007年10月　－　継続中

所属学会・委員会

日本レーザー歯学会
日本歯周病学会
日本歯内療法学会
日本歯科保存学会
日本歯科用レーザー学会
日本外傷歯学会
日本歯科医学教育学会
奥羽大学歯学会

論文

1) ブロメラインとオレンジオイルを用いた試作齲蝕象牙質除去剤に対する評価. ［日本歯科保存学雑誌, 54（2）,（2011）, 142-153］

山田嘉重、増田宜子、川中岳雄、木村裕一、真鍋厚史、久光久、藤島昭宏、宮崎隆

2) 各種漂白剤の漂白効果と歯に及ぼす影響. ［日本歯科保存学雑誌, 54（3）,（2011）, 162-168］

木村裕一、今井啓全、佐藤隠子、佐藤克、山崎信夫、山田眞義、天野義和、増田宜子、山田嘉重、亀田歩、木庭健次

3) Nd:YAG レーザーと試作う蝕象牙質除去剤を併用したう蝕象牙質除去効果の評価. ［日本レーザー歯学会誌, 22（2,3）,（2011）, 85-92］

山田嘉重、木村裕一

4) レーザー併用によるオフィスブリーチング法の短期臨床評価. ［日本歯科用レーザー学会誌, 2（1）,（2011）, 11-16］

木庭健次、木村裕一

5) Histological examination of experimentally infected root canals after preparation by Er:YAG laser irradaiation. ［Lasers in Medical Science, 26（6）,（2011）, 749-754］

Kimura Y, Tanabe M, Imai H, Amano Y, Masuda Y, Yamada Y

6) In vitro guidance of dental pulp cells by Nd:YAG laser-irradiated endothelial cells. ［Photomedicine and Laser Surgery, 30,（2012）, 315-319］

Masuda YM, Yamada Y, Kimura Y

7) Adhesiveness of various glass ionomer cements in cavities treated with Carisolv. ［Journal of Clinical Pediatric Dentistry, 37,（2012）, 183-187］

Yamada Y, Masuda Y, Kimura Y, Hossain M, Hisamitsu H

8) Effects of tooth coating material and finishing agent on bleached enamel surfaces by KTP laser. ［Laser Therapy, 22,（2013）, 125-130］

Kameda A, Murakami-Masuda Y, Toko T, Yamada Y, Kimura Y, Tamaki Y, Miyazaki T

9) Effects of blood contamination on sealing ability and micro hardness of mineral trioxide aggregate used as a root-end filling material. ［日本歯科保存学雑誌, 56,（2013）, 200-207］

Sasaki S, Kimura Y, Imai H, Sato Y, Kameda A, Kurumada F, Yamazaki N, Yamada M, Amano Y Masuda Y, Yamada Y, Koba K

10) 根管洗浄剤による歯科用充**塡**材に及ぼす影響について -表面形態の観察と表面粗さの分析-. [日本歯内療法学会雑誌, 35 (1), (2014), 16-23]

増田宜子, 山田善重, 木村裕一, 八幡祥生, 坂上 斉, 鈴木重紀, 高林正行, 藤島昭宏, 宮崎 隆

11) Management of tooth and observation of external root surface with extrusion of calcium hydroxide-containing paste. [Dentistry, 5 (5), (2015), 301-304]

Masuda YM, Suzuki S, Matsuda Y, Kimura Y, Miyazaki T

12) Mineral trioxide aggregate induces osteoblastogenesis via Aft6. [Bone Rep, 2, (2015), 36-43]

Maeda T, Suzuki A, Baba Y, Yuzawa S, Kimura Y, Kato Y

13) KTP レーザーによる生活歯漂白 –褐色鶏卵卵殻を使用した基礎研究- . [日本レーザー歯学会誌, 26 (2), (2015), 67-72]

木庭健次、木村裕一、山田嘉重、増田宜子、佐藤穏子

14) ニッケルチタンロータリーファイル破断面の金属特性—X 線回折と走査電子顕微鏡による所見—. [日本歯内療法学会雑誌, 37 (1), (2016), 25-30]

木村裕一、山田嘉重、増田宜子、木庭健次、神庭一郎

著書

1) 歯内治療学. [医歯薬出版,2012]

中村 洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史 編

2) 新しい Ni-Ti 製ファイルの歯内療法. [クインテッセンス,2014]

木村裕一

3) エンドドンティクス 第 4 版. [永末書店,2015]

木村裕一、他

総説・解説記事

1) 新しい試作齲蝕溶解剤を用いた根管治療の有効性に関する基礎的研究. [別冊クインテッセンス(YEARBOOK2014), (2014), 88-89]

山田嘉重、増田宜子、木村裕一、宮崎 隆

2) 逆根管充**塡**材として用いた MTA の汚染が封鎖性と微小硬さに及ぼす影響. [別冊クインテッセンス (YEARBOOK2014), (2014), 146-148]

木村裕一、山田嘉重、増田宜子、木庭健次

3) WaveOne の選択基準の視点から. [新しい Ni-Ti 製ファイルの歯内療法, (2014), 59-65]

木村 裕一

その他研究活動

日本学術振興会審査委員　2014年 ー 2016年

研究発表

各種試作合成 MTA セメントによる培養細胞に及ぼす影響 [日本歯科保存学会春季学術大会（第 134 回）]
（2011年06月09日 ー 2011年06月10日，浦安）

高出力 Er:YAG レーザーの根管口部拡大への応用に関する基礎的研究 [日本歯内療法学会]
（2011年07月30日 ー 2011年07月31日，長崎）

Treatment and prognosis of root resorption using periradicular surgery after traumatic injury[アジア国際外傷歯学会]
（2011年09月03日 － 2011年09月04日，名古屋）
高出力 Er:YAG レーザーの根尖切除術への応用に関する基礎的研究 [日本歯科用レーザー学会]
（2011年09月10日 － 2011年09月11日，名古屋）
酸化チタン含有試作合成 MTA セメントによる MC3T3-E1 細胞の分化促進作用 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 135 回）]
（2011年10月20日 － 2011年10月21日，大阪）
BO 試薬による根管拡大•形成時の操作性向上の可能性に対する検討 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 135 回）]
（2011年10月20日 － 2011年10月21日，大阪）
破折歯根根管に対する貼薬法への検討 [日本外傷歯学会]
（2011年11月26日 － 2011年11月27日，札幌）
BO 試薬を併用した Er:YAG レーザーによる歯石除去効果の向上に関する検討 [日本レーザー歯学会]
（2011年12月03日 － 2011年12月04日，大阪）
高出力 Er:YAG レーザーの根尖切除法への応用に関する基礎的研究 [日本歯内療法学会]
（2012年06月16日 － 2012年06月17日，東京）
BO 試薬を用いた根管処置の有効性に関する基礎的研究 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 137 回）]
（2012年11月22日 － 2012年11月23日，広島）
Er:YAG レーザー併用による齲蝕除去効果促進に関する検討 [日本レーザー歯学会]
（2012年12月01日 － 2012年12月02日，神戸）
Effects of contamination on sealing ability and micro hardness of mineral trioxide aggregate as a root-end filling material[The 9th World Endodontic Congress]
（2013年05月23日 － 2013年05月26日，東京）
根未完成歯の長期的観察 [日本歯科保存学会春季学術大会（第 138 回）]
（2013年06月27日 － 2013年06月28日，福岡）
ニッケルチタンロータリーファイルの破折特性 –X 線回折と走査電子顕微鏡による所見-[日本歯科保存学会春季学術大会（第 138 回）]
（2013年06月27日 － 2013年06月28日，福岡）
外傷歯の歯内治療における自由診療 -永久歯を中心として-[日本外傷歯学会]
（2013年07月20日 － 2013年07月21日，所沢）
Er:YAG レーザーを用いた根管形成の可能性について [日本レーザー歯学会]
（2013年09月28日 － 2013年09月29日，東京）
BO 試薬併用による半導体レーザーのう蝕除去の可能性に対する基礎的研究 [日本レーザー歯学会]
（2013年09月28日 － 2013年09月29日，東京）
クエン酸•酒石酸配合 BO 試薬におけるスミヤー層除去効果向上への検討 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 139 回）]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 4 報）[日本歯科保存学会秋季学術大会（第 139 回）]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田）
各種シーラーが垂直加圧根管充**塡**時の到達度と根尖封鎖性に及ぼす影響 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 139 回）]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第 5 報）[日本歯科保存学会春季学術大会（第 140 回）]
（2014年06月19日 － 2014年06月20日，大津）
Mineral Trioxide Aggregate セメントの骨形成作用 [奥羽大学歯学会]
（2014年06月21日，郡山）
カテキンおよび次亜塩素酸水を用いた試作根管洗浄液による E faecalis への殺菌効果に対する基礎的研究 [日本歯内療法学会]
（2014年07月12日 － 2014年07月13日，新潟）
試作カテキン根管洗浄液による E faecalis への殺菌効果への検討 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）
掌蹠膿疱症と診断された患者の根管治療症例 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）
髄腔模型歯を用いた根管形成と根管充**塡**実習の評価 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）
MTA による ATF6 を介した骨芽細胞の石灰化促進作用 [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）
生活歯漂白方法の比較検討—卵殻による漂白効果の評価ならびに表面粗さー [日本歯科保存学会秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）

税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）[日本歯科保存学会秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形）
レーザー治療はどこから来て、どこへ行こうとしているのか？ 現在、過去、未来：Er:YAG レーザーの特徴と歯科への応用例 [第 14 回日本歯科用レーザー・ライト学会総会・学術大会]
（2014年11月01日 － 2014年11月02日，大阪）
KTP レーザー併用によるオフィスブリーチング法の基礎的研究 [日本レーザー歯学会]
（2014年12月06日 － 2014年12月07日，東京）
“ 各種レーザーの基礎と臨床 ”「レーザーの歯科保存領域への応用」[日本レーザー歯学会]
（2014年12月06日 － 2014年12月07日，東京）
Nd:YAG レーザー照射によるラット血管内皮細胞の血管新生に関与する因子発現への影響について [日本レーザー歯学会]
（2014年12月06日 － 2014年12月07日，東京）
BO 試薬併用による半導体レーザーのう蝕除去の可能性に対する基礎的検討（第 2 報）[第 27 回日本レーザー歯学会]
（2015年06月06日 － 2015年06月07日，札幌）
奥羽大学歯学部附属病院における Er:YAG レーザーの使用状況について [第 59 回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日，郡山市）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）第 2 報 [第 142 回日本歯科保存学会春季学術大会]
（2015年06月25日 － 2015年06月26日，北九州）
根管内貼薬水酸化カルシウム製剤除去時の根尖孔部からの溢出に対する検討 [第 142 回日本歯科保存学会春季学術大会]
（2015年06月25日 － 2015年06月26日，北九州）
非洗浄下における化学ー機械的齲蝕除去法の問題点に関する検討 [第 143 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2015年11月12日 － 2015年11月13日，東京）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）第 3 報 [第 143 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2015年11月12日 － 2015年11月13日，東京）

担当授業科目

歯内療法学実習	2007年10月	－	継続中
歯内療法学	2007年11月	－	継続中
臨床総合講義	2007年11月	－	継続中
臨床実習 (PBL 含む)	2008年07月	－	継続中
臨床実習	2011年04月	－	2012年03月
臨床実習	2011年04月	－	2011年06月
歯内療法学	2011年04月	－	2012年01月
歯科医学概論	2011年06月		
臨床総合講義	2011年07月	－	2011年12月
歯科医学史	2011年09月		
歯内療法学実習	2011年09月	－	2012年01月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2012年06月
(歯) 歯内療法学	2012年04月	－	2012年06月
(歯) 臨床実習	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 歯科医学演習	2012年04月		
(歯) 診療視覚教育	2012年04月		
(歯) 歯科医学史	2012年10月		
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 臨床実習	2013年04月	－	2013年06月
(歯) 歯内療法学	2013年04月	－	2014年01月
(歯) 歯科医学演習	2013年04月		
(歯) 診療視覚教育	2013年04月		
(歯) 臨床総合講義	2013年07月	－	2013年12月
(歯) 歯内療法学実習	2013年09月	－	2014年01月
(歯) 歯科医学史	2013年10月		
(歯) 臨床実習	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 歯内療法学	2014年04月	－	2014年12月
(歯) 歯科医学演習	2014年04月		
(歯) 診療視覚教育	2014年04月		
(歯) 臨床総合講義	2014年07月	－	2014年12月
(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	－	2014年12月
(歯) 歯科医学史	2014年10月		

(歯) 臨床実習	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 歯内療法学	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 臨床歯学概論	2015年04月		
(歯) 歯科医学演習	2015年04月		
(歯) 歯内療法学実習	2015年09月	―	2015年12月
(歯) 医療倫理学	2015年12月		

学会・委員会等活動

日本歯科用レーザー学会［理事］	2001年04月	―	2015年03月
日本外傷歯学会［理事］	2007年10月	―	継続中
日本歯内療法学会［理事］	2008年01月	―	2015年12月
日本歯科保存学会［理事］	2008年07月	―	継続中
日本レーザー歯学会［理事］	2009年04月	―	継続中
日本歯内療法学会［認定審議会副委員長］	2010年01月	―	継続中
日本レーザー歯学会［認定委員会 委員長］	2013年01月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

附属病院臨床教育セミナー ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2013年07月
九州大学歯学部同窓会関東支部会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2013年12月
奥羽大学発健康宣言 2014 ［活動区分 ：公開講座］	2014年09月
天童市・東村山郡歯科医師会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2014年10月

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐々木　重夫

SASAKI Shigeo　　生年月日 1957年04月11日

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学　准教授［本務］　　2007年04月　－　継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔衛生学会
東北地区歯科医学会
有限責任中間法人日本歯科小児学会
有限責任中間法人日本障害者歯科学会
特定非営利活動法人日本日本歯科保存学会
日本歯科色彩学会
日本歯科医療管理学会
日本歯科医学教育学会

論文

1) 全身的合併症を有する患者における局所麻酔後の循環変動についての臨床的検討.［日本歯科医療管理学会雑誌, 46（1）,（2011）, 42-47］

田中克典，川合宏仁，島村和宏，山崎信也，釜田　朗，佐々木重夫，齋藤高弘

2) 下顎第一小臼歯過剰根（４歯）のエックス線による根管の観察.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 199-205］

田中　茂之，塩野　正幸，高橋　和裕，佐々木　重夫，齋藤　高弘

3) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み―郡山市避難所における支援活動の概要―.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 224-229］

佐々木重夫，相澤徳久，菊井徹哉，鈴木文章，鈴木史彦，長岡正博，西本秀平，高橋和裕，大野　敬

4) Effects of Blood Contamination on Sealing Ability and Microhardness of Mineral Trioxide.［日本歯科保存学雑誌, 52（4）,（2013）, 340-347］

Shigeo Sasaki,　Yoshimasa Yamada,　Yasuko Satou,　Yuichi Kimura

5) ＷＰＷ症候群と開口障害を合併した障害者の全身麻酔下歯科治療経験.［奥羽大学歯学誌, 40（2）,（2013）, 111-116］

川合宏仁，小松泰典，福島雅啓，八木下　健，渡辺正博，鈴木史彦，佐々木重夫，山崎信也

研究発表

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その２）［第 52 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会］
（2011年07月09日　－　2011年07月10日，神奈川県歯科医師会館）

インプラント手術に対する静脈内鎮静法の検討―ブトルファノール・ミダゾラム・デクスメデトミジンとブトルファノール・ミダゾラム・プロポフォールの比較―［第 52 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会］
（2011年07月09日　－　2011年07月10日，神奈川県歯科医師会館）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その２）［日本歯科医療管理学会平成 23 年度東北支部総会・第 15 回学術大会］
（2011年10月16日，山形県歯科医師会館）

2011 年３月 11 日から半年間の当院周辺の変化と対応［日本歯科医療管理学会平成 23 年度東北支部総会・第 15 回学術大会］
（2011年10月16日，山形県歯科医師会館）

スペシャルオリンピックスに参加して―その２　ボランティア・スタッフの意識調査―［第 53 回奥羽大学歯学会］
（2012年06月16日，奥羽大学）

スペシャルオリンピックスに参加して―その１　ボランティア活動の概要―[第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日，奥羽大学）
知的障害者に対するボランティア・スタッフの意識調査―スペシャルオリンピックスにおけるアンケートから―[第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月07日 － 2012年07月08日，沖縄県男女共同参画センター“てぃるる”）
シミュレーション実習の評価―平成 21 年度と平成 23 年度との比較―[第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月07日 － 2012年07月08日，沖縄県男女共同参画センター“てぃるる”）
系統的脱感作により全身麻酔を回避し得た Eizenmenger 症候群患者の１例 [第 29 回一般社団法人日本障害者歯科学会総会および学術大会]
（2012年09月28日 － 2012年09月30日，札幌コンベンションセンター）
スペシャルオリンピックスにおけるボランティア活動 [第 29 回一般社団法人日本障害者歯科学会総会および学術大会]
（2012年09月28日 － 2012年09月30日，札幌コンベンションセンター）
東日本大震災における奥羽大学の取り組み―郡山市避難所における支援活動―[第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月10日 － 2012年11月11日，インテックス大阪）
根未完成歯の長期的観察 [特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会（第 138 回）]
（2013年06月27日 － 2013年06月28日，福岡国際会議場）
ニッケルチタンロータリーファイルの破折特性―Ｘ線回折と走査電子顕微鏡による所見―[特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会（第 138 回）]
（2013年06月27日 － 2013年06月28日，福岡国際会議場）
全身麻酔導入直後に嘔吐をくり返す知的障害者の全身麻酔経験 [第 30 回日本障害者歯科学会総会および学術大会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日，神戸国際展示場）
上顎前歯部の経過観察にクラウンフォーマーを用いた症例 [第 30 回日本障害者歯科学会総会および学術大会]
（2013年10月11日 － 2013年10月12日，神戸国際展示場）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導（第４報）[特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会（第 139 回）]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田県総合生活文化会館（アトリオン））
各種シーラーが垂直加圧根管充**塡**時の充**塡**材到達度と根尖封鎖性に及ぼす影響 [特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会（第 139 回）]
（2013年10月17日 － 2013年10月18日，秋田県総合生活文化会館（アトリオン））
中枢神経の先天性髄鞘形成不全を伴う患児の日帰り全身麻酔経験 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第１７回学術大会]
（2013年11月17日，一般社団法人青森県歯科医師会館）
奥羽大学歯学部附属病院におけるヒヤリハット医療事故報告―平成２０年度から平成２４年度について―[日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第１７回学術大会]
（2013年11月17日，一般社団法人青森県歯科医師会館）
奥羽大学歯学部附属病院における障がい者歯科診療の流れ [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第１７回学術大会]
（2013年11月17日，一般社団法人青森県歯科医師会館）
院内でＣＰＡとなった１例 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部総会・第１７回学術大会]
（2013年11月17日，一般社団法人青森県歯科医師会館）
掌蹠膿胞症と診断された患者の根管治療症例 [特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2014 年度秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形テルサ）
税務署職員における口腔衛生指導（航空自衛隊隊員との比較）[特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2014 年度秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形テルサ）
生活歯漂白方法の比較検討―卵殻による漂白効果の評価ならびに表面粗さ―[特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2014 年度秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形テルサ）
髄腔模型歯を用いた根管形成と根管充**塡**実習の評価 [特定非営利活動法人日本歯科保存学会 2014 年度秋季学術大会（第 141 回）]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日，山形テルサ）
総合歯科における歯科診療特別対応の流れ [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，奥羽大学歯学部附属病院）
東日本大震災後の障がいのある人の歯科保健に関するアンケート調査 [第 31 回日本障害者歯科学会総会および学術大会]
（2014年11月14日 － 2014年11月16日，仙台国際センター）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会総会および学術大会]
（2014年11月14日 － 2014年11月16日，仙台国際センター）

福島県における震災後の歯科に関するアンケート調査　―県内の障がいのある方への調査―[日本歯科医療管理学会平成 26 年度東北支部総会・第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，一般社団法人岩手県歯科医師会館（8020プラザ））
当院における日帰り全身麻酔 6 年間 1,037 例における回復時間の統計 [日本歯科医療管理学会平成 26 年度東北支部総会・第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，一般社団法人岩手県歯科医師会館（8020プラザ））

担当授業科目

臨床実習	2011年04月	―	2012年03月
歯内療法学	2011年04月	―	2011年05月
臨床総合演習	2011年06月	―	2012年01月
歯内療法学実習	2011年09月	―	2012年01月
CBL 演習	2011年11月		
(歯) 臨床実習	2012年04月	―	2013年03月
(歯) 歯内療法学	2012年04月	―	2012年05月
(歯) 歯内療法学	2012年07月		
(歯) 歯内療法学実習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 歯内療法学	2012年10月	―	2013年01月
(歯)CBL 演習	2012年11月		
(歯) 臨床実習	2013年04月	―	2014年03月
(歯) 歯内療法学実習	2013年04月	―	2013年05月
(歯) 臨床総合講義	2013年05月		
(歯) 歯科医学演習	2013年07月		
(歯) 臨床総合演習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 歯内療法学実習	2013年09月	―	2014年01月
(歯)CBL 演習	2013年11月		
(歯) 臨床実習	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 歯科医学演習	2014年04月		
(歯) 臨床総合講義	2014年04月		
(歯) 歯科医学演習	2014年04月		
(歯) 臨床総合講義	2014年05月		
(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 歯内療法学	2014年10月	―	2014年12月
(歯)CBL 演習	2014年11月		
(歯) 臨床総合講義	2015年04月		
(歯) 歯科医学演習	2015年04月		
(歯) 歯科医学演習	2015年04月		
(歯) 臨床総合講義	2015年06月		
(歯) 歯科医学演習	2015年06月		
(歯) 歯科医学演習	2015年06月		

その他教育活動及び特記事項

液晶プロジェクターの活用 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
国家試験対策 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
口頭試問の実施 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
模型実習デモ実施 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
ロールプレイ演習の実施 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2004年10月	―	継続中
実習書作成 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2004年10月	―	継続中
歯学部 1 年生におけるミラーテクニック体験学習の有用性―平成 17 年度および平成 18 年度の比較―、第 43 回奥羽大学歯学会 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2006年06月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐藤　穏子

SATO Yasuko

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部　研修医［本務］	1994年04月	―	1995年03月
奥羽大学歯学部　助手［本務］	1995年05月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部　講師［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本歯科保存学会
日本歯科色彩学科
口腔インプラント学会
日本障害者歯科学会
日本レーザー歯学会

論文

1) 各種漂白剤の漂白効果と歯に及ぼす影響.［日本歯科保存学雑誌, 54（3）,（2011）, 162-168］

木村裕一, 今井啓全, 佐藤穏子, 佐藤　克, 山崎信夫, 山田眞義, 天野義和, 増田宜子, 山田嘉重, 亀田　歩, 木庭健次

2) Effects of Blood Contamination on Sealing Ability and Microhardness of Mineral Trioxide Aggregate Used as a Root-end Filling Material.［Jpn J. Conserv. Dent, 56（3）,（2013）, 200-207］

SASAKI Shigeo, KIMURA Yuichi, IMAI Hiroaki, SATO Yasuko, KAMADA Akira, KURUMADA Fumio, YAMAZAKI Nobuo, YAMADA Masayoshi, AMANO Yoshikazu, MASADA Yoshiko, YAMADA Yoshishige and KOBA Kenji

3) 適正な医療記録への取り組み―診療報酬査定―.［奥羽大歯学誌, 40（3）,（2013）, 139-143］

清野孝晃，杉田俊博，佐藤穏子，濱田智弘，原田卓哉，高橋和裕

4) KTP レーザーによる生活歯漂白―褐色鶏卵卵殻を使用した基礎研究―.［日本レーザー歯学会誌,（2015）］

木庭健次，木村裕一，山田嘉重，増田宜子，佐藤穏子

研究発表

スペシャルオリンピックスにおけるボランティア活動［第 29 回日本障害者歯科学会］
（2012年09月28日 ― 2012年09月30日）
感染防止対策の取り組みと感染防止対策チーム (ICT) 活動［第 54 回奥羽大学歯学会］
（2012年11月10日）
診療録整備委員会の業務［第 55 回奥羽大学歯学会］
（2013年06月15日）
根未完成歯の長期的観察［第 138 回日本歯科保存学会春季学術大会］
（2013年06月27日 ― 2013年06月28日）
ニッケルチタンファイルとロータリーファイルの破折特性―X線解析と走査電子顕微鏡による所見―［第 138 回日本歯科保存学会春季学術大会］
（2013年06月27日 ― 2013年06月28日）
上顎前歯部の経過化観察にクラウンフォーマーを用いた症例［第 30 回障害者歯科学会学術大会］
（2013年10月11日 ― 2013年10月13日）
航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導 (第 4 報)［第 139 回日本歯科保存学会秋季学術大会］
（2013年10月16日 ― 2013年10月17日）
各種シーラーが垂直加圧根管充**塡**時の充**塡**材到達度と根尖封鎖性に及ぼす影響［第 139 回日本歯科保存学会秋季学術大会］
（2013年10月16日 ― 2013年10月17日）

航空自衛隊大滝根山分屯基地における口腔衛生指導 (第５報) [第 140 回日本歯科保存学会春季学術大会]
（2014年06月19日 － 2014年06月20日）
税務署職員における口腔衛生指導 (航空自衛隊員との比較) [第 141 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日）
髄腔模型歯を用いた根管形成と根管充**塡**実習の評価 [第 141 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日）
生活歯漂白方法の比較検討―卵殻による漂白効果の評価ならびに表面粗さ―[第 141 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2014年10月30日 － 2014年10月31日）
掌蹠膿胞症と診断された患者の根管治療症例 [第 141 回日本歯科保存学会秋季学術大会]
（2014年10月31日）
総合歯科における歯科診療特別対応の流れ [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回障害者歯科学会学術大会]
（2014年11月14日 － 2014年11月16日）
奥羽大学歯学部附属病院における Er:YAG レーザーの使用状況について [奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日）
税務署職員における口腔衛生指導 (航空自衛隊隊員との比較)　第２報 [日本歯科保存学会]
（2015年06月25日 － 2015年06月26日）
税務署職員における口腔衛生指導 (航空自衛隊員との比較) 第 3 報 [第 142 回日本歯科保存学会春季大会]
（2015年11月12日 － 2015年11月13日，東京都）

担当授業科目

臨床実習	2003年04月	－	継続中
歯内療法学実習	2003年10月	－	継続中
臨床総合演習	2005年10月	－	継続中
歯内療法学	2011年06月		
(歯) 歯内療法学	2012年06月		
(歯) 歯内療法学	2013年06月		
(歯) 歯内療法学	2014年04月		
(歯) 歯内療法学	2014年04月		
(歯) 歯科医学演習	2014年04月		
(歯) 臨床総合講義	2014年05月		
(歯) 歯内療法学	2014年05月		
(歯) 歯内療法学	2014年05月		
(歯) 歯内療法学	2014年05月		
(歯) 歯内療法学	2014年06月		
(歯) 歯内療法学	2014年06月		
(歯) 歯内療法学	2014年06月		
(歯) 臨床総合講義	2014年06月		
(歯) 歯科医学演習	2014年07月		
(歯) 歯内療法学	2014年10月		
(歯) 歯内療法学	2015年04月		
(歯) 歯内療法学	2015年04月		
(歯) 歯内療法学	2015年04月		
(歯) 歯科医学演習	2015年04月		
(歯) 歯科医学演習	2015年04月		
(歯) 歯内療法学	2015年05月		

その他教育活動及び特記事項

模型実習デモの実施 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年09月	－	継続中
液晶プロジェクターの活用 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2010年04月	－	継続中
口頭試問の実施 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2010年04月	－	継続中
実習書作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2010年09月	－	継続中
歯学部第 4 学年クラス担任 (4 組) ［活動区分 ：クラス担任］	2011年04月	－	2012年03月
平成 23 年度歯科医師臨床研修プログラム責任者講習会受講 ［活動区分 ：その他特記事項］	2012年03月		

第 54 回歯科基礎医学会学術大会にスタッフとして参加　2012年09月
［活動区分 ：その他特記事項］
平成 24 年度臨床教育力養成研修会にタスクフォースとして参加　2012年09月
［活動区分 ：その他特記事項］
平成 24 年度共用試験歯学系 OSCE 評価者養成 WS 参加 (協力支援スタッフ)　2012年09月
［活動区分 ：その他特記事項］
個人情報管理 · 担当責任者養成研修会　アドバンストコース　受講　2012年11月
［活動区分 ：その他特記事項］

学会・委員会等活動

日本歯科色彩学科［評議員］　2001年04月　－　継続中
日本歯科保存学会［評議員］　2003年04月　－　継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

附属病院公開研修セミナー　2011年06月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
歯科健診　2011年08月
［活動区分 ：その他］
歯科健診　2012年09月
［活動区分 ：その他］
歯科健診　2013年07月
［活動区分 ：その他］
歯科健診　2014年06月
［活動区分 ：その他］
附属病院臨床教育セミナー　2015年07月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
歯科健診　2015年07月
［活動区分 ：その他］

奥羽大学 歯学部 歯学科

長崎　慶太

NAGASAKI Keita

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　2010年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2010年04月	―	2011年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2011年04月	―	2016年03月

所属学会・委員会

奥羽歯学会

著書

1) PRACTICE IN ROOT CANAL PREPARATION AND FILLING. [PRACTICE IN ROOT CANAL PREPARATION AND FILLING,2015]

木村裕一、佐々木重夫、佐藤穏子、長崎慶太、中條雅人、高橋範之、山崎信夫、山田真義

担当授業科目

(歯) 臨床総合演習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 歯内療法学実習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 臨床実習	2013年04月	―	2014年03月
(歯) 臨床総合演習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 歯内療法学実習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 臨床実習	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	―	2015年12月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

中條　雅人

NAKAJYO Masato

歯学科

取得学位

学士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 助手［本務］	2004年04月	―	2008年03月
奥羽大学歯学部 講師［本務］	2008年04月	―	継続中

担当授業科目

臨床実習 (PBL も含む)	2010年04月	―	継続中
臨床総合演習	2010年09月	―	継続中
(歯) 歯内療法学実習	2012年09月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

臨床実習 PBL を中心とした臨床に即した独自の実習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
臨床実習のシミュレーション実習の実習書作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
歯科医療人間学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ 少人数制による学習，グループ討議，ビデオによる態度教育，早期体験学習（学内診療室見学，開業歯科医院の見学） ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
歯科医療人間学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳの配付資料作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2007年04月	―	継続中
統合科目Ⅱ演習（診療科学） シミュレーション用ファントムによる実習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

高橋　範之

TAKAHASHI Noriyuki　　生年月日 1979年04月25日

歯学科

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会

担当授業科目

(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	―	継続中
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

山崎　康彦

YAMASAKI Yasuhiko

歯学科

取得学位

学士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2012年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会

担当授業科目

(歯) 保存修復学実習	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 臨床総合演習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 歯内療法学実習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 歯周病学実習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 臨床総合演習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 歯内療法学実習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	―	2014年12月

奥羽大学 歯学部 歯学科

池田　悠太郎

Ikeda Yutaro

歯学科

取得学位

学士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2014年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会

担当授業科目

(歯) 臨床実習	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐川　優

Sagawa Suguru

歯学科

担当授業科目

(歯) 臨床実習	2014年04月	ー	2015年03月
(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	ー	2014年12月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	ー	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	ー	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

神庭　一郎

Kamba Ichiro

歯学科

取得学位

学士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2014年04月　ー　2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本歯内療法学会
日本歯科保存学会

論文

1) ニッケルチタンロータリーファイル破断面の金属特性ーx 線回折と走査電子顕微鏡による所見ー.［日本歯内療法学会雑誌,（2016）］

木村裕一, 山田嘉重, 増田宜子, 木庭健次, 神庭一郎

担当授業科目

(歯) 臨床実習	2014年04月	ー	2015年03月
(歯) 歯内療法学実習	2014年09月	ー	2014年12月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	ー	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	ー	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

茂呂　有司

Moro Yuji　　生年月日 1987年12月11日

歯学科

取得学位

学士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2015年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本矯正歯科学会
東北矯正歯科学会
日本口蓋裂学会

担当授業科目

(歯) 臨床実習	2015年04月	―	継続中
臨床総合講義	2015年04月	―	継続中
(歯) 歯内療法学実習	2015年04月	―	継続中
(歯) 臨床総合演習	2015年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［会員］	2013年04月	―	継続中
日本矯正歯科学会［会員］	2015年06月	―	継続中
日本口蓋裂学会［会員］	2015年06月	―	継続中
東北矯正歯科学会［会員］	2015年06月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

高橋　慶壮

TAKAHASHI Keiso　　生年月日 1963年03月07日

歯学科

出身大学院

岡山大学・歯学研究科・歯周病学・博士課程　　1992年 修了

取得学位

博士　岡山大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 教授［本務］　　2007年10月　－　継続中

所属学会・委員会

日本歯周病学会
日本歯科保存学会
国際歯科学術会議
American Academy of Periodontology
日本顎咬合学会
日本歯内療法学会
日本口腔インプラント学会

論文

1) 歯周病学および歯内療法学における誤謬とパラダイムシフトに学ぶ.［日本歯科医師会雑誌, 64 (5), (2011), 39-52］

高橋慶壮

2) Using cellular automata experiments to model periodontitis: A first theoretical step towards understanding the nonlinear dynamics of periodontitis. .［International Journal of Bifurcation and Chaos, 22, (2012), 2417-2434］

Papantonopoulos G, Takahashi K, Bountis T, Loos BG

3) Aggressive Periodontitis Patients can be Defined by Recursive Partitioning Analysis of Immunologic Factors..［J. Periodontology , 84 (7), (2013), 974-984］

Papantonopoulos G, Takahashi K, Bountis T, Loos BG

4) Mathematical Modeling suggests that Periodontitis behaves as a Nonlinear Chaotic Dynamical Process. .［J. Periodontology, 84 (10), (2013), e29-e39］

3. Papantonopoulos G, Takahashi K, Bountis T, Loos BG.

5) Artificial neural networks for the diagnosis of aggressive periodontitis trained by immunologic parameters..［PLoS ONE, 9 (3), (2014), e89757-e］

Papantonopoulos G, Takahashi K, Bountis T, Loos B.

著書

1) インプラント時代の歯周マネジメント.［デンタルダイヤモンド社,2011］

高橋慶壮

2) 臨床歯周病学第２版.［医歯薬出版,2013］

高橋慶壮

3) 歯内療法学専門用語集.［医歯薬出版,2013］

高橋慶壮

4) 歯内療法　成功への道　偶発症・難症例への対応.［ヒョウロン,2014］

高橋慶壮

5) 歯内療法における臨床思考の技術. [デンタルダイヤモンド社,2014]
高橋慶壮

6) インプラントデンィストリー　エンサイクロペディア. [クインテッセンス出版,2014]
高橋慶壮

7) 考えるエンドドンティクス　―根管形成と根管充**塡**の暗黙知と形式知―. [クインテッセンス出版,2015]
高橋慶壮

8) 患者さんに語るシンプル歯周治療. [医歯薬出版,2016]
吉江弘正、和泉雄一、多部田康一、高橋慶壮、他

総説・解説記事

1) 歯周・歯内複合病変に対する診断と治療のポイント. [Dental Diamond, 36 (10), (2011), 40-45]
高橋慶壮

2) インプラント周囲炎のリスクファクターとしての歯周炎. [奥羽大学歯学誌, 39 (2), (2012), 56-56]
高橋慶壮

3) 歯内―歯周（エンドーペリオ）複合病変の臨床　―リスク、不確実性、臨床推論および臨床決断―　. [日本歯科評論, 73 (4), (2013), 45-58]
高橋慶壮

4) 歯周病の基礎科学と臨床科学 ―歯周病学と歯周治療学―. [日本歯周病学会会誌, 55 (2), (2013), 121-131]
高橋慶壮

研究発表

プロライン®の抗ストレス活性 [第 54 回日本歯周病学会春季大会]
（2011年05月27日 － 2011年05月28日，福岡市）
慢性歯周炎患者に対し自家歯牙移植と歯周組織再生療法 (ＥＭＤ）を試みた症例 [第 54 回日本歯周病学会春季大会]
（2011年05月27日 － 2011年05月28日，福岡市）
歯周治療と歯内療法の誤謬とパラダイムシフトを踏まえて 1 口腔単位の歯科治療を実践するポイント [モクダ歯科研修セミナー]
（2011年05月29日，神戸市）
歯周外科治療および外科的歯内療法のポイント [日本歯科保存学会　テーブルクリニック]
（2011年06月09日，浦安市）
歯内療法学の誤謬とパラダイムシフト [日本顎咬合学会認定医検定試験事前講習会]
（2011年06月10日，東京）
治療は外から、治癒は内から [日本歯周病学会　第４回東北地区臨床研修会 シンポジウム]
（2011年06月10日，山形市）
歯周病学の誤謬とパラダイムシフトを踏まえた一口腔単位の歯周治療を実践するポイント [香歯ポストグラジュエートセミナー　]
（2011年07月10日，高松市）
機能的ダイアグラムにおける「年齢に対する骨吸収指数」の変化と相関する因子に関する研究 [第 54 回秋季日本歯周病学会学術大会]
（2011年09月，下関市）
実体顕微鏡を使用した歯周治療を考える [日本顕微鏡歯科学会会員限定セミナー]
（2011年11月，上野市）
外傷により歯根破折した患歯を抜歯後ソケットプリザベーションを行いインプラントを待時埋入した１症例 [第 52 回奥羽大学歯学会学術大会]
（2011年11月，郡山市）
歯周病学と歯内療法学の誤謬とパラダイムシフトに学ぶ [有志会主催学術講演会]
（2011年12月04日，大阪市）
歯周病学と歯内療法学の誤謬とパラダイムシフトに学ぶ [平成２４年会津方部学会]
（2012年01月15日，会津若松市）

エンド治療と治癒のブラックボックスを探る［北海道大学歯学部同窓会　学術講演会 ］
（2012年03月04日，札幌市）
エンド治療の確実性を高めるポイント［日本顎咬合学会認定医検定試験事前講習会］
（2012年04月22日，東京）
歯内・歯周複合病変に対する診断と治療のポイント［日本歯内療法学会　研修会］
（2012年05月31日，千葉市）
歯内・歯周複合病変の診断と治療のポイント［第 30 回日本顎咬合学会学術大会］
（2012年06月10日 － 2012年06月11日，東京）
ラット頭蓋冠上の骨増大術モデルにおける骨関連タンパク質の発現様態［第 55 回春季日本歯周病学会学術大会］
（2012年06月10日 － 2012年06月11日，札幌市）
ラット頭蓋冠上の骨増大術モデルの構築とＨＡ処理による新生骨誘導効果［第 30 回日本顎咬合学会学術大会］
（2012年06月10日 － 2012年06月11日，東京）
Modelling periodontitis as a dynamical nonlinear system: providing a tool in discriminating chronic from aggressive periodontitis patients.［Euro Perio ７］
（2012年07月，Vienna）
歯周病学と歯内療法学における 失敗回避のポイント［新潟市歯科医師会研修会　］
（2012年08月09日，新潟市）
慢性歯周炎患者に対し包括的歯周治療を行った一症例［第５５回秋季日本歯周病学会学術大会］
（2012年09月22日 － 2012年09月23日，つくば市）
ラット頭蓋冠上の垂直的 GBR モデルにおける beta-TCP の骨増大効果［第５５回秋季日本歯周病学会学術大会］
（2012年09月22日 － 2012年09月23日，つくば市）
歯周病学と歯内療法学の誤謬と パラダイムシフトに学ぶ［高岡市歯科医師会 学術講演会］
（2012年10月28日，高岡市）
歯周病学と歯内療法学の誤謬と パラダイムシフトに学ぶ［北見市歯科医師会 学術講演会］
（2012年11月17日，北見市）
エンド治療と治癒のブラックボックスを探る［奥羽大学歯学部同窓会山形県支部　学術講演会］
（2012年12月01日，山形県上山市）
歯内療法と歯周治療における失敗回避のポイント［千葉市歯科医師会主催 平成 24 年度 第３回 学術講演会］
（2012年12月06日，千葉市）
歯内・歯周複合病変に対する診断と治療のポイント［日本歯内療法学会　研修会（東北）］
（2012年12月22日，仙台市）
エンド治療の確実性を高めるポイント［日本顎咬合学会認定医検定試験事前講習会］
（2013年04月22日，東京）
Diagnosis and treatment strategy against combined endodontic- periodontal lesions.　［The 9th World Endodontic Congress］
（2013年05月23日 － 2013年05月26日，Tokyo）
ラット頭蓋冠上の垂直的骨増大モデルにおけるスタチンの効果［第５６回春季日本歯周病学会学術大会］
（2013年05月30日 － 2013年05月31日，船堀市）
歯内療法と歯周治療　- 失敗回避のポイント -［学際企画］
（2013年06月02日，東京）
ラット頭蓋冠上の垂直的骨増大モデルにおけるスタチンの効果［第 55 回奥羽大学歯学会学術大会］
（2013年06月15日，郡山市）
ラット頭蓋冠上の骨増大術モデルにおけるチタンキャップ内面のＨＡ処理による新生骨誘導効果［第 55 回奥羽大学歯学会学術大会］
（2013年06月15日，郡山市）
beta-リン酸三カルシウムがラット頭蓋冠上の垂直的骨増大に及ぼす効果［第５５回奥羽大学歯学会学術大会］
（2013年06月15日，郡山市）
糖尿病と歯周病［第７回県中・県南地区糖尿病療養指導看護を考える会］
（2013年06月22日，白河厚生総合病院）
ラット頭蓋冠上の骨新生における足場とシグナルの効果［第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会］
（2013年09月23日，前橋市）
歯周病学と歯内療法学における 失敗回避のポイント［平成 25 年度奥州市歯科医師会第１回学術講演会］
（2013年10月05日，奥州市）
歯周病学における誤謬とパラダイムシフトに学ぶ［安達歯科医師会研修会　］
（2013年10月09日，二本松市）
歯周治療と治癒のブラックボックスを探る［奥羽大学歯学部同窓会山形県支部　学術講演会］
（2013年11月30日，赤湯）

根管の拡大形成法を再考する［平成 26 年度 JEA 研修会　学術講演会　　］
（2014年04月03日，群馬県歯科医師会館）
一口腔単位の診断と包括的歯周治療の実践　―歯科治療における個体医療を考える―［スマイル倶楽部］
（2014年04月06日，上野市）
歯内療法における誤謬とパラダイムシフトに学ぶ［山形市歯科医師会　学術講演会］
（2014年05月11日，山形市）
根管形成の理論と実践方法［日本顎咬合学会認定医検定試験事前講習会］
（2014年05月25日，東京）
SS file VS Ni-Ti file ー 根管形成法の再考 ー［第 32 回日本顎咬合学会学術大会］
（2014年06月14日 ― 2014年06月15日，東京）
歯内歯周複合病変の診断と治療　―複雑系、リスク，不確実性，臨床推論および臨床決断ー［第３５回日本歯内療法学会学術大会］
（2014年07月12日 ― 2014年07月13日，新潟市）
不良な犬歯誘導が原因で臼歯部の慢性歯周炎が増悪した症例に対する歯周治療［第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会］
（2014年10月19日，神戸市）
破折歯の診断と治療法 ―歯内療法および歯周治療専門医の立場からー［第 141 回 日本歯科保存学会学術大会］
（2014年10月29日 ― 2014年10月30日，山形市）
垂直的骨増大におけるシグナル分子の効果［日本口腔インプラント学会　第 34 回東北・北海道支部総会・学術大会］
（2014年11月15日 ― 2014年11月16日，山形市）
根管形成の暗黙知と形式知［日本顎咬合学会認定医検定試験事前講習会］
（2015年04月19日，東京）
エンド・ペリオ疾患処置の勘所　―複雑系、リスク，不確実性，臨床推論および臨床決断ー［C.E.R.I Club 講習会］
（2015年04月26日，大阪）
重度慢性歯周炎患者に対して包括的歯周治療を行った一症例［第 58 回　春季日本歯周病学会学術大会］
（2015年05月16日 ― 2015年05月17日，幕張市）
歯肉退縮による審美障害に対してパウチ法による結合組織移植術を用いて根面被覆を行った症例［第 59 回奥羽大学歯学会］
（2015年06月20日，郡山市）
歯周病と他疾患との関係［第 142 回　県北臨床懇話会］
（2015年08月20日，福島市）
上顎臼歯欠損部に行った口腔インプラント治療の臨床評価［第 58 回　秋季日本歯周病学会学術大会］
（2015年09月12日 ― 2015年09月13日，浜松市）
歯列不正を伴う広汎型重度慢性歯周炎患者に包括的歯周治療を行った一症例［第 58 回　秋季日本歯周病学会学術大会］
（2015年09月12日 ― 2015年09月13日，浜松市）
考えるエンドドンティクスとペリオドンティクス［岡山大学歯学部同窓会京都支部　講習会］
（2015年09月27日，京都市）
総義歯に不満がある患者に対しインプラントオーバーデンチャー（IOD）を実施した 2 症例［第 60 回 奥羽大学歯学会］
（2015年11月14日，郡山市）
考えるエンドドンティクスとペリオドンティクス［KDSC　講習会］
（2016年03月26日，郡山市）

担当授業科目

歯周病学	2008年04月	―	継続中
診療視覚教育	2008年05月	―	継続中
歯科医学演習	2008年05月	―	継続中
歯周病学実習	2008年09月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

視覚的理解を高める講義 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
「問題解決型思考能力」を養う講義 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
１方向の授業にならない工夫 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
一口腔単位の治療方針の立案 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2008年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本歯周病学会［理事］	2008年06月	―	継続中
日本顎咬合学会［指導医］	2008年06月	―	継続中
日本歯科保存学会［理事］	2008年06月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

高橋　昌宏

Takahashi Masahiro

歯学科

出身大学院

東北大学・歯学研究科・博士課程　2001年 修了

取得学位

博士　東北大学

所属学会・委員会

日本歯周病学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

川西　章

Kawanishi akira

歯学科

所属学会・委員会

日本歯周病学会
日本歯内療法学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

羽鳥　智也

Hatori Tomoya　　生年月日 1986年12月23日

歯学科

所属学会・委員会

日本歯内療法学会
日本歯周病学会

研究発表

前歯の不良なガイドが原因で臼歯部の慢性歯周炎が増悪した症例に対する全顎的歯周治療 [奥羽大学歯学会]
（2014年11月 ― 継続中）

奥羽大学 歯学部 歯学科

山本　雄介

Yamamoto yusuke　　生年月日 1988年12月02日

歯学科

所属学会・委員会

日本歯周病学会
日本歯内療法学会

研究発表

口底に発生したメトトレキサート関連リンパ増殖性疾患の一例 [第 32 回 日本口腔腫瘍学会総会 · 学術大会]
（2014年01月23日 ー 2014年01月24日）

不良な犬歯誘導が進行に関わった慢性歯周炎に対する歯周治療 [第 57 回秋季歯周病学会学術大会]
（2014年10月19日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

齋藤　弘毅

Saito Koki

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

鳥居　詳司

Torii Syoji

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

山崎　厚作

Yamazaki Kousaku

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

寺田　善博

TERADA Yoshihiro　　生年月日 1948年06月04日

歯学科

取得学位

博士　九州大学

所属学会・委員会

日本補綴歯科学会
日本歯科審美学会

論文

1) Antimicrobial and antifungal effects of tissue conditioners containing a photocatalyst. [Dental Material Journal, 30, (2011), 691-699]

Uchimaru M, Sakai T, Moroi R, Shiota S, Shibata Y, Deguchi M, Sakai H, Terada Y

2) Blocking of sodium and potassium ion-dependent adenosine triphosphatase-α 1 with ouabain and vanadate suppress cell-cell fusion during RANKLE-mediated osteoclastogenesis. [European Journal of Pharmacology, 670, (2011), 409-418]

Makihira S, Nikawa H, Kajiya M, Kawai T, Mine Y, Kosaka E, Silva MJP, Tobiume K, Terada Y

3) 周期性伸展刺激が RAW264.7 細胞と MC3T3-E1 細胞に与える影響. [老年歯科医学会誌, 27, (2012), 77-86]

牧平清超、峯裕一、首藤崇裕、寺田善博、二川浩樹

4) シェードガイドの信頼性に関する検証. [歯科審美, 25, (2012), 25-29]

寺田善博、永留初實、篠原義憲

研究発表

新しい樹脂材料と接着性レジンセメントにおける接着強さに関する研究 [奥羽大学歯学会]
(2014年06月21日，奥羽大学歯学部)

担当授業科目

(歯) 咬合学	2015年04月	―	2015年07月
(歯) 歯冠彫刻実習	2015年04月	―	2015年07月
(歯) 冠橋義歯補綴学Ⅱ	2015年04月	―	2015年07月
(歯) 冠橋義歯補綴学実習	2015年04月	―	2015年07月
(歯) 冠橋義歯補綴学Ⅰ	2015年09月	―	2015年12月

奥羽大学 歯学部 歯学科

雨宮　幹樹

AMEMIYA Motoki

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2009年04月 － 2013年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］　2013年04月 － 2016年03月

所属学会・委員会

日本補綴歯科学会
日本メタルフリー歯科学会

研究発表

ジルコニアとハイブリッドセラミックの接着強さに関する研究—イトロ処理の影響—[第 120 回日本補綴歯科学会]
（2011年05月20日 － 2011年05月21日）

25 %の Pd を含む Co-Cr 合金と Ni-Cr 合金の組織と硬さ [平成 23 年度日本補綴歯科学会　東北北海道 · 関越 · 東関東合同学術大会]
（2011年10月）

表面処理法の違いによるジルコニアとハイブリッドセラミックスクラウンとのセメント接着強さに関する研究 [第 121 回日本補綴歯科学会学術大会]
（2012年05月26日）

金属とオペークとの反応面における役割 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）

ルートキャナルシーラーが支台築造用レジンの接着性に及ぼす影響 [平成 24 年度日本補綴歯科学会東北 · 北海道支部学術大会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日）

ジルコニアとハイブリッドセラッミクスの接着強さに関する研究 [日本補綴歯科学会　第１２２回学術大会]
（2013年05月18日 － 2013年05月19日）

ジルコニアとハイブリッドセラッミクスの接着強さに関する研究　　—サーマルサイクルの影響についてー [平成２５年度（公社）日本補綴歯科学会東北 · 北海道支部学術大会]
（2013年09月15日）

ジルコニアとハイブリッドセラミックスの接着強さに関する研究 —表面処理後のＸＰＳ分析—[第１２３回日本補綴歯科学会学術大会]
（2014年05月）

新しい樹脂材料と接着性レジンセメントにおける接着強さに関する研究 [第５７回奥羽大学歯学会]
（2014年06月）

ロカテック処理が CAD/CAM レジンブロックとセメントの接着強さに及ぼす影響 [日本補綴歯科学会東北 · 北海道支部学術大会]
（2015年10月）

学会・委員会等活動

日本メタルフリー歯科学会［評議員］　2009年11月 － 継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

伊藤　歩

ITOU Ayumu

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2011年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本歯科補綴学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

宗像　佑弥

MUNAKATA Yuya　　生年月日 1984年10月13日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学 助手［本務］　　2013年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本補綴歯科学会
日本口腔インプラント学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

五十嵐　一彰

Igarashi Kazuaki

歯学科

所属学会・委員会

公益社団法人　日本補綴歯科学会
一般社団法人　日本歯科理工学会

研究発表

新しい樹脂材料と接着性レジンセメントにおける接着強さに関する研究 [奥羽大学歯学会]
（2014年06月）

奥羽大学 歯学部 歯学科

岡田　隆寛

OKADA Takahiro

歯学科

研究発表

新しい樹脂材料と接着性レジンセメントにおける接着強さに関する研究 [奥羽大学歯学会]
（2014年06月）

奥羽大学 歯学部 歯学科

大友　悠資

Ohtomo Yusuke　　生年月日 1980年08月26日

歯学科

研究発表

ジルコニアとハイブリッドセラミックの接着強さに関する研究—イトロ処理の影響—[第 120 回日本補綴歯科学会]
（2011年05月20日 － 2011年05月21日）

25 %の Pd を含む Co-Cr 合金と Ni-Cr 合金の組織と硬さ [平成 23 年度日本補綴歯科学会　東北北海道 · 関越 · 東関東合同学術大会]
（2011年10月）

表面処理法の違いによるジルコニアとハイブリッドセラミックスクラウンとのセメント接着強さに関する研究 [第 121 回日本補綴歯科学会学術大会]
（2012年05月26日）

金属とオペークとの反応面における役割 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）

ルートキャナルシーラーが支台築造用レジンの接着性に及ぼす影響 [平成 24 年度日本補綴歯科学会東北 · 北海道支部学術大会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日）

ジルコニアとハイブリッドセラッミクスの接着強さに関する研究 [日本補綴歯科学会　第１２２回学術大会]
（2013年05月18日 － 2013年05月19日）

ジルコニアとハイブリッドセラッミクスの接着強さに関する研究　　—サーマルサイクルの影響についてー [平成 25 年度 日本補綴歯科学会 東北 · 北海道支部学術大会]
（2013年09月15日）

ジルコニアとハイブリッドセラミックスの接着強さに関する研究 —表面処理後のＸＰＳ分析—[第１２３回日本補綴歯科学会学術大会]
（2014年05月）

新しい樹脂材料と接着性レジンセメントにおける接着強さに関する研究 [第５７回奥羽大学歯学会]
（2014年06月）

奥羽大学 歯学部 歯学科

村上　大基

Murakami Daiki

歯学科

研究発表

新しい樹脂材料と接着性レジンセメントにおける接着強さに関する研究 [奥羽大学歯学会]
（2014年06月）

奥羽大学 歯学部 歯学科

山森　徹雄

YAMAMORI Tetsuo　　生年月日 1959年01月12日

歯学科

出身大学院

岩手医科大学・歯学研究科・歯科補綴学・博士課程　1987年 修了

取得学位

学士　岩手医科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　講師［本務］	1994年02月	―	2002年03月
奥羽大学歯学部歯学科　助教授［本務］	2002年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科　准教授［本務］	2007年04月	―	2009年03月
奥羽大学歯学部歯学科　教授［本務］	2009年04月	―	継続中

所属学会・委員会

公益社団法人　日本補綴歯科学会
一般社団法人　日本顎顔面補綴学会
公益社団法人　日本口腔インプラント学会
国際歯科研究学会
日本味と匂学会
一般社団法人　日本老年歯科医学会
一般社団法人　日本歯科理工学会
特定非営利活動法人 日本歯周病学会
奥羽大学歯学会

論文

1) 唾液中 Histatin 5 のキニーネ受容に対する効果.［奥羽大歯学誌, 38（3）,（2011）, 115-122］

　和田裕一、山森徹雄

2) 唾液中 Histatin 5 が苦味感受性に及ぼす影響.［日本味と匂学会誌, 18（3）,（2011）, 347-350］

　和田裕一，伊藤　隼，島崎伸子，山森徹雄

3) 唾液中亜鉛結合タンパク質（炭酸脱水酵素VI型）検出イムノクロマト法の基礎的検討.［日本味と匂学会誌, 18（3）,（2011）, 485-486］

　島崎伸子，冨田　寛，山森徹雄，田崎智子，川村憲一，武部　純，石橋寛二

4) 顎口腔領域の腫瘍切除患者における味覚機能と口腔内環境との関連.［日本味と匂学会誌, 18（3）,（2011）, 481-484］

　八重嶋彩子，島崎伸子，伊藤茂樹，千田豪也，古川良俊，武部　純，山森徹雄，石橋寛二

5) 空気圧力センサを応用した嚥下運動分析装置の検討―センサ設置位置が測定結果に及ぼす影響― .［奥羽大歯学誌, 39（3）,（2012）, 151-155］

　松村奈美，今関　肇，関根貴仁，山内貴子，下出　毅，小林康二，山森徹雄，清野和夫

6) 味覚障害診断のためのイムノクロマトを用いた唾液中亜鉛結合タンパク質の検出について.［日本味と匂学会誌, 19（3）,（2012）, 493-494］

　島崎伸子，冨田　寛，山森徹雄，田崎智子，川村憲一，豊田勝彦，武部　純，近藤尚知

7) 連結した顔面補綴用インプラントの生体力学的検討―応力分布に対する荷重部位の影響―.［顎顔面補綴, 35（2）,（2012）, 71-76］

　山内貴子，古橋拓哉，関根貴仁，松村奈美，古澤正克，山村文弘，佐久間隆章，山森徹雄，清野和夫

8) 顔面補綴用インプラントの生体力学的検討―埋入部皮質骨厚径が応力分布に及ぼす影響―.［顎顔面補綴, 35（2）,（2012）, 66-70］

　山森徹雄，関根貴仁，松村奈美，山内貴子，浅井政一，田中義博，小林康二，清野和夫

9) 補綴歯科治療病名システムの信頼性と妥当性の検討.［日補綴会誌, 5（3）,（2013）, 281-290］

松香芳三，萩原芳幸，玉置勝司，竹内久裕，藤澤政紀，小野高裕，築山能大，永尾　**寛**，津賀一弘，會田英紀，近藤尚知，笛木賢治，塚崎弘明，石橋寛二，藤井重壽，平井敏博，佐々木啓一，矢谷博文，五十嵐順正，佐藤裕二，市川哲雄，松村英雄，山森徹雄，窪木拓男，馬場一美，古谷野　潔

10) 唾液中亜鉛結合タンパク質を用いた味覚障害のスクリーニング法　イムノクロマト測定値と血清亜鉛値との関連.［日本味と匂学会誌, 20（3）,（2013）, 345-346］

島崎伸子，冨田　寛，山森徹雄，田崎智子，川村憲一，豊田勝彦，武部　純，近藤尚知

11) 唾液中 Histatin 5 濃度と苦味受容体遺伝子発現の関連.［日本味と匂学会誌, 20（3）,（2013）, 219-220］

伊藤　隼，前田 豊信, 加藤 靖正, 山森 徹雄

12) 苦味受容体遺伝子の発現量の比較.［日本味と匂学会誌, 21（3）,（2014）, 263-264］

伊藤　隼、小島剛志、前田豊信、加藤靖正、島崎伸子、山森徹雄

13) 唾液中亜鉛結合タンパク質を用いた味覚障害のスクリーニング法—炭酸脱水酵素VI型モノクローナル抗体応用の試み—.［日本味と匂学会誌, 21（3）,（2014）, 383-384］

島崎伸子，山森徹雄，田崎智子，川村憲一，豊田勝彦，武部　純，近藤尚知

14) 多数歯先天欠如を伴う骨格性反対咬合の包括歯科治療.［奥羽大学歯学雑誌, 41（3,4）,（2014）, 129-134］

福井和徳, 川鍋　仁、細谷尚史、山野辺晋也、山森徹雄、金　秀樹

著書

1) パーシャルデンチャーテクニック　第５版.［医歯薬出版,2012］

越野　寿、横山敦郎、近藤尚知、佐々木啓一、大川周治、山森徹雄　他

2) よくわかる口腔インプラント学　第２版.［医歯薬出版,2012］

赤川安正、松浦正郎、矢谷博文、渡邉文彦、山森徹雄　他

3) 無歯顎補綴治療学　第３版.［医歯薬出版,2016］

市川哲雄，大川周治，平井敏博，細井紀雄，山森徹雄

4) スタンダードパーシャルデンチャー補綴学.［学建書院,2016］

藍　稔、五十嵐順正、山森徹雄　他

総説・解説記事

1) 口腔インプラントの素性と治療における位置づけ.［奥羽大学歯学誌, 38（2）,（2011）, 41-43］

山森徹雄

2) 顎顔面補綴におけるデジタルテクノロジー—シンポジウムコーディネーター総括—.［顎顔面補綴, 36（1）,（2013）, 19-20］

山森徹雄

3) 臨床イノベーションのための若手研究者の挑戦：治療，検査法の新たな展開.［日補綴会誌, 6（1）,（2014）, 36-37］

山森徹雄、服部佳功

4) インプラント上部構造の印象採得を再考する．.［歯界展望, 127（2）,（2016）, 350-360］

山森徹雄

研究発表

インプラント作業用模型の精度—印象材の硬度がアナログの変位に及ぼす影響—[社団法人日本補綴歯科学会第 121 回学術大会]
（2012年05月26日 － 2012年05月27日，神奈川県民ホール）

シンポジウム—顎顔面補綴におけるデジタルテクノロジー [第 29 回日本顎顔面補綴学会学術大会]
（2012年06月14日 － 2012年06月16日，愛知学院大学楠元講堂）

インプラント作業用模型の精度—印象用トレーの設計がアナログの変位に及ぼす影響—[第 29 回日本顎顔面補綴学会学術大会]
（2012年06月14日 － 2012年06月16日，愛知学院大学楠元講堂）

連結固定におけるインプラントの活用—骨レベル低下モデルにおける生体力学的検討—[第 42 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2012年09月21日 － 2012年09月23日，大阪国際会議場）

味覚障害診断のためのイムノクロマトを用いた唾液中亜鉛結合タンパク質の検出について [第 46 回日本味と匂学会]
（2012年10月03日 － 2012年10月05日，大阪大学コンベンションセンター）

天然歯とインプラントの連結に関する生体力学的検討—周囲骨におけるひずみの評価—[平成 24 年度（社）日本補綴歯科学会　東北 · 北海道支部学術大会]
（2012年10月28日 － 2012年10月29日，仙台市　艮陵会館）

下顎片側遊離端義歯の支台装置が支台歯の挙動に及ぼす影響 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，奥羽大学歯学部病院棟５階臨床講義室）

インプラントオーバーデンチャーが長期的に機能維持するための生体力学的条件を探る [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月10日 － 2012年11月11日，インテックス大阪２号館）

印象材の硬度がアバットメントレプリカの変位に及ぼす影響 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，奥羽大学歯学部病院棟５階臨床講義室）

インプラント作業用模型におけるレプリカの変位—印象材の硬度による影響—[社団法人日本補綴歯科学会第 122 回学術大会]
（2013年05月18日 － 2013年05月19日，福岡国際会議場）

臨床研修医の進路—過去７年間の結果から—[第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日，奥羽大学歯学部病院棟５階臨床講義室）

傾斜埋入されたインプラントに対する作業用模型の精度—印象材の硬度がレプリカの変位に及ぼす影響—[第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日，奥羽大学歯学部病院棟５階臨床講義室）

唾液中 Histatin 5 濃度と苦味受容体遺伝子発現の関連 [第 47 回日本味と匂学会]
（2013年09月05日 － 2013年09月07日，仙台市民会館）

唾液中亜鉛結合タンパク質を用いた味覚障害のスクリーニング法　イムノクロマト測定値と血清亜鉛値との関連 [第 47 回日本味と匂学会]
（2013年09月05日 － 2013年09月07日，仙台市民会館）

インプラント作業用模型の精度—インプラント植立方向がレプリカの変位に及ぼす影響—[第 43 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2013年09月13日 － 2013年09月15日，福岡国際会議場）

片側遊離端義歯の支台歯の挙動—実験用義歯に付与する疑似粘膜の影響—[平成 25 年度（公社）日本補綴歯科学会　東北 · 北海道支部学術大会]
（2013年10月12日 － 2013年10月13日，北海道自治労会館）

連結固定における歯科インプラントの活用—下顎前歯部を想定した有限要素解析—[第 33 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会　東北 · 北海道支部総会 · 学術大会]
（2013年11月02日 － 2013年11月03日，ベストウェスタンホテルニューシティ弘前）

シンポジウム「口腔インプラント治療のリスクを確実にマネージメントする」[第 33 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会　東北 · 北海道支部総会 · 学術大会]
（2013年11月02日 － 2013年11月03日，ベストウェスタンホテルニューシティ弘前）

印象材の硬度が作業用模型におけるレプリカの変位に及ぼす影響—印象用コーピングを連結しない条件での検討—[第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日，奥羽大学歯学部病院棟５階臨床講義室）

片側遊離端義歯の支台歯の挙動—義歯床粘膜面と疑似粘膜の接触条件による影響 [公益社団法人　日本補綴歯科学会第 123 回学術大会]
（2014年05月23日 － 2014年05月25日，仙台国際センター）

インプラント作業用模型におけるアナログの変位ー印象材の硬度および埋入方向による影響—[一般社団法人　日本顎顔面補綴学会　第 31 回総会 · 学術大会]
（2014年06月19日 － 2014年06月21日，仙台市民会館）

Dental Implants as Reinforcements for Splinting of Teeth -Biomechanical Study Using Finite Element Analysis-[The 9th Congress of Asian Academy of Osseointegration]
（2014年07月04日 － 2014年07月05日，Sapporo）

連結固定における歯科インプラントの活用—骨レベル低下モデルに対する有限要素解析—[第 44 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京国際フォーラム）
自家骨採取時の偶発症回避を目的とした頬神経走行位置の把握 [第 44 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京国際フォーラム）
歯学生に対するインプラント治療に関する意識調査 [第 44 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京国際フォーラム）
唾液中亜鉛結合タンパク質を用いた味覚障害のスクリーニング法ー炭酸脱水酵素VI型モノクローナル抗体応用の試みー[第 48 回日本味と匂学会]
（2014年10月03日 － 2014年10月04日，静岡文化会館マリナート）
苦味受容体遺伝子の発現量の比較 [第 48 回日本味と匂学会]
（2014年10月03日 － 2014年10月04日，静岡文化会館マリナート）
副甲状腺ホルモン間歇投与による骨質改善が初期固定の獲得に及ぼす影響—骨粗鬆症モデルでの検討—[平成 26 年度　公益社団法人日本補綴歯科学会　東北・北海道支部　総会・学術大会]
（2014年10月25日 － 2014年10月26日，市民交流プラザ）
傾斜埋入時に印象材の硬度がアナログ変位に及ぼす影響—印象用コーピング非連結での検討—[平成 26 年度　公益社団法人日本補綴歯科学会　東北・北海道支部　総会・学術大会]
（2014年10月25日 － 2014年10月26日，市民交流プラザ）
印象材の硬度が傾斜埋入インプラントの作業用模型におけるアナログ変位に及ぼす影響ー印象用コーピング非連結での検討ー [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，奥羽大学歯学部臨床講義室）
苦味受容機構と hTAS2Rs 発現量の関連 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，奥羽大学歯学部臨床講義室）
単独歯インプラントの５年経過症例—インプラント周囲粘膜形態の観察—[第 34 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会　東北・北海道支部　総会・学術大会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日，山形テルサ）
歯学生に対する口腔インプラント学の教育効果 [第 34 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会　東北・北海道支部　総会・学術大会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日，山形テルサ）
Impression Material Hardness and the Displacement Abutment Analogs [93rd General Session & Exhibition of the IADR]
（2015年03月10日 － 2015年03月14日，Hynes Convention Center）
苦味受容体遺伝子発現量の検討 [公益社団法人　日本補綴歯科学会第 124 回学術大会]
（2015年05月29日 － 2015年05月31日，大宮ソニックシティ）
上顎腫瘍切除，下顎骨区域切除・プレート再建症例に対する補綴的機能回復 [一般社団法人　日本顎顔面補綴学会　第 32 回総会・学術大会]
（2015年06月18日 － 2015年06月20日，東京医科歯科大学　M&Dタワー2階　鈴木章夫記念講堂）
連結固定における歯科インプラントの活用　—連結条件の影響に対する有限要素解析ー[第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2015年09月21日 － 2015年09月23日，岡山コンベンションセンター）
唾液中亜鉛結合タンパク質を用いた味覚障害のスクリーニング法　—味覚障害患者に対する炭酸脱水酵素VI型モノクローナル抗体の応用ー[第 49 回日本味と匂学会]
（2015年09月24日 － 2015年09月26日，じゅうろくプラザ）
インプラントと天然歯の連結による追加埋入の回避で BP 製剤投与に対応した症例 [平成 27 年度　公益社団法人　日本補綴歯科学会　東北・北海道支部総会・学術大会]
（2015年10月24日 － 2015年10月25日，岩手県歯科医師会8020プラザ）
連結固定に対する歯科インプラント応用の試みー骨レベルおよび連結条件による影響ー[第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日，奥羽大学歯学部病院棟５階臨床講義室）
先天欠如症例に対する歯科インプラントを用いた包括的歯科治療 [公益社団法人日本口腔インプラント学会第 35 回東北・北海道支部学術大会]
（2015年11月20日 － 2015年11月21日，仙台国際センター）

担当授業科目

臨床実習	2011年04月	－	2012年03月
有床義歯学Ⅱ	2011年04月	－	2011年07月
口腔インプラント学	2011年04月	－	2011年07月
有床義歯学Ⅱ実習	2011年04月	－	2011年07月
CBL 演習	2011年04月	－	2012年01月
歯科医学概論	2011年04月	－	2011年07月
臨床総合講義	2011年07月	－	2011年12月
歯科医学史	2011年09月	－	2011年10月

有床義歯学Ⅰ実習	2011年09月	―	2012年01月
有床義歯学Ⅰ	2011年09月	―	2012年01月
(歯) 臨床実習	2012年04月	―	2013年03月
(歯) 有床義歯学Ⅱ	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 有床義歯学Ⅱ実習	2012年04月	―	2012年07月
(歯)CBL 演習	2012年04月	―	2013年01月
(歯) 診療視覚教育	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 口腔インプラント学	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 歯科医学演習	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 臨床総合講義	2012年07月	―	2012年12月
(歯) 有床義歯学Ⅰ実習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 有床義歯学Ⅰ	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 歯科医学史	2012年09月	―	2012年11月
(歯) 臨床実習	2013年04月	―	2014年03月
(歯) 有床義歯学Ⅱ	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 有床義歯学Ⅱ実習	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 口腔インプラント学	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 診療視覚教育	2013年04月	―	2013年07月
(歯)CBL 演習	2013年04月	―	2014年01月
(歯) 統合科目Ⅰ	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 歯科医学演習	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 臨床総合講義	2013年07月	―	2013年12月
(歯) 歯科医学史	2013年09月	―	2013年10月
(歯) 有床義歯学Ⅰ実習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 有床義歯学Ⅰ	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 臨床実習	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 有床義歯学Ⅱ	2014年04月	―	2014年07月
(歯) 有床義歯学Ⅱ実習	2014年04月	―	2014年07月
(歯) 歯科医学演習	2014年04月	―	2014年07月
(歯) 診療視覚教育	2014年04月	―	2014年07月
(歯) 臨床総合講義	2014年07月	―	2014年11月
(歯) 有床義歯学Ⅰ実習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 有床義歯学Ⅰ	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 歯科医学史	2014年09月	―	2014年10月
CBL 演習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 臨床実習	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 有床義歯補綴学Ⅱ	2015年04月	―	2016年07月
(歯) 有床義歯補綴学Ⅱ実習	2015年04月	―	2015年07月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 臨床歯学概論	2015年05月	―	2015年06月
(歯) 歯科医学演習	2015年05月	―	2015年06月
(歯) 咬合学	2015年07月		
(歯) 有床義歯補綴学Ⅰ	2015年09月	―	2015年12月
(歯) 有床義歯補綴学Ⅰ実習	2015年09月	―	2015年12月
(歯)CBL 演習	2015年11月		

その他教育活動及び特記事項

学友会ゴルフ部の顧問として活動 ［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］	1996年04月	―	継続中
有床義歯学Ⅰ実習，有床義歯学Ⅱ実習の指導 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
有床義歯学Ⅰ実習，有床義歯学Ⅱ実習のステップ模型 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	―	継続中
臨床実習の指導 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
有床義歯学Ⅱ講義のためのプレゼンテーション・ソフト ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2004年04月	―	継続中
臨床総合演習の指導 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年09月	―	継続中
臨床総合演習マニュアル，指導要項 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2005年09月	―	継続中

有床義歯学Ⅰ講義のためのプレゼンテーション・ソフト ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2009年10月	―	継続中
第６学年　クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2012年04月	―	2014年03月
第４学年　学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2014年04月	―	継続中
OSCE 委員会　副委員長 ［活動区分 ：その他特記事項］	2014年04月	―	継続中
CBT 委員会　副委員長 ［活動区分 ：その他特記事項］	2014年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

公益社団法人　日本補綴歯科学会［評議員，代議員］	1996年04月	―	継続中
一般社団法人　日本顎顔面補綴学会［評議員、社員］	2004年01月	―	継続中
公益社団法人　日本口腔インプラント学会［評議員、代議員］	2007年04月	―	継続中
一般社団法人　日本老年歯科医学会［代議員］	2014年06月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

関根　貴仁

SEKINE Takahito

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2007年04月　－　継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本補綴歯科学会
公益社団法人日本口腔インプラント学会

論文

1) 連結した顔面補綴用インプラントの生体力学的検討－応力分布に対する荷重部位の影響－. [顎顔面補綴誌, 35 (2), (2012), 71-76]

山内貴子，古橋拓哉，関根貴仁，松村奈美，古澤正克，山村文弘，佐久間隆章，山森徹雄，清野和夫

2) 空気圧力センサを応用した嚥下運動分析装置の検討－センサ設置位置が測定結果に及ぼす影響－. [奥羽大学歯学誌, 39 (3), (2012), 151-155]

松村奈美，今関　肇，関根貴仁，山内貴子，下出　毅，小林康二，山森徹雄，清野和夫

3) 顔面補綴用インプラントの生体力学的検討－埋入部皮質骨厚径が応力分布に及ぼす影響－. [顎顔面補綴誌, 35 (2), (2012), 66-70]

山森徹雄，関根貴仁，松村奈美，山内貴子，浅井政一，田中義博，小林康二，清野和夫

4) 下顎片側遊離端義歯の支台装置が支台歯の挙動に及ぼす影響，. [奥羽大学歯学誌，, 40 (4), (2014), 171-177]

関根貴仁

研究発表

下顎片側遊離端義歯における支台歯の挙動－片側義歯における双子鉤改変の効果－ [社団法人日本補綴歯科学会第 120 回学術大会]
（2011年05月20日 － 2011年05月21日）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その１）[第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）

全部床義歯人工歯咬合面形態が食片の舌側貯留量に及ぼす影響 [日本補綴歯科学会　東北・北海道支部，関越支部，東関東支部総会ならびに合同学術大会]
（2011年09月23日 － 2011年09月24日）

天然歯とインプラントとの連結に関する生体力学的検討－連結固定の補強としてのインプラント－ [公益社団法人　日本口腔インプラント学会]
（2011年11月05日 － 2011年11月06日）

インプラント作業用模型の精度－印象材の硬度がアナログの変位に及ぼす影響－ [社団法人日本補綴歯科学会第 121 回学術大会]
（2012年05月26日 － 2012年05月27日）

インプラント作業用模型の精度－印象用トレーの設計がアナログの変位に及ぼす影響－ [第 29 回日本顎顔面補綴学会学術大会]
（2012年06月15日 － 2012年06月16日）

連結固定におけるインプラントの活用－骨レベル低下モデルにおける生体力学的検討－ [公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2012年09月22日 － 2012年09月23日）

下顎片側遊離端義歯の支台装置が支台歯の挙動に及ぼす影響 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）

インプラント作業用模型におけるレプリカの変位－印象材の硬度による影響－ [社団法人日本補綴歯科学会第 122 回学術大会]
（2013年05月18日 － 2013年05月19日）

インプラント作業用模型の精度－インプラント植立方向がレプリカの変位に及ぼす影響－［公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会］
（2013年09月14日 － 2013年09月15日）
片側遊離端義歯の支台歯の挙動－実験用義歯に付与する疑似粘膜の影響－［日本補綴歯科学会　東北・北海道支部学術大会］
（2013年10月13日 － 2013年10月14日）
連結固定における歯科インプラントの活用－下顎前歯部を想定した有限要素解析－［公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会］
（2013年11月03日 － 2013年11月04日）
片側遊離端義歯の支台歯の挙動－義歯床粘膜面と疑似粘膜の接触条件による影響［公益社団法人　日本補綴歯科学会第 123 回学術大会］
（2014年05月25日 － 2014年05月26日）
インプラント作業用模型におけるアナログの変位―印象材の硬度および埋入方向による影響－［一般社団法人　日本顎顔面補綴学会］
（2014年06月21日 － 2014年06月22日）
Dental Implants as Reinforcements for Splinting of Teeth -Biomechanical Study Using Finite Element Analysis-［The 9th Congress of Asian Academy of Osseointegration］
（2014年07月05日 － 2014年07月06日）
連結固定における歯科インプラントの活用－骨レベル低下モデルに対する有限要素解析－［公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会］
（2014年09月13日 － 2014年09月14日）
単独歯インプラントの５年経過症例－インプラント周囲粘膜形態の観察－［公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会］
（2014年11月16日 － 2014年11月17日）
苦味受容体遺伝子発現量の検討［公益社団法人　日本補綴歯科学会第 124 回学術大会］
（2015年05月31日 － 2015年06月01日）
上顎腫瘍切除，下顎骨区域切除・プレート再建症例に対する補綴的機能回復［一般社団法人　日本顎顔面補綴学会］
（2015年06月20日 － 2015年06月21日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

伊藤　隼

Ito Jun　　生年月日 1983年05月10日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　　2015年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本補綴歯科学会
日本味と匂学会
日本口腔インプラント学会
日本顎顔面補綴学会

論文

1) 唾液中 Histatin 5 が苦味感受性に及ぼす影響.［日本味と匂学会誌,（2011）］

　　和田裕一，伊藤　隼，島崎伸子，山森徹雄

2) 唾液中 Histatin 5 濃度と苦味受容体遺伝子発現の関連.［日本味と匂学会誌,（2013）］

　　伊藤　隼，前田 豊信, 加藤 靖正, 山森 徹雄

3) 苦味受容体遺伝子の発現量の比較.［日本味と匂学会誌. ,（2014）］

　　伊藤　隼，小島剛志，前田豊信，加藤靖正，島崎伸子，山森徹雄

研究発表

唾液中 Histatin 5 が苦味感受性に及ぼす影響［日本味と匂学会 第 45 回大会］
（2011年10月05日 － 2011年10月07日，金沢市，石川県立音楽堂）
唾液中 Histatin 5 濃度と苦味受容体遺伝子発現の関連［日本味と匂学会 第 47 回大会］
（2013年09月05日 － 2013年09月07日，仙台市，仙台市民会館）
苦味受容体遺伝子の発現量の比較［日本味と匂学会 第 48 回大会］
（2014年10月03日 － 2014年10月05日，静岡市，静岡文化会館マリナート）
苦味受容機構と hTAS2Rs 発現量の関連［第 58 回奥羽大学歯学会］
（2014年11月08日，郡山市，奥羽大学歯学部臨床講義室）
苦味受容体遺伝子発現量の検討［公益社団法人　日本補綴歯科学会第 124 回学術大会］
（2015年05月29日 － 2015年05月31日，大宮市，大宮ソニックシティ）
上顎腫瘍切除，下顎骨区域切除・プレート再建症例に対する補綴的機能回復［一般社団法人　日本顎顔面補綴学会］
（2015年06月19日 － 2015年06月20日，東京都，東京医科歯科大学　M&Dタワー2階　鈴木章夫記念講堂）

奥羽大学 歯学部 歯学科

永田　裕紀

NAGATA Yuuki

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2012年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

社団法人日本補綴歯科学会

研究発表

天然歯とインプラントの連結に関する生体力学的検討－周囲骨におけるひずみの評価－［平成 24 年度（社）日本補綴歯科学会　東北・北海道支部学術大会］
（2012年10月27日 － 2012年10月28日，仙台市，艮陵会館）

インプラント作業用模型におけるレプリカの変位－印象材の硬度による影響－［社団法人日本補綴歯科学会第 122 回学術大会］
（2013年05月18日 － 2013年05月19日，福岡市，福岡国際会議場）

インプラント作業用模型におけるレプリカの変位－印象材の硬度による影響－［平成 25 年度（公社）日本補綴歯科学会　東北・北海道支部学術大会］
（2013年10月12日 － 2013年10月13日，札幌市，北海道自治労会館）

片側遊離端義歯の支台歯の挙動－義歯床粘膜面と疑似粘膜の接触条件による影響［公益社団法人　日本補綴歯科学会第 123 回学術大会］
（2014年05月24日 － 2014年05月25日）

苦味受容体遺伝子発現量の検討［公益社団法人　日本補綴歯科学会第 124 回学術大会］
（2015年05月30日 － 2015年05月31日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐藤　光一

SATO Koichi

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2012年10月　－　2016年03月

所属学会・委員会

公益社団法人　日本補綴歯科学会

研究発表

片側遊離端義歯の挙動-実験用義歯に付与する疑似粘膜の影響-[平成 25 年度　公益社団法人　日本補綴歯科学会　東北・北海道支部学術大会]

（2013年10月12日 － 2013年10月13日，札幌市，北海道自治労会館）

片側遊離端義歯の支台歯の挙動―義歯床粘膜面と疑似粘膜の接触条件による影響 [公益社団法人　日本補綴歯科学会第 123 回学術大会]

（2014年05月24日 － 2014年05月25日，仙台市，仙台国際センター）

苦味受容体遺伝子発現量の検討 [公益社団法人　日本補綴歯科学会第 124 回学術大会]

（2015年05月30日 － 2015年05月31日，大宮市，大宮ソニックシティ）

奥羽大学 歯学部 歯学科

高山　浩史

TAKAYAMA Hiroshi

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

村島　直道

MURASHIMA Naomichi

歯学科

研究発表

Dental Implants as Reinforcements for Splinting of Teeth -Biomechanical Study Using Finite Element Analysis-[The 9th Congress of Asian Academy of Osseointegration, Sapporo]
（2014年07月05日）

連結固定における歯科インプラントの活用—骨レベル低下モデルに対する有限要素解析—[第 44 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月13日）

単独歯インプラントの５年経過症例—インプラント周囲粘膜形態の観察—[第 34 回　公益社団法人　日本口腔インプラント学会　東北・北海道支部　総会・学術大会]
（2014年11月16日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

関野　貴大

Sekino Takahiro

歯学科

所属学会・委員会

日本外傷歯学会
日本小児歯科学会
日本補綴歯科学会
日本障害者歯科学会

担当授業科目

(歯) 有床義歯補綴学Ⅱ実習	2015年04月	ー	2015年07月
(歯) 冠橋義歯補綴学実習	2015年04月	ー	2015年07月

奥羽大学 歯学部 歯学科

野中　康平

Nonaka Kohei

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

関根　秀志

Sekine Hideshi　　生年月日 1962年07月11日

歯学科

出身大学院

東京歯科大学・歯学研究科・博士課程　　1992年 修了

取得学位

博士　東京歯科大学

所属学会・委員会

日本補綴歯科学会
日本口腔インプラント学会
日本顎顔面インプラント学会
奥羽大学歯学会

論文

1) Immediate implant placement in the maxillary central incisor region: a case report..［Journal of Prosthodontic Research , 56 (1), (2012), 47-52］

Sekine H, Taguchi T, Yamagami M, Matsuzaki F, Takanashi T, Furuya K.

2) Treatment of Generalized Aggressive Periodontitis with Enamel Matrix Derivative and Implant Prosthesis: A Case Report.［Clinical Advances in Periodontics, 28, (2012), 187-194］

Takuya Takanashi, Koushu Fujinami, Mai Matsuzaki, Hideshi Sekine, Atsushi Saito

3) Dental implant treatment after improvement of the oral environment by orthodontic therapy.［Bulletin of Tokyo Dental Cpllege, 53 (3), (2012), 109-117］

Hideshi Sekine, Haruyo Miyazaki, Takuya Takanashi, Katsunori Furuya, Fumiyori Matsuzaki, Tatsuo Taguchi, Hidenori Katada

4) CAD/CAM で製作されたカスタムアバットメントのマイクロギャップと破壊荷重.［日本口腔インプラント学会誌, 26 (1), (2013), 3-12］

本間慎也，飯島俊彦，関根秀志，吉成正雄，矢島安朝

著書

1) 新・口腔の生理から？ を解く.［デンタルダイヤモンド社,2012］

森本俊文，関根秀志

2) 歯科衛生士が知っておきたいよくわかる口腔インプラント学.［医歯薬出版株式会社,2012］

松浦正朗，矢島安朝，関根秀志

3) インプラント修復の臨床基本手技　3　補綴.［デンタルダイヤモンド社,2013］

関根秀志

4) 日本歯科評論増刊 2013 画像撮影・診断の新たな展開.［医歯薬出版株式会社,2013］

佐野司，関根秀志

5) 歯科における安全な局所麻酔.［第一出版株式会社,2013］

一戸達也，関根秀志

6) 歯学生の口腔インプラント学.［医歯薬出版株式会社,2014］

高森等，佐藤淳一，関根秀志

研究発表

侵襲性歯周炎に対して歯科衛生士ケアが効果的であった一症例 [第 293 回東京歯科大学学会例会]
（2012年06月02日）
インプラント治療後に生じる合併症の臨床調査 [第 42 回日本口腔インプラント学会学術大会]
（2012年09月22日 － 2012年09月23日）
インプラント療法を希望した患者の臨床調査—過去 2 年間の調査結果の比較—[第 42 回日本口腔インプラント学会学術大会]
（2012年09月22日 － 2012年09月23日）
インプラント療法を希望した患者の臨床調査 [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月11日）
インプラント埋入手術後の不快症状に関する臨床調査 [日本口腔インプラント学会第 32 回関東・甲信越支部学術大会]
（2013年02月10日）
インプラント適用後に生じた残存歯喪失に関する臨床調査 [第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会]
（2013年09月13日 － 2013年09月14日）
CAD/CAM で製作されたジルコニア製カスタムアバットメントに関する臨床報告 [第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会]
（2013年09月13日 － 2013年09月14日）
インプラント診療科におけるインプラント治療の臨床調査 [第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会]
（2013年09月13日 － 2013年09月14日）
Maintenance protocol of peri-implant disease and the concept of follow-up oriented treatment planning [The 9th Scientific Meeting of Asian Academy of Osseointegration]
（2014年07月03日 － 2014年07月05日，札幌市）
歯学生に対するインプラント治療に関する意識調査 [福島県歯科医師会　平成２６年度学術大会]
（2014年08月31日，郡山市）
自家骨採取時の偶発症回避を目的とした頬神経走行位置の把握 [第 44 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京都）
陶材を積層した透光性ジルコニアの透光性と曲げ強さ [第 44 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京都）
歯学生に対するインプラント治療に関する意識調査 [第 44 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京都）
当科におけるインプラントメインテナンスの現状について [第 44 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月12日 － 2014年09月14日，東京都）
インプラント療法を希望した患者の臨床調査 [第 43 回日本口腔インプラント学会学術大会]
（2014年09月13日 － 2014年09月14日）
インプラントを正しく理解しよう　～ 疑問や不安の解消のために ～ [公益社団法人日本補綴歯科学会　平成 26 年度東北・北海道支部学術大会]
（2014年10月25日 － 2014年10月26日，郡山市）
単独歯インプラントの 5 年経過症例　—インプラント周囲粘膜形態の観察—[公益社団法人日本口腔インプラント学会第 34 回東北・北海道支部学術大会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日）
歯学生に対する口腔インプラント学の教育効果 [公益社団法人日本口腔インプラント学会第 34 回東北・北海道支部学術大会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日，山形市）
下顎両側小臼歯の先天欠如に対して矯正治療およびインプラント治療を行った症例 [公益社団法人日本口腔インプラント学会第 34 回東北・北海道支部学術大会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日，山形市）

担当授業科目

(歯) 口腔インプラント学実習	2015年04月	－	継続中
(歯) 口腔インプラント学	2015年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本補綴歯科学会［ガイドライン委員会エキスパートパネル］	2010年06月	－	継続中
日本補綴歯科学会［社会連携委員会］	2010年06月	－	継続中
日本顎顔面インプラント学会［学術委員会］	2010年12月	－	継続中
日本補綴歯科学会［学会優秀研究発表賞選考委員］	2012年07月	－	2013年03月
日本口腔インプラント学会［学術委員会］	2012年07月	－	継続中
日本口腔インプラント学会［教育・研修委員会］	2012年07月	－	継続中

日本口腔インプラント学会［国際誌委員会］	2014年06月	―	継続中
日本顎顔面インプラント学会［雑誌編集委員会］	2014年12月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

伊藤　悠

ITO Yu

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2013年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本口腔インプラント学会
日本補綴歯科学会

研究発表

歯学生に対するインプラント治療に関する意識調査の比較 [第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2015年09月21日 － 2015年09月23日）

担当授業科目

(歯) 口腔インプラント学実習　2014年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

奈田　憲二

Nata Kenji

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2014年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔インプラント学会
日本補綴歯科学会

担当授業科目

(歯) 口腔インプラント学実習　2014年04月　－　2014年07月

奥羽大学 歯学部 歯学科

井ノ上　靖尊

Inoue Yasutaka　　生年月日 1987年09月12日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 臨床助手［本務］　2015年04月 ― 継続中

所属学会・委員会

口腔インプラント学会

担当授業科目

(歯) 口腔インプラント学実習　2015年05月 ― 2015年07月

奥羽大学 歯学部 歯学科

兼島　靖彦

Kaneshima Yasuhiko

歯学科

所属学会・委員会

日本口腔インプラント学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

船川　竜生

Funakawa Tatsuo　　生年月日 1988年01月13日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本口腔インプラント学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

高田　訓

TAKADA Satoshi

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　1993年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 助手［本務］	1993年04月	―	1998年04月
奥羽大学歯学部 講師［本務］	1998年05月	―	2001年03月
奥羽大学歯学部 助教授［本務］	2002年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部 教授［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔外科学会
America Cleft Palate Craniofacial Association
The International Association of Oral and Maxillofacial Surgeons
日本口蓋裂学会
東北地区歯科医学会
日本顎変形症学会
International Congress on Cleft Palate and Related Craniofacial Anomalies
口腔顔面神経機能学会
日本小児口腔外科学会
日本顎顔面補綴学会
日本口腔病理学会
日本顎関節学会
日本口腔科学会
日本口腔診断学会

論文

1) 下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例（共著）. [日本口腔診断学会雑誌, 24 (3), (2011), 419-422]

川原一郎、高田　訓、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、杉浦淳子

2) 歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の 1 例. [日本口腔外科学会雑誌, 57 (6), (2011), 374-378]

川原一郎、浜田智弘、丹野聖子、金秀樹、高田訓、大野敬

3) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討. [奥羽大学歯学誌, 38 (2), (2011), 95-100]

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子、伊東博司

4) 診療タイムカードの有用性についての検討（共著）. [奥羽大学歯学誌, 38 (3), (2011), 139-142]

川原一郎、金　秀樹、浜田智弘、馬庭暁人、河西敬子、菅野勝也、高田　訓、大野　敬

5) 初回生検による病理検査で確定診断に至らず初療開始が遅延した下顎歯肉癌の 1 例. [奥羽大学誌学誌, 38 (3), (2011), 135-138]

上田貴史、浜田智弘、金　秀樹、村上知久、高田　訓、大野　敬、小板橋　勉、加藤美菜、伊東博司

6) 術後 30 年で多発性顎嚢胞の再発を認めた基底細胞母斑症候群の 1 例. [奥羽大学学歯誌, 38 (3), (2011), 139-142]

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、伊東博司

7) 口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 219-223]

川原一郎, 浜田智弘, 金　秀樹, 高橋進也, 高田　訓, 大野　敬, 小板橋　勉, 三科正見

8) Immunohistochemical investigation of lymphatic vessel formation control in mouse tooth development —-Lymphatic vessel-forming factors and receptors in tooth development in mice—. [Tissue and Cell, 44, (2012), 170-181]

S.Takahashi, K.Ambe, H.Kon, S.Takada, T.Ohno, H.Watanabe

9) ラットオトガイ神経損傷部への嗅粘膜移植. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

河西 敬子, 高田 訓

10) 頬部から顎下部に発生した静脈奇形の 1 例. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

川原 一郎, 高田 訓, 福元 梨沙, 河西 敬子, 浜田 智弘, 金 秀樹, 大野 敬, 遊佐 淳子, 伊東 博司

11) 腺性歯原性嚢胞との鑑別を要した含歯性嚢胞の 1 例. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

櫻井 裕子, 遊佐 淳子, 小澤 亮, 伊東 博司, 赤城 陽一郎, 浜田 智弘, 菅野 勝也, 森蔭 由喜, 高田 訓

12) 下顎第二大臼歯根尖に高度吸収をきたした下顎低位埋伏智歯の治療経験. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

菅野 勝也, 浜田 智弘, 小嶋 忠之, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜

13) Le Fort I 型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討. [日本口腔診断学会雑誌, (2013)]

浜田 智弘, 金 秀樹, 川原 一郎, 高田 訓, 大野 敬, 櫻井 裕子, 遊佐 淳子, 森蔭 由喜

14) 上顎洞内骨腫の 1 例と文献的考察. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

金 秀樹, 浜田 智弘, 川原 一郎, 馬庭 暁人, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜

15) 臨床実習における超高齢社会に向けたメディカルチーム研修の導入. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

鈴木 史彦, 冨田 修, 田中 絵里, 吉田 健司, 村上 知久, 菊地 隆太, 小嶋 忠之, 高田 訓

16) 歯科口腔外科治療による皮下気腫の臨床的検討. [奥羽大学歯学誌, (2013)]

川原 一郎, 浜田 智弘, 佐藤 淳, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 森陰 由喜

17) Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection.. [Surgical and Radiologic Anatomy, (2014)]

Hamada T, Usami A, Kishi A, Kon H, Takada S.

18) 緊急止血処置を要した上顎智歯抜歯後出血の 1 例. [日本口腔診断学会雑誌, (2014)]

川原 一郎, 浜田 智弘, 菅野 勝也, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬

19) 福島県における被災地口腔ケア推進事業の概要. [みちのく歯学会雑誌, (2014)]

瀬川 洋, 田口 慎哉, 福元 梨沙, 高田 訓, 池山 丈二, 池田 知弘, 五十嵐 稔, 金子 振

著書

1) 標準口腔外科学　第 4 版. [医学書院,2015]

野間弘康，瀬戸皖一，**髙**田　訓，他

研究発表

下歯槽神経損傷部へ嗅神経移植 [第 65 回日本口腔科学会]
（2011年04月21日 － 2011年04月22日）

歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の 1 例 [第 37 回日本口腔外科学会北日本地方会]
（2011年05月21日 － 2011年05月22日）

両側口唇口蓋裂患者に上下顎同時骨切り術を行った一例 [第 35 回日本口蓋裂学会]
（2011年05月25日 － 2011年05月26日）

マウスの歯牙発生におけるリンパ管形成制御に関する免疫組織化学的検索 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月）

PGA（Polyglycolic acid）糸の吸収分解に伴う筋線維の変化 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
下顎歯肉癌術後に生じた一過性横隔神経麻痺の検討 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
マウス歯牙発生におけるリンパ管形成因子と受容体の発現 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
口蓋部に発生した唾液腺過形成を伴う筋上皮腫の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
口蓋隆起部に生じた扁平上皮癌の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
下歯槽神経損傷部への嗅粘膜移植 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
舌縁後縁部に発生したリンパ上皮性嚢胞の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
熱刺激による知覚・味覚の閾値変化についての実験的研究 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
下歯槽神経損傷部への嗅粘膜移植 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
口腔内の表面温度変化による知覚・味覚への影響についての検討—大錐体神経・舌咽神経・鼓索神経領域での比較—[第 16 回口腔顔面神経機能学会]
（2012年02月18日）
PGA 糸の分解吸収に伴う筋組織への影響 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
根管治療後に発生した広範な皮下縦隔気腫の 1 例 [第 38 回日本口腔外科学会北日本地方]
（2012年06月23日 － 2012年06月24日）
下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例 [第 38 回日本口腔外科学会北日本地方会]
（2012年06月23日 － 2012年06月24日）
PGA(Polyglycolic acid) 糸の分解吸収に伴う筋組織への影響 [第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日）
翼突筋静脈叢損傷による抜歯後出血の 1 例 [第 57 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日）
頬部から顎下部に発生した静脈奇形の 1 例 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月22日 － 2013年05月24日）
歯科口腔外科治療に起因した皮下気腫の臨床的検討 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月22日 － 2013年05月24日）
口底扁平苔癬より癌化し再発と多発を繰り返した疣贅性癌の治療経験 [第 39 回日本口腔外科学会北日本地方会]
（2013年06月28日 － 2013年06月29日）
口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例 [第 39 回日本口腔外科学会北日本地方会]
（2013年06月28日 － 2013年06月29日）
左側上顎臼歯部に発生した術後性上顎嚢胞に類似した嚢胞の臨床的検討 [第 58 回日本口腔外科学会総会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日）
歯原性嚢胞に由来した原発性骨内扁平上皮癌の 1 例 [第 58 回日本口腔外科学会総会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日）
ラット切歯歯根に達するインプラント埋入が切歯萌出および顎骨形態に及ぼす影響 [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月）
口腔粘膜の温度変化による知覚味覚への影響 [第 18 回口腔顔面神経機能学会]
（2014年03月01日）
ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築 [第 40 回日本口腔外科学会北日本地方会]
（2014年06月21日 － 2014年06月22日）
腫瘍性病変を疑った口蓋部放線菌症の 1 例 [第 40 回日本口腔外科学会北日本地方会]
（2014年06月21日 － 2014年06月22日）
Inactivation of Gr5a-expressing taste neurons disrupts multiple taste modalities in the ingestion behavior of Drosophila. [Inactivation of Gr5a-expressing taste neurons disrupts multiple taste modalities in the ingestion behavior of Drosophila.]
（2014年09月10日 － 2014年09月13日）
オトガイ部に発生したびまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫の一例 [第 24 回日本口腔内科学会　第 27 回日本口腔診断学会　合同学術大会]
（2014年09月18日 － 2014年09月20日）

ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築 [日本味と匂学会第 48 回大会]
（2014年10月02日 － 2014年10月04日）
ラット切歯に達するインプラント埋入が切歯萌出および顎骨形態に及ぼす影響 [第 59 回日本口腔外科学会総会]
（2014年10月17日 － 2014年10月19日）
下唇に発生した静脈石の 1 例 [第 59 回日本口腔外科学会総会]
（2014年10月17日 － 2014年10月19日）
摘出開窓術を用いた広範なエナメル上皮腫の治療経験 [第５８回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
下唇粘液嚢胞摘出術後の知覚異常に関する臨床的検討 [第 19 回口腔顔面神経機能学会]
（2015年03月07日）
頸部に発生した石灰化上皮腫の１例 [第 53 回特定非営利活動法人　日本口腔科学会／北日本地方部会第 41 回公益社団法人　日本口腔外科学会　北日本支部学術集会]
（2015年06月27日 － 2015年06月28日）
口腔内アプローチで観血的整復固定術を行った頬骨弓骨折の 2 例 [第 53 回特定非営利活動法人　日本口腔科学会／北日本地方部会第 41 回公益社団法人　日本口腔外科学会　北日本支部学術集会]
（2015年06月27日 － 2015年06月28日）
オトカ〓イ部における舌孔の出現部位と顎舌骨筋 との位置関係 [第 45 回日本口腔インプラント学会]
（2015年09月21日 － 2015年09月23日）
poxn 発現末梢味覚器の機能障害がショウジョウバエ産卵行動に与える影響 [日本味と匂学会　第 49 回大会]
（2015年09月25日）
下顎角部から筋突起部に及ぶ広範な単純性骨嚢胞の治療経験 [第 60 回日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程におけるリンパ管形成とフリーラジカルの局在 [第 56 回日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）
Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery(ICOMS2015)]
（2015年10月27日 － 2015年10月30日）
Aneurysmal bone cyst of the mandible with aggressive root resorption: A case report [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery(ICOMS2015)]
（2015年10月27日 － 2015年10月30日）
当科における薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に関する臨床的検討 [第６０回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
オトカ〓イ部における舌孔の出現部位と顎舌骨筋 との位置関係 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
マウス末梢神経切断後の神経再生過程における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂食量および寿命に与える影響 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
運動ストレスと口臭に関する研究 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程における NOS の局在 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月05日）
マウス末梢神経切断後の神経再生過程における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月05日）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂食量および寿命に与える影響 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月05日）

担当授業科目

(歯) 口腔外科学Ⅳ	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 口腔外科学Ⅰ	2013年04月	－	2014年03月
(歯) 口腔外科学Ⅳ	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 口腔内科学	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 歯科医学演習	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 臨床歯学概論	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 口腔内科学	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 口腔外科学Ⅳ	2015年04月	－	2016年03月

その他教育活動及び特記事項

６学年の講義に液晶プロジェクターを導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2002年04月	―	継続中
口唇 · 口蓋裂の治療と日常生活の注意について資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
奥羽大学ＣＢＴ入力ソフト開発 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
当直 · 時間外診マニュアル（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
顎顔面の発生と先天異常について資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
５年生の臨床実習内容へのコアカリキュラム内容の導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
後天異常についての資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年05月	―	継続中
唾液腺疾患についての資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年07月	―	継続中
血液疾患、全身疾患、薬物療法に関する資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年09月	―	継続中
炎症性疾患とアレルギーに関する資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年09月	―	継続中
神経疾患に関する資料執筆（改訂版） ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年09月	―	継続中
奥羽大学ＣＢＴ入力ソフト ver. ２開発 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年04月	―	継続中
当直 · 時間外診マニュアルの改訂 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年04月	―	継続中
５年生のプレクリニック履修項目にグループ方式の実習を導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2004年04月	―	継続中
院内感染対策マニュアル２００４の執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年05月	―	継続中
口腔外科オリジナル問題集資料執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年10月	―	継続中
４年生にＣＢＬを実施 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
６年生にアチーブメント試験を実施 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
第６学年第５組クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2009年04月	―	継続中
第４学年 A-test ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2009年04月	―	継続中
第６学年学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2014年04月	―	2015年03月
第６学年学年主任 ［活動区分 ：クラス担任］	2015年04月	―	2016年03月
第５学年の外部の病院での派遣実習を導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2015年04月	―	継続中
第１学年 ～ 第４学年に ES を導入 ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2015年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［理事 · 評議員］	1998年04月	―	継続中
口腔顔面神経機能学会［口唇麻痺基準検討委員］	2000年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

大野　敬

OHNO Takashi

歯学科

出身大学院

明海大学・歯学研究科・博士課程　1987年 修了

取得学位

学士　城西歯科大学（現明海大学歯学部）

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　教授［本務］　2001年07月　－　継続中

所属学会・委員会

東北歯科大学学会（現奥羽大学歯学会）
日本口腔外科学会
日本口腔科学会
東北地区歯科医学会
The International Association of Oral and Maxillofacial Surge ｒｙ
The Japanese Society for Oral Pathology
口腔顔面神経機能学会
日本小児口腔外科学会
日本口腔診断学会
日本外傷歯学会
日本口腔粘膜学会
アジア口腔顎顔面外科学会
日本口腔インプラント学会
日本歯科薬物療法学会

論文

1) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 38（2）,（2011）, 95-100］

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子

2) 歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の 1 例.［日本口腔外科学会雑誌, 57（6）,（2011）, 374-378］

川原一郎、浜田智弘、丹野聖子、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

3) 初回生検による病理検査で確定診断に至らず初療開始が遅延した下顎歯肉癌の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 135-138］

上田貴史、浜田智弘、金　秀樹、村上知久、高田　訓、大野　敬、小板橋　勉、加藤美菜、伊東博司

4) 術後 30 年で多発性顎嚢胞の再発を認めた基底細胞母斑症候群の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 129-133］

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、伊東博司

5) 診療タイムカードの有用性についての検討.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 139-142］

川原一郎、金　秀樹、浜田智弘、馬庭暁人、河西敬子、菅野勝也、高田　訓、大野　敬

6) 下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例.［日本口腔診断学会, 24（3）,（2011）, 139-142］

川原一郎、高田　訓、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、杉浦淳子

7) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み―身元不明遺体の検死活動の概要―.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 230-236］

板橋　仁、今関　肇、宇佐美晶信、影山勝保、川合宏仁、関根貴仁、玉井一樹、長岡正博、西本秀平、浜田智弘、林　太一、福島雅啓、和田隆史、渡辺　聡、高橋　和裕、大野　敬

8) 口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 219-223］

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高橋進也、高田　訓、大野　敬、小板橋　勉、三科正見

9) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み―郡山市避難所における支援活動の概要―.［奥羽大学歯学部, 38（4）,（2011）, 224-229］

佐々木重夫、相澤徳久、菊井徹哉、鈴木文章、鈴木史彦、長岡正博、西本秀平、高橋和裕、大野　敬

10) 寒天印象材の迷入による頬部異物肉芽腫の１例.［日本口腔外科学会雑誌, 58（11）,（2012）, 642-645］

川原一郎、浜田智弘、高田　訓、金　秀樹、大野　敬、櫻井裕子

11) 歯科口腔外科治療における皮下気腫の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 40（1）,（2012）, 63-68］

川原一郎、金　秀樹、浜田智弘、馬庭暁人、河西敬子、菅野勝也、高田　訓、大野　敬

12) 口蓋隆起部に発生した扁平上皮癌の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 171-176］

金 秀樹 浜田智弘, 菅野勝也, 佐藤 淳, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭由喜, 櫻井裕子, 遊佐淳子, 清野 和夫

13) 舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の１例.［佐藤　淳、浜田智弘、川原一郎、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子, 58（11）,（2012）, 642-645］

佐藤　淳、浜田智弘、川原一郎、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子

14) Immunohistochemical investigation of lymphatic vessel formation control in mouse tooth development - Lymphatic vessel -forming and receptors in tooth development in mice-.［Tissue and Cell, 44,（2012）, 170-181］

S.Takahasi, K.Anbe, H.Kon, S.Takada, T.Ohno, H.Watanabe

15) 上顎洞内骨腫の１例と文献的考察.［奥羽大学歯学誌, 40（1）,（2013）, 39-43］

金　秀樹、浜田智弘、川原一郎、馬庭暁人、高田　訓、大野　敬、森蔭由喜

16) Le Fort Ⅰ型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討.［日本口腔診断学会雑誌, 26（2）,（2013）, 202-205］

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、遊佐淳子、森陰由喜

17) 下顎第二大臼歯根尖に高度吸収をきたした下顎低位埋伏智歯の治療経験.［奥羽大学歯学誌, 40（2）,（2013）, 117-120］

菅野 勝也浜田 智弘, 小嶋 忠之, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜

18) 緊急止血処置を要した上顎智歯抜歯後出血の１例.［日本口腔診断学会雑誌, 24（3）,（2014）, 419-422］

川原一郎、浜田智弘、菅野勝也、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

19) 外科的処置や外傷を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎嚢胞の１例.［日本口腔診断学会雑誌, 27（3）,（2014）, 244-248］

高橋進也、浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子

20) 頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例.［奥羽大学歯学誌, 40（4）,（2014）, 179-182］

川原一郎、高田　訓、福元梨沙、河西敬子、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、遊佐淳子、伊東博司

研究発表

下歯槽神経損傷部へ嗅神経移植［第 65 回日本口腔科学会］
（2011年04月）

歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴う［第 49 回 NPO 法人日本口腔科学会第 37 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会］
（2011年05月21日 － 2011年05月22日）

両側口唇口蓋裂患者に上下顎同時骨切り術を行った一例［第 35 回日本口蓋裂学会］
（2011年05月25日 － 2011年05月26日）

マウスの歯牙発生におけるリンパ管形成制御に関する免疫組織化学的検索［第 51 回奥羽大学歯学会］
（2011年06月11日）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その１）［第 52 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会　］
（2011年07月）

口蓋部に発生した唾液腺過形成を伴う筋上皮腫の１例［第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日）

舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の１例［第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日）

下顎歯肉癌術後に生じた一過性横隔神経麻痺の検討 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日）
マウス歯牙発生におけるリンパ管形成因子と受容体の発現 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日）
口蓋隆起部に生じた扁平上皮癌の１例 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月22日）
PGA（Polyglycolic acid）糸の吸収分解に伴う筋線維の変化 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月22日）
下歯槽神経損傷部への嗅粘膜移植 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月22日）
熱刺激による知覚・味覚の閾値変化についての実験的研究 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月22日）
舌縁後縁部に発生したリンパ上皮性嚢胞の１例 [第 56 回社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月22日）
下歯槽神経損傷部への嗅粘膜移植 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
口腔内の表面温度変化による知覚・味覚への影響についての検討—大錐体神経・舌咽神経・鼓索神経領域での比較—[第１６回口腔顔面神経機能学会　]
（2012年02月18日）
マウス歯髄発生における NOS の発現 [第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2012年03月26日）
根管治療後に発生した広範な皮下縦隔気腫の１例 [第 50 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 38 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2012年06月）
PGA 糸の分解吸収に伴う筋組織への影響 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月）
下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の１例 [第 50 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 38 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2012年06月）
口腔内に発生したリンパ上皮性嚢胞の２例 [第 57 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2012年10月）
翼突筋静脈叢損傷による抜歯後出血の１例 [第 57 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2012年10月）
PGA(Polyglycolic acid) 糸の分解吸収に伴う筋組織への影響 [第 57 回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2012年10月）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の１症例 [第 54 回奥羽大学歯学会　]
（2012年11月）
味覚障害が QOL に与える影響のショウジョウバエ味覚変異系統を用いた検討（第一報）[第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月）
鼻腔側より抜歯した正中過剰埋伏歯の１例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月）
ショウジョウバエ味覚変異系統のおける摂食行動の検討 [ショウジョウバエ味覚変異系統のおける摂食行動の検討]
（2013年03月）
マウス歯髄発生における一酸化窒素酵素（NOS）に関する免疫組織化学的検索 [第 17 回口腔顔面神経機能学会]
（2013年03月）
歯科口腔外科治療に起因した皮下気腫の臨床的検討 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月）
頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月）
口底扁平苔癬より癌化し再発と多発を繰り返した疣贅性癌の治療経験 [第 39 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2013年06月）
口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の１例 [第 39 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会　]
（2013年06月）

左側上顎臼歯部に発生した術後性上顎嚢胞に類似した嚢胞の臨床的検討 [第 58 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2013年10月）
歯原性嚢胞に由来した原発性骨内扁平上皮癌の 1 例 [第 58 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2013年10月）
口腔粘膜の温度変化による知覚味覚への影響 [第 18 回口腔顔面神経機能学会]
（2014年03月）
腫瘍性病変を疑った口蓋部放線菌症の 1 例 [第 52 回 NPO 法人日本口腔科学会]
（2014年06月）
オトガイ部に発生したびまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫の一例 [第 24 回日本口腔内科学会　第 27 回日本口腔診断学会　合同学術大会　]
（2014年09月）
ラット切歯に達するインプラント埋入が切歯萌出および顎骨形態に及ぼす影響 [第 59 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2014年10月）
下唇に発生した静脈石の 1 例 [第 59 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2014年10月）
下唇粘液嚢胞摘出術後の知覚異常に関する臨床的検討 [第 19 回口腔顔面神経機能学会]
（2015年03月）
頸部に発生した石灰化上皮腫の１例 [第 53 回特定非営利活動法人　日本口腔科学会／北日本地方部会第 41 回公益社団法人　日本口腔外科学会　北日本支部学術集会　]
（2015年06月，札幌）
口腔内アプローチで観血的整復固定術を行った頬骨弓骨折の 2 例 [第 53 回特定非営利活動法人　日本口腔科学会／北日本地方部会第 41 回公益社団法人　日本口腔外科学会　北日本支部学術集会]
（2015年06月，札幌）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程におけるリンパ管形成とフリーラジカルの局在 [第 60 回日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月，名古屋）
Aneurysmal bone cyst of the mandible with aggressive root resorption: A case report [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery (ICOMS2015)]
（2015年10月，Melbourne）
Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery(ICOMS2015)]
（2015年10月，Melbourne）
当科における薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に関する臨床的検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月，郡山）

担当授業科目

歯科医学概論	2011年04月	―	2011年07月
臨床総合講義	2011年04月	―	2011年12月
口腔外科学Ⅲ	2011年04月	―	2011年07月
口腔外科学Ⅴ	2011年09月	―	2012年01月
(歯) 歯科医学概論	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 歯科医学概論	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 臨床総合講義	2013年04月	―	2013年12月
(歯) 口腔外科学Ⅲ	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 口腔外科学Ⅴ	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 口腔外科学Ⅲ	2014年04月	―	2014年07月
(歯) 歯科医学概論	2014年04月	―	2014年07月
(歯) 口腔外科学Ⅴ	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 口腔外科学Ⅲ	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 歯科医療概論	2015年04月	―	2015年07月

その他教育活動及び特記事項

病院感染対策マニュアル２００４の執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年06月	―	継続中
病棟 · 手術室看護業務マニュアル２００６の執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2006年03月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

金　秀樹

KON Hideki　　生年月日 1968年10月13日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　　2000年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2000年04月	―	2003年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2003年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口蓋裂学会
日本口腔外科学会
口腔顔面神経機能学会
東北地区歯科医学会
日本頭頸部癌学会
日本口腔腫瘍学会
日本口腔診断学会
日本口腔顎顔面補綴学会
日本小児口腔外科学会
日本化学療法学会
アジア口腔顎顔面外科学会

論文

1) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 38（2）,（2011）, 95-100］

浜田 智弘, 金 秀樹, 川原 一郎, 高田 訓, 大野 敬, 遊佐 淳子, 伊東 博司

2) 歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の 1 例.［日本口腔外科学会雑誌, 57（6）,（2011）, 374-378］

川原 一郎, 浜田 智弘, 丹野 聖子, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬

3) 初回生検による病理検査で確定診断に至らず初療開始が遅延した下顎歯肉癌の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 135-138］

上田 貴史, 浜田 智弘, 金 秀樹, 村上 知久, 高田 訓, 大野 敬, 小板橋 勉, 加藤 美菜, 伊東 博司

4) 診療タイムカードの有用性についての検討.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 139-142］

川原 一郎, 金 秀樹, 浜田 智弘, 馬庭 暁人, 河西 敬子, 菅野 勝也, 高田 訓, 大野 敬

5) 術後 30 年で多発性顎嚢胞の再発を認めた基底細胞母斑症候群の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 129-133］

川原 一郎, 浜田 智弘, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 櫻井 裕子, 伊東 博司

6) 下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例.［日本口腔診断学会雑誌, 24（3）,（2011）, 419-422］

川原 一郎, 高田 訓, 浜田 智弘, 金 秀樹, 大野 敬, 杉浦 淳子

7) 口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 219-233］

川原 一郎, 浜田 智弘, 金 秀樹, 高橋 進也, 高田 訓, 大野 敬, 小板橋 勉, 三科 正見

8) 口蓋隆起部に発生した扁平上皮癌の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 171-176］

金 秀樹, 浜田 智弘, 菅野 勝也, 佐藤 淳, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜, 櫻井 裕子, 遊佐 淳子, 清野 和夫

9) 寒天印象材の迷入による頬部異物肉芽腫の 1 例.［日本口腔外科学会雑誌, 58（11）,（2012）, 642-645］

川原 一郎, 浜田 智弘, 高田 訓, 金 秀樹, 大野 敬, 櫻井 裕子

10) 舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例. [奥羽大学歯学誌, 39 (4), (2012), 227-230]

佐藤 淳, 浜田 智弘, 川原 一郎, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 櫻井 裕子, 伊東 博司, 森蔭 由喜

11) 歯科口腔外科治療による皮下気腫の臨床的検討. [奥羽大学歯学誌, 40 (1), (2013), 39-43]

川原 一郎, 浜田 智弘, 佐藤 淳, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 森陰 由喜

12) 上顎洞内骨腫の 1 例と文献的考察. [奥羽大学歯学誌 , 40 (1), (2013), 63-68]

金 秀樹, 浜田 智弘, 川原 一郎, 馬庭 暁人, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜

13) Le Fort I 型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討. [日本口腔診断学会雑誌, 26 (2), (2013), 202-205]

浜田 智弘, 金 秀樹, 川原 一郎, 高田 訓, 大野 敬, 櫻井 裕子, 遊佐 淳子, 森蔭 由喜

14) 下顎第二大臼歯根尖に高度吸収をきたした下顎低位埋伏智歯の治療経験. [奥羽大学歯学誌, 40 (2), (2013), 117-120]

菅野 勝也, 浜田 智弘, 小嶋 忠之, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜

15) 頬部から顎下部に発生した静脈奇形の 1 例. [奥羽大学歯学誌, 40 (4), (2013), 179-182]

川原 一郎, 高田 訓, 福元 梨沙, 河西 敬子, 浜田 智弘, 金 秀樹, 大野 敬, 遊佐 淳子, 伊東 博司

16) 緊急止血処置を要した上顎智歯抜歯後出血の 1 例. [日本口腔診断学会雑誌, 27 (1), (2014), 48-51]

川原 一郎, 浜田 智弘, 菅野 勝也, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬

17) 外科的処置や外傷の既往を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎嚢胞の 1 例　臨床的および病理組織学的検討. [日本口腔診断学会雑誌, 27 (3), (2014), 244-248]

高橋 進也, 浜田 智弘, 金 秀樹, 川原 一郎, 高田 訓, 大野 敬, 遊佐 淳子, 櫻井 裕子

18) 多数歯先天欠如を伴う骨格性反対咬合の包括歯科治療. [奥羽大学歯学誌 , 41 (3-4), (2014), 129-134]

福井 和徳, 川鍋 仁, 細谷 尚史, 山野辺 晋也, 山森 徹雄, 金 秀樹

研究発表

両側口唇口蓋裂患者に対する上下顎同時骨切り術の 1 例 [日本口蓋裂学会]
(2011年04月)
口蓋部に発生した唾液腺過形成を伴う筋上皮腫の 1 例 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
下歯槽神経損傷部への嗅粘膜移植 [日本口腔科学会]
(2011年09月)
熱刺激による知覚・味覚の閾値変化についての実験的研究 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
舌縁後縁部に発生したリンパ上皮性嚢胞の 1 例 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
下顎歯肉癌術後に生じた一過性横隔神経麻痺の検討 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
PGA(Polyglycolic acid) 糸の吸収分解に伴う筋線維の変化 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
口蓋隆起部に生じた扁平上皮癌の 1 例 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
マウス歯牙発生におけるリンパ管形成因子と受容体の発現 [日本口腔外科学会]
(2011年09月)
口腔癌に対するトモセラピーによる治療経験 [奥羽大学歯学会]
(2011年11月)
臨床研修歯科医師の進路　過去 7 年間の結果から [奥羽大学歯学会]
(2013年06月)
下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例 [日本口腔科学会]
(2013年10月)

歯科口腔外科治療に起因した皮下気腫の臨床的検討 [日本口腔科学会]
（2013年10月）
頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例 [日本口腔科学会]
（2013年10月）
鼻腔側より抜歯した正中埋伏過剰歯の１例 [奥羽大学歯学会]
（2013年11月）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の１症例 [奥羽大学歯学会]
（2013年11月）
オトガイ部に発生したびまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫の１例 [日本口腔内科学会]
（2014年09月）

担当授業科目

口腔外科学Ⅳ	2009年04月	―	継続中
口腔インプラント学	2009年05月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

奥羽大学臨床研修歯科医師 OSCE ［活動区分 ：その他特記事項］	2003年10月	―	継続中
一般目標、行動目標および評価基準の作成 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2004年04月	―	継続中
講義資料の作成・執筆 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2004年12月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

浜田　智弘

HAMADA Tomohiro

歯学科

出身大学院

大阪大学・歯学研究科・博士課程　2004年 修了

取得学位

博士　大阪大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 助手［本務］	2004年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部 助教［本務］	2007年04月	―	2009年03月
奥羽大学歯学部 講師［本務］	2009年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本口腔外科学会
口腔顔面神経機能学会
奥羽大学歯学会
日本口腔診断学会
アジア口腔顎顔面外科学会（The Asian Association of Oral and Maxillofacial Surgeons）
日本口蓋裂学会
東北地区歯科医学会
国際口腔顎顔面外科学会（International Association of Oral and Maxillofacial Surgeons）
日本口腔インプラント学会
International Board for the Certification of Specialists in Oral and Maxillofacial Surgery

論文

1) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 38（2）,（2011）, 95-100］

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子、伊東　博

2) 歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の１例.［日本口腔外科学会雑誌, 57（6）,（2011）, 374-378］

川原一郎、浜田智弘、丹野聖子、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

3) 診療タイムカードの有用性についての検討.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 139-142］

川原一郎、金　秀樹、浜田智弘、馬庭暁人、河西敬子、菅野勝也、高田　訓、大野　敬

4) 術後 30 年で多発性顎嚢胞の再発を認めた基底細胞母斑症候群の１例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 129-134］

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井祐子、伊東　博

5) 初回生検による病理検査で確定診断に至らず初療開始が遅延した下顎歯肉癌の１例.［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 135-138］

上田貴史、浜田智弘、金　秀樹、村上知久、高田　訓、大野　敬、小板橋　勉、加藤美菜、伊東　博

6) 下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の１例.［日本口腔診断学会雑誌, 24,（2011）, 419-422］

川原一郎、高田　訓、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、杉浦淳子

7) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み ―身元不明遺体の検死活動の概要―.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 230-236］

板橋　仁、今関　肇、宇佐美昌信、影山勝保、川合宏仁、関根貴仁、玉井一樹、長岡正博、西本秀平、浜田智弘、林　太一、福島雅啓、和田隆史、渡辺　聡、高橋和裕、大野　敬

8) 口腔癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の１例.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 219-223］

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高橋進也、高田　訓、大野　敬、小板橋　勉、三科正見

9) 寒天印象材の迷入による頬部異物肉芽腫の１例.［日本口腔外科学会雑誌,（2012）］

川原一郎、浜田智弘、高田　訓、金　秀樹、大野　敬、櫻井裕子

10) 口蓋隆起部に発生した扁平上皮癌の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, 39 (3), (2012), 171-176］

金　秀樹、浜田智弘、菅野勝也、佐藤　淳、高田　訓、大野　敬、森蔭由樹、櫻井裕子、遊佐淳子、清野和夫

11) 舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の１例.［奥羽大学歯学誌, (2012)］

佐藤　淳、浜田智弘、川原一郎、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、伊東博司、森蔭由樹

12) 上顎洞内骨腫の１例と文献的考察.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

金　秀樹、浜田智弘、川原一郎、馬庭暁人、高田　訓、大野　敬、森蔭由樹

13) 歯科口腔外科治療による皮下気腫の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

川原一郎、浜田智弘、佐藤　淳、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、森蔭由樹

14) Le Fort Ⅰ型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討.［日本口腔診断学会雑誌, (2013)］

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、遊佐淳子、森蔭由喜

15) 腺性歯原性嚢胞との鑑別を要した含歯性嚢胞の１例.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

櫻井裕子、遊佐淳子、小澤　亮、伊東博司、赤城陽一郎、浜田智弘、菅野勝也、森蔭由喜、高田　訓

16) 下顎第二大臼歯根尖に高度吸収をきたした下顎低位埋伏智歯の治療経験.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

菅野勝也、浜田智弘、小嶋忠之、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、森蔭由喜

17) 適正な医療記録への取り組み　―診療報酬査定―.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

清野晃孝、杉田俊博、佐藤隠子、濱田智弘、原田卓哉、高橋和裕

18) 味覚障害モデルショウジョウバエの行動学的解析.［日本味と匂学会誌, (2013)］

小嶋忠之、古山　昭、磯野邦夫、浜田智弘、大須賀謙二、宗形芳英

19) 頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

川原一郎、高田　訓、福元梨沙、河西敬子、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、遊佐淳子、伊東博司

20) 緊急止血処置を要した上顎智歯抜歯後出血の１例.［日本口腔診断学会雑誌, (2014)］

川原一郎、浜田智弘、菅野勝也、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

21) Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection.［Surgical and Radiological Anatmy, (2014)］

Tomohiro Hamada, Akinobu Usami, Asuka Kishi, Hideki Kon, Satoshi Takada

22) 外科的処置や外傷の既往を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎嚢胞の１例.［日本口腔診断学会雑誌, (2014)］

高橋進也、浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子、櫻井裕子

23) ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築.［日本味と匂学会誌, (2014)］

小嶋忠之、古山　昭、磯野邦夫、浜田智弘、宗形芳英、高田　訓

24) A case of phleboliths of the lower lip.［Jacobs Journal of Dentistry and Research, (2015)］

Shinya Takahashi, Tomohiro Hamada, Ichiro Kawahara, Hideki Kon, Satoshi Takada, Takashi Ohno, Junko, Yusa, Yuko Sakurai

25) Poxn 発現末梢味覚器の機能障害がショウジョウバエ産卵行動に与える影響.［日本味と匂学会誌, (2015)］

小嶋忠之、古山　昭、磯野邦夫、浜田智弘、宗形芳英、高田　訓

総説・解説記事

1) 舌表面温度変化による知覚・味覚への影響.［口腔顔面神経機能学会報,（2012）］

菅野勝也、浜田智弘、川原一郎、佐藤淳、金秀樹、高田訓、大野敬

2) 口腔内の表面温度変化による知覚・味覚への影響についての検討　―大錐体神経・舌咽神経・鼓索神経領域での比較―.［口腔顔面神経機能学会報,（2013）］

川原一郎、浜田智弘、菅野勝也、佐藤淳、金秀樹、高田訓、大野敬

3) 分子標的薬.［奥羽大学歯学誌,（2013）］

浜田智弘

4) マウス歯髄発生における一酸化窒素酵素（NOS）に関する免疫組織化学的検索.［口腔顔面神経機能学会報,（2014）］

高橋進也、小嶋忠之、浜田智弘、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

5) ショウジョウバエ味覚変異系統における摂食行動の検討.［口腔顔面神経機能学会報,（2014）］

小嶋忠之、浜田智弘、高橋進也、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

研究発表

下歯槽神経損傷部へ嗅神経移植［第 65 回日本口腔科学会学術集会］
（2011年04月21日）
歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の１例［第 49 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 37 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会］
（2011年05月21日 ― 2011年05月22日）
両側口唇口蓋裂患者に対する上下顎同時骨切り術の１例［第 35 回日本口蓋裂学会総会・学術集会］
（2011年05月25日 ― 2011年05月26日）
奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における Goslon Yardstick を用いた咬合評価［第 35 回日本口蓋裂学会総会・学術集会］
（2011年05月25日 ― 2011年05月26日）
東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その２）［第 51 回奥羽大学歯学会］
（2011年06月11日）
東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その１）［第 52 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会］
（2011年07月）
口蓋部に発生した唾液腺過形成を伴う筋上皮腫の 1 例［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
熱刺激による知覚・味覚の閾値変化についての実験的研究［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
舌縁後縁部に発生したリンパ上皮性嚢胞の 1 例［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
下顎歯肉癌術後に生じた一過性横隔神経麻痺の検討［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
PGA(Polyglycolic acid) 糸の吸収分解に伴う筋線維の変化［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
口蓋隆起部に生じた扁平上皮癌の１例［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
マウス歯牙発生におけるリンパ管形成因子と受容体の発現［第 56 回（社）日本口腔外科学会総会・学術大会］
（2011年10月21日 ― 2011年10月23日）
軟口蓋表面の温度変化による知覚・味覚への影響［第 16 回口腔顔面神経機能学会］
（2012年02月18日）
口腔癌に対するトモセラピーによる治療経験［第 53 回奥羽大学歯学会］
（2012年06月）
下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の１例［第 50 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 38 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会］
（2012年06月23日 ― 2012年06月24日）
根管治療後に発生した広範な皮下縦隔気腫の１例［第 50 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 38 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会］
（2012年06月23日 ― 2012年06月24日）

翼突筋静脈叢損傷による抜歯後出血の１例 [第 57 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日）
口腔内に発生したリンパ上皮性嚢胞の２例 [第 57 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日）
PGA(Polyglycolic acid) 糸の分解吸収に伴う筋組織への影響 [第 57 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日）
味覚障害が QOL に与える影響のショウジョウバエ味覚変異系統を用いた検討（第一報）[第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の１症例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
鼻腔側より抜歯した正中過剰埋伏歯の１例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
マウス歯髄発生における一酸化窒素酵素（NOS）に関する免疫組織化学的検索 [第 17 回口腔顔面神経機能学会]
（2013年03月02日）
ショウジョウバエ味覚変異系統のおける摂食行動の検討 [第 17 回口腔顔面神経機能学会]
（2013年03月02日）
頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月）
歯科口腔外科治療に起因した皮下気腫の臨床的検討 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月）
診療録整備委員会の業務 [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
口腔扁平苔癬より癌化し再発と多発を繰り返した疣贅性癌の治療経験 [第 51 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 39 回（公社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2013年06月29日）
口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の１例 [第 51 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 39 回（公社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2013年06月29日）
味覚障害モデルショウジョウバエの行動学的解析 [日本味と匂学会第 47 回大会]
（2013年09月05日 － 2013年09月07日）
左側上顎臼歯部に発生した術後性上顎**嚢**胞に類似した**嚢**胞の臨床的検討 [第 58 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日）
下顎骨に生じた歯原性**嚢**胞に由来する原発性骨内扁平上皮癌の１例 [第 58 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日）
パーキンソン病患者の咀嚼運動解析 [埼玉パーキンソン病治療研究会]
（2013年10月31日）
ショウジョウバエ餌選択における末梢味覚器の役割 [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
口腔粘膜の温度変化による知覚 · 味覚への影響 [第 18 回口腔顔面神経機能学会]
（2014年03月01日）
ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築 [第 52 回特定非営利活動法人日本口腔科学会　第 40 回（公社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2014年06月29日）
腫瘍性病変を疑った口蓋部放線菌症の１例 [第 52 回特定非営利活動法人日本口腔科学会　第 40 回（公社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2014年06月29日）
頸部郭清術施行後にリンパ漏をきたした１例 [第 52 回特定非営利活動法人日本口腔科学会　第 40 回（公社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2014年06月29日）
口腔癌頸部郭清術後に生じたリンパ漏の１例 [福島県歯科医師会学術大会]
（2014年08月31日）
口蓋部に発生した放線菌症の１例 [福島県歯科医師会学術大会]
（2014年08月31日）
Inactivation of Gr5a-expressing taste neurons disrupts multiple taste modalities in the ingestion behavior of Drosophila. [24th International Conference of European Chemoreception Research Organization]
（2014年09月10日 － 2014年09月13日）

ショウジョウバエを用いた塩味味覚障害モデルの構築 [日本味と匂学会第 48 回大会]
（2014年10月02日 － 2014年10月04日）
摘出開窓術を用いた広範なエナメル上皮腫の治療経験 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
頸部に発生した石灰化上皮腫の 1 例 [第 53 回特定非営利活動法人 日本口腔科学会 北日本地方部会／第 41 回公益団法人 日本口腔外科学会 北日本支部学術集会]
（2015年06月27日 － 2015年06月28日）
口腔内アプローチで観血的整復固定術を行った頬骨弓骨折の 2 例 [第 53 回特定非営利活動法人 日本口腔科学会 北日本地方部会／第 41 回公益団法人 日本口腔外科学会 北日本支部学術集会]
（2015年06月27日 － 2015年06月28日）
オトガイ部における舌孔の出現部位と顎舌骨筋との位置関係 [第 45 回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会]
（2015年09月21日 － 2015年09月23日）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程におけるリンパ管形成とフリーラジカルの局在 [第 60 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）
下顎角部から筋突起部に及ぶ広範な単純性骨嚢胞の治療経験 [第 60 回（公社）日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）
Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery (ICOMS 2015)]
（2015年10月27日 － 2015年10月30日）
Aneurysmal bone cyst of the mandible with aggressive root resorption: A case report [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery (ICOMS 2015)]
（2015年10月27日 － 2015年10月30日）
当科における薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）に関する臨床的検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂食量および寿命に与える影響 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
オトガイ部における舌孔の出現部位と顎舌骨筋との位置関係 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
頸部における解剖学的ランドマーク測定方法の検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂食量および寿命に与える影響 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月05日）
マウス末梢神経切断後の神経再生過程における一酸化窒素合成酵素（NOS）の発現 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月05日）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程における NOS の局在 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月05日）

担当授業科目

臨床実習	2004年04月	－	継続中
臨床総合演習	2005年09月	－	継続中
臨床実習	2007年03月	－	継続中
臨床実習 (PBL 含む)	2007年04月	－	継続中
口腔外科学VI	2008年09月	－	継続中
臨床総合講義	2010年04月	－	継続中
臨床実習	2010年04月	－	継続中
診療視覚教育	2010年04月	－	継続中
臨床総合講義	2010年09月	－	継続中
口腔外科学Ⅱ	2011年04月	－	継続中
口腔外科学VI	2011年04月	－	継続中
口腔外科学Ⅲ	2011年04月	－	継続中
歯科医学演習	2012年04月	－	継続中
(歯) 医療英会話	2015年04月	－	継続中
口腔外科学Ⅰ	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

５年生の講義（臨床セミナー）において液晶プロジェクターの導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	－	継続中

４年生の講義（口腔外科学VI）において液晶プロジェクターおよび配布資料の導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
６年生の講義（補講）において液晶プロジェクターの導入 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本口腔診断学会［代議員］	2010年04月	―	継続中
日本口腔診断学会［論文査読委員］	2011年04月	―	継続中
日本口腔診断学会［認定医試験委員］	2011年04月	―	継続中
日本口腔診断学会［第 24 回日本診断学会総会 · 学術大会　座長］	2011年05月		
奥羽大学歯学会［第 55 回奥羽大学歯学会　座長］	2013年06月		
口腔顔面神経機能学会［第 18 回口腔顔面神経機能学会　座長］	2014年03月		

学外の社会活動（高大・地域連携等）

東日本大震災後の検死業務 ［活動区分 ：ボランティア活動］	2011年03月	―	2011年06月
歯科医療安全研修会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2013年09月		
街なかライブ ［活動区分 ：公開講座］	2014年06月		
歯科医療安全研修会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2015年08月		

奥羽大学 歯学部 歯学科

川原　一郎

KAWAHARA Ichiro

歯学科

出身大学院

大阪大学・歯学研究科・博士課程　2007年 修了

取得学位

学士　大阪大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　助手［本務］	2007年04月	ー	2008年03月
奥羽大学歯学部歯学科　助教［本務］	2008年04月	ー	2012年03月
奥羽大学歯学部　講師［本務］	2012年04月	ー	継続中

所属学会・委員会

大阪大学歯学会
日本口腔外科学会
日本口腔科学会
奥羽大学歯学会
口腔診断学会
小児口腔外科学会
日本口蓋裂学会
日本摂食嚥下リハビリテーション学会

論文

1) 両側性に発生したいわゆる球状上顎嚢胞の臨床的検討．[奥羽大学歯学誌, 38 (2), (2011)]

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子、伊東博司

2) 歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の 1 例. [日本口腔外科学会雑誌, 57 (6), (2011), 374-378]

川原一郎、浜田智弘、丹野聖子、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

3) 歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴うマントル細胞リンパ腫の 1 例. [日本口腔外科学会雑誌, 57 (6), (2011), 374-378]

川原一郎、浜田智弘、丹野聖子、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

4) 診療タイムカードの有用性についての検討. [奥羽大学歯学誌, 38 (3), (2011)]

川原一郎、金　秀樹、浜田智弘、馬庭暁人、河西敬子、菅野勝也、高田　訓、

5) 術後 30 年で多発性顎嚢胞の再発を認めた基底細胞母斑症候群の 1 例. [奥羽大学歯学誌, 38 (3), (2011)]

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、伊東博司

6) 下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例. [日本口腔診断学会雑誌, 24 (3), (2011)]

川原一郎、高田　訓、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、杉浦淳子

7) 口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 219-223]

川原一郎、浜田智弘、金　秀樹、高橋進也、高田　訓、大野　敬、小板橋　勉、三科正見

8) 舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例. [奥羽大学歯学誌, 39 (4), (2012), 227-230]

佐藤　淳、浜田智弘、川原一郎、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子

9) 歯科口腔外科治療による皮下気腫の臨床的検討. [奥羽大学歯学誌, 40 (1), (2012), 63-68]

川原一郎、浜田智弘、佐藤　淳、金　秀樹、高田　訓、大野　敬、森陰由喜

10) 寒天印象材の迷入による頬部異物肉芽腫の 1 例. [日本口腔外科学会雑誌, 58 (11), (2012)]

川原一郎、浜田智弘、高田　訓、金　秀樹、大野　敬、櫻井裕子

11) 上顎洞骨腫の１例と文献的考察. [奥羽大学歯学誌, 40 (1), (2013), 63-68]

金　秀樹、浜田智弘、川原一郎、馬庭暁人、高田　訓、大野　敬、森蔭由樹

12) Le Fort Ⅰ型骨切り術後に生じた上顎骨嚢胞の臨床的検討. [日本口腔診断学会雑誌, 26 (2), (2013), 202-205]

浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、櫻井裕子、遊佐淳子、森陰由喜

13) 外科的処置や外傷を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎嚢胞の１例. [日本口腔診断学会雑誌 , 27 (3), (2014), 244-248]

高橋進也、浜田智弘、金　秀樹、川原一郎、高田　訓、大野　敬、遊佐淳子

14) 頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例. [奥羽大学歯学誌, 40 (4), (2014), 179-182]

川原一郎、高田　訓、福元梨沙、河西敬子、浜田智弘、金　秀樹、大野　敬、遊佐淳子、伊東博司

15) 緊急止血処置を要した上顎智歯抜歯後出血の１例. [日本口腔診断学会雑誌, 27 (1), (2014), 48-51]

川原一郎、浜田智弘、菅野勝也、金　秀樹、高田　訓、大野　敬

研究発表

下歯槽神経損傷部へ嗅神経移植 [第 65 回日本口腔科学会]
（2011年04月，東京）
歯肉異常出血を初発症状として発見された免疫性血小板減少症を伴う [第 49 回 NPO 法人日本口腔科学会 第 37 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2011年05月21日 － 2011年05月22日，新潟）
両側口唇口蓋裂患者に上下顎同時骨切り術を行った一例 [第 35 回日本口蓋裂学会]
（2011年05月25日 － 2011年05月26日，新潟）
奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における Goslon Yardstick を用いた咬合評価 [第 35 回日本口蓋裂学会]
（2011年05月25日 － 2011年05月26日，新潟）
口蓋部に発生した唾液腺過形成を伴う筋上皮腫の 1 例 [第 56 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
熱刺激による知覚 · 味覚の閾値変化についての実験的研究 [日本口腔外科学会総会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
舌背部に発生した若年性黄色肉芽腫の 1 例 [第 56 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
下顎歯肉癌術後に生じた一過性横隔神経麻痺の検討 [第 56 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
下顎歯肉癌術後に生じた一過性横隔神経麻痺の検討 [第 56 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
マウス歯牙発生におけるリンパ管形成因子と受容体の発現 [第 56 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日，大阪）
軟口蓋表面の温度変化による知覚 · 味覚への影響 [第 16 回口腔顔面神経機能学会]
（2012年02月，東京）
下顎骨半側切除後の移植腸骨に再発したエナメル上皮腫の 1 例 [第 50 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 38 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2012年06月23日 － 2012年06月24日，札幌）
根管治療後に発生した広範な皮下縦隔気腫の１例 [第 50 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 38 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2012年06月23日 － 2012年06月24日，札幌）
翼突筋静脈叢損傷による抜歯後出血の１例 [第 57 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日，横浜）
口腔内に発生したリンパ上皮性嚢胞の 2 例 [第 57 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2012年10月19日 － 2012年10月21日，横浜）
鼻腔側より抜歯した正中過剰埋伏歯の１例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の１症例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山）
頬部から顎下部に発生した静脈奇形の１例 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月，宇都宮）

歯科口腔外科治療に起因した皮下気腫の臨床的検討 [第 67 回日本口腔科学会]
（2013年05月，宇都宮）
口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例 [第 51 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 39 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会]
（2013年06月，岩手）
歯原性嚢胞に由来した原発性骨内扁平上皮癌の 1 例 [第 58 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2013年10月，福岡）
左側上顎臼歯部に発生した術後性上顎嚢胞に類似した嚢胞の臨床的検討 [第 58 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2013年10月，福岡）
口腔粘膜の温度変化による知覚味覚への影響 [第 18 回口腔顔面神経機能学会]
（2014年03月，鹿児島）
腫瘍性病変を疑った口蓋部放線菌症の 1 例 [第 52 回 NPO 法人日本口腔科学会　第 40 回（社）日本口腔外科学会北日本地方会　]
（2014年06月，秋田）
オトガイ部に発生したびまん性大細胞型Ｂ細胞リンパ腫の一例 [第 24 回日本口腔内科学会　第 27 回日本口腔診断学会　合同学術大会　2014 年 9 月]
（2014年09月，福岡）
下唇に発生した静脈石の 1 例 [第 59 回（社）日本口腔外科学会総会]
（2014年10月，千葉）
下唇粘液嚢胞摘出術後の知覚異常に関する臨床的検討 [第 19 回口腔顔面神経機能学会　]
（2015年03月，東京）
頸部に発生した石灰化上皮腫の 1 例 [第 53 回特定非営利活動法人　日本口腔科学会／北日本地方部会第 41 回公益社団法人　日本口腔外科学会　北日本支部学術集会　]
（2015年06月，札幌）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程におけるリンパ管形成とフリーラジカルの局在 [第 60 回日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月，名古屋）
Aneurysmal bone cyst of the mandible with aggressive root resorption: A case report [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery (ICOMS2015)]
（2015年10月，Melbourne）
Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery(ICOMS2015)]
（2015年10月，Melbourne）
当科における薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に関する臨床的検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月，郡山）
マウス末梢神経切断後の神経再生過程における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月，東京）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂食量および寿命に与える影響 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月，東京）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程における NOS の局在 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月，東京）

担当授業科目

(歯) 臨床総合講義	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 口腔外科学Ⅲ	2015年04月	―	2015年12月
(歯) 臨床総合演習	2015年09月	―	2015年12月

その他教育活動及び特記事項

CBT ワークショップ	2010年04月	―	継続中

［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］

奥羽大学 歯学部 歯学科

高橋　進也

TAKAHASHI Shinya

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・顎口腔外科学専攻・博士課程　2012年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2006年04月	ー	2007年03月
奥羽大学歯学研究科 大学院生（博士課程）［本務］	2007年04月	ー	2012年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2012年04月	ー	2013年03月
奥羽大学歯学部歯学科口腔外科学講座 助教［本務］	2013年04月	ー	継続中

所属学会・委員会

日本口腔外科学会
歯科基礎医学会
奥羽大学歯学会
口腔顔面神経機能学会
ドライマウス研究会
日本口腔診断学会
日本解剖学会
American Society Bone and Mineral Reserch
日本摂食嚥下リハビリテーション学会
日本顎顔面補綴学会
硬組織再生生物学会

論文

1) 口底癌術後に発症した出血性消化性潰瘍の 1 例.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 219-223］

「川原一郎, 浜田智弘, 金秀樹, **高**橋進也, 高田訓, 大野敬, 小板橋勉, 三科正見」

2) ヒト顎下腺の成長発育に伴う BMP と BMP レセプターの局在.［奥羽大学歯学誌, 39（1）,（2012）, 1-10］

「安部仁晴, 中川敏浩, 高橋進也, 渡邊弘樹」

3) Immunohistochemical investigation of lymphatic vessel formation control in mouse tooth development-lymphatic vessel-forming factors and recepters in tooth development in mice.［Tissue and Cell, 44 ,（2012）, 170-181］

「Shinya Takahashi, Kimiharu Amme, Hideki Kon, Satoshi Takada, Takashi Ohno, Hiroki Watanabe」

4) 外科的処置や外傷の既往を伴わない術後性上顎嚢胞に類似した上顎骨嚢胞の 1 例 - 臨床的および病理組織学的検討.［日本口腔診断学会雑誌, 27（3）,（2014）, 244-248］

「**高**橋進也，浜田智弘，金秀樹，川原一郎，高田訓，大野敬，遊佐淳子，櫻井裕子」

5) Immunohistochemical localization of Nox1, Nox4 and Mn-SOD in mouse femur during endochondral ossification.［Tissue and Cell, 46（6）,（2014）, 433-438］

「 K.Ambe, H.Watanabe,S.Takahashi, T.Nakagawa」

6) A case of phleboliths of the lower lip.［Jacobs Journal of Dentistry and Research, 2（4）,（2015）, 28］

Shinya Takahashi, Tomohiro Hamada, Ichiro Kawahara, Hideki Kon, Satoshi Takada,Takashi Ohno, Junko Yusa, Yuko Sakurai

7) Production and physiological role of NO in the oral cavity.［The Japanese Dental Science Review, 52（1）,（2016）, 14-21］

「Kimiharu Ambe, Hiroki Watanabe, Shinya Takahashi, Toshihiro Nakagawa, Junzo Sasaki 」

研究発表

マウスの歯牙発生におけるリンパ管形成制御に関する免疫組織化学的検索 [第 51 回奥羽大学歯学会　]
（2011年06月11日）

Lymphatic Vessel-forming Factors and Recepters in tooth Development in Mice[ASBMR 2011 Annual Meeting (SanDiego. California. USA)]
（2011年09月）

Expression of VEGF-C and VEGF-D in mice papilla and pulp[Proceedings of the 88th Annual Meeting of The Physiological Society of Japan and the 116th Annual Meeting of Japanese Association of Anatomists]
（2011年09月）

マウス歯乳頭および歯髄におけるリンパ管形成制御に関する VEGF-C、-D、VEGFR-3 の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
（2011年09月）

大理石骨病マウス大腿骨における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 ([第 53 回歯科基礎医学会学術大会]
（2011年09月）

Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femor during endochondral ossification[ASBMR 2011 Annual Meeting (SanDiego. California. USA)]
（2011年09月）

マウス歯牙発生におけるリンパ管形成因子と受容体の発現 [日本口腔外科学会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）

Lymphatic Vessel-forming Factors and Recepters in tooth Development in Mice[第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月）

Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms in mouse femor during endochondral ossification[第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月）

マウス歯髄発生における NOS の発現 [第 117 回日本解剖学会総会]
（2012年03月）

大理石骨病マウス大腿骨における活性酸素合成酵素 (Nox ファミリー) の発現 [第 117 回日本解剖学会総会]
（2012年03月）

Immunohistochemical Localization of Nox1 and Nox4 in Mouse Femor during Endochondal Ossification [14th International Congress of Histochemistry and Cytochemistry]
（2012年07月）

大理石骨病マウス大腿骨における活性酵素合成酵素の発現 [第 54 回歯科基礎医学会学術大会・総会]
（2012年09月）

Immunohistochemical Localization of Nox1 and Nox4 in Mouse Femor during Endochondal Ossification [14 th Inter tional Congress of Histochemistry and Cytochemistry Kyoto Japan]
（2012年09月）

マウス歯髄発生における NOS に関する免疫組織化学的検索 [日本解剖学会第 58 回東北・北海道連合支部学術集会]
（2012年09月22日 － 2012年09月23日）

Immunohistochemical Localization of Nox1 and Nox4 in Mouse Femor during Endochondal Ossification [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年10月）

マウス舌乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [日本解剖学会総会・全国学術大会]
（2013年03月）

op/op マウス大腿骨におけるフリーラジカルの発現 [第 118 回日本解剖学会総会・全国学術大会]
（2013年03月）

マウス歯髄発生における一酸化窒素酵素 (NOS) に関する免疫組織化学的検索 [口腔顔面神経機能学会]
（2013年03月）

鼻腔側より抜歯した正中埋伏過剰歯の 1 例 [奥羽大学歯学会]
（2013年06月）

Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification.[2nd Joint Meeting of the International Bone and Mineral Society(IBMS) and The　Japanese Society for Bone and Mineral]
（2013年07月）

左側上顎臼歯部に発生した術後性上顎嚢胞に類似した嚢胞の臨床的検討 [第 58 回日本口腔外科学会]
（2013年10月）

Expression of Nox family in mouse femur during endochondral ossification.[奥羽大学歯学会]
（2013年10月）

マウス有郭乳頭および味蕾における活性酸素合成酵素の分布 [日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月）

マウス有郭乳頭における活性酸素合成酵素（Nox）の発現 [日本解剖学会第 60 回東北・北海道連合支部学術集会]
（2014年06月）

下唇に生じた静脈石の 1 例 [第 59 回日本口腔外科学会]
（2014年10月）
Expression of nitric oxide synthase (NOS) isoforms after peripheral nerve transection in mice[第 120 回日本解剖学会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日）
Lymphangiogenesis and NOS localization in the healing process after tooth extraction in a mouse miabetes model[第 120 回日本解剖学会]
（2015年03月21日 － 2015年03月23日）
上顎腫瘍切除、下顎骨区域切除・プレート再建症例に対する補綴的機能回復 [第 32 回日本顎顔面補綴学会]
（2015年06月18日 － 2015年06月20日）
下顎角部から筋突起部に及ぶ広範な単純性骨嚢胞の治療経験 [第 60 回口腔外科学会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）
Lymphangiogenesis and Free radical localization in the healing process after tooth extraction in a mouse diabetes model [第 60 回日本口腔外科学会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）
マウス末梢神経切断後の神経再生過程における一酸化窒素（NOS）の発現 [第 20 回口腔顔面神経機能学会]
（2016年03月05日 － 2016年03月06日）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂取量及び寿命に与える影響 [第 20 回口腔顔面神経機能学会]
（2016年03月05日 － 2016年03月06日）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程における NOS の発現 [第 20 回口腔顔面神経機能学会]
（2016年03月05日 － 2016年03月06日）

担当授業科目

臨床総合演習	2012年09月	－	継続中
(歯) 高齢者歯科学Ⅱ	2014年05月	－	継続中
(歯) 医療英会話	2015年04月	－	継続中
(歯) 高齢者歯科学Ⅰ	2015年05月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

菅野　勝也

KANNO Katsuya　　生年月日 1978年11月06日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・顎口腔外科学・博士課程　　2013年 修了

取得学位

学士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手（臨床）［本務］	2005年04月	ー	2009年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2013年04月	ー	2014年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2014年04月	ー	2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口腔顔面神経機能学会
日本口腔外科学会
日本口蓋裂学会
日本口腔診断学会

論文

1) 診療タイムカードの有用性についての検討.［奥羽大学歯学誌, (2011)］
川原 一郎, 金 秀樹, 浜田 智弘, 馬庭 暁人, 河西 敬子, 菅野 勝也, 高田 訓, 大野 敬

2) 口蓋隆起部に発生した扁平上皮癌の臨床的検討.［奥羽大学歯学誌, (2012)］
金 秀樹, 浜田 智弘, 菅野 勝也, 佐藤 淳, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜, 櫻井 裕子, 遊佐 淳子, 清野 和夫

3) ポリグリコール酸 (PGA) 縫合糸の分解吸収に伴うラット顎二腹筋の組織変化.［奥羽大学歯学誌, (2013)］
菅野勝也

4) 下顎第二大臼歯根尖に高度吸収をきたした下顎低位埋伏智歯の治療経験.［奥羽大学歯学誌, (2013)］
菅野勝也, 浜田 智弘, 小嶋 忠之, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬, 森蔭 由喜

5) 腺性歯原性嚢胞との鑑別を要した含歯性嚢胞の 1 例.［奥羽大学歯学誌, (2013)］
櫻井 裕子, 遊佐 淳子, 小澤 亮, 伊東 博司, 赤城 陽一郎, 浜田 智弘, 菅野勝也, 森蔭 由喜, 高田 訓

6) 緊急止血処置を要した上顎智歯抜歯後出血の 1 例.［日本口腔診断学会雑誌, (2014)］
川原 一郎, 浜田 智弘, 菅野勝也, 金 秀樹, 高田 訓, 大野 敬

研究発表

骨格筋切断・縫合後の修復過程　組織化学的観察 [第 65 回特定非営利活動法人日本口腔科学会学術集会]
（2011年04月20日 ー 2011年04月21日）
奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における Goslon Yardstick を用いた咬合評価 [第 35 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2011年05月25日 ー 2011年05月26日）
両側口唇口蓋裂患者に対する上下顎同時骨切り術の 1 例 [第 35 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2011年05月25日 ー 2011年05月26日）
口蓋隆起部に生じた扁平上皮癌の 1 例 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 ー 2011年10月23日）
下歯槽神経損傷部への嗅粘膜移植 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 ー 2012年10月23日）
熱刺激による知覚・味覚の閾値変化についての実験的研究 [第 56 回日本口腔外科学会総会・学術大会]
（2011年10月21日 ー 2012年10月23日）

PGA(Polyglycolic acid) 糸の吸収分解に伴う筋線維の変化 [第 56 回日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2011年10月21日 － 2011年10月23日）
PGA(Polyglycolic acid) 糸の分解吸収に伴う筋線維への影響 [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
鼻腔側より抜歯した正中埋伏過剰歯の 1 例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の 1 症例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
歯科口腔外科治療に起因した皮下気腫の臨床的検討 [第 67 回日本口腔科学会学術集会]
（2013年05月23日 － 2013年05月24日）
ラット切歯歯根に達するインプラント埋入が切歯萠出および顎骨形態に及ぼす影響 [第 56 奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
オトガイ部に発生したびまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例 [第 24 回日本口腔内科学会学術大会]
（2014年09月18日 － 2014年09月20日）
上顎小臼歯部に発生した中心性歯原性線維腫の 1 例 [第５８回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
下唇粘液嚢胞摘出術後の知覚異常に関する臨床的検討 [第 19 回口腔顔面神経機能学会]
（2015年03月）
口腔内アプローチで観血的整復固定術を行った**頬**骨弓骨折の 2 例 [第 41 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会]
（2015年06月）
運動ストレスと口臭に関する研究 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月）
当科における薬剤関連顎骨壊死（MRONJ）に関する臨床的検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月）
糖尿病モデルマウスの抜歯後治癒過程における NOS の局在 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月）
マウス末梢神経切断後の神経再生過程における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月）
ショウジョウバエにおける末梢性塩味味覚障害が摂食量および味覚に与える影響 [第 20 回口腔顔面神経機能学会学術大会]
（2016年03月）

奥羽大学 歯学部 歯学科

御代田　駿

MIYOTA Shun　　生年月日 1983年10月24日

歯学科

出身大学院

新潟大学・医学系研究科・博士課程　　2014年 修了

取得学位

博士　新潟大学

所属学会・委員会

日本口腔診断学会
日本口腔外科学会
日本口腔内科学会
日本口腔腫瘍学会
新潟歯学会
日本口腔科学会

論文

1) Intraoperative Assessment of Surgical Margins of Oral Squamous Cell Carcinoma Using Frozen Sections: A Practical Clinicopathological Management for Recurrences. [BioMed Research International, (2014)]

Takanori Kobayashi, Tatsuya Abé, Hisashi Miyajima, Masaki Nagata, Hideyuki Hoshina, Tadaharu Kobayashi, Ritsuo Takagi, and Takashi Saku

研究発表

口腔扁平上皮癌・上皮内癌の再発に関する臨床病理学的検討 [新潟がん治療研究会]
（2013年07月）

口腔扁平上皮癌および境界病変の再発にかかわる臨床病理学的検討 [第 23 回日本口腔内科学会]
（2013年09月13日 － 2013年09月14日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

臼田　真浩

USUDA Masahiro　　生年月日 1986年12月18日

歯学科

所属学会・委員会

日本口腔外科学会
日本外傷歯学会

研究発表

摘出開窓術を用いた広範なエナメル上皮腫の治療経験 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）

下顎角部から筋突起部に及ぶ広範な単純性骨嚢胞の治療経験 [第 60 回日本口腔外科学会総会 · 学術大会]
（2015年10月16日 － 2015年10月18日）

Anatomical study of phrenic nerve course in relation to neck dissection [22nd International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery(ICOMS2015)]
（2015年10月27日 － 2015年10月30日）

頸部における解剖学的ランドマーク測定方法の検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

淺倉　彬人

ASAKURA Akito　　生年月日 1987年02月14日

歯学科

所属学会・委員会

日本口腔外科学会

研究発表

下唇粘液嚢胞摘出術後の知覚異常に関する臨床的検討［第 19 回口腔顔面神経機能学会］
（2015年03月15日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

島田　佳奈

SIMADA Kana　　生年月日 1984年07月25日

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

柳田　みずき

YANAGITA Mizuki

歯学科

所属学会・委員会

日本口腔外科学会

研究発表

当科における薬剤関連顎骨壊死 (MRONJ) に関する臨床的検討 [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

早乙女　大地

SAOTOME Daichi

生年月日 1988年12月29日

歯学科

所属学会・委員会

日本口腔外科学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

飯島　康基

IIJIMA Kouki　　生年月日 1989年07月07日

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

鈴木　佑太

SUZUKI Yuta

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2015年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

高橋　文太郎

TAKAHASHI Fumitaro　　生年月日 1987年09月16日

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

玉木　究

TAMAKI Kiwamu

歯学科

生年月日 1988年09月13日

奥羽大学 歯学部 歯学科

山崎　信也

YAMAZAKI Shinya　　生年月日 1962年09月05日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・歯科麻酔学・博士課程　1995年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 臨床研修医［本務］	1988年04月	―	1989年03月
奥羽大学歯学部歯学科 大学院生（博士課程）［本務］	1990年04月	―	1995年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1995年04月	―	1999年09月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1999年10月	―	2005年03月
奥羽大学歯学部歯学科 臨床准教授［兼務］	2004年04月	―	2005年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2005年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 臨床教授［兼務］	2005年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本歯科麻酔学会東北地方会
日本歯科麻酔学会
日本臨床モニター学会
日本臨床麻酔学会
福島県麻酔懇話会
東北地区歯科医学会
日本歯科麻酔学会東北地方会　幹事会
日本歯科麻酔学会　評議員会
日本蘇生学会
国際歯科麻酔学会
福島県歯科医師会
日本障害者歯科学会
日本歯科麻酔学会東北地方会　監事
日本歯科医療管理学会
日本歯科医療管理学会東北支部会
国際歯科研究会
国際歯科研究会　日本部会
日本歯科医学教育学会
奥羽大学歯学会　評議員会
日本口腔インプラント学会
日本救急医学会
日本 ACLS 協会
日本歯科麻酔学会北海道地方会
日本臨床モニター学会　評議員会
福島 ACLS 協会
日本歯科医療管理学会東北支部会　理事会
日本歯科麻酔学会　指導施設委員会
日本歯科医療管理学会　評議員会
日本歯科麻酔学会　教育研修委員会
日本炭酸脱水素酵素研究会
日本歯科麻酔学会　ガイドライン策定委員会
日本歯科麻酔学会　国際交流委員会
日本歯科麻酔学会　認定医審査委員会
日本ペインクリニック学会
日本歯科麻酔学会　査読委員
日本歯科医療管理学会　理事会

日本歯科麻酔学会　専門医審査委員会
北海道臨床歯科麻酔学会　評議員

論文

1) Transient Cardiac Arrest in Patient With Left Ventricular Noncompaction (Spongiform Cardiomyopathy). [Anesthesia Progress, 58 (1), (2011), 22-25]

Shinya Yamazaki, Hiroshi Ito, Hiroyoshi Kawaai

2) 全身的合併症を有する患者における局所麻酔後の循環変動についての臨床的検討. [日本歯科医療管理学会雑誌, 46 (1), (2011), 42-47]

田中克典，川合宏仁，島村和宏，山崎信也，釜田　朗，瀬川　洋，佐々木重夫，齋藤高弘

3) 全身麻酔中に低血圧となったペースメーカ装着患者の 1 例. [日本蘇生学会雑誌, 30 (2), (2011), 102-105]

八木下健，伊藤　寛，川合宏仁，山崎信也

4) 西洋医学的ペインクリニックの臨床と痛みや治療のメカニズム. [日本歯科東洋医学会誌, 30 (1), (2011), 40-40]

山崎信也

5) Effects of a transmitted light device for pediatric peripheral venipuncture and intravenous cannulation. [Medical Devices: Evidence and Research, 4, (2011), 189-192]

Shinya Yamazaki, Shu Tomita, Masahiro Watanabe, Hiroyoshi Kawaai, Kazuhiro Shimamura

6) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み—身元不明遺体の検死活動の概要—. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 230-236]

板橋　仁，今関　肇，宇佐美晶信，影山勝保，川合宏仁，関根貴仁，玉井一樹，長岡正博，西本秀平，浜田智弘，林　太一，福島雅啓，和田隆史，渡辺　聡，高橋和裕，大野　敬

7) 口腔内からの大量出血により緊急手術となり挿管に難渋した 1 症例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 40 (1), (2012), 60-61]

八木下健，田中克典，福島雅啓，助川絵美，宮越義隆，横山絵里，吉田健司，川合宏仁，山崎信也

8) 日帰り全身麻酔の術前診察から当日までに患者の状態が急変した知的障害者の 2 症例. [奥羽大学歯学誌, 39 (2), (2012), 117-120]

福島雅啓，田中克典，八木下健，助川絵美，宮腰義隆，横山絵里，吉田健司，川合宏仁，山崎信也

9) 学習方法に関する学生と教員への同時アンケート. [奥羽大学歯学誌, 39 (3), (2012), 163-170]

鈴木史彦，岡田英俊，茂呂祐利子，前田豊信，横瀬敏志

10) 小型血液ガス分析装置の比較使用経験. [奥羽大学歯学誌, 39 (4), (2012), 231-239]

小松泰典，吉田健司，冨田　修，福島雅啓，八木下健，赤沼龍一，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

11) 異常絞扼反射患者の歯科治療に全身麻酔と系統的脱感作を併用した症例. [奥羽大学歯学誌, 40 (1), (2013), 59-62]

鈴木史彦，八木下健，川合宏仁，山崎信也，清野晃孝，齋藤高弘

12) WPW 症候群と開口障害を合併した障害者の全身麻酔下歯科治療経験. [奥羽大学歯学誌, 40 (2), (2013), 111-116]

川合宏仁，小松泰典，福島雅啓，八木下健，渡辺正博，鈴木史彦，佐々木重夫，山崎信也

13) プロポフォールによる静脈内鎮静後の回復過程における Trieger dot test と Ramsay score の相関性. [日本歯科麻酔学会雑誌, 41 (3), (2013), 304-305]

田中絵里，吉田健司，小松泰典，渡辺正博，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

14) 地方都市の開業歯科医院における歯科麻酔認定医による日帰り全身麻酔の経験. [日本歯科麻酔学会雑誌, 41 (3), (2013), 298-299]

内藤美貴子，川合宏仁，吉田健司，高北義彦，山崎信也

15) Dexmedetomidine decreases the oral mucosal blood flow.. [Br J Oral Maxillofac Surg, 51 (8), (2013), 928-931]

Kawaai H, Yoshida K, Tanaka E, Togami K, Tada H, Ganzberg S, Yamazaki S.

16) Intravenous sedation for implant surgery: Midazolam, butorphanol and dexmedetomidine versus midazolam, butorphanol and propofol. [J Oral Implantol, 40 (1), (2014), 94-102]

Kawaai H, Tomita S, Nakaike Y, Ganzberg S, Yamazaki S

17) Difference of Injection Point for Local Anesthesia in Alveolar Bone Affects Infiltration and Action of Anesthesia. [Ohu University Dental Journal, 41 (1), (2014), 29-38]

Tomoko MOROTA, Hiroyoshi KAWAAI, and Shinya YAMAZAKI

18) 協力度が低い患者の歯科全身麻酔に対する前投薬としてのミダゾラム経口投与法の検討. [日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (2), (2014), 234-235]

小松泰典，吉田健司，田中絵里，冨田　修，福島雅啓，八木下健，渡辺正博，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

19) 多剤内服中の知的障がい者に対するミダゾラムの経口前処置について. [奥羽大学歯学誌, 41 (2), (2014), 63-65]

小松泰典，中池祥浩，鈴木史彦，川合宏仁，島村和宏，山崎信也

20) Lidocaine concentration in mandibular bone after subperiosteal infiltration anesthesia decreases with elevation of periosteal flap and irrigation with saline. [Anesthesia Progress, 61 (2), (2014), 53-62]

Ogawa S, Watanabe M, Kawaai H, Tada H, Yamazaki S

21) 重度高カリウム血症により心静止になったと考えられた頬部蜂巣炎患者の 1 例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (3), (2014), 295-296]

田中克典，遠藤未来，工藤香菜恵，須田修二，吉田健司，田中絵里，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

22) プロポフォールによる静脈内鎮静中に指尖が緑色となった 1 症例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (3), (2014), 297-298]

助川絵美，田中克典，田中絵里，吉田健司，小松泰典，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

23) 全身麻酔後にクループを合併し 1 週間の入院を要した歯科治療拒否児の 1 例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 43 (2), (2015), 229-231]

山崎信也、遠藤未来、須田修二、工藤香奈恵、鈴木史彦、川合宏仁、島村和宏、大溝裕史

24) Werdnig-Hoffmann 病患者における歯科治療のための全身麻酔経験. [日本歯科麻酔学会雑誌, 43 (2), (2015), 232-234]

田中克典、田中絵里、三田拓也、大溝裕史、中池祥浩、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

25) Periodic oral care under ambulatory general anesthesia prolongs tooth life in patients with intellectual disabilities. [Oral Health and Dental Management, 14 (5), (2015), 294-296]

Tanaka K, Yoshida K, Tanaka E, Komatsu Y, Suzuki F, Kawaai H, Yamazaki S

26) A case of dental treatment under general anesthesia for a pediatric patient with Pelizaeus - Merzbacher Disease. [Oral Health and Dental Management, 14 (6), (2015), 460-463]

Kawaai H, Mishina Y, Tanaka K, Aizawa N, Shimamura K, Yamazaki S

27) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策. [日本歯科医療管理学会雑誌, 50 (4), (2016), 244-250]

安部将太、山崎信也、川合宏仁、島村和宏、瀬川　洋、佐々木重夫、清野晃孝、齋藤高弘

28) Lidocaine concentration in oral tissue by the addition of Epinephirine. [Anesthesia Progress, 63 (1), (2016), 17-24]

Tanaka E, Yoshida K, Kawaai H, Yamazaki S

著書

1) なるほど統計学とおどろき Excel 統計処理（改訂第 7 版）．[医学図書出版,2013]

山崎信也

2) 判例からみた医療安全（初版）第 2 章　麻酔　「歯科医師の注射針破折と組織内残存に係る札幌地方裁判所判決」．[わかば出版,2014]

山崎信也

作品

ystat2013 （なるほど統計学おどろき Excel 統計処理　第 7 版）　2013年02月

研究発表

鎮静状態からの回復のモニターとしての Trieger Dot Test の有用性 [第 22 回日本臨床モニター学会]
（2011年04月22日）

東日本大震災による奥羽大学の被害状況とその対応 ～ 全身麻酔不可能となった 2 か月間から得た知見 ～ [第 26 回東日本歯科麻酔学会]
（2011年06月04日）

静脈内鎮静後に指尖が緑色に変色した 1 症例 [第 26 回東日本歯科麻酔学会]
（2011年06月04日）

静脈内鎮静管理に難渋した人工透析患者の 1 例 [第 26 回東日本歯科麻酔学会]
（2011年06月04日）

歯肉からの不正出血により PT-INR 異常高値が判明した 1 例 [第 26 回東日本歯科麻酔学会]
（2011年06月04日）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 1）[第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）

Guidelines for the use of sedation for dental treatment in Japan [11th Korean Dental Society of Anesthesiology]
（2011年06月26日）

歯科衛生士学生に対するレセプトコンピューター実習 [第 52 回日本歯科医療管理学会総会]
（2011年07月10日）

インプラント手術に対する静脈内鎮静法の検討　—ブトルファノール・ミダゾラム・デクスメデトミジンとブトルファノール・ミダゾラム・プロポフォールの比較—[第 52 回日本歯科医療管理学会総会]
（2011年07月10日）

Intravenous sedation for implant surgery: Midazolam, butorphanol and dexmedetomidine versus midazolam, butorphanol and propofol [4th Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies(FADAS)]
（2011年10月08日）

覚せい剤乱用歴のある患者の全身麻酔経験 [第 39 回日本歯科麻酔学会総会]
（2011年10月08日）

震災関連シンポジウム「東日本大震災と当科周辺の動向」[第 39 回日本歯科麻酔学会総会]
（2011年10月09日）

当院における歯科医師の医科麻酔科研修の現状と課題 [第 39 回日本歯科麻酔学会総会]
（2011年10月09日）

吸入麻酔からの早期抜管が覚醒時の循環に与える影響 [第 39 回日本歯科麻酔学会総会]
（2011年10月09日）

Trieger dot test は覚醒判定の客観指標になり得るか [第 39 回日本歯科麻酔学会総会]
（2011年10月09日）

2011 年 3 月 11 日から 半年間の当院周辺の変化と対応 [第 15 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2011年10月16日）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 2）[第 15 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2011年10月16日）

東日本大震災における奥羽大学の取り組み（その 1）[第 15 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2011年10月16日）

最大開口にて狭窄した気道形態が一秒率に与える影響 [第 28 回日本障害者歯科学会]
（2011年11月06日）

術前診察から手術当日までに状態が急変した障害者の 2 症例 [第 28 回日本障害者歯科学会]
（2011年11月06日）

知的障害患者の全身麻酔における術後悪心嘔吐の検討 [第 28 回日本障害者歯科学会]
（2011年11月06日）

東日本大震災により緊急避難を余儀なくされた静脈内鎮静処置中の 2 症例 [第 28 回日本障害者歯科学会]
（2011年11月06日）

歯科治療時に発見された凝固異常の 1 例 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
大震災にて口腔内の手術途中で緊急避難を余儀なくされた症例 [第 30 回日本蘇生学会]
（2011年11月19日）
EBM に基づいた救急蘇生法 [第 2 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2011年12月04日）
Periodic oral care under ambulatory general anesthesia prolongs teeth life in uncooperative mentally retarded patient [13th International Dental Congress on Modern Pain Control (IFDAS)]
（2012年03月02日）
Difference of injection point for the infiltration anesthesia to the alveolar bone affects the anesthetic action [13th International Dental Congress on Modern Pain Control (IFDAS)]
（2012年03月02日）
A Study of Intravenous Sedation for Implant Surgery [41st AADR/CADR Annual Meeting & Exhibition]
（2012年03月23日）
障害者の日帰り全身麻酔における PONV の検討 [第 20 回福島県麻酔懇話会]
（2012年04月28日）
セボフルランオープンドロップによる導入とその濃度の検証 [第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2012年06月16日）
Periodic oral care under ambulatory general anesthesia prolongs teeth life in uncooperative mentally retarded patient [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
A Study of Intravenous Sedation for Implant Surgery [第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
スペシャルオリンピクスに参加して—その 1　ボランティア活動の概要—[第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査—総合学習 II・III—[第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
全身麻酔後の遷延性意識レベル低下にて転院を余儀なくされた 1 例 [第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2012年06月16日）
全身麻酔が不可能と判断された重症心疾患 Down 症患者の管理経験 [第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2012年06月16日）
歯科医院における抜歯後の大量出血に対し緊急全身麻酔となった 1 例 [第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2012年06月16日）
当大学の障害者歯科治療における変遷と現状 [第 3 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2012年07月01日）
障害者の全身麻酔下歯科治療が BMI に及ぼす影響について [第 53 回日本歯科医療管理学会]
（2012年07月07日）
シミュレーション実習の評価—平成 21 年度と平成 23 年度との比較—[第 53 回日本歯科医療管理学会]
（2012年07月07日）
知的障害者に対するボランティア・スタッフの意識調査—スペシャルオリンピックスにおけるアンケートから—[第 53 回日本歯科医療管理学会]
（2012年07月07日）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の 1 症例 [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
PBL シンポジウム—小児麻酔のトラブル症例—[第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
全静脈麻酔は吸入麻酔の術後悪心嘔吐を改善させる [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
協力度が低い患者に対するミダゾラム経口投与の統計的検討 [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
A study of inhalation concentration as anesthesia induction with sevoflurane open drop method [5th Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies(FADAS)]
（2012年09月15日）
スペシャルオリンピックスにおけるボランティア活動 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月29日）
障害者の全身麻酔下歯科治療は体重変化に影響するか？ [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月30日）
系統的脱感作により全身麻酔を回避し得た Eizenmenger 症候群患者の 1 例 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月30日）

強度の異常絞扼反射を有する患者における全身麻酔を含めた包括的歯科治療の経験 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月30日）
22q11.2 欠失症候群患児の歯科治療経験の 2 症例 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月30日）
全身麻酔導入時に起こった気管支痙攣の 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月05日）
抜管後気胸が判明した 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月05日）
口腔粘膜血流に対するデクスメデトミジンの研究（2 報）—デクスメデトミジンがリドカインの吸収に及ぼす影響—[第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月06日）
全身麻酔後 4 日間にわたり意識レベル低下を呈した 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月06日）
口腔粘膜血流に対するデクスメデトミジンの研究（1 報）—デクスメデトミジンが口腔粘膜血流量に及ぼす影響—[第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月06日）
知的障害者の全身麻酔前投薬としてのドルミカム®内服状況 [第 16 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2012年10月07日）
全身麻酔導入時に起こった気管支痙攣の 1 例 [第 16 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2012年10月07日）
Body weight change in the term of oral care under general anesthesia [21st Congress of the International Association for Disability and Oral Health]
（2012年10月29日）
安全なインプラント治療のために—全身麻酔，静脈内鎮静法の勧め—[第 32 回日本口腔インプラント学会東北・北海道支部学術大会]
（2012年11月03日）
慶熙大学国際交流研修報告 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
A study of inhalation concentration as anesthesia induction with sevoflurane open drop method [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
重度の異常絞扼反射患者に対して全身麻酔下歯科治療と系統的脱感作により対応した症例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の 1 症例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
全身麻酔後 100 時間続いた意識レベル低下の 1 例 [第 21 回福島県麻酔懇話会]
（2013年04月13日）
歯科医のためのモニタリング講座—明日からの歯科臨床に役立つ生体モニターの活用—意外と危険な歯科治療にはモニターは必須？ [第 24 回日本臨床モニター学会]
（2013年04月20日）
精神遅滞患者のプラークコントロール状況と日帰り全身麻酔を併用したメインテナンスの関係について [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
シンポジウム「基調講演　奥羽大学における歯科麻酔科」[第 28 回東日本歯科麻酔学会]
（2013年06月22日）
シンポジウム「口腔インプラント科における歯科麻酔科の役割」[第 28 回東日本歯科麻酔学会]
（2013年06月22日）
Change in forced expiratory volume as a measure of respiratory function by maximal opening of the mouth [5th Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies(FADAS)]
（2013年07月14日）
意識消失後 Asystole になった 1 例 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
知的障害者の全身麻酔導入における工夫の検討 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
継続的に全身麻酔下歯科処置を実施している知的障害患者の口腔清掃状態と麻酔管理に関する疫学調査 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
静脈内鎮静法における体感時間の検討 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月03日）

Pelizaeus-Merzbacher 病患児の日帰り全身麻酔経験 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月03日）
高カリウム血症が原因と考えられる院内心肺停止の 1 例 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月04日）
シンポジウム「歯科麻酔と救急蘇生の関わり」東日本における歯科麻酔と救急蘇生の関わり [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月04日）
シンポジウム「歯科麻酔と救急蘇生の関わり」基調講演 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月04日）
上顎前歯部の経過観察にクラウンフォーマーを用いた症例 [第 30 回日本障害者歯科学会]
（2013年10月12日）
スポーツドリンクの習慣摂取により多数歯う蝕に罹患した 1 型糖尿病患児の 1 例 [第 30 回日本障害者歯科学会]
（2013年10月13日）
全身麻酔導入直後に嘔吐をくり返す知的障害者の全身麻酔経験 [第 30 回日本障害者歯科学会]
（2013年10月13日）
日帰り全身麻酔下での障害者歯科診療における経口前投薬 (ミダゾラム) の検討 [第 33 回日本臨床麻酔学会]
（2013年11月01日）
顎骨および粘膜におけるアドレナリン血管収縮効果と局所麻酔効果の差異について [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
注入圧および注入時間の差による局所麻酔薬の組織への浸潤度合いの違いについて [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
中枢神経の先天性髄鞘形成不全を伴う患児の日帰り全身麻酔経験 [第 17 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2013年11月17日）
奥羽大学歯学部附属病院におけるヒヤリハット医療事故報告 [第 17 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2013年11月17日）
奥羽大学歯学部附属病院における障がい者歯科診療の流れ [第 17 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2013年11月17日）
院外 By-stander CPR の経験 [第 17 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2013年11月17日）
院内で CPA となった 1 例 [第 17 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2013年11月17日）
ガーゼに染みこませた揮発性吸入麻酔薬の濃度のモニター検証 [第 25 回日本臨床モニター学会]
（2014年04月18日）
シンポジウム「歯科医師のためのモニタリング講座—私の歯科臨床とモニター—」口腔インプラントと鎮静法とモニター　[第 25 回日本臨床モニター学会]
（2014年04月19日）
奥羽大学の臨床実習生を対象とした障害者施設での学外研修について [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2014年05月25日）
岩手県立磐井病院における造設に伴う歯科治療への更なる展開 [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2014年05月25日）
胃瘻患者の経口摂取を目的に嚥下内視鏡を実施した症例 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月21日）
ディプリバンキット®による SEDATION 中に代謝障害が疑われた 1 症例 [第 22 回福島県麻酔懇話会]
（2014年06月21日）
Recovery time from ambulatory general anesthesia in 1037 cases [92nd General Session & Exhibition of the IADR]
（2014年06月28日）
セボフルランの臭いは何分で慣れるか？ [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日）
ブルガダ様心電図を呈した患者の全身麻酔経験 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日）
ドルミカム®による循環亢進が疑われた 1 症例 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日）
ミダゾラム静注により血圧上昇をくり返した 1 例 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
院外での小児 Asystole に対する BLS および PALS の経験 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
Weldinig-Hoffmann 病患者における全身麻酔経験 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）

10 回連続の静脈確保失敗により心的障害と神経障害が遷延した重度肥満患者の 1 例 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
障がい児の日帰り全身麻酔の導入時に認めた無気肺の 1 例 [第 42 回日本歯科麻酔学会総会]
（2014年10月11日）
聴覚障害者に対し静脈内鎮静法を施行した 1 症例 [第 42 回日本歯科麻酔学会総会]
（2014年10月12日）
慶熙大学国際交流報告 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
本学歯学部附属病院小児歯科における全身麻酔下歯科治療の実態調査 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日）
障がい児の埋伏歯抜歯のために全身麻酔下にて CT 検査を行った一症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日）
東日本大震災の障がいのある人の歯科保険に関するアンケート調査—県内の障がい者を対象に—[第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月16日）
精神疾患に伴う整復困難な両側顎関節脱臼の 1 症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月16日）
巨大水頭症患者の歯科治療における全身麻酔経験 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月16日）
当院における日帰り全身麻酔 6 年間 1,037 例における回復時間の統計 [第 18 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2014年11月30日）
福島県における震災後の歯科に関するアンケート調査—県内の障がいのある方への調査—[第 18 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2014年11月30日）
複雑部分発作により意識消失から呼吸停止となった 1 例 [第 33 回日本蘇生学会]
（2014年12月05日）
Hyperkalemia が原因と考えられた Asystole の 1 例 [第 33 回日本蘇生学会]
（2014年12月06日）
Biannual Oral Care Under General Anesthesia Prolongs Tooth Life [93rd General Session & Exhibition of the IADR]
（2015年03月13日）
Changes of Lidocaine Concentration in the Jaw Bone and Tissues [93rd General Session & Exhibition of the IADR]
（2015年03月13日）
重度の脊髄性筋萎縮症（Ⅰ型：WSD）患者の歯科治療のための全身麻酔経験 [第 23 回福島県麻酔懇話会]
（2015年04月18日）
呼気温度で体温を予測できるか？ [第 26 回日本臨床モニター学会]
（2015年05月15日）
歯学部附属病院における過去 1 年間のインシデントレポート分析と改善の 1 方策 [第 56 回日本歯科医療管理学会]
（2015年05月30日）
知的障害児の全身麻酔下歯科治療において著しい高炭酸ガス血症が 続いた 1 例 [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2015年06月21日）
知的障がい者の全身麻酔導入における工夫の検討 [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2015年06月21日）
全身麻酔専門歯科医院（スリープ歯科福島院）のシステム [第 30 回東日本歯科麻酔学会]
（2015年06月27日）
静脈内鎮静法のための V-line 確保困難症例 [第 30 回東日本歯科麻酔学会]
（2015年06月27日）
半月刀症候群患者の全身麻酔経験 [第 30 回東日本歯科麻酔学会]
（2015年06月27日）
当院における静脈内鎮静法—10 年間の推移—[第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）
Scimitar syndrome 患児の全身麻酔下歯科治療経験 [第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）

Scimitar syndrome 患児の全身麻酔下歯科治療経験 [第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）
End-tidal Expiratory Temperature(EtET) 測定の可能性 [第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）
General Anesthesia for A Patient with Scimitar Syndrome [14th International Dental Congress on Modern Pain Control (IFDAS)]
（2015年10月10日）
Effect of Infiltration Anesthesia with High Pressure [14th International Dental Congress on Modern Pain Control (IFDAS)]
（2015年10月10日）
経鼻挿管による工夫 (スニッフィングポジションとエアウェイスコープ®と経鼻用パーカー®気管チューブを用いて) [第 43 回日本歯科麻酔学会総会]
（2015年10月31日）
三叉神経痛による歯科恐怖症患者の静脈内鎮静法の 1 例 [第 43 回日本歯科麻酔学会総会]
（2015年10月31日）
前投薬の有無における知的障害者の日帰り全身麻酔管理の統計学的検討 [第 32 回日本障害者歯科学会]
（2015年11月07日）
歯科恐怖症患者の静脈内鎮静中の誤嚥が喘息発作のトリガーとなった 1 例 [第 32 回日本障害者歯科学会]
（2015年11月07日）
UCLA 小児歯科における Open Airway Method を用いた全身麻酔管理方法に関する検討 [第 19 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2015年11月08日）
奥羽大学歯学部附属病院における医療安全対策—平成 26 年度ヒヤリ・ハット、インシデント・アクシデント事例報告—[第 19 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2015年11月08日）
要介護高齢者の摂食嚥下障害　－脳血管障害と認知症の比較－ [第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）

担当授業科目

生体管理学	2003年04月	－	継続中
臨床実習	2003年04月	－	継続中
歯科麻酔学	2003年04月	－	継続中
生体管理学	2004年04月	－	継続中
歯科麻酔学	2004年04月	－	継続中
臨床実習	2004年04月	－	継続中
歯科麻酔学	2005年04月	－	継続中
臨床実習	2005年04月	－	継続中
隣接医学	2005年04月	－	継続中
生体管理学	2005年04月	－	継続中
臨床総合演習	2005年10月	－	継続中
臨床総合講義	2006年04月	－	継続中
統計学	2006年04月	－	継続中
隣接医学	2006年04月	－	継続中
歯科麻酔学	2006年04月	－	継続中
臨床実習	2006年04月	－	継続中
生体管理学	2006年04月	－	継続中
診療視覚教育	2007年04月	－	継続中
統計学	2007年04月	－	継続中
歯科麻酔学	2007年04月	－	継続中
臨床総合講義	2007年04月	－	継続中
臨床実習 (PBL 含む)	2007年04月	－	継続中
臨床総合演習	2007年10月	－	継続中
歯科医療人間学Ⅳ	2008年04月	－	継続中
歯科医療管理学	2008年04月	－	継続中
臨床総合講義	2008年04月	－	継続中
臨床実習 (PBL 含む)	2008年04月	－	継続中
ＣＢＬ演習	2008年04月	－	継続中
歯科麻酔学	2008年04月	－	継続中
総合学習Ⅳ	2008年04月	－	継続中
診療視覚教育	2008年04月	－	継続中
臨床総合演習（OSCE）	2008年10月	－	継続中

歯科医療人間学Ⅳ	2009年04月	―	継続中
歯科麻酔学	2009年04月	―	継続中
CBL 演習	2009年04月	―	継続中
臨床実習 (PBL も含む)	2009年04月	―	継続中
歯科医療管理学	2009年04月	―	継続中
総合学習Ⅳ	2009年04月	―	継続中
診療視覚教育	2009年04月	―	継続中
臨床総合演習	2009年10月	―	継続中
(歯) 臨床歯学概論	2015年04月	―	継続中
(薬) 統計学	2015年04月	―	継続中
(歯) 歯科麻酔学	2015年04月	―	継続中
(歯)CBL 演習	2015年04月	―	継続中
(薬) 高齢者の健康A	2015年04月	―	継続中
(歯) 歯科医学演習	2015年04月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

第 1 学年　附属病院体験学習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
奥羽大学歯学部 OSCE 要項分担執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
大学院セミナー　統計処理の基礎 · 演習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
附属病院研修セミナー ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
第 5 学年　院内生セミナー ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
第 5 学年　臨床実習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
第 4 学年　歯科麻酔学講義 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
臨床実習書の分担執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年02月	―	継続中
臨床実習ノートの分担執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2004年02月	―	継続中
医療事故防止マニュアル分担執筆 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2005年03月	―	継続中
第 4 学年　隣接医学講義 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
薬学部　臨床の実際 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
薬学部　医療概論 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
薬学部　統計学 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2006年04月	―	継続中
大学院セミナー「統計学の基礎」のテキスト改訂作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2006年08月	―	継続中
チュートリアル ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
Microsoft Word による 5 学年臨床実習症例発表会 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第 4 学年　歯科医療人間学 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
Microsoft Power Point による 5 学年臨床実習症例発表会 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本歯科麻酔学会東北地方会　幹事会［幹事］	1996年01月	―	継続中
日本歯科麻酔学会　評議員会［評議員］	1996年01月	―	継続中
日本歯科麻酔学会東北地方会　監事［監事］	2001年01月	―	継続中
奥羽大学歯学会　評議員会［評議員］	2004年04月	―	継続中
日本臨床モニター学会　評議員会［評議員］	2005年06月	―	継続中

日本歯科医療管理学会　評議員会［評議員］	2005年10月	―	継続中
日本歯科麻酔学会　指導施設委員会［指導施設委員］	2005年10月	―	継続中
日本歯科医療管理学会東北支部会　理事会［理事］	2005年10月	―	継続中
日本歯科麻酔学会　国際交流委員会［国際交流委員］	2007年10月	―	継続中
日本歯科麻酔学会　ガイドライン策定委員会［ガイドライン策定委員］	2007年10月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［理事］	2010年04月	―	継続中
国際歯科研究会［歯科麻酔学部門　副会長］	2013年03月	―	2014年06月
北海道臨床歯科麻酔学会　評議員［評議員］	2013年06月	―	継続中
国際歯科研究会［歯科麻酔部門　会長］	2014年07月	―	2015年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

川合　宏仁

KAWAAI hiroyoshi

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　臨床研修医［本務］	1992年05月	―	1993年03月
奥羽大学歯学部歯学科　助手［本務］	1993年10月	―	2004年03月
奥羽大学歯学部歯学科　講師［本務］	2004年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科　准教授［本務］	2007年04月	―	2016年03月

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会
日本歯科麻酔学会 東北地方会
奥羽大学歯学会
日本臨床モニター学会
福島県麻酔懇話会
日本臨床麻酔学会
東北地区歯科医学会
日本蘇生学会
IFDAS
日本障害者歯科学会
福島県歯科医師会
日本歯科医療管理学会
IADR
JADR
日本炭酸脱水酵素研究会
日本歯科麻酔学会 北海道地方会
福島 ACLS 協会
日本歯科麻酔学会 東北地方会　幹事会
IADH
奥羽大学歯学会　評議委員会
日本歯科医療管理学会　評議委員会
日本口腔インプラント学会
日本歯科麻酔学会　評議委員会

論文

1) Transient Cardiac Arrest in Patient With Left Ventricular Noncompaction (Spongiform Cardiomyopathy). [Anesthesia Progress, 58 (1), (2011), 22-25]

   Shinya Yamazaki, Hiroshi Ito, Hiroyoshi Kawaai

2) 全身的合併症を有する患者における局所麻酔後の循環変動についての臨床的検討. [日本歯科医療管理学会雑誌, 46 (1), (2011), 42-47]

   田中克典，川合宏仁，島村和宏，山崎信也，釜田　朗，瀬川　洋，佐々木重夫，齋藤高弘

3) 全身麻酔中に低血圧となったペースメーカ装着患者の 1 例. [日本蘇生学会雑誌, 30 (2), (2011), 102-105]

   八木下健，伊藤　寛，川合宏仁，山崎信也

4) Effects of a transmitted light device for pediatric peripheral venipuncture and intravenous cannulation. [Medical Devices: Evidence and Research, 4, (2011), 189-192]

   Shinya Yamazaki, Shu Tomita, Masahiro Watanabe, Hiroyoshi Kawaai, Kazuhiro Shimamura

5) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み—身元不明遺体の検死活動の概要—. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 230-236]

板橋　仁，今関　肇，宇佐美晶信，影山勝保，川合宏仁，関根貴仁，玉井一樹，長岡正博，西本秀平，浜田智弘，林　太一，福島雅啓，和田隆史，渡辺　聡，高橋和裕，大野　敬

6) 口腔内からの大量出血により緊急手術となり挿管に難渋した１症例．［日本歯科麻酔学会雑誌, 40（1），(2012)，60-61］

八木下健，田中克典，福島雅啓，助川絵美，宮越義隆，横山絵里，吉田健司，川合宏仁，山崎信也

7) 日帰り全身麻酔の術前診察から当日までに患者の状態が急変した知的障害者の 2 症例．［奥羽大学歯学誌, 39（2），(2012)，117-120］

福島雅啓，田中克典，八木下健，助川絵美，宮腰義隆，横山絵里，吉田健司，川合宏仁，山崎信也

8) 小型血液ガス分析装置の比較使用経験．［奥羽大学歯学誌, 39（4），(2012)，231-239］

小松泰典，吉田健司，冨田　修，福島雅啓，八木下健，赤沼龍一，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

9) 異常絞扼反射患者の歯科治療に全身麻酔と系統的脱感作を併用した症例．［奥羽大学歯学誌, 40（1），(2013)，59-62］

鈴木史彦，八木下健，川合宏仁，山崎信也，清野晃孝，齋藤高弘

10) WPW 症候群と開口障害を合併した障害者の全身麻酔下歯科治療経験．［奥羽大学歯学誌, 40（2），(2013)，111-116］

川合宏仁，小松泰典，福島雅啓，八木下健，渡辺正博，鈴木史彦，佐々木重夫，山崎信也

11) プロポフォールによる静脈内鎮静後の回復過程における Trieger dot test と Ramsay score の相関性．［日本歯科麻酔学会雑誌, 41（3），(2013)，304-305］

田中絵里，吉田健司，小松泰典，渡辺正博，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

12) 地方都市の開業歯科医院における歯科麻酔認定医による日帰り全身麻酔の経験．［日本歯科麻酔学会雑誌, 41（3），(2013)，298-299］

内藤美貴子，川合宏仁，吉田健司，高北義彦，山崎信也

13) Dexmedetomidine decreases the oral mucosal blood flow..［British Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, 51（8），(2013)，928-931］

Kawaai H, Yoshida K, Tanaka E, Togami K, Tada H, Ganzberg S, Yamazaki S.

14) Intravenous sedation for implant surgery: Midazolam, butorphanol and dexmedetomidine versus midazolam, butorphanol and propofol.［Journal of Oral Implantology , 40（1），(2014)，94-102］

Kawaai H, Tomita S, Nakaike Y, Ganzberg S, Yamazaki S

15) Difference of Injection Point for Local Anesthesia in Alveolar Bone Affects Infiltration and Action of Anesthesia.［奥羽大学歯学誌, 41（1），(2014)，29-38］

Tomoko MOROTA, Hiroyoshi KAWAAI, and Shinya YAMAZAKI

16) 協力度が低い患者の歯科全身麻酔に対する前投薬としてのミダゾラム経口投与法の検討．［日本歯科麻酔学会雑誌, 42（2），(2014)，234-235］

小松泰典，吉田健司，田中絵里，冨田　修，福島雅啓，八木下健，渡辺正博，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

17) 多剤内服中の知的障がい者に対するミダゾラムの経口前処置について．［奥羽大学歯学誌, 41（2），(2014)，63-65］

小松泰典，中池祥浩，鈴木史彦，川合宏仁，島村和宏，山崎信也

18) Lidocaine concentration in mandibular bone after subperiosteal infiltration anesthesia decreases with elevation of periosteal flap and irrigation with saline.［Anesthesia Progress, 61（2），(2014)，53-62］

Ogawa S, Watanabe M, Kawaai H, Tada H, Yamazaki S

19) 重度高カリウム血症により心静止になったと考えられた頬部蜂巣炎患者の 1 例．［日本歯科麻酔学会雑誌, 42（3），(2014)，295-296］

田中克典，遠藤未来，工藤香菜恵，須田修二，吉田健司，田中絵里，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

20) プロポフォールによる静脈内鎮静中に指尖が緑色となった 1 症例．［日本歯科麻酔学会雑誌, 42（3），(2014)，297-298］

助川絵美，田中克典，田中絵里，吉田健司，小松泰典，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

21) 全身麻酔後にクループを合併し 1 週間の入院を要した歯科治療拒否児の 1 例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 43 (2), (2015), 229-231]

山崎信也、遠藤未来、須田修二、工藤香奈恵、鈴木史彦、川合宏仁、島村和宏、大溝裕史

22) Werdnig-Hoffmann 病患者における歯科治療のための全身麻酔経験. [日本歯科麻酔学会雑誌, 43 (2), (2015), 233-234]

田中克典、田中絵里、三田拓也、大溝裕史、中池祥浩、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

23) Periodic Oral Care under Ambulatory General Anesthesia Prolongs Tooth Life in Patients with Intellectual Disabilities. [Oral Health and Dental Management, 14 (5), (2015), 294-296]

Katsunori Tanaka, Kenji Yoshida, Eri Tanaka, Yasunori Komatsu, Fumihiko Suzuki, Hiroyoshi Kawaai, Shinya Yamazaki

24) A Case of Dental Treatment Under General Anesthesia for a Pediatric Patient With Pelizaeus - Merzbacher Disease. [Oral Health and Dental Management, 14 (6), (2015), 460-463]

Hiroyoshi Kawaai, Yumiko Mishina, Katsunori Tanaka, Norihisa Aizawa, Kazuhiro Shimamura, Shinya Yamazaki

25) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策. [日本歯科医療管理学会雑誌, 50 (4), (2016), 244-250]

安倍将太, 山崎信也, 川合宏仁, 島村和宏, 瀬川　洋, 佐々木重夫, 清野晃孝, 齋藤高弘

26) Lidocaine concentration in oral Tissue by the addition of Epinephirine. [Anesthesia Progress, 63 (1), (2016), 17-24]

Eri Tanaka, Kenji Yoshida, Hiroyoshi Kawaai, Shinya Yamazaki

著書

1) 歯科におけるくすりの使い方 2015-2018　第 6 章　鎮静法で使用される薬剤　1．亜酸化窒素（笑気ガス）. [デンタルダイヤモンド,2014]

金子明寛　編集　川合宏仁

2) 歯科におけるくすりの使い方 2015-2018　第 6 章　鎮静法で使用される薬剤　2．ミダゾラム（ベンゾジアゼピン）. [デンタルダイヤモンド,2014]

金子明寛　編集　川合宏仁

3) 判例からみた医療安全（初版）. [わかば出版,2014]

小林　馨, 足立　進, 中島　丘　編著　川合宏仁

研究発表

障がい児の日帰り全身麻酔の導入時に認めた無気肺の 1 例 [第 42 回日本歯科麻酔学会総会]
（2014年10月11日 － 2014年10月12日，新潟市）

聴覚障害者に対し静脈内鎮静法を施行した 1 症例 [第 42 回日本歯科麻酔学会総会]
（2014年10月11日 － 2014年10月12日，新潟市）

本学歯学部附属病院小児歯科における全身麻酔下歯科治療の実態調査 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，奥羽大学）

精神疾患に伴う整復困難な両側顎関節脱臼の 1 症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日）

東日本大震災の障がいのある人の歯科保険に関するアンケート調査—県内の障がい者を対象に—[第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日）

巨大水頭症患者の歯科治療における全身麻酔経験 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日）

福島県における震災後の歯科に関するアンケート調査—県内の障がいのある方への調査—[第 18 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2014年11月30日）

当院における日帰り全身麻酔 6 年間 1,037 例における回復時間の統計 [第 18 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2014年11月30日）
複雑部分発作により意識消失から呼吸停止となった 1 例 [第 33 回日本蘇生学会]
（2014年12月05日 － 2014年12月06日）
Hyperkalemia が原因と考えられた Asystole の 1 例 [第 33 回日本蘇生学会]
（2014年12月06日）
Changes of Lidocaine Concentration in the Jaw Bone and Tissues [93rd General Session & Exhibition of the IADR]
（2015年03月13日 － 2015年03月16日）
Biannual Oral Care Under General Anesthesia Prolongs Tooth Life [93rd General Session & Exhibition of the IADR]
（2015年03月13日 － 2015年03月16日）
歯学部附属病院における過去 1 年間のインシデントレポート分析と改善の 1 方策 [第 56 回日本歯科医療管理学会]
（2015年05月30日）
知的障がい者の全身麻酔導入における工夫の検討 [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2015年06月21日）
知的障害児の全身麻酔下歯科治療において著しい高炭酸ガス血症が 続いた 1 例 [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2015年06月21日）
静脈内鎮静法のための V-line 確保困難症例 [第 30 回東日本歯科麻酔学会]
（2015年06月27日）
半月刀症候群患者の全身麻酔経験 [第 30 回東日本歯科麻酔学会]
（2015年06月27日）
三叉神経痛による歯科恐怖症患者の静脈内鎮静法の 1 例 [第 43 回日本歯科麻酔学会総会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，東京）
経鼻挿管による工夫 (スニッフィングポジションとエアウェイスコープ®と経鼻用パーカー®気管チューブを用いて) [第 43 回日本歯科麻酔学会総会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日，東京）
歯科恐怖症患者の静脈内鎮静中の誤嚥が喘息発作のトリガーとなった 1 例 [第 32 回日本障害者歯科学会]
（2015年11月07日 － 2015年11月08日，名古屋）
前投薬の有無における知的障害者の日帰り全身麻酔管理の統計学的検討 [第 32 回日本障害者歯科学会]
（2015年11月07日 － 2015年11月08日，名古屋）
UCLA 小児歯科における Open Airway Method を用いた全身麻酔管理方法に関する検討 [第 19 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2015年11月08日，秋田県歯科医師会館）
奥羽大学歯学部附属病院における医療安全対策—平成 26 年度ヒヤリ・ハット、インシデント・アクシデント事例報告— [第 19 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
（2015年11月08日，秋田県歯科医師会館）
帰国報告「UCLA における海外研修」[第 60 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日，奥羽大学歯学部附属病院）

担当授業科目

歯科麻酔学	2009年04月	－	継続中
臨床実習	2009年04月	－	継続中
臨床実習 (PBL も含む)	2009年04月	－	継続中
歯科医療人間学Ⅳ	2009年06月	－	2014年07月
臨床総合演習	2009年10月	－	継続中
(歯) 全身管理・看護学	2015年09月	－	2016年02月

その他教育活動及び特記事項

第 5 学年臨床実習書 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	1995年04月	－	継続中
第 1 学年　附属病院体験学習 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	－	継続中
臨床実習書の分担執筆 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2004年02月	－	継続中
臨床実習ノートの分担執筆 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2004年02月	－	継続中
第 5 学年　臨床実習 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2004年04月	－	継続中
第 4 学年　歯科麻酔学講義 第 6 学年　生体管理学，歯科麻酔学講義 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年04月	－	継続中

第 4 学年　臨床総合演習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
第 4 学年　隣接医学講義 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2005年04月	―	継続中
第 2 回 CBT ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2006年12月	―	継続中
第 5 学年　院内生セミナー ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
大学院セミナー ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
チュートリアル ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年11月	―	継続中
Microsoft Word による 5 学年臨床実習症例発表会 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第 2 学年　歯科医療管理学 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第 4 学年　歯科医療人間学 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
Microsoft Power Point による 5 学年臨床実習症例発表会 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
歯科麻酔学テキスト作成　学建書院 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2008年07月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本歯科麻酔学会［日本歯科麻酔学会　東北地方会　幹事］	2006年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［奥羽大学歯学会　評議員］	2007年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［日本歯科医療管理学会　評議員］	2008年04月	―	継続中
日本歯科医療管理学会［日本歯科医療管理学会　東北地方会　評議員］	2008年04月	―	継続中
日本歯科麻酔学会［日本歯科麻酔学会　評議員］	2009年04月	―	継続中
日本歯科麻酔学会［第 28 回日本歯科麻酔学会　東北地方会　大会会長 ］	2013年07月		
日本歯科麻酔学会［日本歯科麻酔学会認定医審査委員］	2013年09月	―	2015年08月

学外の社会活動（高大・地域連携等）

アメリカ心臓病学会 BLS（1 次救命処置）講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2014年02月
奥羽大学同窓会　全身管理実習 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2014年02月
アメリカ心臓病学会 BLS（1 次救命処置）講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2014年04月
アメリカ心臓病学会 BLS（1 次救命処置）講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2014年06月
奥羽大学出張公開講座 ［活動区分 ：公開講座］	2014年08月
いわき市歯科医師会 BLS-AED 講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2014年09月
アメリカ心臓病学会 BLS（1 次救命処置）講習会 ［活動区分 ：小中高との連携］	2014年12月
アメリカ心臓病学会 BLS（1 次救命処置）講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2015年09月
磐井病院 ICLS（2 次心肺蘇生法）講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2015年09月
アメリカ心臓病学会 BLS（1 次救命処置）講習会 ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2015年12月

奥羽大学 歯学部 歯学科

鈴木　史彦

SUZUKI Fumihiko　　生年月日 1964年04月27日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・歯周病学・博士課程　　1995年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1995年04月	―	2002年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2002年04月	―	2015年03月
奥羽大学歯学部 准教授［本務］	2015年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本歯周病学会
日本歯科保存学会
日本口腔インプラント学会
日本歯科医学教育学会
日本摂食・嚥下リハビリテーション学会
日本歯科麻酔学会
日本老年歯科医学会
日本予防医学会

論文

1) 小型血液ガス分析装置の比較使用経験.［奥羽大学歯学誌, (2012)］

小松泰典、吉田健司、冨田　修、福島雅啓、八木下 健、赤沼龍一、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

2) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み　‐郡山市避難所における支援活動の概要‐.［奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2012), 224-229］

佐々木重夫他

3) 学習方法に関する学生と教員への同時アンケート‐総合学習Ⅱ・Ⅲ‐.［奥羽大学歯学誌, 39 (3), (2012), 163-170］

鈴木史彦，岡田英俊，茂呂祐利子，前田豊信，横瀬敏志

4) 臨床実習における超高齢社会に向けたメディカルチーム研修の導入.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

鈴木史彦、冨田　修、田中絵里、吉田健司、村上知久、菊地隆太、小嶋忠之、高田　訓

5) WPW 症候群と開口障害を合併した障害者の全身麻酔科歯科治療経験.［奥羽大学歯学誌 , (2013)］

川合宏仁、小松泰典、福島雅啓、八木下　健、渡辺正博、鈴木史彦、佐々木重夫、山崎信也

6) 異常絞扼反射患者の歯科治療に全身麻酔と系統的脱感作を併用した症例.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

鈴木史彦、八木下 健、川合宏仁、山崎信也、清野晃孝、齊藤高弘

7) プロポフォールによる静脈内鎮静後の回復過程における Trieger dottest と Ramsayscore の相関性.［日歯麻誌, (2013)］

田中絵里、吉田健司、小松泰典、渡辺正博、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

8) 当科における顎顔面領域の慢性痛に対するペインクリニックの検討.［奥羽大学歯学誌, (2013)］

冨田　修、福島雅啓、田中克典、中池祥浩、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

9) 協力度が低い患者の歯科全身麻酔に対する前投薬としてのミダゾラム経口投与法の統計.［日歯麻誌, (2014)］

小松泰典、吉田健司、田中絵里、冨田　修、福島雅啓、八木下　健、渡辺正博、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

10) プロポフォールによる静脈内鎮静中に指先が緑色となった 1 症例.［日歯麻誌, (2014)］

助川絵美，田中克典，田中絵里，吉田健司，小松泰典，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

11) 重度高カリウム血症により心静止になったと考えられた頬部蜂巣炎患者の 1 例.［日歯麻誌, (2014)］

田中克典，遠藤未来，工藤香菜恵，須田修二，吉田健司，田中絵里，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

12) 多剤内服中の知的障がい者に対するミダゾラムの経口前処置について.［奥羽大学歯学, (2014)］

小松泰典，中池祥浩，鈴木史彦，川合宏仁，島村和宏，山崎信也

13) Werdnig-Hoffmann 病患者における歯科治療のための全身麻酔経験.［日歯麻誌, (2015)］

田中克典、田中絵里、三田拓也、大溝裕史、中池祥浩、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

14) 全身麻酔後にクループを合併し 1 週間の入院を要した歯科治療拒否児の 1 例.［日歯麻誌, (2015)］

山崎信也, 遠藤未来, 須田修二, 工藤香奈恵, 鈴木史彦, 川合宏仁, 島村和宏, 大溝裕史

15) Periodic oral care under ambulatory general anesthesia prolongs tooth life in patients with intellectual disabilities..［Oral Health Dent Manag, (2015)］

Tanaka K, Yoshida K, Tanaka E, Komatsu Y, Suzuki F, Kawaai H, Yamazaki S.

16) Prevalence of chronic pain, especially headache, and relationship with health-related quality of life in middle-aged japanese residents..［Health, (2016)］

Junko Mitoma, Fumihiko Suzuki, Hiroyuki Nakamura et.al.

総説・解説記事

1) 摂食 · 嚥下障害について.［ふくしまの国保, (2014)］

鈴木史彦

2) 誤嚥性肺炎とお口のケア.［元輝新報, (2014)］

鈴木史彦

3) 摂食嚥下障害への対応.［元輝新報, (2014)］

鈴木史彦

4) 摂食嚥下障害をご存じですか？ .［元輝新報, (2014)］

鈴木史彦

5) あなたの飲み込みは、本当に大丈夫ですか？ 早めの健診が大事.［元輝新報, (2016)］

鈴木史彦

研究発表

東日本大震災における奥羽大学の取り組 み（その２）［奥羽大学歯学会］
（2011年06月11日，郡山市）
東日本大震災における奥羽大学の取り組 み（その２）［日本歯科医療管理学会］
（2011年07月10日，横浜市）
機能的ダイアグラムにおける「年齢に対する骨吸収指数」の変化と相関する因子に関する研究［日本歯周病学会］
（2011年09月24日，下関市）
障害者の日帰り全身麻酔における PONV の検討［第 20 回福島県麻酔懇話会］
（2012年04月28日）
学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査［第 53 回奥羽大学歯学会］
（2012年06月16日）
セボフルランオープンドロップによる導入とその濃度の検証［第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会］
（2012年06月16日）
全静脈麻酔は吸入麻酔の術後悪心嘔吐を改善させる［第 27 回東日本歯科麻酔学会］
（2012年07月28日）

止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の１症例 [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
協力度が低い患者に対するミダゾラム経口投与の統計学的検討 [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
A study of inhalation concentration as anesthesia induction with sevoflurane open drop method [5th Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies]
（2012年09月15日）
全身麻酔後 4 日間にわたり意識レベル低下を呈した 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2012年10月05日 － 2012年10月06日）
全身麻酔導入時に起こった気管支痙攣の 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2012年10月05日 － 2012年10月06日）
口腔粘膜血流に対するデクスメデトミジンの研究（2 報）—デクスメデトミジンがリドカインの吸収に及ぼす影響—[第 40 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2012年10月05日 － 2012年10月06日）
口腔粘膜血流に対するデクスメデトミジンの研究（1 報）—デクスメデトミジンが口腔粘膜血流量に及ぼす影響—[第 40 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2012年10月05日 － 2012年10月06日）
全身麻酔導入時に起こった気管支痙攣の 1 例 [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年10月07日）
知的障害者の全身麻酔前投薬としてのドルミカム®内服状況 [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年10月07日）
Body weight change in the term of oral care under general anesthesia [2012 iADH Congress in MELBORNE]
（2012年10月29日）
重度の異常絞扼反射患者に対して全身麻酔下歯科治療と系統的脱感作により対応した症例 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
A study of inhalation concentration as anesthesia induction with sevoflurane open drop method [第 54 奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
臨床研修歯科医師の進路‐過去 7 年間の結果から‐ [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
精神遅滞患者のプラークコントロール状況と日帰り全身麻酔を併用したメインテナンスの関係について [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
口腔インプラント科における歯科麻酔科の役割 [第 28 回東日本歯科麻酔学会大会]
（2013年06月22日）
意識消失後 Asystole になった 1 例 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
知的障害者の全身麻酔導入における工夫の検討 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
継続的に全身麻酔科歯科処置を実施している知的障害患者の口腔清掃状態と麻酔管理に関する疫学調査 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
歯周ポケット内細菌検査および血漿抗体価検査による SPT 期進行の予知判定 [第 56 回秋季日本歯周病学会学術大会]
（2013年09月22日）
歯学部 3 年生への摂食・嚥下リハビリテーションに関する講義の効果 [第 19 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会]
（2013年09月22日）
静脈内鎮静法における体感時間の検討 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2013年10月03日 － 2013年10月04日）
高カリウム血症が原因と考えられる院内心停止の１例 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2013年10月03日 － 2013年10月04日）
Pelizaeus-Merzbacher 病患児の日帰り全身麻酔経験 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会・学術大会]
（2013年10月03日 － 2013年10月04日）
奥羽大学の臨床実習生を対象とした障害者施設での学外研修について [第 5 回東北障害者歯科臨床研究会]
（2014年05月25日）
胃瘻患者の経口摂取を目的に嚥下内視鏡を実施した症例 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月21日）
ディプリバンキット®による sadation 中に代謝障害が疑われた１症例 [第 22 回福島県麻酔懇話会]
（2014年06月21日）

セボフルランの臭いは何分で慣れるか？ [第 29 回東日本歯科麻酔学会大会]
（2014年07月19日）
ブルガダ様心電図を呈した患者の全身麻酔経験 [第 29 回東日本歯科麻酔学会大会]
（2014年07月19日）
ドルミカム®による循環亢進が疑われた 1 症例 [第 29 回東日本歯科麻酔学会大会]
（2014年07月19日）
10 回連続の静脈確保失敗により心的障害と神経障害が遷延した重度肥満患者の 1 例 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
Weldnig-Hoffmann 病患者における全身麻酔経験 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
生活期での多職種協働による摂食嚥下リハビリテーション [第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会]
（2014年09月06日 － 2014年09月07日）
大学病院と高齢者施設の連携による摂食 · 嚥下障害へのアプローチ—嚥下内視鏡 (VE) による評価—[第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会]
（2014年09月06日）
全身状態からみる発熱と嚥下障害の関係に関する調査 ～ 肺炎の予防のために ～ [第 20 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会]
（2014年09月06日）
重度の脊髄性筋萎縮症（Ⅰ型：WSD）患者の歯科治療のための全身麻酔経験 [第 23 回福島県麻酔懇話会]
（2015年04月18日）
認知症高齢者の食形態を改善して ADL を向上させた 1 例 [第 59 回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日）
精神的健康度と生、年代、生活習慣要因の関連 - 金沢市一般住民の横断調査 [第 13 回日本予防医学会学術総会]
（2015年06月20日 － 2015年06月21日）
生活習慣および精神的健康度と健康受信行動との関連 [第 13 回日本予防医学会学術総会]
（2015年06月20日 － 2015年06月21日）
静脈内鎮静法のための V-line 確保困難症例 [第 30 回東日本歯科麻酔学会大会]
（2015年06月27日）
半月刀症候群患者の全身麻酔経験 [第 30 回東日本歯科麻酔学会大会]
（2015年06月27日）
Scimitar syndrome 患児の全身麻酔下歯科治療経験 [第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）
当院における静脈内鎮静法 - 10 年間の推移 - [第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）
End-tidal expiratory temperature (EtET) 測定の可能性 [第 30 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2015年08月01日）
認知症高齢者の摂食嚥下障害に異なる対応をした 2 症例 [第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会]
（2015年09月11日 － 2015年09月12日）
三叉神経痛による歯科恐怖症患者の静脈内鎮静法の 1 症例 [第 43 回日本歯科麻酔学会総会 · 学術大会]
（2015年10月31日 － 2015年11月01日）
要介護高齢者の摂食嚥下障害　- 脳血管障害と認知症の比較 - [第 59 回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日）

担当授業科目

臨床実習 (PBL 含む)	2008年04月	－	継続中
ＣＢＬ演習	2008年12月	－	2014年03月
(歯) 総合学習Ⅱ	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 総合学習Ⅲ	2012年04月	－	2013年03月
(歯) 高齢者歯科学Ⅰ	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 臨床総合講義	2014年04月	－	2015年03月
(歯) 高齢者歯科学Ⅱ	2014年04月	－	2015年03月
(薬) 高齢者の健康Ｂ	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 摂食嚥下リハビリテーション学	2015年04月	－	継続中
(歯) 在宅歯科医療学	2015年04月	－	継続中
(歯) 医療英会話	2015年04月	－	2016年03月
(歯) 臨床歯学概論	2015年04月	－	継続中
(薬) 高齢者の健康Ａ	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

陸上部顧問 ［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］	2005年04月	―	継続中
実習テキストブックの改良 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2006年04月	―	継続中
キーワードを重視した教育 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第５学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2009年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［歯学誌編集委員］	2007年04月	―	継続中
日本老年歯科医学会［専門医認定試験問題作成審査委員］	2015年03月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

福島県・福島県歯科医師会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年01月		
福島県国民健康保険審査報酬委員会委員 ［活動区分 ：その他］	2013年01月	―	継続中
全国老人保健施設協会 ［活動区分 ：その他］	2014年08月	―	2015年03月
全国デイ・ケア協会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2014年09月		
歯科助手認定講習会救急救命研修会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2015年08月		
全老健　摂食嚥下栄養ケアマネジメント検討班　班員 ［活動区分 ：その他］	2015年12月	―	継続中
全国デイ・ケア協会 第３回デイ・ケアスキルアップセミナー ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2016年01月		

奥羽大学 歯学部 歯学科

吉田　健司

YOSHIDA Kenji

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会
日本障害者歯科学会

論文

1) 口腔内からの大量出血により緊急手術となり挿管に難渋した１症例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 40 (1), (2012), 60-61]

八木下健，田中克典，福島雅啓，助川絵美，宮越義隆，横山絵里，吉田健司，川合宏仁，山崎信也

2) 日帰り全身麻酔の術前診察から当日までに患者の状態が急変した知的障害者の 2 症例. [奥羽大学歯学誌, 39 (2), (2012), 117-120]

福島雅啓，田中克典，八木下健，助川絵美，宮腰義隆，横山絵里，吉田健司，川合宏仁，山崎信也

3) 小型血液ガス分析装置の比較使用経験. [奥羽大学歯学誌, 39 (4), (2012), 231-239]

小松泰典，吉田健司，冨田　修，福島雅啓，八木下健，赤沼龍一，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

4) プロポフォールによる静脈内鎮静後の回復過程における Trieger dot test と Ramsay score の相関性. [日本歯科麻酔学会雑誌, 41 (3), (2013), 304-305]

田中絵里，吉田健司，小松泰典，渡辺正博，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

5) 地方都市の開業歯科医院における歯科麻酔認定医による日帰り全身麻酔の経験. [日本歯科麻酔学会雑誌, 41 (3), (2013), 298-299]

内藤美貴子，川合宏仁，吉田健司，高北義彦，山崎信也

6) Dexmedetomidine decreases the oral mucosal blood flow.. [Br J Oral Maxillofac Surg, 51 (8), (2013), 928-931]

Kawaai H, Yoshida K, Tanaka E, Togami K, Tada H, Ganzberg S, Yamazaki S.

7) 協力度が低い患者の歯科全身麻酔に対する前投薬としてのミダゾラム経口投与法の検討. [日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (2), (2014), 234-235]

小松泰典，吉田健司，田中絵里，冨田　修，福島雅啓，八木下健，渡辺正博，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

8) プロポフォールによる静脈内鎮静中に指尖が緑色となった 1 症例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (3), (2014), 297-298]

助川絵美，田中克典，田中絵里，吉田健司，小松泰典，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

9) 重度高カリウム血症により心静止になったと考えられた頬部蜂巣炎患者の 1 例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 42 (3), (2014), 295-296]

田中克典，遠藤未来，工藤香菜恵，須田修二，吉田健司，田中絵里，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

研究発表

Trieger dot test は覚醒判定の客観指標になり得るか [第 39 回日本歯科麻酔学会総会]
(2011年10月09日，神戸国際会議場)

最大開口にて狭窄した気道形態が一秒率に与える影響 [第 28 回日本障害者歯科学会]
(2011年11月06日，福岡国際会議場)

術前診察から手術当日までに状態が急変した障害者の 2 症例 [第 28 回日本障害者歯科学会]
(2011年11月06日，福岡国際会議場)

障害者の日帰り全身麻酔における PONV の検討 [第 20 回福島県麻酔懇話会]
（2012年04月28日，ハマツホテル）
全身麻酔が不可能と判断された重症心疾患 Down 症患者の管理経験 [第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2012年06月16日，函館歯科医師会館）
協力度が低い患者に対するミダゾラム経口投与の統計的検討 [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
全静脈麻酔は吸入麻酔の術後悪心嘔吐を改善させる [第 27 回東日本歯科麻酔学会]
（2012年07月28日）
スペシャルオリンピックスにおけるボランティア活動 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月29日）
障害者の全身麻酔下歯科治療は体重変化に影響するか？ [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月30日）
系統的脱感作により全身麻酔を回避し得た Eizenmenger 症候群患者の 1 例 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月30日）
系統的脱感作により全身麻酔を回避し得た Eizenmenger 症候群患者の 1 例 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年10月05日）
全身麻酔導入時に起こった気管支痙攣の 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月05日）
口腔粘膜血流に対するデクスメデトミジンの研究（2 報）—デクスメデトミジンがリドカインの吸収に及ぼす影響—[第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月06日）
全身麻酔後 4 日間にわたり意識レベル低下を呈した 1 例 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月06日）
口腔粘膜血流に対するデクスメデトミジンの研究（1 報）—デクスメデトミジンが口腔粘膜血流量に及ぼす影響—[第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
（2012年10月06日）
Body weight change in the term of oral care under general anesthesia [21st Congress of the International Association for Disability and Oral Health]
（2012年10月29日）
全身麻酔後 100 時間続いた意識レベル低下の 1 例 [第 21 回福島県麻酔懇話会]
（2013年04月13日）
意識消失後 Asystole になった 1 例 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
継続的に全身麻酔下歯科処置を実施している知的障害患者の口腔清掃状態と麻酔管理に関する疫学調査 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2013年07月27日）
静脈内鎮静法における体感時間の検討 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月03日）
Pelizaeus-Merzbacher 病患児の日帰り全身麻酔経験 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月03日）
高カリウム血症が原因と考えられる院内心肺停止の 1 例 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
（2013年10月04日）
顎骨および粘膜におけるアドレナリン血管収縮効果と局所麻酔効果の差異について [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
注入圧および注入時間の差による局所麻酔薬の組織への浸潤度合いの違いについて [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
ドルミカム®による循環亢進が疑われた 1 症例 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日）
ブルガダ様心電図を呈した患者の全身麻酔経験 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日）
ミダゾラム静注により血圧上昇をくり返した 1 例 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
聴覚障害者に対し静脈内鎮静法を施行した 1 症例 [第 42 回日本歯科麻酔学会総会]
（2014年10月12日）
障がい児の埋伏歯抜歯のために全身麻酔下にて CT 検査を行った一症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

冨田　修

TOMITA Shu　　生年月日 1974年11月28日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　　2008年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会
障害者歯科学会

論文

1) 小型血液ガス分析装置の比較使用経験.［奥羽大学歯学誌, 39（4）,（2012）, 231-239］

小松泰典，吉田健司，冨田　修，福島雅啓，八木下健，赤沼龍一，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

2) 協力度が低い患者の歯科全身麻酔に対する前投薬としてのミダゾラム経口投与法の検討.［日本歯科麻酔学会雑誌, 42（2）,（2014）, 234-235］

小松泰典，吉田健司，冨田　修，福島雅啓，八木下健，赤沼龍一，鈴木史彦，川合宏仁，山崎信也

研究発表

歯科医院における抜歯後の大量出血に対し緊急全身麻酔となった 1 例［第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会］
（2012年06月16日，函館歯科医師会館）
セボフルランオープンドロップによる導入とその濃度の検証［第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会］
（2012年06月16日，函館歯科医師会館）
全身麻酔が不可能と判断された重症心疾患 Down 症患者の管理経験［第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会］
（2012年06月16日，函館歯科医師会館）
全身麻酔後の遷延性意識レベル低下にて転院を余儀なくされた 1 例［第 27 回北海道臨床歯科麻酔学会］
（2012年06月16日，函館歯科医師会館）
全静脈麻酔は吸入麻酔の術後悪心嘔吐を改善させる［第 27 回東日本歯科麻酔学会］
（2012年07月28日，宮城県歯科医師会館）
止血困難であった上顎智歯抜歯後の大量出血の 1 症例［第 27 回東日本歯科麻酔学会］
（2012年07月28日，宮城県歯科医師会館）
系統的脱感作により全身麻酔を回避し得た Eizenmenger 症候群患者の 1 例［第 29 回日本障害者歯科学会］
（2012年09月30日，札幌コンベンションセンター）
強度の異常絞扼反射を有する患者における全身麻酔を含めた包括的歯科治療の経験［第 29 回日本障害者歯科学会］
（2012年09月30日，札幌コンベンションセンター）
全身麻酔導入時に起こった気管支痙攣の 1 例［第 16 回日本歯科医療管理学会東北支部会］
（2012年10月07日，宮城県歯科医師会館）
精神遅滞患者のプラークコントロール状況と日帰り全身麻酔を併用したメインテナンスの関係について［第 55 回奥羽大学歯学会］
（2013年06月15日，奥羽大学病院棟5階臨床講義室）
知的障害者の全身麻酔導入における工夫の検討［第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会］
（2013年07月27日，札幌市民ホール第2会議室）
意識消失後 Asystole になった 1 例［北海道臨床歯科麻酔学会］
（2013年07月27日，札幌市民ホール第2会議室）
高カリウム血症が原因と考えられる院内心肺停止の 1 例［第 41 回日本歯科麻酔学会総会］
（2013年09月15日，新横浜国際ホテル）
Pelizaeus-Merzbacher 病患児の日帰り全身麻酔経験［第 41 回日本歯科麻酔学会総会］
（2013年09月15日，新横浜国際ホテル）
静脈内鎮静法における体感時間の検討［第 41 回日本歯科麻酔学会総会］
（2013年10月03日，新横浜国際ホテル）
全身麻酔導入直後に嘔吐をくり返す知的障害者の全身麻酔経験［第 30 回日本障害者歯科学会］
（2013年10月12日 － 2013年10月13日，神戸国際展示場）

上顎前歯部の経過観察にクラウンフォーマーを用いた症例 [第 30 回日本障害者歯科学会]
（2013年10月12日 － 2013年10月13日，神戸国際展示場）
ブルガダ様心電図を呈した患者の全身麻酔経験 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日，岩手医科大学循環器医療センター）
セボフルランの臭いは何分で慣れるか？ [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月19日，岩手医科大学循環器医療センター）
10 回連続の静脈確保失敗により心的障害と神経障害が遷延した重度肥満患者の 1 例 [第 29 回北海道臨床歯科麻酔学会]
（2014年07月26日）
聴覚障害者に対し静脈内鎮静法を施行した 1 症例 [第 42 回日本歯科麻酔学会総会]
（2014年10月12日，日本歯科大学新潟生命歯学部）
障がい児の埋伏歯抜歯のために全身麻酔下にて CT 検査を行った一症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日，仙台国際センター）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日，仙台国際センター）

担当授業科目

臨床実習 (PBL 含む)　2008年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

中池　祥浩

NAKAIKE Yoshihiro

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2008年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会
日本障害者歯科学会
日本口腔インプラント学会

論文

1) Intravenous sedation for implant surgery: Midazolam, butorphanol and dexmedetomidine versus midazolam, butorphanol and propofol. [J Oral Implantol, 40 (1), (2014), 94-102]

Kawaai H, Tomita S, Nakaike Y, Ganzberg S, Yamazaki S

2) 多剤内服中の知的障がい者に対するミダゾラムの経口前処置について. [奥羽大学歯学誌, 41 (2), (2014), 63-65]

小松泰典，中池祥浩，鈴木史彦，川合宏仁，島村和宏，山崎信也

3) Werdnig-Hoffmann 病患者における歯科治療のための全身麻酔経験. [日本歯科麻酔学会雑誌, 43 (2), (2015), 232-234]

田中克典、田中絵里、三田拓也、大溝裕史、中池祥浩、鈴木史彦、川合宏仁、山崎信也

研究発表

当院における歯科医師の医科麻酔科研修の現状と課題 [第 40 回日本歯科麻酔学会総会]
(2011年10月)

歯科治療時に発見された凝固異常の 1 例 [第 16 回日本歯科医療管理学会東北支部会]
(2011年11月)

全身麻酔後 100 時間続いた意識レベル低下の 1 例 [第 21 回福島県麻酔懇話会]
(2013年04月)

精神遅滞患者のプラークコントロール状況と日帰り全身麻酔を併用したメインテナンスの関係について [第 55 回奥羽大学歯学会]
(2013年06月)

知的障害者の全身麻酔導入における工夫の検討 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
(2013年07月)

Change in forced expiratory volume as a measure of respiratory function by maximal opening of the mouth [5th Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies(FADAS)]
(2013年07月)

継続的に全身麻酔下歯科処置を実施している知的障害患者の口腔清掃状態と麻酔管理に関する疫学調査 [第 28 回北海道臨床歯科麻酔学会]
(2013年07月)

全身麻酔導入直後に嘔吐をくり返す知的障害者の全身麻酔経験 [第 30 回日本障害者歯科学会]
(2013年10月)

静脈内鎮静法における体感時間の検討 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
(2013年10月)

Pelizaeus-Merzbacher 病患児の日帰り全身麻酔経験 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
(2013年10月)

高カリウム血症が原因と考えられる院内心肺停止の 1 例 [第 41 回日本歯科麻酔学会総会]
(2013年10月)

上顎前歯部の経過観察にクラウンフォーマーを用いた症例 [第 30 回日本障害者歯科学会]
(2013年10月)

Recovery time from ambulatory general anesthesia in 1037 cases [92nd General Session & Exhibition of the IADR]
(2014年06月)

ディプリバンキット®による SEDATION 中に代謝障害が疑われた 1 症例 [第 22 回福島県麻酔懇話会]
（2014年06月）
ブルガダ様心電図を呈した患者の全身麻酔経験 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月）
セボフルランの臭いは何分で慣れるか？ [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月）
ドルミカム®による循環亢進が疑われた 1 症例 [第 29 回東日本歯科麻酔学会]
（2014年07月）
精神疾患に伴う整復困難な両側顎関節脱臼の 1 症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月）
障がい児の埋伏歯抜歯のために全身麻酔下にて CT 検査を行った一症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月）
精神疾患に伴う整復困難な両側顎関節脱臼の 1 症例 [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月）

奥羽大学 歯学部 歯学科

遠藤　未来

Endou Mikuru　　生年月日 1988年12月10日

歯学科

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会

論文

1) 重度高カリウム血症により心静止になったと考えられた頬部蜂巣炎患者の 1 例. [日本歯科麻酔科学会雑誌第 42 巻第 3 号, 42 (3), (2014), 295-296]

田中　克典, 遠藤　未来, 工藤　香菜恵, 須田　修二, 吉田　健司　, 田中　絵里, 鈴木　史彦, 川合　宏仁, 山崎　信也

2) 全身麻酔後にクループを合併し 1 週間の入院を要した歯科治療拒否児の 1 例. [日本歯科麻酔学会雑誌, 43 (2), (2015), 229-231]

山崎　信也, 遠藤　未来, 須田　修二, 工藤　香菜恵, 川合　宏仁, 鈴木　史彦

研究発表

ミダゾラム静注により血圧上昇を繰り返した一例 [東日本歯科麻酔学会]
(2015年07月19日)

聴覚障害者に対し静脈内鎮静法を施行した一症例 [日本歯科麻酔学会総会・学術集会]
(2015年10月10日 ― 2015年10月12日)

奥羽大学 歯学部 歯学科

小松　泰典

Komatsu Yasunori

歯学科

生年月日 1976年04月14日

奥羽大学 歯学部 歯学科

安部　将太

ABE Shota

歯学科

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会

論文

1) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策. [日本歯科医療管理学会雑誌, 50 (4), (2016)]

安部　将太, 山崎　信也　他

奥羽大学 歯学部 歯学科

福井　和徳

FUKUI Kazunori

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1986年10月	―	1996年09月
奥羽大学歯学部 講師［本務］	1996年10月	―	2006年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2006年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 教授［本務］	2007年04月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本口蓋裂学会
日本顎変形症学会
日本矯正歯科学会
東北矯正歯科学会
日本顎関節学会
日本口腔インプラント学会
世界矯正歯科医会
日本歯科医学教育学会

論文

1) タングクリブ付き Twin block 装置によって改善したハイアングルをともなう開咬症例.［東北矯正歯科学会雑誌, 19（1）,（2011）, 9-15］

松山仁昭，福井和徳，氷室利彦

2) 下顎前突症患者の非対称性と上下顎歯槽部傾斜度との関連.［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 157-162］

吉永　聡，伊藤秀文，海野幸恵，廣瀬将邦，今田玲美，松山仁昭，福井和徳

3) Twin Block 療法によるⅡ級不正咬合者の筋活動の変化と姿勢の関連性.［東北矯正歯科学会雑誌, 22（1）,（2014）, 5-14］

山野辺晋也，　西村幸恵, 宗形芳英, 福井和徳

4) 多数歯先天欠如を伴う骨格性反対咬合の包括歯科治療.［奥羽大学歯学誌, 41（3,4）,（2014）, 129-134］

福井和徳，川鍋　仁，細谷　尚史，山野辺晋也，山森徹雄，金　秀樹

5) レチノイン酸はヒト歯肉上皮細胞からの抗菌ペプチド産生を誘導する.［奥羽大学歯学誌, 41（3.4）,（2014）, 99-105］

渡辺　敦，福井　和徳，廣瀬　公治

6) Clinical study on root resorption of second molar -Replacement with impacted third molar using orthodontic force -.［日本外傷歯学会, 10（1）,（2014）, 53-60］

Hitoshi KAWANABE,　etc

7) 混合歯列期における不正咬合者の舌位に関する形態学的評価.［東北矯正歯科学会雑誌, 23（1）,（2015）, 3-10］

根津　允, 他

8) 外傷歯に対して矯正治療を行った長期経過例.［日本外傷歯学会雑誌, 11（1）,（2015）, 110-117］

川鍋　仁, 他

研究発表

奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における Goslon Yardstick を用いた咬合評価 [第 35 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2011年05月25日 － 2011年05月26日）
全身のアプローチにより開咬症状の改善が見られた１症例 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）
Function regulator ３治療における顎顔面部の軟組織弾力性 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）
Twin Block 装置が筋活動に与える影響 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）
歯肉上皮細胞における抗菌タンパク質産生機構に関する研究 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）
甲状腺機能亢進症を伴う骨格性下顎前突症の １症例 [第 21 回日本顎変形症学会総会]
（2011年06月16日 － 2011年06月17日）
Function Regulator II を適用した Angle ClassII の３症例 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
骨格性下顎前突症患者の外科的矯正治療における上顎の形態的変化 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
ツインブロック装置を適用した過蓋咬合を伴う上顎前突の１症例―長期経過観察症例 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
唾液アミラーゼによる歯間分離用エラスティック装着時のストレス評価 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
II 級１類不正咬合者の顎顔面部における軟組織弾力性の特徴 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
歯科矯正治療と口腔内の抗菌タンパク産生に関する研究 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
下顎前突不正咬合者の自己側貌イメージと理想とする側貌について [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
培養環境 pH がおよぼす骨芽細胞のサイトカイン産生についての研究 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
Function Regulator ３治療における顎顔面部の軟組織弾力性 [第 28 回東北矯正歯科学会大会]
（2012年05月19日 － 2012年05月20日）
Twin Block 装置適用患者における顎二腹筋の変化 [第 28 回東北矯正歯科学会大会]
（2012年05月19日 － 2012年05月20日）
口唇口蓋裂患者のカリエスリスク [第 36 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2012年05月24日 － 2012年05月25日）
顔面非対称をともなう骨格性下顎前突症患者における顎顔面部の軟組織弾力性 [第 22 回日本顎変形症学会総会]
（2012年06月18日 － 2012年06月19日）
スプリント療法および矯正再治療を行った間欠性ロックを有する骨格性 III 級症例 [第 25 回日本顎関節学会大会]
（2012年07月14日 － 2012年07月15日）
Angle Class III 不正咬合における FunctionRegulator III の治療効果 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
ツインブロックアプライアンスとプリアジャステッドアプライアンスによる２段階治療を行った II 級１類症例 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
唾液アミラーゼによる歯間分離用エラスティック装着時のストレス評価 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
Reverse Twin Block を適用した Angle ClassIII の３症例 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
ファンクションレギュレーター（FR III）の治 療効果 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
学童期における鼻腔通気度と骨格形態の関連性 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
Effect of masticatory muscle activity during chewing with Twin Block appliance [第６回国際会議 IFUNA 平泉大会]
（2012年10月25日 － 2012年10月28日）
Effect of environmental pH on antimicrobial proteins production in gingival epithelial cells [第６回国際会議 IFUNA 平泉大会]
（2012年10月25日 － 2012年10月28日）

矯正治療と口腔の自然免疫との関係についての研究 [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月09日 － 2012年11月11日）
三次元顔貌シミュレーションによる上顎前突 患者の理想とする顔貌 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
Angle ClassII 上顎前突患者における咽頭部気道形態の変化 [第 29 回東北矯正歯科学会大会]
（2013年05月25日 － 2013年05月26日）
High angle を有する Angle ClassIII 反対咬合症例 [第 29 回東北矯正歯科学会大会]
（2013年05月25日 － 2013年05月26日）
Angle ClassIII 下顎前突患者における咽頭部気道形態の変化 [第 29 回東北矯正歯科学会大会]
（2013年05月25日 － 2013年05月26日）
奥羽大学歯学部附属病院における過去５年間の口唇・口蓋裂患者の統計学的観察 [第 37 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2013年05月30日 － 2013年05月31日）
矯正歯科研修カリキュラムの修了認定症例 マルチブラケット装置で治療した１例 [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
矯正歯科研修カリキュラムの修了認定症例 マルチブラケット装置で治療した１例 [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
矯正歯科研修カリキュラムの修了認定症例 マルチブラケット装置で治療した１例 [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）
下顎前突症患者の理想とする自己側貌イメー ジの解析 [第 23 回日本顎変形症学会総会]
（2013年06月22日 － 2013年06月23日）
三次元シミュレーションによる上顎前突患者の理想とする顔貌の評価 [第 72 回日本矯正歯科学会大会]
（2013年10月07日 － 2013年10月09日）
レチノイン酸はヒト歯肉上皮細胞から抗菌ペプチド産生を誘導する [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
Twin Block 療法による II 級不正咬合者の筋活動の変化と姿勢の関連性 [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
II 級不正咬合における Twin Block 装置の治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
（2014年05月24日 － 2014年05月25日）
Angle Class II 不正咬合における Function Regulator II の治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
（2014年05月24日 － 2014年05月25日）
反対咬合患者における Function Regulator Ⅲの治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
（2014年05月24日 － 2014年05月25日）
Pierre Robin syndrome に機能的顎矯正装置を適用した一例 [第 38 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2014年05月29日 － 2014年05月30日）
三次元顔貌シミュレーションによる上顎前突症患者の理想とする自己側貌イメージの解析 [第 24 回日本顎変形症学会総会]
（2014年06月10日 － 2014年06月11日）
Twinblock を適用し終夜睡眠検査を行った上顎前突症例 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日）
Twin Block 療法によるⅡ級不正咬合者の筋活動の変化と姿勢の関連性 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日）
セルフライゲーティングアプライアンスシステムを適用した下顎左右側中切歯の先天欠如を伴う上顎前突症例 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日）
奥羽大学附属病院矯正歯科における最近 5 年間の初診患者の動向 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日）
下顎両側小臼歯の先天欠如に対して矯正治療およびインプラント治療を行った症例 [第 34 回東北・北海道支部インプラント学会]
（2014年11月15日 － 2014年11月16日）
過去 10 年間における顎裂部骨移植の術後評価 [第 39 回日本口蓋裂学会総会・学術集会]
（2015年05月21日 － 2015年05月22日）

担当授業科目

臨床実習	2006年04月	－	継続中
歯科医学概論	2007年07月	－	継続中
歯科矯正学	2007年10月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

パーソナルコンピュータ、インターネットを用いたレポート作成 ［活動区分 ：教育方法・実践に関する発表、講演］	2003年04月	－	継続中
臨床実習報告書 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

東北矯正歯科学会［評議員］	1996年10月	―	継続中
奥羽大学歯学会［理事］	1999年04月	―	継続中
奥羽大学歯学会［評議員］	1999年04月	―	継続中
日本矯正歯科学会［代議員］	2007年01月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

板橋　仁

ITABASHI Jin　　生年月日 1959年09月24日

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1986年10月	―	1996年09月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1996年10月	―	継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
東北矯正歯科学会
日本矯正歯科学会
日本口蓋裂学会
日本障害者歯科学会
日本 MEAW 研究会
日本顎変形症学会
日本歯科医学教育学会
日本顎関節学会
日本法歯科医学会
日本口腔感染症学会
日本集団災害医学会

論文

1) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み　―身元不明遺体の検死活動の概要―. ［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 230-236］

板橋　仁、今関　肇、宇佐美晶信、影山勝保　他

2) 東日本大震災犠牲者の身元確認作業について―福島県相馬市及び南相馬市における事例検討―. ［日本集団災害医学会誌, 17（1）,（2012）, 200-206］

染田英利，板橋　仁，菅野明彦

3) スプリント療法および矯正治療によって改善した間欠性ロックを有する上顎前突症例. ［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 177-182］

板橋　仁、南條章太郎、高田　訓、福井和徳

4) 身元不明遺体の検死派遣業務の問題点. ［みちのく歯学会雑誌, 42/43（1/2）,（2012）, 5-6］

板橋　仁

5) 東日本大震災における奥羽大学の取り組み　～身元不明遺体の検死活動を中心に～. ［神奈川歯科大学学会雑誌, 50（特別）,（2015）, 131-135］

板橋　仁

著書

1) 災害時の歯科保険医療対策　―連携と標準化に向けて―. ［一世出版株式会社,2015］

板橋　仁／中久木康一、北原　稔、安藤雄一　編

総説・解説記事

1) 東日本大震災における身元不明遺体の検死活動に参加して．[ISOTOPE NEWS, (696), (2012), 75-78]

板橋　仁

2) 東日本大震災における奥羽大学の取組み　―身元不明遺体の検死活動―．[歯界展望, 第 22 回日本歯科医学会総会（特別）, (2013), 289-289]

板橋　仁　他

研究発表

東日本大震災における奥羽大学の取組み（その１）[第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日，郡山市）
東日本大震災における奥羽大学の取組み（その１）[第 52 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，横浜市）
東日本大震災における身元不明遺体に対する福島県での対応 [第 10 回警察歯科医会全国大会]
（2011年11月04日，盛岡市）
スプリント療法および矯正再治療を行った間欠性ロックを有する骨格性 III 級症例 [第 25 回日本顎関節学会総会]
（2012年07月14日 － 2012年07月15日，札幌市）
東日本大震災における検死活動後の対応 [第 11 回警察歯科医会全国大会]
（2012年08月25日，四日市市）
東日本大震災における奥羽大学の取り組み ―身元不明遺体の検死活動― [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月10日 － 2012年11月11日，大阪市）
感染防止対策の取り組みと感染防止対策チー ム (ICT) 活動 [第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日，郡山市）
医療安全の立場から見た災害時の検死活動 [第 12 回警察歯科医会全国大会]
（2013年08月24日，郡山市）
東日本大震災での福島県における歯科身元確認作業従事者を対象とした遺族対応に関するストレス体験調査 [第 13 回日本トラウマティック・ストレス学会]
（2014年05月17日，福島市）
東日本大震災福島県歯科身元確認作業従事者を対象としたストレス体験調査 [日本法歯科医学会　第８回学術大会]
（2014年05月18日，千葉市）
東日本大震災福島県歯科身元確認作業従事者を対象としたメンタルヘルス状況調査 [日本法歯科医学会　第８回学術大会]
（2014年05月18日，千葉市）
東日本大震災福島県歯科身元確認作業従事者を対象としたストレス体験調査 [第 13 回警察歯科医会全国大会]
（2014年08月23日，徳島市）
東日本大震災福島県歯科身元確認作業従事者を対象としたメンタルヘルス状況調査 [第 13 回警察歯科医会全国大会]
（2014年08月23日，徳島市）

担当授業科目

歯科矯正学	2005年04月	－	継続中
歯科矯正学実習	2006年09月	－	継続中
(歯) 災害歯科学	2014年04月	－	2014年07月

その他教育活動及び特記事項

実習書の分担校正 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年02月	－	継続中

学会・委員会等活動

東北矯正歯科学会［評議員］	1997年01月	－	継続中
奥羽大学歯学会［編集理事］	2012年04月	－	継続中
奥羽大学歯学会［論文編集委員］	2003年04月	－	2012年03月

学外の社会活動（高大・地域連携等）

郡山北警察署協議会委員 ［活動区分 ：その他］	2010年04月	－	2013年03月
東日本大震災における身元不明遺体の検死活動 ［活動区分 ：ボランティア活動］	2011年03月	－	2011年05月
神奈川歯科大学 FD 講演会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2013年02月		
街なかライブ ［活動区分 ：公開講座］	2013年06月		

社会保険診療報酬支払基金福島支部職員研修会　2014年08月
［活動区分 ：講演会・セミナー］

奥羽大学 歯学部 歯学科

竜　立雄

RYU Tatsuo

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・歯科矯正学・博士課程　2002年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科成長発育歯学講座歯科矯正学分野　講師［本務］　2003年04月　－　継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本矯正歯科学会
東北矯正歯科学会
日本顎変形症学会
日本口蓋裂学会

担当授業科目

歯科医療人間学Ⅰ　2008年04月　－　継続中
臨床実習 (PBL 含む)　2008年04月　－　継続中
歯科矯正学実習　2008年09月　－　継続中
臨床総合演習（OSCE）　2008年09月　－　継続中

その他教育活動及び特記事項

歯科矯正学実習マニュアル改定版　2005年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］
臨床実習報告書　2005年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］

学会・委員会等活動

東北矯正歯科学会［評議員］　2007年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

川鍋　仁

Kawanabe Hitoshi

歯学科

出身大学院

福岡歯科大学・歯学研究科・博士課程　　2005年 修了

論文

1) Clinical evaluation of combination therapy of dental trauma and orthodontic treatments. [日本外傷歯学会雑誌, (2011)]

   H.Kawanabe, K.Kawanabe, T.Itoh

2) Clinical evaluation of the treatment of a radicular cyst caused by trauma. [日本外傷歯学会雑誌, (2011)]

   H.Kawanabe, Y.Endo, K.Kawanabe, T.Itoh

3) 当院夜間・休日救急外来における小児口腔外傷の臨床統計的検討. [西日本臨床小児口腔外科学会雑誌, (2012)]

   遠藤善孝, 川鍋　仁, 伊東泰蔵, 伊東隆利

4) 上顎犬歯萌出に起因した上顎両側 側切歯歯根吸収に関する臨床的検討. [西日本臨床小児口腔外科学会雑誌, (2013)]

   川鍋絹恵, 川鍋　仁, 遠藤善孝, 熊野　毅, 伊東泰蔵, 伊東隆利

5) 外傷歯治療と歯科矯正治療の併用療法. [西日本臨床小児口腔外科学会雑誌, (2013)]

   川鍋　仁

6) 外傷による歯根破折 に関する臨床的検討. [日本外傷歯学会雑誌, (2013)]

   川鍋　仁, 川鍋絹恵, 遠藤善孝, 熊野　毅, 伊東泰蔵

7) 多数歯先天欠如を伴う骨格性反対咬合の包括歯科治療. [奥羽大学歯学誌, 41 (3,4), (2014), 129-134]

   福井和徳, 川鍋仁, 細谷尚史, 山野辺晋也, 山森徹雄, 金秀樹

8) 下顎臼歯部単独欠損にインプラント治療を行った１症例. [日本口腔インプラント学会雑誌, 27 (4), (2014), 117-118]

   川鍋仁

9) Clinical Study on Root Resorption of Second Molar ―Replacement with Impacted Third Molar using Orthodontic Force― . [日本外傷歯学会雑誌, 10 (1), (2014), 53-60]

   Hitoshi Kawanabe,Shinya Yamanobe,Kazunori Fukui,Taizou Itoh

10) 下顎両側小臼歯の先天欠如に対する矯正治療およびインプラント治療. [西日本臨床小児口腔外科学会雑誌, 6 (1), (2014), 5-10]

    川鍋　仁、伊東泰蔵

11) 外傷歯に対して矯正治療を行った長期経過例. [日本外傷歯学会雑誌, １１（１), (2015), １１０-１１７]

    川鍋　仁、山野辺　晋也、福井和徳

総説・解説記事

1) 外傷歯治療と歯科矯正治療の併用療法. [西日本臨床小児口腔外科学会雑誌, (2013)]

   川鍋　仁

2) お孫さんの歯ならびでお困りではありませんか？ . [元輝新報, (2015)]

   川鍋　仁

3)　お孫さんの歯をけがから守るためにできること.［元輝新報,（2015）］

川鍋　仁

4)　お孫さんがお口にけがをしてしまったときの対応法.［元輝新報,（2015）］

川鍋　仁

研究発表

Clinical evaluation of combination therapy of　dental trauma and othodontic treatments［北京大学学術講演会］

（2011年05月）

小児期における口腔外科と矯正歯科とのチームアプローチについて考察する［第２４回西日本臨床小児口腔外科学会学術大会］

（2012年11月16日，島根大学）

歯根破折歯に対して異なる初期治療を行った症例に関する臨床的検討［第１３回日本外傷歯学会学術大会］

（2013年07月20日，所沢）

A clinical study for the traumatized young permanent tooth with root fracture［The 6th Asian International Association of Dental Traumatology(AADT)］

（2013年09月07日，インドネシア大学（ジャカルタ））

包括的に咀嚼機能を回復した症例に関する臨床的検討［第２４回西日本臨床小児口腔外科学会学術大会］

（2013年11月16日，島根大学）

歯根吸収歯の代替に第三大臼歯を利用する為の臨床的検討［第 14 回日本外傷歯学会］

（2014年07月26日 － 2014年07月27日，大阪歯科大学）

鎖骨頭蓋異骨症患者に対し包括的治療で咀嚼機能の回復を行った一例［第２５回西日本小児口腔外科学会］

（2014年09月27日，産業医大）

Twin block 装置を適用し終夜睡眠検査をおこなった上顎前突症例［第７３回日本矯正歯科学会学術大会］

（2014年10月21日 － 2014年10月22日，幕張メッセ）

下顎両側小臼歯の先天欠如に対して矯正治療およびインプラント治療を行った症例［第３４回東北・北海道支部インプラント学会］

（2014年11月13日 － 2014年11月14日，山形テルサ）

外傷歯に対する包括治療について考察する［日本外傷歯学会東日本地方会］

（2015年04月18日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

西村　幸恵

NISHIMURA Yukie

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔機能学顎顔面口腔矯正学・博士課程　2012年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2012年04月 － 2013年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2013年04月 － 2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本矯正歯科学会
日本顎咬合学会
東北矯正歯科学会
日本顎変形症学会

論文

1) 下顎前突症患者の非対称性と上下顎歯槽部傾斜度との関連.［奥羽大学歯学誌, 39（3）,（2012）, 157-162］

吉永　聡，伊藤秀文，海野幸恵，廣瀬将邦，今田玲美，松山仁昭，福井和**徳**

2) Twin Block 療法によるⅡ級不正咬合者の筋活動の変化と姿勢の関連性.［東北矯正歯科学会雑誌, 22（1）,（2014）, 5-14］

山野辺 晋也，西村 幸恵，宗形 芳英，福井 和**徳**

研究発表

Twin Block 装置が筋活動に与える影響［第 51 回 奥羽大学歯学会］
（2011年06月11日，奥羽大学）
Twin Block 装置適用患者における顎二腹筋の変化［第 28 回東北矯正歯科学会大会］
（2012年05月19日 － 2012年05月20日）
学童期における鼻腔通気度と骨格形態の関連性［第 71 回日本矯正歯科学会大会］
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
Effect of masticatory muscle activity during chewing with Twin Block appliance.［第 6 回国際会議 IFUNA 平泉大会］
（2012年10月25日 － 2012年10月28日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐藤　直生

SATOU Naoki

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔機能学顎顔面口腔矯正学・博士課程　2012年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　講師［本務］　2012年04月　－　2017年03月

所属学会・委員会

奥羽大学大学歯学会
日本顎変形症学会
東北矯正歯科学会
日本矯正歯科学会
日本口蓋裂学会

研究発表

奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における Goslon Yardstick を用いた咬合評価 [第 35 回日本口蓋裂学会総会 · 学術集会]
（2011年05月25日 － 2011年05月26日）

歯肉上皮細胞における抗菌タンパク質産生機構に関する研究 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月11日）

歯科矯正治療と口腔内の抗菌タンパク産生に関する研究 [第 70 回日本矯正歯科学会大会＆第 4 回国際会議]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）

Effect of environmental pH on antimicrobial proteins production in gingival epithelial cells[第 6 回国際会議 IFUNA 平泉大会]
（2012年10月25日 － 2012年10月28日）

矯正治療と口腔の自然免疫との関係についての研究 [第 22 回日本歯科医学会総会]
（2012年11月09日 － 2012年11月11日）

矯正歯科研修カリキュラムの修了認定症例 マルチブラケット装置で治療した 1 例 [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日）

反対咬合患者における Function Regulator Ⅲの治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
（2014年05月24日 － 2014年05月25日）

セルフライゲーティングアプライアンスシステムを適用した下顎左右側中切歯の先天欠如を伴う上顎前突症例 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日）

奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における先天性欠如についての研究 [日本矯正歯科学会]
（2015年11月20日 － 2015年11月22日，福岡国際会議場· マリンメッセ）

奥羽大学 歯学部 歯学科

海老澤　聡一

EBISAWA Soichi

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔機能学顎顔面口腔矯正学・博士課程　2013年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2013年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本矯正歯科学会
東北矯正矯正学会
日本顎変形症学会

研究発表

ツインブロック装置を適用した過蓋咬合を伴 う上顎前突の１症例—長期経過観察症例 [第 70 回日本矯正歯科学会大会&第４回国際会議]
（2011年10月17日 － 2011年10月19日，名古屋市）

ツインブロックアプライアンスとプリアジャステッドアプライアンスによる２段階治療を行った II 級１類症例 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日，盛岡市）

奥羽大学歯学部附属病院における過去５年間の口唇 · 口蓋裂患者の統計学的観察 [第 37 回日本口蓋裂学会総会 · 学術大会]
（2013年05月30日 － 2013年05月31日）

下顎前突患者の理想とする自己顔貌イメージの解析 [第 23 回日本顎変形症学会総会 · 学術大会]
（2013年06月21日 － 2013年06月22日，大阪市）

三次元顔貌シミュレーションによる上顎前突患者の理想とする顔貌の評価 [第 72 回日本矯正歯科学会大会]
（2013年10月08日 － 2013年10月10日，松本市）

Angle Class II 不正咬合における Function Regulator II の治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
（2014年05月24日 － 2014年05月25日，福島市）

三次元顔貌シミュレーションによる上顎前突症患者の理想とする自己側貌イメージの解析 [第 24 回特定非営活動法人日本顎変形症学会総会 · 学術大会]
（2014年06月10日 － 2014年06月11日）

奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における最近 5 年間の初診患者の動向 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日，千葉市）

担当授業科目

(歯) 歯科矯正学実習　2015年09月　－　2016年12月

奥羽大学 歯学部 歯学科

細谷　尚史

HOSOYA Hisashi

歯学科

出身大学院

東北大学・歯学研究科・顎口腔矯正学分野・博士課程　2012年 修了

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科成長発育歯学講座 歯科矯正学分野　助手［本務］　2013年10月　－　2014年03月
奥羽大学歯学部歯学科成長発育歯学講座 歯科矯正学分野　助教［本務］　2014年04月　－　2015年03月

所属学会・委員会

日本矯正歯科学会
日本睡眠学会

論文

1) Relationship between sleep bruxism and sleep respiratory events in patients with obstructive sleep apnea syndrome..［Sleep and Breathing, 18 (4), (2014), 837-845］

Hosoya Hisashi, Kitaura Hideki, Hashimoto Takashi, Ito Mau, Kinbara Masataka, Deguchi Toru, Irokawa Toshiya, Ohisa Noriko, Ogawa Hiromasa, Takano-Yamamoto Teruko

研究発表

外科的矯正治療における下顎後退と睡眠呼吸障害との関係 特徴的な上気道狭窄［日本睡眠学会第 36 回定期学術集会］
（2011年10月15日 － 2011年10月16日，国立京都国際会館）

閉塞性睡眠時無呼吸症候群におけるブラキシズムの発現［塞性睡眠時無呼吸症候群におけるブラキシズムの発現］
（2012年09月26日 － 2012年09月28日，盛岡地域交流センター· アイーナ· アイスアリーナ）

Twin block 装置を適用し終夜睡眠検査をおこなった上顎前突症例［第 73 回日本矯正歯科学会大会］
（2014年10月20日 － 2014年10月22日，幕張メッセ）

奥羽大学 歯学部 歯学科

黒田　栄子

KURODA eiko

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　講師［本務］	1999年10月	―	2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科矯正歯科　助教［本務］	2015年04月	―	2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
東北矯正歯科学会
日本矯正歯科学会
日本口蓋裂学会
日本顎変形症学会

論文

1) 培養環境 pH がおよぼす骨芽細胞のサイトカイン産生についての研究.［奥羽大学歯学誌, 39（4）,（2012）, 219-226］

黒田栄子，廣瀬公治，佐藤直生，福井和**徳**

2) 成長発育期における効能的顎矯正治療の咬合管理.［東北矯正歯科学会雑誌, 22（1）,（2014）, 57-61］

黒田　栄子

担当授業科目

臨床実習 (PBL も含む)	2001年04月	―	継続中
臨床総合演習	2007年10月	―	継続中
(歯) 情報リテラシーⅠ	2015年04月	―	継続中
(歯) 歯科矯正学実習	2015年09月	―	継続中

その他教育活動及び特記事項

歯科矯正実習マニュアル改訂版 ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2004年09月	―	継続中
４学年クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2015年04月	―	継続中
平成 27 年度臨床教育力養成研修会（WS） ［活動区分 ：その他特記事項］	2015年07月		

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［庶務委員］	2006年04月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

太田熱海病院口唇口蓋裂センター ［活動区分 ：講演会 · セミナー］	2005年01月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

山野辺　晋也

Yamanobe Shinya

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔機能学顎顔面口腔矯正学専攻・博士課程　2014年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科成長発育歯学講座 助教［本務］　2015年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本矯正歯科学会
東北矯正歯科学会
日本口腔インプラント学会
日本外傷歯学会

論文

1) Clinical Study on Root Resorption of Second Molar -Replacement with Impacted Third Molar using Orthodontic Force. [日本外傷歯学会誌, 10 (1), (2015), 53-60]

Hitoshi KAWANABE Shinya YAMANOBE Kazunori FUKUI Taizou ITOH

研究発表

II 級不正咬合における Twin Block 装置の治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
(2014年05月24日 － 2014年05月25日)

Twin Block 療法によるII級不正咬合者の筋活動の変化と姿勢の関連性 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
(2014年10月20日 － 2014年10月22日)

機能的顎矯正治療によるII級不正咬合者の機能と 形態との関連性 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
(2015年06月13日 － 2015年06月14日, 山形県)

Relationship between Posture And Muscle Activity Changes In ClassII Malocclusion with Twin Block Therapy.[8th International Orthodontic Congress]
(2015年09月27日 － 2015年09月30日, United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland)

矯正歯科研修カリキュラムの修了認定症例 マルチブラケット装置で治療した１症例 [奥羽大学歯学会]
(2015年11月01日, 福島県)

Relationship between Posture and Muscle Activity Changes in Class II Malocclusion with Twin Block Therapy[奥羽大学歯学会]
(2015年11月01日, 福島県)

奥羽大学 歯学部 歯学科

渡辺　敦

WATANABE Atsushi　　生年月日 1984年08月03日

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　　2014年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　　2014年04月 － 2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　　2015年04月 － 2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本矯正歯科学会
東北矯正歯科学会
日本顎変形症学会
日本口蓋裂学会

研究発表

甲状腺機能亢進症を伴う骨格性下顎前突症の１症例 [第 21 回日本顎変形症学会総会]
（2011年06月16日 － 2011年06月17日）
Function Regulator Ⅱを適用した Angle Class Ⅱの３症例 [第 70 回日本矯正歯科学会大会]
（2011年10月17日 － 2011年10月20日）
口唇口蓋裂患者のカリエスリスク [第 36 回日本口蓋裂学会総会 · 学術集会]
（2012年05月24日 － 2012年05月25日）
唾液アミラーゼによる歯間分離用エラスティック装着時のストレス評価 [第 71 回日本矯正歯科学会大会]
（2012年09月26日 － 2012年09月28日）
奥羽大学歯学部附属病院における過去５年間の口唇 · 口蓋裂患者の統計学的観察 [第 37 回日本口蓋裂学会総会 · 学術集会]
（2013年05月30日 － 2013年05月31日）
レチノイン酸はヒト歯肉上皮細胞から抗菌ペプチド産生を誘導する [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
反対咬合患者における Function Regulator Ⅲの治療効果 [第 30 回東北矯正歯科学会大会]
（2014年05月24日 － 2014年05月25日）
Pierre Robin syndrome に機能的顎矯正装置を適用した一例 [第 38 回日本口蓋裂学会総会 · 学術集会]
（2014年05月29日 － 2014年05月30日）
奥羽大学歯学部附属病院における最近 5 年間の初診患者の動向 [第 73 回日本矯正歯科学会大会]
（2014年10月20日 － 2014年10月22日）
過去 10 年間における顎裂部骨移植の術後評価 [第 39 回日本口蓋裂学会総会 · 学術集会]
（2015年05月21日 － 2015年05月22日）
骨格性不正咬合とカリエスリスクとの関連性 [第 74 回日本矯正歯科学会]
（2015年11月18日 － 2015年11月20日）
奥羽大学歯学部附属病院矯正歯科における永久歯先天欠如に関する研究 [第 74 回日本矯正歯科学会]
（2015年11月18日 － 2015年11月20日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

島村　和宏

SHIMAMURA kazuhiro

歯学科

出身大学院

奥羽大学大学院・歯学研究科・小児歯科学・博士課程　1992年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学　助手［本務］	1992年04月	―	1999年09月
奥羽大学　講師［本務］	1999年10月	―	2006年03月
奥羽大学歯学部　病院助教授［兼務］	2005年04月	―	2006年03月
奥羽大学　准教授［本務］	2006年04月	―	2011年03月
奥羽大学成長発育歯学講座小児歯科学分野　教授［本務］	2011年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本小児歯科学会
奥羽大学歯学会
日本障害者歯科学会
日本歯科基礎医学会
日本歯科医療管理学会
日本歯科医学教育学会
日本蘇生学会
日本歯科麻酔学会

論文

1) 全身的合併症を有する患者における局所麻酔後の循環変動についての臨床的検討．［日歯医療管理誌, 46（1）,（2011）, 42-47］

田中克典　川合宏仁　島村和宏　山崎信也　釜田　朗　瀬川　洋　佐々木重夫　齋藤高弘

2) Effects of a transmitted light device for pediatric peripheral venipuncture and intravenous cannulation. . ［Medical Devices:Evidence and Research, 4,（2011）, 189-192］

Shinya Yamazaki，Shu Tomita，Masahiro Watanabe，Hiroyoshi Kawaai，Kazuhiro Shimamura

3) 歯科治療における小児の啼泣と脈拍数および動脈血酸素飽和度の変動に関する検討．［奥羽大学歯学誌, 38（2）,（2011）, 89-94］

島村和宏　八木幹彦　山内旬美　相澤徳久

4) 歯科治療中の開口保持による動脈血酸素飽和度の変動．［奥羽大学歯学誌, 38（3）,（2011）, 123-127］

島村和宏　山内旬美　八木幹彦　春山博貴

5) 身体抑制による呼吸・循環の変動に関する実験的検討．［小児歯科学雑誌, 50（3）,（2012）, 210-217］

八木幹彦　加川千鶴世　島村和宏

6) 乳臼歯の隣接面を含む複雑窩洞におけるコンポジットレジン修復に関する研究　―窩洞形態と充填方法―．［小児歯科学雑誌, 51（1）,（2013）, 12-25］

猪狩道代　岡田英俊　島村和宏

7) 多剤内服中の知的障がい者に対するミダゾラムの経口前処置について．［奥羽大学歯学誌, 41（2）,（2014）, 63-64］

小松泰典、中池祥浩、鈴木史彦、川合宏仁、島村和宏、山崎信也

8) Acidic extracellular pH promotes epitheliar mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model. ［Cancer Cell International, 14,（2014）, 129-139］

Atsuko SUZUKI Toyonobu MAEDA Yuh BABA Kazuhiro SHIMAMURA Yasumasa KATO

9) 全身麻酔後にクループを合併し１週間の入院を要した歯科治療拒否児の１例. ［日本歯科麻酔学雑誌, 43（2）, (2015), 229-231］

山崎信也, 遠藤未来, 須田修二, 工藤香菜恵, 鈴木史彦, 川合宏仁, 島村和宏, 大溝裕史

10) A Case of Dental Treatment Under General Anesthesia for Pediatric Patient With Perizaeus-Merzbacher Disease. ［Oral Health & Dental Management, 14（6）, (2015), 460-463］

Hiroyoshi Kawaai,Yumiko Mishina,Katsunori Tanaka,Norihisa Aizawa,Kazuhiro Shimamura,Shinya Yamazaki

11) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策. ［日本歯科医療管理学会雑誌, 50（4）, (2016), 244-250］

阿部将太, 山崎信也, 川合宏仁, 島村和宏, 瀬川　洋, 佐々木重夫, 清野晃孝, 齋藤高弘

著書

1) 小児歯科学　第４版　第４章. ［医歯薬出版,2011］

鈴木康生、島村和宏

2) 小児歯科学基礎・臨床実習　第２版　第２章. ［医歯薬出版,2014］

鈴木康生、島村和宏

3) 判例からみた医療安全　小児歯科・矯正歯科　. ［わかば出版,2014］

島村和宏

4) 小児歯科学ベーシックテキスト. ［永末書店,2016］

新谷誠康, 有田憲司, 木本茂成, 齊藤正人, 島村和宏, 関本恒夫

5) 小児歯科学クリニカルテキスト. ［永末書店,2016］

新谷誠康，有田憲司，木本茂成，齊藤正人，島村和宏，関本恒夫

総説・解説記事

1) 少子化時代の小児歯科　乳歯歯冠修復の原則. ［DENTAL DIAMOND, 5, (2014), 48-53］

島村和宏

2) 小児の食を考える (1). ［小児歯科臨床, 9, (2014), 59-64］

加川千鶴世、島村和宏

3) 小児の食を考える　(2) 味覚の発達. ［小児歯科臨床, 10, (2014), 47-52］

加川千鶴世、島村和宏

4) 小児の食を考える　(3) 小児の食の実態. ［小児歯科臨床, 11, (2014), 63-68］

加川千鶴世、島村和宏

5) 乳前歯のう蝕治療 (2) 保存修復. ［小児歯科臨床, 20（11）, (2015), 32-40］

鈴木広幸，島村和宏，永山（猪狩）道代

研究発表

インプラント手術に対する静脈内鎮静法の検討―ブトルファノール・ミダゾラム・デクスメデトミジンとブトルファノール・ミダゾラム・プロポフォールの比較―［第 52 回日本歯科医療管理学会］
（2011年07月09日 ― 2011年07月10日）

マウスにおける味細胞の発生・分化［歯科基礎医学会］
（2011年10月01日 ― 2011年10月02日）

オーラルモイスチャーを新たな指標とした口腔保健プログラム導入の試み [日本歯科医療管理学会東北支部 日本歯科医療管理学会平成 23 年度東北支部総会・第 15 回学術大会]
（2011年10月16日）
歯髄処置後に分割抜去を行った双生歯の１例 [第 29 回日本児歯科学会北日本地方会大会]
（2011年10月29日）
身体抑制による呼吸・循環の変動に関する実験的検討 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
上顎正中部埋伏過剰歯のエックス線 CT による三次元的観察 [第 52 回奥羽大学歯学会]
（2011年11月12日）
無γグロブリン血症患児に対する歯科治療経験 [第 49 回日本小児歯科学会大会]
（2011年11月28日 － 2011年11月29日）
マウスにおける離乳期と食性の違いによる咀嚼筋への影響について [第 49 回日本小児歯科学会大会]
（2011年11月28日 － 2011年11月29日）
乳歯列唇側部過剰歯が外傷を受けた１例 [第 49 回日本小児歯科学会大会]
（2011年11月28日 － 2011年11月29日）
東日本大震災を経験して　―小児歯科医ができること、小児歯科医だからできたこと―[第 50 回　日本小児歯科学会大会　宿題報告]
（2012年05月）
東日本大震災を経験して　―小児歯科医ができること、小児歯科医だからできたこと―[第 50 回　日本小児歯科学会大会]
（2012年05月12日 － 2012年05月13日，東京）
コンポジットレジン修復における乳臼歯隣接面窩洞形態の特徴に関する研究 [第 50 回　日本小児歯科学会大会]
（2012年05月12日 － 2012年05月13日）
エックス線 CT による埋伏過剰歯の三次元的観察　ー過剰歯の位置ならびに隣接永久切歯、切歯孔との位置関係ー [第 50 回　日本小児歯科学会大会]
（2012年05月12日 － 2012年05月13日）
離乳時期の違いによるマウスの成長発育変化 [第 46 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
スペシャルオリンピックスに参加して　―その２　ボランティアスタッフの意識調査―[第 46 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
スペシャルオリンピックスに参加して　―その１　ボランティア活動の概要―[第 46 回奥羽大学歯学会]
（2012年06月16日）
新たな指標としての Oral—moisture の予備的調査 [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月07日 － 2012年07月08日）
知的障害者に対するボランティア・スタッフの意識調査―スペシャルオリンピックスにおけるアンケートから―[第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月07日 － 2012年07月08日）
障害者の全身麻酔下歯科治療が BMI に及ぼす影響について [第 53 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2012年07月07日 － 2012年07月08日）
Acidic extracellular pH induces　epithelial-mesenchymal transition in　Lewis lung carcinoma model [14th International Biennial Conference on Metastasis Research]
（2012年09月02日 － 2012年09月05日）
酸性細胞外液 pH は上皮間葉移行を誘導する微少環境因子である [第 54 回歯科基礎医学会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日）
マウス下顎頭軟骨の成長における離乳期の影響 [第 54 回歯科基礎医学会]
（2012年09月14日 － 2012年09月16日）
スペシャルオリンピックスにおけるボランティア活動 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月28日 － 2012年09月30日）
系統的脱感作により全身麻酔を回避し得た Eizen-menger 症候群患者の１例 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月28日 － 2012年09月30日）
22q11.2 欠失症候群患児の歯科治療経験の２症例 [第 29 回日本障害者歯科学会]
（2012年09月28日 － 2012年09月30日）
Epithelial - mesenchymal transition and extracellular acidic pH. [The 3rd Symposium of the International Society for Proton Dynamics in Cancer]
（2012年10月12日 － 2012年12月13日）
リレー講演　北日本地方会の 30 年と未来 ～ 奥羽大学 ～ [第 30 回日本小児歯科学会北日本地方会大会]
（2012年10月20日）
Kabuki（新川—黒川）症候群患児の１例 [第 30 回日本小児歯科学会北日本地方会大会]
（2012年10月20日）

防ごう子どもへの暴力プロジェクト―児童養護施設における歯科保健活動―[第 65 回東北地区歯科医学会]
（2012年10月21日）
乳臼歯の隣接面を含む複雑窩洞に対するコンポジットレジン修復に関する検討―窩洞形態と充填方法―[第 54 回奥羽大学歯学会]
（2012年11月10日）
Oral moisture に着目した口腔健康プログラムの活用事例 [第 22 回日本歯科医学会総会　]
（2012年11月11日 ― 2012年11月12日）
マウスの顎骨成長変化における断乳時期の影響 [第 24 回小児口腔外科学会]
（2012年11月24日）
児童擁護施設入所者の歯科保健状況 [第 51 回日本小児歯科学会大会]
（2013年05月23日 ― 2013年05月24日）
臼歯の隣接面を含む複雑窩洞に対するコンポジットレジン修復に関する研究―窩洞形態と充填方法―[第 51 回日本小児歯科学会大会]
（2013年05月23日 ― 2013年05月24日）
奥羽大学歯学部附属病院における歯科麻酔科の役割　３．小児歯科における歯科麻酔科の役割 [第 28 回東日本歯科麻酔学会]
（2013年06月22日）
知的障がい者や自閉症患者に対するミダゾラム経口投与について [第 54 回日本歯科医療管理学会総会・学術大会]
（2013年06月29日 ― 2013年06月30日）
コンポジットレジン選択に関わる材料の機械的性質と乳歯窩洞の特徴について [第 28 回日本歯科産業学会・学術講演会]
（2013年08月24日 ― 2013年08月25日）
スポーツドリンクの習慣摂取により多数歯う蝕に罹患した１型糖尿病患児の１例 [第 30 回日本障害者歯科学会]
（2013年10月11日 ― 2013年10月13日）
上顎前歯部の経過観察にクラウンフォーマーを用いた症例 [第 30 回日本障害者歯科学会]
（2013年10月11日 ― 2013年10月13日）
Lesch-Nyhan 症候群患児の一例 [第 31 回日本小児歯科学会北日本地方会大会]
（2013年10月26日）
エックス線撮影における小児の不安軽減について [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年11月09日）
奥羽大学歯学部附属病院における障がい者歯科診療の流れ [日本歯科医療管理学会大会　東北支部第 17 回学術大会]
（2013年11月19日）
中枢神経の先天性髄鞘形成不全を伴う患児の日帰り全身麻酔経験 [日本歯科医療管理学会大会　東北支部第 17 回学術大会]
（2013年11月19日）
院内で CPA となった１例 [日本歯科医療管理学会大会　東北支部第 17 回学術大会]
（2013年11月19日）
上顎正中部埋伏過剰歯による切歯の位置変化　―中切歯と側切歯の比較―[第 52 回日本小児歯科学会大会]
（2014年05月16日 ― 2014年05月17日）
複数の過剰歯と癒合した双生歯の一例 [第 32 回日本小児歯科学会北日本地方会]
（2014年10月18日）
小児歯科における全身麻酔下処置症例の実態 [第 32 回日本小児歯科学会北日本地方会]
（2014年10月18日）
本学歯学部附属病院小児歯科における全身麻酔下歯科治療の実態調査 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月14日 ― 2014年11月16日）
東日本大震災後の障がいのある人の歯科保健に関するアンケート調査―県内の障がい者を対象に―[第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月14日 ― 2014年11月16日）
歯学部附属病院における過去 1 年間のインシデントレポート分析と完全の１方策 [第 56 回日本歯科医療管理学会]
（2015年05月16日 ― 2015年05月17日）
全身麻酔下で CT 検査を行い埋伏過剰歯を抜去した障害児の一例 [第 53 回日本小児歯科学会]
（2015年05月21日 ― 2015年05月22日）
小児の全身麻酔下歯科処置症例の臨床統計　―2009 年 ～ 2014 年まで―[第 53 回日本小児歯科学会]
（2015年05月21日 ― 2015年05月22日）

障害児者に対する全身麻酔下歯科治療症例の臨床統計ー小児歯科来院患者についてー[第６回東北障害者歯科臨床研究会]
（2015年06月21日，盛岡市）

60.　東日本大震災後の歯科保健に関する意識調査　ー小児歯科を受診した障害児者を対象にー[第 33 回日本小児歯科学会北日本地方会大会]
（2015年10月11日，いわき市　スパリゾートハワイアンズ）

61.　Lesch-Nyhan 症候群患児の口腔自傷行為を防止するためにマウスガードを使用した１症例 [第 32 回日本障害者歯科学会]
（2015年11月06日 ー 2015年11月08日，名古屋市）

担当授業科目

小児歯科学	2011年04月	ー	2102年03月
(歯) 小児歯科学	2013年04月	ー	2013年06月
(歯) 小児歯科学実習	2013年09月	ー	2014年01月
(歯) 小児歯科学	2014年01月		
(歯) 小児歯科学	2014年04月	ー	2014年07月
(歯) 小児歯科学実習	2014年04月	ー	2014年12月
(歯) 臨床総合講義	2014年04月	ー	2014年06月
(歯) 診療視覚教育	2014年06月		
(歯) 歯科医学演習	2014年06月		
(歯) 臨床総合講義	2014年07月	ー	2014年11月
(歯) 小児歯科学	2014年09月	ー	2016年02月
(歯) 臨床総合講義	2015年04月	ー	2016年02月
(歯) 小児歯科学	2015年04月	ー	2015年07月
(歯) 小児歯科学	2015年09月	ー	2016年03月
(歯) 小児歯科学実習	2015年09月	ー	2015年12月

その他教育活動及び特記事項

臨床研修歯科医師 OSCE トライアル ［活動区分 ：その他特記事項］	2003年03月	ー	継続中
第４学年小児歯科学講義における、理解度向上のための試み ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	ー	継続中
第４学年講義におけるプリント ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2003年04月	ー	継続中
第６学年成長発育歯学講義における、理解度向上のための試み ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	ー	継続中
第５学年小児歯科学臨床実習での、理解度向上のための試み ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	ー	継続中
学内教育者ワークショップ参加並びに運営 ［活動区分 ：その他特記事項］	2004年11月	ー	継続中
医療安全および心肺蘇生法教育 ［活動区分 ：その他特記事項］	2004年11月	ー	継続中
第４学年臨床総合演習での、理解度向上のための試み ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年04月	ー	継続中
大学院セミナー・講義における、理解度向上のための試み ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年04月	ー	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議員］	2006年04月	ー	継続中
日本歯科医療管理学会［東北地方会理事］	2006年04月	ー	継続中
日本小児歯科学会［評議員］	2006年06月	ー	継続中
日本小児歯科学会［理事］	2011年05月	ー	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

福島歯科医師会健康フェア ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2011年06月
郡山歯科医師会歯科助手認定講習会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2011年11月
郡山歯科医師会主催　歯科助手認定講習会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2011年11月
郡山歯科医師会学術研修会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年02月
福島歯科医師会健康フェア ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年06月

福島県学校保健会岩瀬支部養護教諭部会研修会（ヘルシースマイル事業研修会）　2012年07月
［活動区分 ：小中高との連携］
福島県学校保健会岩瀬支部養護教諭部会研修会（ヘルシースマイル事業研修会）　2012年07月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
テレビ出演　2012年08月
［活動区分 ：その他］
郡山歯科医師会主催　歯科助手認定講習会　2012年10月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
いわき市同窓会学術研修会　2012年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
秋田県同窓会学術研修会　2012年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
宮城県同窓会学術研修会　2012年12月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
福島歯科医師会健康フェア　2013年06月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
奥羽大学歯学部同窓会埼玉県支部学術研修会　2013年06月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
平成 25 年度小児期う蝕予防対策強化研修会　2013年08月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
郡山歯科医師会歯科助手認定講習会　2013年09月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
福島歯科医師会学術研修会　2013年09月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
郡山歯科医師会歯科助手認定講習会　2013年09月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
ヘルシースマイル事業（南会津支部　第１・第２方部）講演会　2013年10月
［活動区分 ：小中高との連携］
郡山中学校教育研究会　学校保健部会　保健講習会　2013年11月
［活動区分 ：小中高との連携］
耶麻歯科医師会学術講演会　2013年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
九州連合支部同窓会学術研修会　2014年05月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
会津方部歯学研究会　2014年06月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
郡山歯科医師会主催　歯科助手認定講習会　2014年08月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
奥羽大学歯学部茨城県同窓会学術講演会　2014年11月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
奥羽大学歯学部同窓会関西支部学術講演会　2015年03月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
郡山歯科医師会歯科助手認定講習会　2015年08月
［活動区分 ：講演会・セミナー］
第８回福島県小児保健フォーラム　2015年10月
［活動区分 ：講演会・セミナー］

奥羽大学 歯学部 歯学科

加川　千鶴世

KAGAWA Chiduyo　　生年月日 1968年05月18日

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］　2011年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本小児歯科学会
日本障害者学会
歯科基礎医学学会

論文

1) 上顎正中部埋伏過剰歯の三次元的観察 ―エックス線 CT とパノラマエックス線写真との比較― .［奥羽大学歯誌,（2012）］

岡琢弓

2) 身体抑制による呼吸 · 循環の変動に関する実験的検討　.［小児歯誌,（2012）］

八木幹彦、島村和宏

3) 離乳期の違いによるマウスの成長発育変化.［奥羽大学歯誌,（2012）］

山内旬美

著書

1) 『臨床のヒント』.［日本小児歯科学会北日本地方会,2012］

岡琢弓

2) トピックス 「味覚の研究と小児歯科医の願い」 .［奥羽大学歯学誌,2014］

加川 千鶴世

3) 臨床研究　小児の「食」を考える　1】 味覚の基礎知識 .［月刊　小児歯科臨床 ,2014］

加川 千鶴世、島村和宏

4) 小児の「食」を考える　2】 味覚の基礎知識 .［月刊　小児歯科臨床 ,2014］

加川 千鶴世、島村和宏

研究発表

小児の全身麻酔下歯科処置症例の臨床統計 - 2009 年 ～ 2014 年まで –［第 53 回日本小児歯科学会体会］
（2015年05月01日，奥羽大学）

全身麻酔下で CT 検査を行い埋伏過剰歯を抜去した障害児の一例［第 53 回日本小児歯科学会体会 ］
（2015年05月01日）

本学歯学部附属病院小児歯科における全身麻酔下歯科治療の実態調査［奥羽大学歯学会］
（2015年06月01日）

Lesch-Nyhan 症候群患児の口腔自傷行為を防止するためにマウスガードを使用した一症例［第 32 回日本障害者歯科学会学術大会］
（2015年11月01日 － 継続中）

奥羽大学 歯学部 歯学科

永山　道代

NAGAYAMA michiyo

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・博士課程　2012年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2006年04月	―	2008年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2012年04月	―	2013年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2013年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本小児歯科学会

総説・解説記事

1)　乳前歯のう蝕治療（２）保存修復.［小児歯科臨床, 20（１１）,（2015）,３２-４０］

鈴木広幸，島村和宏，永山道代

研究発表

上顎正中部埋伏過剰歯による切歯の位置変化　―中切歯と側切歯の比較―［日本小児歯科学会］
（2014年05月16日 ― 2014年05月17日）

小児歯科における全身麻酔下処置症例の実態［日本小児歯科学会北日本地方会］
（2014年10月18日）

本学歯学部附属病院小児歯科における全身麻酔下歯科治療の実態調査［奥羽大学歯学会］
（2014年11月08日）

小児の全身麻酔下歯科処置症例の臨床統計―2009 年 ～ 2014 年まで―［日本小児歯科学会］
（2015年05月21日 ― 2015年05月22日）

担当授業科目

小児歯科学実習　2007年04月 ― 継続中

学会・委員会等活動

日本小児歯科学会［会員］　2007年04月 ― 継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

歯科健康診査　2007年05月 ― 継続中
［活動区分 ：その他］

奥羽大学 歯学部 歯学科

三科　祐美子

MISHINA Yumiko

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	2011年04月	―	2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2015年04月	―	2016年03月

研究発表

歯髄処置後に分割抜去を行った双生歯の１例 [第２９回しょう]
（2011年10月29日）

Kabuki 症候群の１例 [第３０回小児歯科学会北日本地方会]
（2012年10月20日）

Lesch-Nyhan 症候群患児の一例 [第３１回小児歯科学会北日本地方会]
（2013年10月26日）

複数の過剰誌と癒合した双生歯の一例 [第３２回小児歯科学会北日本地方会]
（2014年10月18日）

小児歯科における全身麻酔下処置症例の実態 [第３２回小児歯科学会北日本地方会]
（2014年10月18日）

全身麻酔下で CT 検査を行い埋伏過剰歯を抜去した障害児の１例 [第５３回日本小児歯科学会]
（2015年05月21日 ― 2015年05月22日）

小児の全身麻酔下歯科処置症例の臨床統計 [第５３回日本小児歯科学会]
（2015年05月21日 ― 2015年05月22日）

担当授業科目

小児歯科学実習	2012年09月	―	2013年01月
(歯) 小児歯科学実習	2013年09月	―	2014年01月
(歯) 小児歯科学実習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 小児歯科学実習	2015年09月	―	2015年12月

奥羽大学 歯学部 歯学科

安積　優衣

Asaka Yuui

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2014年04月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本小児歯科学会
日本障害者歯科学会

研究発表

小児歯科における全身麻酔下処置症例の実態調査 [日本小児歯科学会北日本地方大会]
（2014年10月18日，新潟）
小児の全身麻酔下処置症例の臨床統計ー 2009～ 2014 までー [日本小児歯科学会]
（2015年05月21日 － 2015年05月22日，広島）
東日本大震災後の歯科保健に関する意識調査 [日本小児歯科学会北日本地方会]
（2015年10月11日，福島）

担当授業科目

(歯) 小児歯科学実習　2014年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

畠山　有紀子

Hatakeyama Yukiko

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2014年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本小児歯科学会

研究発表

小児の全身麻酔下処置症例の臨床統計ー 2009～ 2014 までー [第 53 回日本小児歯科学会大会]
（2015年05月21日 － 2015年05月22日）

東日本大震災後の歯科保健に関する意識調査 [日本小児歯科学会北日本地方大会]
（2015年10月11日）

担当授業科目

(歯) 小児歯科学実習　2014年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

赤城　千佳

Akagi Chika　　生年月日 1986年11月08日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］　2014年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本小児歯科学会

研究発表

下顎の成長予測式を用いた乳前歯反対咬合治療結果の評価に関する研究 [日本小児歯科学会]
（2014年05月16日 － 2014年05月17日）

小児の全身麻酔下処置症例の臨床統計ー 2009～ 2014 までー [日本小児歯科学会]
（2014年05月21日 － 2014年05月22日）

東日本大震災後の歯科保健に関する意識調査 [日本小児歯科学会北日本地方大会]
（2015年10月11日，いわき）

担当授業科目

(歯) 小児歯科学実習　2014年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

原田　卓哉

HARADA Takuya　　生年月日 1964年05月14日

歯学科

出身大学院

東京歯科大学・歯学研究科・歯科放射線学・博士課程　1997年 修了

取得学位

博士　東京歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科放射線診断学講座　准教授［本務］　2009年04月　－　2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科放射線診断学講座　教授［本務］　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

東京歯科大学学会
日本歯科放射線学会
奥羽大学歯学会

研究発表

平成 22 年度 ICT Ⅲにおけるアンケート調査 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月）
生活環境放射線量の計測と変化に関する考察 [第 51 回奥羽大学歯学会]
（2011年06月）
原子力発電所事故に関連した環境放射線の測定 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 213 回関東地方会 · 第 31 回北日本地方会第 19 回合同地方会]
（2011年07月09日）
原子力発電所事故に関連した環境放射線の測定　第 2 報 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 214 関東地方会]
（2012年01月21日）
Intra-oral stereo radiography using a PC for 3D image[18th International Congress of Dento-Maxillo-Facial Radiology, accompanied with 52nd Annual Congress of Japanese Society for Oral and Maxillofacial Radiology]
（2012年05月26日 － 2012年05月29日）
TMJ effusion の FLAIR 法 MR 信号強度による疼痛の正診率 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 53 回学術大会 · 第 7 回定例総会]
（2012年06月01日 － 2012年06月03日）
原子力発電所事故に関連した環境放射線の測定　第 3 報 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 53 回学術大会 · 第 9 回定例総会]
（2012年06月01日 － 2012年06月03日）
学生所有 PC への e-ラーニングプログラム導入に関する一考察 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 53 回学術大会 · 第 9 回定例総会]
（2012年06月01日 － 2012年06月03日）
原子力発電所事故に関連した環境放射線の測定　第 4 報 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 54 回総会 · 学術大会]
（2013年05月31日 － 2013年06月02日）
平成 23 年度から平成 25 年度までの 3 年間における ICT Ⅲ学生アンケート結果に関する検討 [第 57 回奥羽大学歯学会]
（2014年06月）
アンケート結果から見る歯科放射線教育 ICT 導入に関する一考察 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 55 回総会 · 学術大会]
（2014年06月06日 － 2014年06月08日）

担当授業科目

臨床実習 (PBL も含む)　2009年04月　－　継続中
歯科放射線学　2014年04月　－　継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

茂呂　祐利子

MORO yuriko

歯学科

出身大学院

奥羽大学・歯学研究科・口腔組織構造生物学・博士課程　2006年 修了

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科　助手［本務］	2006年04月	ー	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科生体構造学講座口腔組織学分野　助教［本務］	2007年04月	ー	2013年03月
奥羽大学歯学部放射線診断学講座　助教［本務］	2013年04月	ー	2016年03月

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本解剖学会
日本レーザー歯学会
歯科基礎医学会
日本顎咬合学会
日本カウンセリング学会
日本歯科放射線学会

論文

1) 奥羽大学歯学部　平成 22 年度 I.C.TII におけるアンケート. [奥羽大学歯学誌, 38 (4), (2011), 213-218]
岡田英俊　阿部匡聡　前田豊信　茂呂祐利子　車田文雄　大須賀謙二　宇佐美晶信

2) 学習方法に関する学生と教員への同時アンケート-総合学習 II· III-. [奥羽大学歯学誌, (2012)]
鈴木　史彦、岡田　英俊、茂呂　祐利子、前田　豊信、横瀬　敏志

著書

1) 就活力ー教員、カウンセラー、精神科医がズバリ！ 解説ー. [アカデミア · コンソーシアムふくしま事務局,2014]
車田 文雄. 鈴木 敏城. 茂呂 祐利子. 笹田 琴美. 佐藤 佑貴. 末廣 晃二. 星野 仁彦. 渡辺 厚

研究発表

平成 22 年度 ICT II におけるアンケート調査 [奥羽大学歯学会]
(2011年06月11日)

Lymph Vessel-forming factors and Receptors in Tooth Development in Mice [ASBMR]
(2011年09月16日 ー 2011年09月20日)

Expression of nitric oxide synthase(NOS)isoforms in mouse femur during endochondrial ossification [ASBMR]
(2011年09月16日 ー 2011年09月20日)

大理石骨病マウス大腿骨における一酸化窒素合成酵素 (NOS) の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会]
(2011年09月30日 ー 2011年10月02日)

マウス歯乳頭および歯髄におけるリンパ管形成制御に関する VEGF-C,-D,VEGFR-3 の発現 [第 53 回歯科基礎医学会学術大会ならびに総会]
(2011年09月30日 ー 2011年10月02日)

Lymph Vessel-forming factors and Receptors in Tooth Development in Mice [奥羽大学歯学会]
(2011年11月12日)

Expression of nitric oxide synthase(NOS)isoforms in mouse femur during endochondrial ossification [奥羽大学歯学会]
(2011年11月12日)

マウス歯髄発生における NOS の発現 [第 117 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2012年03月26日 － 2012年03月28日）
学習方法に関する学生と教員への同時アンケート調査-総合学習 II・III-[第 53 回奥羽大学歯学会]
（2012年05月）
エックス線撮影における小児の不安軽減について [第 56 回奥羽大学歯学会]
（2013年01月）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定　第 4 報 [第 54 回日本歯科放射線学会・総会]
（2013年05月）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定　第５報―人口密集地域における甲状腺被曝線量の推定―[日本歯科放射線学会・第 217 回関東地方会・第 33 回北日本地方会、第 21 回合同地方会]
（2013年09月）
低出力レーザーの血管内皮細胞に対する抗炎症作用 [第 119 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月）
アンケート結果から見る歯科放射線教育 ICT 導入に関する一考察 [第 55 回日本歯科放射線学会・総会]
（2014年05月）
アンケート結果から見る歯科放射線教育 ICT 導入に関する一考察 [アンケート結果から見る歯科放射線教育 ICT 導入に関する一考察]
（2014年06月05日 － 2014年06月07日，東京都）
奥羽大学歯学部における歯科放射線学学習経験向上のための講義内容開発に関する実験的研究 [日本歯科放射線学会第 56 回学術大会]
（2015年06月05日 － 2015年06月07日）
放射線診断学講座におけるエレクティブスタディ講義内容に関する実験的検討（平成２７年度）[第５９回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日，郡山市）
低出力レーザーによる血管内皮細胞における抗炎症作用―活性酸素発現に及ぼす影響―[第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日，福島県　郡山市）

担当授業科目

口腔組織学実習	2006年09月	－	2012年03月
生命基礎科学Ⅰ	2007年07月	－	2012年03月
口腔組織学実習	2007年09月	－	2012年03月
I.C.T. Ⅱ	2009年04月	－	2014年03月
口腔組織学	2009年05月	－	2012年03月
総合学習Ⅱ	2009年11月	－	2012年03月
(歯) 総合学習Ⅰ	2012年04月	－	2013年03月
臨床実習	2013年04月	－	継続中
歯科放射線学	2013年04月	－	継続中
(歯) 情報リテラシーⅡ	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

実習書の改訂 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2006年04月	－	継続中
教育研修講演会 ［活動区分 ：その他特記事項］	2006年07月	－	継続中
授業の工夫 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2006年09月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

コンソーシアム・福島　生きる力プロジェクト ［活動区分 ：その他］	2011年04月	－	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

渡部　剛史

WATANABE TAKESHI

歯学科

取得学位

学士　国際医療福祉大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］　2008年01月　－　継続中

所属学会・委員会

福島県診療放射線技師会
奥羽大学歯学会

研究発表

生活環境放射線量の計測と変化に関する考察 [第５１回奥羽大学歯学会]
（2011年06月，郡山市）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定 [NPO 法人日本歯科放射線学会第２１３回関東地方会・第 31 回北日本地方会第 19 回合同地方会]
（2011年07月09日）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定　第２報 [NPO 法人日本歯科放射線学会第２１４回関東地方会]
（2012年01月21日）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定　第３報 [NPO 法人日本歯科放射線学会第５３回学術大会・第９回定例総会]
（2012年06月01日 － 2012年06月03日）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定　第４報 [NPO 法人日本歯科放射線学会第 54 回総会・学術大会]
（2013年05月31日 － 2013年06月02日）
原子力発電所事故に関連した放射線の測定　第５報　—人口密集地域における甲状腺被曝線量の推定—[NPO 法人日本歯科放射線学会第２１７回関東地方会・第３３回北日本地方会第 21 回合同地方会]
（2013年09月）
低出力レーザーの血管内皮細胞に対する抗炎症作用 [第１１９回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2014年03月27日 － 2014年03月29日）
アンケート結果から見る歯科放射線教育 ICT 導入に関する一考察 [第５５回日本歯科放射線学会・総会]
（2014年05月）
奥羽大学歯学部における歯科放射線学学習経験向上のための講義内容開発に関する実験的研究 [NPO 法人日本歯科放射線学会第５６回学術大会]
（2015年06月）
放射線診断学講座におけるエレクティブスタディ講義内容に関する実験的検討 [第５９回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日）
低出力レーザーによる血管内細胞における抗炎症作用　—活性酸素発現に及ぼす影響—[第１２１回日本解剖学会総会・全国学術集会]
（2016年03月28日 － 2016年03月30日）

奥羽大学 歯学部 歯学科

馬場　優

BABA Yuh　　生年月日 1968年04月05日

歯学科

出身大学院

横浜市立大学・医学研究科・耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科学・博士課程　2000年 修了

取得学位

博士　横浜市立大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部総合臨床医学講座　准教授［本務］　2013年06月　－　2016年03月

所属学会・委員会

日本耳鼻咽喉科学会
日本甲状腺外科学会
日本臨床腫瘍学会
日本アレルギー学会
日本耳鼻咽喉科臨床学会
日本口腔咽頭科学会
日本頭頸部外科学会
日本頭頸部癌学会
奥羽大学歯学会
日本口腔科学会

論文

1) Hemangioma with phleboliths in the floor of the mouth presenting as a submental swelling: a case report. [Journal of Medical Cases, (2011)]

   Baba Y, Kato Y

2) 慢性副鼻腔炎を伴った篩骨洞骨腫の１例. [耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科, (2011)]

   馬場優、田代昌継、行木英生、小川郁

3) 側頸部に発生した石灰化上皮腫の１例. [耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科, (2011)]

   馬場優、小川裕介、小川郁

4) 口腔底脂肪腫の１例. [耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科, (2011)]

   小川裕介、小川郁、田代昌継、馬場優

5) Unusual computed tomography findings of radionecrosis after chemoradiation of stage IV hypopharyngeal cancer: a case report. [Journal of Medical Case Reports, (2011)]

   Baba Y, Kato Y, Ogawa K

6) Xanthogranuloma of the external auditory canal mimicking a benign tumor: A Case Report. [Case Reports in Otolaryngology, (2012)]

   Yoshihama K, Kato Y, and Baba Y

7) 診断に苦慮した大耳介神経断端神経腫の１例. [耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科, (2012)]

   吉浜圭祐、小川裕介、小川郁、馬場優

8) Levocetirizine hydrochloride tablet improves the nasal conditions of patients with cedar pollen allergy and maintains their QOL. [Clinical and Experimental Medical Sciences, (2013)]

   Baba Y, Yoshihama K, Nishiyama T, and Kato Y

9) 鼻腔腺様嚢胞癌の１例. [耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科, (2013)]

   吉浜圭祐、川井俊郎、小川郁、馬場優

10) Vocal cord actinomycosis mimicking a laryngeal tumor.［Case Reports in Otolaryngology, (2013)］

Yoshihama K, Kato Y, and Baba Y

11) Nasopharyngeal leiomyomatous hamartoma: case report.［BMC Ear, Nose and Throat Disorders, (2014)］

Takanori Nishiyama, Yasumasa Kato and Yuh Baba

12) CRISPR/Cas9 を用いた MC3T3-E1 細胞における Gpr81 遺伝子のノックアウト.［奥羽大学歯学誌, 41 (3-4), (2014), 123-128］

前田豊信、鈴木厚子、湯澤仁、馬場優、加藤靖正

13) Acidic extracellular pH promotes epithelial mesenchymal transition in Lewis lung carcinoma model.［Cancer Cell International, (2014)］

Atsuko Suzuki, Toyonobu Maeda, Yuh Baba, Kazuhiro Shimamura, Yasumasa Kato

14) 上頸部神経鞘腫手術における Nerve Integrity Monitoring(NIM) の有用性.［耳鼻咽喉科臨床, (2014)］

馬場優、西山 崇経、吉浜 圭祐

15) Deguelin Induced Apoptosis by Targeting both EGFR-Akt and IGF1R-Akt Pathways in Head and Neck Squamous Cell Cancer Cell Lines.［BioMed Research International, (2015)］

Yuh Baba et al

16) The role of bavacizumab in the management of Head and Neck Squamous Cell Carcinoma Patients.［Chemotherapy, (2015)］

Yuh Baba, Yasumasa Kato

17) Mineral trioxide aggregate induces osteoblastogenesis via Atf6 .［Bone reports, (2015)］

Toyonobu Maeda, Atsuko Suzuki, Satoshi Yuzawa, Yuh Baba,et al

---

著書

1) Head and Neck Cancer.［Intech,2012］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

2) Hypotheses in Clinical Medicine.［Nova,2012］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

3) The Research and Biology of Cancer II.［iConcept press,2013］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

4) International Manual of Oncology Practice.［Springer,2014］

Baba Y, Nishiyama T, Kato Y

総説・解説記事

1) Cetuximab for Head and Neck Cancer from bench to clinic.［ Journal of Solid Tumors, (2012)］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

2) Present and Future of EGFR inhibitors for Head and Neck Squamous Cell Cancer.［Journal of Oncology, (2012)］

Baba Y, Fujii M, Tokumaru Y, Kato Y

3) Acidic etracellular microenvironmental and cancer.［Cancer Cell International, (2013)］

Kato, Y, Ozawa S, Miyamoto C, Maehata Y, Suzuki A, Maeda T, Baba Y

4) 頭頸部癌に対する分子標的薬治療.［耳鼻咽喉科臨床, (2013)］

馬場　優

研究発表

口腔底脂肪腫の１例［第 24 回日本口腔咽頭科学会］
（2011年09月08日 － 2011年09月09日）

Cell Signalings and the Communications in Head and Neck Cancer［11th Japan-Taiwan Conference on Otolaryngology Head and Neck Surgery］
（2011年12月08日 － 2011年12月09日）

口腔底腫瘍の一例［第 13 回栃木頭頸部癌講演会］
（2012年01月）

頭頸部扁平上皮癌におけるＥＧＦＲインヒビター耐性機構の解明とその克服法［第 64 回日本気管食道科学会学術講演会］
（2012年11月）

診断に苦慮した大耳介神経 Traumatic neuroma の１例［第 64 回日本気管食道科学会学術講演会］
（2012年11月）

鼻腔腺様嚢胞癌の１例［第 110 回栃耳鼻学術講演会］
（2012年12月）

術前に鼻腔腺癌と診断された１例［第１０回慶應耳鼻咽喉科臨床懇話会］
（2013年01月19日）

Adaptation to acidic extracellular pH induces epithelial-mesenchymal transition as stable phenotype in Lewis lung carcinoma model［ The 4th Annual Meeting of the International Society of Proton Dynamics in Cancer］
（2013年10月10日 － 2013年10月12日）

副耳下腺癌の１例［第 56 回奥羽大学歯学会］
（2013年11月09日）

外国文献紹介 ” Long-term local cancer reductions following nuclear plant shutdown. ”［第 116 回日耳鼻福島県地方部会］
（2013年11月10日）

Deguelin promotes apoptosis, accompanied with suppression of AKT pathway in head and neck squamous cell carcinoma cell lines［The 12th Taiwan-Japan Conference on Otolaryngology-Head and Neck Surgery］
（2013年12月05日 － 2013年12月07日）

デグエリンは頭頸部扁平上皮癌細胞株において AKT を抑制することに伴いアポトーシスを誘導する［第１１５回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会］
（2014年05月14日 － 2014年05月17日）

デグエリンは頭頸部癌細胞株において IGF1R-AKT pathway を抑制しアポトーシスを誘導する［第３８回日本頭頸部癌学会］
（2014年06月12日 － 2014年06月13日）

Mineral Trioxide Aggregate セメントの骨形成作用［第 57 回奥羽大学歯学会］
（2014年06月21日）

Neutrophilic granule proteins (Ngp) is a SPARC target gene to be reduced［15th International Biennial Congress of the Metastasis Research Society］
（2014年06月28日 － 2014年07月01日）

デグエリンは頭頸部癌に対して EGFR-AKT および IGF1R-AKT を標的としアポトーシスを誘導する［日本耳鼻咽喉科学会］
（2015年05月20日 － 2015年05月23日）

Deguelin induces apoptosis by targeting EGFR-Akt and IGF1R-Akt pathways in head and neck cancer.［The joint meeting of 4th congress of asian society of head and neck oncology and 39th annual meeting of japan society for head and neck cancer］
（2015年06月03日 － 2015年06月06日）

担当授業科目

総合医学Ⅰ	2013年06月	－	継続中
臨床総合講義	2013年06月	－	継続中
総合医学Ⅱ	2013年06月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

奥羽大学歯学部附属病院感染対策マニュアル作成 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2013年06月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本耳鼻咽喉科学会［会員］	1996年04月	－	継続中
日本耳鼻咽喉科学会［那須臨床耳鼻咽喉科セミナー代表世話人］	2012年04月	－	2013年03月
日本耳鼻咽喉科学会［福島県地方部会産業環境保健委員］	2015年04月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

Case Reports in Otolaryngology 編集委員　2011年04月　－　継続中
［活動区分 ：ボランティア活動］

Journal of Solid Tumors 編集委員　2011年04月　－　継続中
［活動区分 ：その他］

奥羽大学 歯学部 歯学科

杉田　俊博

SUGITA Toshihiro　　生年月日 1957年05月03日

歯学科

取得学位

博士　奥羽大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部 教授［本務］	1983年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本歯科麻酔学会
奥羽大学歯学会
日本歯科医学会

学会・委員会等活動

日本歯科麻酔学会［評議員］	1985年09月	―	継続中
奥羽大学歯学会［理事］	1998年04月	―	継続中
日本歯科医学会［理事］	2012年04月	―	2014年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

清野　晃孝

SEINO Akinori

歯学科

取得学位

博士 明海大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］　2007年04月　－　継続中

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
日本補綴歯科学会
日本障害者歯科学会
日本歯科医療管理学会
日本老年歯科医学会
日本口腔診断学会
日本歯科医学教育学会
日本総合歯科学会

論文

1) 適正な医療記録への取り組みー診療報酬査定ー.［奥羽大学歯学誌, 40（３）, (2013), 139-143］

清野晃孝、杉田俊博、佐藤穏子、濱田智弘、原田卓哉、高橋和裕

2) 奥羽大学歯学部附属病院における「なくならない誤飲事故」に関する方策.［日本歯科医療管理学会雑誌, ５０（４）, (2016), ２４４-２５０］

安部　将太、山崎信也、川合宏仁、島村和宏、瀬川　洋、佐々木重夫、清野晃孝、齊藤高弘

研究発表

歯科衛生士学生に対するレセプトコンピュータ実習［第５２回日本歯科医療管理学会］
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，横浜市）
インプラント手術に対する静脈内鎮静法の検討　ブトルファノール・ミダゾラム・デクスメデトミジンとブトルファノール・ミダゾラム・プロポフォールの比較［第５２回日本歯科医療管理学会　］
（2011年07月09日 － 2011年07月10日，横浜市）
奥羽大学歯学部臨床実習の改善と評価（第３報）［第３０回日本歯科医学教育学会］
（2011年07月16日 － 2011年07月17日，東京都）
４．全部床義歯の人工歯咬合面形態が食片の舌側貯留量に及ぼす影響［平成 23 年度補綴歯科学会東北・北海道支部、関越支部、東関東支部合同学術大会：］
（2011年09月24日，新潟市）
スキルス・ラボを活用した研修歯科医および医員の５年間の実績［第５２回　奥羽大学歯学会］
（2011年11月12日，郡山市）
シミュレーション実習の評価―平成 21 年度と平成 23 年度との比較［第５３回日本歯科医療管理学会］
（2012年07月07日，那覇市）
障害者の全身麻酔下歯科治療が BMI に及ぼす影響について［第５３回日本歯科医療管理学会］
（2012年07月07日，那覇市）
スキルス・ラボを活用した研修歯科医および医員の５年間の実績［第３１回日本歯科医学教育学会］
（2012年07月20日 － 2012年07月21日，岡山市）
強度の異常絞扼反射を有する患者における全身麻酔を含めた包括的歯科治療の経験［第２９回日本障害者歯科学会］
（2012年09月30日，札幌市）
重度の異常絞扼患者に対して全身麻酔下歯科治療と系統的脱感作により対応した症例［第 52 回奥羽大学歯学会］
（2012年11月10日，奥羽大学）
スキルス・ラボを活用した研修歯科医および医員の 5 年間の実績［第 22 回日本歯科医学会総会］
（2012年11月10日 － 2012年11月11日）

診療録整備委員会の業務 [第 55 回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日，奥羽大学）
臨床研修歯科医師の進路―過去７年間の結果からー [第５５回奥羽大学歯学会]
（2013年06月15日，奥羽大学歯学部）
知的障がい者や自閉症患者におけるミタゾラム経口投与について [第 54 回日本歯科医療管理学会]
（2013年06月28日，瑞穂市）
奥羽大学歯学部附属病院研修歯科医師の進路ー過去 7 年間の結果からー [第 26 回日本口腔診断学会]
（2013年09月13日，東京都）
片側性遊離端義歯の支台歯の挙動ー実験用義歯に付与する擬似粘膜の影響ー [平成 25 年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会]
（2013年10月13日，札幌市）
院内でＣＰＡとなった１例 [日本歯科医療管理学会平成 25 年東北支部第 17 回学術大会]
（2013年11月17日，青森市）
中枢神経の先天性髄鞘形成不全を伴う患児の日帰り全身麻酔経験 [日本歯科医療管理学会平成 25 年度東北支部第 17 回学術大会]
（2013年11月17日，青森市）
奥羽大学歯学部附属病院における最近の初診患者の動向 [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，奥羽大学）
総合歯科における歯科診療特別対応の流れ [第 58 回奥羽大学歯学会]
（2014年11月08日，奥羽大学）
大学歯学部附属病院における障害者歯科診療の流れ [第 31 回日本障害者歯科学会]
（2014年11月15日，宮城県仙台市）
当院における日帰り全身麻酔 6 年間 1037 例における回復時間の統計 [日本歯科医療管理学会平成 26 年度東北支部第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，盛岡市）
福島県における震災後の歯科に関するアンケート調査ー県内の障がいのある方への調査ー [日本歯科医療管理学会平成 26 年度東北支部第 18 回学術大会]
（2014年11月30日，盛岡市）
本学附属病院で採用した自費ＣＲの１症例 [第５９回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日，奥羽大学歯学部）
奥羽大学歯学部附属病院における Er：YAG レーザーの使用状況について [第５９回奥羽大学歯学会]
（2015年06月20日，奥羽大学歯学部）
ロカテック処理が CAD/CAM レジンブロックとセメントの接着強さに及ぼす影響 [平成２７年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会]
（2015年10月25日，盛岡市）
奥羽大学歯学部附属病院における最近の初診患者の動向―第２報―[第６０回奥羽大学歯学会]
（2015年11月14日，奥羽大学歯学部）
奥羽大学歯学部附属病院臨床研修歯科医師の進路―過去 9 年間の結果からー [第 8 回日本総合歯科学会]
（2015年11月21日，東京都）

担当授業科目

臨床実習	2011年04月	―	2012年03月
臨床実習	2011年04月	―	2011年09月
歯科医療人間学Ⅳ	2011年04月	―	2011年07月
統合科目Ⅰ	2011年06月		
臨床総合講義	2011年07月	―	2011年09月
歯科医療人間学Ⅲ	2011年09月	―	2012年01月
臨床総合演習	2011年09月	―	2012年01月
統合科目Ⅲ	2011年11月	―	2012年01月
(歯) 歯科医療人間学Ⅳ	2012年04月	―	2012年07月
(歯) 臨床実習	2012年04月	―	2012年05月
(歯) 統合科目Ⅰ	2012年05月		
(歯) 歯科医学演習	2012年07月		
(歯) 臨床総合講義	2013年04月	―	2014年01月
(歯) 臨床総合演習	2014年09月	―	2014年12月
(歯) 咬合学	2015年05月		
(歯) 歯科医学演習	2015年07月		
(歯) 臨床総合演習	2015年09月	―	2015年12月
(歯) 在宅歯科医療学	2015年09月		

その他教育活動及び特記事項

アメリカンフットボール部顧問 ［活動区分 ：学友会 · 同好会等の指導］	1997年04月	―	継続中
臨床実習 PBL を中心とした臨床に即した独自の実習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
臨床実習のシミュレーション実習の実習書作成 ［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］	2003年04月	―	継続中
歯科医療人間学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ少人数制による学習，グループ討議, 早期体験学習（学内診療室見学，開業歯科医院の見学） ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
統合科目Ⅱ（診療科学）プリント配布，液晶プロジェクターによるスライド ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
統合科目Ⅲ（高齢者 · 障害者歯科）プリント配布，液晶プロジェクターによるスライド ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
統合科目Ⅱ演習（診療科学）シミュレーション用ファントムによる実習 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	2008年04月	―	継続中
第５学年のクラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2010年04月	―	継続中
平成２３年度臨床教育力養成研修会チーフタスクフォース ［活動区分 ：その他特記事項］	2011年07月	―	2011年09月
奥羽大学歯学部臨床実習の改善と評価（第３報）―選択実習導入後の臨床実習成績と国試結果との関連ー ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2011年07月		
平成 24 年度臨床教育力養成ワークショップのチーフタスクフォース ［活動区分 ：その他特記事項］	2012年07月	―	2012年09月

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議員］	1999年04月	―	継続中
日本補綴歯科学会［評議員］	1999年04月	―	継続中
日本補綴歯科学会［代議員］	2005年04月	―	継続中
日本口腔診断学会［査読委員］	2006年01月	―	継続中
日本口腔診断学会［評議員］	2007年04月	―	継続中
日本補綴歯科学会［平成２３年度日本補綴歯科学会東北 · 北海道支部、関越支部、東関東支部合同学術大会準備委員長］	2010年10月	―	2011年09月
日本補綴歯科学会［専門医症例報告査読委員］	2013年04月	―	継続中
日本総合歯科学会［理事］	2014年11月	―	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

国民健康保険診療報酬審査委員 ［活動区分 ：その他］	1997年01月	―	2012年12月
福島県国民健康保険診療報酬審査委員会歯科部会長 ［活動区分 ：その他］	2007年01月	―	2012年12月

奥羽大学 歯学部 歯学科

渡邉　崇

WATANABE Takashi　　生年月日 1984年11月09日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部臨床研修実務代表 助手［本務］　2014年04月　ー　継続中

所属学会・委員会

日本歯科保存学会
奥羽大学歯学会
茨城インプラント研究会

奥羽大学 歯学部 歯学科

成田　知史

NARITA Tomofumi　　生年月日 1980年07月05日

歯学科

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会
顎咬合学会
摂食嚥下リハビリテーション学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

保田　穣

YASUDA Yutaka　　生年月日 1984年12月09日

歯学科

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐藤　健太

SATOU KENTA　　生年月日 1988年07月20日

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部附属病院 助教［本務］　　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

奥羽歯学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

佐藤　麻里恵

Satoh Marie

歯学科

所属学会・委員会

奥羽歯学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

與座　崇史

Yoza Takafumi

歯学科

所属学会・委員会

奥羽歯学会

奥羽大学 歯学部 歯学科

北條　健太郎

Hojo Kentarou

生年月日 1981年06月18日

歯学科

所属学会・委員会

奥羽大学歯学会

摂食嚥下リハビリテーション学会

歯 学 部

〈教養系〉

奥羽大学 歯学部 歯学科

菊地　尚志

KIKUCHI Hisashi　　生年月日 1959年04月08日

歯学科

出身大学院

東北大学・理学研究科・原子核理学専攻・博士課程	1989年 修了

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部　講師［本務］	1994年10月	―	1996年03月
奥羽大学歯学部歯学科　准教授［本務］	1996年04月	―	2015年03月
奥羽大学歯学部歯学科　教授［本務］	2015年04月	―	継続中

担当授業科目

基礎物理学	2008年04月	―	継続中
総合学習Ⅰ	2008年04月	―	2012年03月
歯科臨床基礎学Ⅱ	2008年04月	―	2012年03月
物理学実験	2008年09月	―	継続中
歯科臨床基礎学Ⅰ	2008年09月	―	2012年03月
(歯) 統計数理学	2012年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

青木　潔

AOKI Kiyoshi

歯学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2003年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本物理学会
奥羽大学歯学会

担当授業科目

物理学	2003年04月	―	継続中
物理学実験	2003年04月	―	継続中
(薬) 基礎物理学	2010年04月	―	2014年09月
(薬) 情報科学実習	2013年04月	―	2014年03月

その他教育活動及び特記事項

教育法の改善 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2003年04月	―	継続中
歯科医学教育者ワークショップ ［活動区分 ：その他特記事項］	2005年03月	―	継続中
コミック・アート研究会 ［活動区分 ：学友会・同好会等の指導］	2010年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議員］	2004年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

秋山　哲夫

AKIYAMA Tetsuo　　生年月日 1947年10月25日

歯学科

出身大学院

東京教育大学・理学研究科・化学・修士課程　1972年 修了

取得学位

修士　東京教育大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1973年04月	―	1986年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1986年04月	―	2003年03月
奥羽大学歯学部歯学科 准教授［本務］	2003年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本化学会
奥羽大学歯学会
日本分析化学会
日本イオン交換学会
日本口腔衛生学会
歯科基礎医学会

その他教育活動及び特記事項

化学実験レポートの添削，返却 ［活動区分 ：教育内容 · 方法の工夫］	1974年10月	―	継続中
非常勤講師 ［活動区分 ：その他特記事項］	1991年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

奥羽大学歯学会［評議委員］	2004年04月	―	継続中

奥羽大学 歯学部 歯学科

阿部　匡聡

ABE Masatoshi　　生年月日 1965年05月21日

歯学科

出身大学院

東北大学・理学研究科・化学第二専攻・博士課程　1993年 修了

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科 助手［本務］	1993年04月	―	1994年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	1994年04月	―	2007年03月
奥羽大学歯学部歯学科 助教［本務］	2007年04月	―	2009年03月
奥羽大学歯学部歯学科 講師［本務］	2009年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本化学会
歯科基礎医学会
奥羽大学歯学会
日本生化学会
日本癌学会

論文

1) 奥羽大学歯学部　平成 22 年度 I.C.T Ⅱにおけるアンケート.［奥羽大学歯学誌, 38（4）,（2011）, 213-218］

岡田英俊、阿部匡聡、前田豊信、茂呂祐利子、車田文雄、大須賀謙二、宇佐美晶信

2) 銅濃度の異なる金銀パラジウム合金の硬さと耐食性.［奥羽大学歯学誌, 42（1,2）,（2015）, 27-31］

川島　功, 林　幹太, 石田喜紀, 岡田英俊, 阿部匡聡

著書

1) Dexamethasone-Therapeutic Uses, Mechanism of Action and Potential Side Effects-.［Nova Science Publishers, Inc.,2013］

Masatoshi Abe 他

研究発表

平成 22 年度 ICT Ⅱにおけるアンケート調査［奥羽大学歯学会］
（2011年06月11日）

MC3T3-E1 細胞において、MTA は ATF6 を介して石灰化を促進させる.［第 56 回歯科基礎医学会学術大会］
（2014年09月25日 ― 2014年09月27日）

MTA は骨芽細胞様細胞で ATF6 を介して石灰化を促進させる.［第 87 回日本生化学会大会］
（2014年10月15日 ― 2014年10月18日）

担当授業科目

総合学習Ⅰ	2011年04月	―	2012年03月
I.C.T. Ⅱ	2011年04月	―	2012年03月
化学	2011年04月	―	2012年03月
口腔生化学実習	2011年04月	―	2011年07月
生命基礎科学Ⅱ	2011年04月	―	2012年03月
歯科臨床基礎学Ⅱ	2011年04月	―	2011年09月
歯科臨床基礎学Ⅰ	2011年09月	―	2012年03月
化学実験	2011年09月	―	2012年01月
(歯)I.C.T. Ⅱ	2012年04月	―	2013年03月
(歯) 口腔生化学実習	2012年04月	―	2012年07月

(歯) 歯科臨床基礎学Ⅱ	2012年04月	―	2012年09月
(歯) 総合学習Ⅰ	2012年04月	―	2013年03月
(歯) 化学	2012年04月	―	2013年03月
(歯) 生命基礎科学Ⅱ	2012年04月	―	2013年03月
(歯) 化学実験	2012年09月	―	2013年03月
(歯) 歯科臨床基礎学Ⅰ	2012年09月	―	2013年03月
(歯) 化学	2013年04月	―	2014年03月
(歯)I.C.T. Ⅱ	2013年04月	―	2014年03月
(歯) 歯科臨床基礎学Ⅱ	2013年04月	―	2013年09月
(歯) 生命基礎科学Ⅱ	2013年04月	―	2014年03月
(歯) 口腔生化学実習	2013年04月	―	2013年07月
(歯) 化学実験	2013年09月	―	2014年03月
(歯) 歯科臨床基礎学Ⅰ	2013年09月	―	2014年03月
(歯) 化学	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 口腔生化学実習	2014年04月	―	2014年07月
(歯)I.C.T. Ⅱ	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 生命基礎科学Ⅱ	2014年04月	―	2015年03月
(歯) 化学実験	2014年09月	―	2015年03月
(歯) 化学	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 情報リテラシーⅡ	2015年04月	―	2016年03月
(歯) 化学実験	2015年09月	―	2016年03月

奥羽大学 歯学部 歯学科

今井　元

Imai Hajime

歯学科

出身大学院

東京医科歯科大学・医歯学総合研究科・博士課程　1996年 修了

取得学位

博士　東京医科歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学歯学部歯学科口腔機能分子生物学講座 生物学分野　准教授［本務］　2014年04月　－　継続中

所属学会・委員会

歯科基礎医学会
日本解剖学会
昭和医学会
日本下垂体研究会
口腔病学会

論文

1) 視床下部室傍核の４型メラノコルチン受容体発現ニューロンによる食欲調節. [東京医科歯科大学教養部研究紀要, 42, (2012), 37-46]

服部淳彦，今井　元，舟橋久幸

2) 鳥類胚のメッケル軟骨形成に対する中脳後脳境界域と頬咽頭膜組織の重要性について . [口腔病学会雑誌, 79 (1), (2012), 15-25]

今井　元

研究発表

Gli3K.O. マウスにおける GnRH ニューロンの移動と LH β 産生細細胞の出現について [昭和大学共同研究：第３班]
（2011年05月）

ラット胚の下垂体発生における誘導と分化にかかわる組織の移動と分布の重要性について [第 117 回日本解剖学会総会 · 全国学術集会]
（2012年03月26日 － 2012年03月28日）

マウス胚における GnRH-ニューロンの移動に非依存的な性腺刺激ホルモン分泌細胞の出現 [第 56 回歯科基礎医学会学術大会]
（2014年09月）

担当授業科目

(歯) 生物学実験　2014年04月　－　継続中
(歯) 基礎生物学　2014年04月　－　2015年03月
(歯) 生物学　2015年04月　－　継続中

その他教育活動及び特記事項

昭和大学における担任　2004年04月　－　2014年03月
［活動区分 ：クラス担任］

奥羽大学 歯学部 歯学科

鈴木　敏城

SUZUKI Toshishiro　　生年月日 1957年05月06日

歯学科

出身大学院

筑波大学・教育研究科・カウンセリング専攻・修士課程　1995年 修了

取得学位

修士 筑波大学

学内職務経歴

奥羽大学 講師［本務］　2010年04月 ― 継続中

所属学会・委員会

カウンセリング学会
教育心理学会
心理学会
カウンセリング学会認定カウンセラー会
日本学校メンタルヘルス学会
心理臨床学会
日本学校心理士会
東京臨床心理士会
日本臨床心理士会
日本教育カウンセラー協会
教育カウンセリング学会

著書

1) 教育相談の理論と実際. [図書文化社,2012]

鈴木敏城（武蔵由佳、河村茂雄、小野寺正己、粕谷貴志、真金薫子

2) 集団の発達を促す学級経営・高等学校. [図書文化社,2013]

鈴木敏城（苅間澤勇人、小野寺正己、水谷明弘、河村茂雄）

担当授業科目

臨床心理学　2011年04月 ― 継続中

その他教育活動及び特記事項

学生相談　2010年04月 ― 継続中

［活動区分 ：その他特記事項］

奥羽大学 歯学部 歯学科

唐沢　明

KARASAWA Akira

歯学科

取得学位

学士　駒澤大学

担当授業科目

(歯) アカデミックリテラシー　2015年04月　ー　継続中

薬 学 部

奥羽大学 薬学部 薬学科

衛藤　雅昭

ETO Masaaki

薬学科

取得学位

博士　旭川医科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科　教授［本務］	2005年04月	―	継続中
奥羽大学歯学部　附属病院内科医師［兼務］	2005年07月	―	継続中
奥羽大学薬学部　薬学部長［兼務］	2011年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本糖尿病学会
日本内科学会
日本動脈硬化学会
米国内分泌学会
欧州糖尿病学会
日本糖尿病合併症学会
日本臨床栄養学会
日本薬学会

論文

1) ビルダグリプチンは２型糖尿病患者の食後中性脂肪、レムナントコレステロールおよび血圧を低下させる．[薬理と治療, 39, (2011), 805-811]

斉藤美恵子、馬場美和、秋山由美、阿部辰朗、安田翔、服部由香、瀧上茂、衛藤雅昭

2) Research committee for primary hyperlipidemia, research on measures against intractable diseases by the Ministry of Health, Labour and Welfare in Japan.：Management of type IIb dyslipidemia. [J Atheroscler Thromb, 19 (2), (2012), 105-114]

Arai H, Ishibashi S, Eto M, Suzuki H, Yamada N, et al

3) IIb 型高脂血症を伴う２型糖尿病においてフェノフィブラートとスタチン低用量の併用療法は中性脂肪/レムナントと LDL を効果的に低下させる．[. 薬理と治療　, 40, (2012), 651-656]

斉藤美恵子、熊埜御堂章、瀧上茂、衛藤雅昭

4) Apolipoprotein B-48 to triglyceride ratio is a novel and useful marker for detection of type III hyperlipidemia after antihyperlipidemic intervention. [J Atheroscler Thromb , 19, (2012), 862-871]

Yuasa-Kawase M, Masuda D, Kitazume-Taneike R, Saito M, Eto M,Yamashita S. et al

5) Background to discuss guidelines for control of plasma HDL-cholesterol in Japan. [J Atheroscler Thromb, 19 (3), (2012), 207-212]

Yokoyama S, Yamashita S, Eto M, Gotoda T, Yamada N. et al

6) Research on measures against intractable diseases by the Ministry of Health, Labour and Welfare in Japan.：Diagnosis and management of type I and type V hyperlipoproteinemia. [J Atheroscler Thromb, 19 (1), (2012), 1-12]

Gotoda T, Shirai K, Eto M, Yamada N, et al

7) イコサペント酸エチル（EPA）は糖尿病腎症合併Ⅲ型高脂血症患者の中性脂肪、レムナントコレステロールを低下させる．[The Lipid, 24, (2013), 193-196]

斉藤美恵子、大谷めぐみ、服部由香、衛藤雅昭

8) Exendin-4 promotes the membrane trafficking of the AMPA receptor GluR1 subunit and ADAM10 in the mouse neocortex. [Regulatory Peptide, 190-191C, (2014), 1-11]

Ohtake N, Saito M, Eto M, Seke K

9) 2型糖尿病患者におけるシタグリプチンとベザフィブラート併用療法の血糖、脂質、肝腎機能に対する効果. [薬理と治療, 42 (10), (2014), 739-744]

斉藤　美恵子、大槻　修平、関　健次郎、滝上　茂、衛藤　雅昭

著書

1) 先天性代謝異常症候群（第2版）　下　「家族性III型高脂血症」. [日本臨床社,2012]

衛藤雅昭、斉藤美恵子　他

2) 脂質異常症 基礎・臨床研究の最新知見　「続発性高トリグリセライド血症」. [日本臨床社,2013]

衛藤雅昭、服部由香、斉藤美恵子　他

総説・解説記事

1) 高トリグリセライド（ＴＧ）血症の治療. [特集　最新の動脈硬化診療　どう診断し、どう治療するか？ , 50 (6), (2013), 1035-1039]

衛藤雅昭、服部由香、斉藤美恵子

2) 家族性III型高脂血症. [特集　高トリグリセライド血症, 71 (9), (2013), 1590-1594]

衛藤雅昭、斉藤美恵子

研究発表

Effects of 10-month sitagliptin therapy on HbA1c, triglyceride and remnant cholesterol levels in type 2 diabetic patients [The 47th EASD Annual Meeting (欧州糖尿病学会)]
(2011年09月12日 － 2011年09月16日，リスボン　（ポルトガル）)

Thorough chewing stimulates postprandial increases of plasma GLP-1 and peptide YY in obese subjects [The 47th EASD Annual Meeting(欧州糖尿病学会)]
(2011年09月12日 － 2011年09月16日，リスボン　（ポルトガル）)

Apo E2 allele predisposes type 2 diabetic patients to postprandial triglyceride increase after a fat-rich meal [第4回国際カイロミクロンシンポジウム]
(2014年03月29日，東京　女子栄養大学)

Effects of incretin on human mesangial cells loaded with apo E2 remnant lipoproteins and on nephropathy in diabetic patients [The 50th EASD Annual Meeting (欧州糖尿病学会)]
(2014年09月15日 － 2014年09月19日，ウィーン　オーストリア)

担当授業科目

臨床内科学概論	2007年09月	－	継続中
疾患薬理学III	2007年09月	－	継続中
特別実習	2007年10月	－	継続中
(薬) 臨床医学総論	2011年04月	－	継続中
薬学概論	2011年04月	－	2015年03月
総合薬学演習Ⅰ	2011年04月	－	継続中
(薬) 新薬概論	2011年04月	－	継続中
(薬) 薬学入門	2015年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本内科学会［内科認定医］	1991年12月	－	継続中
日本糖尿病学会［糖尿病専門医・指導医］	1992年11月	－	継続中
日本動脈硬化学会［Editorial Board (J Atheroscler Thromb)］	2002年01月	－	2011年12月
日本臨床栄養学会［認定臨床栄養指導医］	2007年11月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

ＮＰＯ法人日本健康指導支援機構（東京）　理事 ［活動区分 ：その他］	2007年09月	－	継続中
福島県糖尿病療養指導士認定機構　理事 ［活動区分 ：その他］	2008年11月	－	2013年03月
岡山脂質異常症カンファランス　講演 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年04月		

くれ脂質異常症セミナー　（広島県呉市）　講演　2012年04月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
日医生涯教育講座学術講演会　（長野市）　講演　2012年04月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
北海道脂質異常症フロンティア２０１２　（札幌市）　講演　2012年06月
［活動区分 ：小中高との連携］
第７回大分中性脂肪 · 代謝研究会講演会　講演　2012年07月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
ＣＫＤ（慢性腎臓病）Ｌｉｐｉｄ　Ｆｏｒｕｍ　（仙台市）　講演　2012年07月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
東北糖尿病治療フォーラム２０１２　（仙台市）　講演　2012年07月
［活動区分 ：小中高との連携］
上越市医師会学術講演会　講演　2012年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
日本糖尿病療養指導士認定機構 東北地区講習会 （仙台市）　講義　2012年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
第３回糖代謝と脂質代謝異常を考える学術講演会　（名古屋市）　講演　2012年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
沖縄北部地区学術講演会 講演　2012年12月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
第６回水戸脂質カンファランス　講演　2013年02月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
長岡市医師会学術講演会　講演　2013年05月
［活動区分 ：公開講座］
大分市　脂質異常症セミナー　講演　2013年06月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
郡山脂質代謝フォーラム「効率的な脂質異常症治療戦略について」　司会　2013年06月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
南魚沼市医師会薬剤師会学術講演会 講演　2013年07月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
日本糖尿病療養指導士認定機構 東北地区講習会 （仙台市）　講義　2013年10月
［活動区分 ：その他］
相馬郡医師会学術講演会　講演　2013年11月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
室蘭市医師会学術講演会　講演　2014年06月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
ＷＥＢ カンファランス　講演　2014年06月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
秋田県南　高脂血症治療エキスパートフォーラム　講演　2014年07月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
大分県糖尿病治療を考える会　講演　2014年08月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
宮城県脂質異常症フォーラム　講演　2014年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
日本糖尿病療養指導士認定機構 東北地区講習会 （仙台市）　講義　2014年10月
［活動区分 ：その他］
山形大学医学部医学科２年生　「原発性高脂血症」　講義　2014年10月
［活動区分 ：その他］
第５回　沖縄：代謝病と血管病診療フォーラム　講演　2014年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
会津医学会学術講演会　講演　2014年10月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
郡山エゼチミブ学術講演会　講演　2014年12月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
島根県浜田市脂質異常症学術講演会　講演　2015年05月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］

奥羽大学 薬学部 薬学科

押尾　茂

OSHIO Shigeru

薬学科

取得学位

博士　東京大学
博士　帝京大学
学士　東京理科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科　教授［本務］	2005年04月	―	継続中
奥羽大学薬学部薬学科学生部長　学生部長［兼務］	2013年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本生殖医学会
日本アンドロロジー学会
日本受精着床学会
The New York Academy of Sciences
精子形成・精巣毒性研究会
日本内分泌撹乱化学物質学会
大気環境学会
日本トキシコロジー学会

論文

1) Pre- and postnatal exposure to low-dose diesel exhaust impairs murine spermatogenesis..［Inhalation Toxicology, 23 (13), (2011), 805-813］

Kubo-Irie M, Oshio S, Niwata Y, Ishihara A, Sugawara I, Takeda K

2) Evaluation of the testicular toxicity of prenatal exposure to bisphenol A based on microarray analysis combined with MeSH annotation. .［Journal of Toxicological Science, 37 (3), (2012), 539-548］

Tainaka H, Takahashi H, Umezawa M, Tanaka H, Nishimune Y, Oshio S, Takeda K

3) Exposure to diesel exhaust during fetal period affects behavior and neurotransmitters in male offspring mice..［Journal of Toxicological Science, 38 (1), (2013), 13-23］

Yokota S, Moriya N, Iwata M, Umezawa M, Oshio S, Takeda K

4) Fetal exposure to diesel exhaust affects X-chromosome inactivation factor expression in mice. .［Journal of Toxicological Science, 38 (2), (2013), 245-254］

Kumamoto T, Tsukue N, Takano H, Takeda K, Oshio S.

5) Effect of fetal exposure to bisphenol A on brain mediated by X-chromosome inactivation. .［Journal of Toxicological Science, 38 (3), (2013), 485-494］

Kumamoto T, Oshio S

6) 東日本大震災前後における奥羽大学学生の食事・栄養調査―BDHQ を用いた解析―　.［日本食生活学会誌, 24 (3), (2013), 124-129］

熊本隆之、上野明道、押尾茂

7) Dose–dependent biodistribution of prenatal exposure to rutile-type titanium dioxide nanoparticles on mouse testis..［Journal of Nanoparticle Research, 16 (2), (2014), 1-8］

K [redacted] Uchida H, Matsuzawa S, Yoshida Y, Shinkai Y, Suzuki K, Yokota S, Oshio S, Takeda K

8) In utero exposure of mice to diesel exhaust particles affects spatial learning and memory with reduced N-methyl-d-aspartate receptor expression in the hippocampus of male offspring.［NeuroToxicology, 50 (1), (2015), 108-115］

Yokota S, Sato A, Umezawa M, Oshio S, Takeda K

その他教育活動及び特記事項

日本薬学会環境・衛生部会 ［活動区分 ：その他特記事項］	2005年10月	―	継続中
入学前教育 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2006年01月	―	継続中
私立薬科大学協会薬剤師国家試験問題検討委員会衛生薬学部会 ［活動区分 ：その他特記事項］	2006年06月	―	継続中
衛生化学講義・食品衛生学講義 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年04月	―	継続中
教材 (衛生化学、食品衛生学) ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2007年04月	―	継続中
衛生化学実習 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年06月	―	継続中
衛生化学実習書 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2007年06月	―	継続中
薬学文献購読 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年09月	―	継続中
薬学文献購読 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2007年09月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本アンドロロジー学会［評議員］	1988年06月	―	継続中
日本受精着床学会［評議員］	1990年04月	―	継続中
日本生殖医学会［倫理委員会・委員］	1994年12月	―	継続中
日本生殖医学会［日本生殖医学会雑誌・編集委員］	1995年01月	―	継続中
精子形成・精巣毒性研究会［評議員］	1998年03月	―	継続中
日本内分泌撹乱化学物質学会［評議員］	1998年04月	―	継続中
日本アンドロロジー学会［理事］	2006年07月	―	継続中
日本生殖医学会［代議員］	2006年12月	―	継続中
日本生殖医学会［Reeproductive Medicine and Biology 誌・Editor-in-Associate Chief］	2007年01月	―	継続中
精子形成・精巣毒性研究会［会長］	2007年04月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

上野　明道

UENO Akemichi　　生年月日 1950年11月27日

薬学科

出身大学院

大阪大学・薬学研究科・応用薬学専攻衛生化学・修士課程　1976年 修了

大阪大学・医学研究科・病理系専攻腫瘍ウイルス学・博士課程　1980年 修了

取得学位

博士　大阪大学

学内職務経歴

奥羽大学　教授［本務］　2005年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本生化学会
硬組織再生生物学会

論文

1) Novel morphological features in the death of MCF-7 human breast cancer cells after exposure to anticancer drugs..［Pharmazie, 67（10）,（2012）, 862-869］

Kugawa F. Dalkhuren SO, Ueno A, Yamashita K

2) 東日本大震災前後における奥羽大学学生の食事・栄養調査—BDHQ を用いた解析—.［日本食生活学会誌, 24（2）,（2013）, 124-129］

熊本 隆之, 上野 明道, 押尾 茂

3) Luteolin Attenuates Doxorubicin-Induced Cytotoxicity to MCF-7 Human Breast Cancer Cells..［Biol Pharm Bull, 38（5）,（2015）, 703-709］

Sato Y, Sasaki N, Saito M, Endo N, Kugawa F, Ueno A.

4) A novel monoclonal antibody against neuroepithelial and ependymal cells and characteristics of its positive cells in neurospheres.［Cell Mol Neurobiol,（2015）］

Kotani M, Sato Y, Ueno A, Ito T, Itoh K, Imada M

著書

1) 食品衛生学 -「食の安全」の科学（改訂第 2 版）.［南江堂,2011］

那須正夫/和田啓爾 (編)，上野明道，久下周佐，天野富美夫　他

研究発表

ルテオリンがドキソルビシン処理したヒト乳癌細胞に及ぼす影響［第 51 回日本薬学会東北支部大会］
（2012年10月07日，青森大学）

ルテオリンによるドキソルビシンの作用減弱化機構の解析［日本薬学会第 133 年会］
（2013年03月27日 － 2013年03月30日，パシフィコ横浜）

Identification of a cell membrane surface antigen, INCA antigen, expressed on the neuroepithelial and ependymal cells in mouse brain,［The 36th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society］
（2013年06月20日 － 2013年06月23日，京都国際会議場）

Identification of a novel neuroepithelial and ependymal cell membrane surface antigen, INCA antigen, by its recognition monoclonal antibody.［第 86 回日本生化学会大会］
（2013年09月11日 － 2013年09月13日，パシフィコ横浜）

骨芽細胞が形成する細胞外マトリックスの特性とその解析 - チタンプレート上でのコラーゲン繊維の形成と培養上清中のマトリックスによる骨化誘導［ 第 52 回日本薬学会東北支部大会］
（2013年10月20日，東北大学）

東日本大震災前後における食事・栄養摂取状況の変化 ～ 奥羽大学学生を対象とした栄養調査 ～ [第 52 回日本薬学会東北支部]
（2013年10月20日，東北大学）
アピゲニンによるドキソルビシンの作用減弱化機構の解析 [第 53 回日本薬学会東北支部大会]
（2014年10月05日，いわき明星大学）

担当授業科目

衛生化学	2007年04月	―	継続中
衛生化学実習	2007年04月	―	継続中
薬学文献講読 A	2007年09月	―	継続中
環境毒性学	2007年11月	―	継続中
特別実習	2007年11月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本薬学会［東北支部幹事］	2005年09月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

野島　浩史

NOJIMA Hiroshi

薬学科

取得学位

博士　富山医科薬科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 教授［本務］　2005年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬理学会
和漢医薬学会
日本薬学会
日本疼痛学会
北米神経科学会

論文

1) Evaluation of hyperalgesia in spared nerve injury model using mechanical, thermal, and chemical stimuli in the mouse..［Neurol Res., 33 (6), (2011), 656-662］

Abe K, Fujii Y, Nojima H

2) Contribution of spinal galectin-3 to acute herpetic allodynia in mice..［Pain, 153 (3), (2012), 585-592］

４． Takasaki I, Taniguchi K, Komatsu F, Sasaki A, Andoh T, Nojima H, Shiraki K, Hsu DK, Liu FT, Kato I, Hiraga K, Kuraishi Y

3) Properties of 3-methyl-TIQ and 3-methyl-N-propargyl-TIQ for preventing MPTP-induced parkinsonism-like symptoms in mice..［Pharmacol Res., 65 (5), (2013), 1204-1212］

３． Saitoh K, Abe K, Chiba T, Katagiri N, Saitoh T, Horiguchi Y, Nojima H, Taguchi K.

4) Withdrawal of repeated morphine enhances histamine-induced scratching responses in mice..［Drug Chem Toxicol., 4, (2014), 1-7］

Abe K, Kobayashi K, Yoshino S, Taguchi K, Nojima H.

5) Effects of 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline derivatives on dopaminergic spontaneous discharge in substantia nigra neurons in rats..［Pharmacology, 95 (1-2), (2015), 87-94］

Chiba H, Sato H, Abe K, Saito T, Horiguchi Y, Nojima H, Taguchi K

研究発表

Eupenicillium brefeldianum IFM52669 の生産するインドール誘導体［日本薬学会第 132 年会］
（2012年03月28日 － 2012年03月31日，札幌）

標準模擬患者満足度に及ぼす要因分析［日本薬学会第 132 年会］
（2012年03月28日 － 2012年03月31日）

MPTP 誘発パーキンソン病様症状に対する 3-methyl-1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の作用［日本薬学会第 133 年会］
（2013年03月27日 － 2013年03月30日，横浜）

モルヒネの投薬中止がマウスのヒスタミン誘発引っ掻き行動に及ぼす影響［日本薬学会第 133 年会］
（2013年03月27日 － 2013年03月30日，横浜）

ラット黒質ドパミン神経の自然発火に及ぼす 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の影響［日本薬学会第 133 年会］
（2013年03月27日 － 2013年03月30日，横浜）

ラット黒質ドパミン神経の自然発火に及ぼす 1-cyclohexyl-および 1-cyclohexyl-N-propagyl-TIQ の影響［日本薬学会第 134 年会］
（2014年03月27日 － 2014年03月30日，熊本）

マウスの腓腹神経結紮モデルにおける痛覚過敏の評価 [第 58 回日本薬学関東支部大会]
（2014年10月04日）
MPTP 誘発パーキンソン病様症状に対する 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の作用—官能基に対する検討—[日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日，神戸）
腓腹神経結紮により誘発される痛覚過敏モデルマウスに対するコリン作動薬の鎮痛作用 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日）
マウスの掻痒モデルを用いた六味丸エキスの鎮痒作用 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日，神戸）

担当授業科目

薬理学実習	2007年09月	－	2015年03月
特別実習	2007年11月	－	継続中
臨床生理学	2009年04月	－	継続中
機能形態学Ⅰ	2009年09月	－	継続中
機能形態学Ⅱ	2009年11月	－	継続中
基礎薬学演習	2009年11月	－	継続中
特別実習 (6 年制課程)	2010年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2011年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2011年04月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本薬理学会［学術評議員］	1996年04月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

小池　勇一

KOIKE Yuichi

薬学科

取得学位

博士　北海道大学

所属学会・委員会

日本薬理学会
日本臨床薬理学会
ニューヨーク科学アカデミー
国際薬物動態学会
厚生労働省薬剤師国家試験委員会
日本薬学会
厚生労働省医道審議会

総説・解説記事

1) マイクロダイアリシス―その歴史的背景および薬物動態研究への応用. [分子のささやきを聴く　マイクロダイアリシス研究のあゆみと展開　マイクロダイアリシス研究会 25 周年記念誌, (2014), １３-２０]

小池　勇一

研究発表

神経障害性疼痛に対する酸化型ガレクチン-1 の効果 [第 86 回日本薬理学会年会]
（2013年03月21日 － 2013年03月23日，福岡市）

Electromagnetic irradiation to PRP by Pipetector preserves platelet's viability. [第 75 回日本血液学会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日，札幌市）

薬物治療に対する医学教育と薬学教育 シンポジウム 4「医師と薬剤師が手を結ぶ薬物治療を目指して：臨床薬理教育・研究とチーム医療の実践」[第 34 回日本臨床薬理学会学術総会]
（2013年12月04日 － 2013年12月06日，東京都）

NMR パイプテクターの抗酸化作用がもたらす生体への影響 [第 24 回マイクロダイアリシス研究会]
（2013年12月14日，東京都）

キトサンオリゴ糖の COX に対する影響 [第 87 回日本薬理学会年会]
（2014年03月19日 － 2014年03月21日，仙台市）

担当授業科目

(薬) 医療概論	2005年07月	－	2014年07月
(薬) 臨床の実際	2005年09月	－	2015年01月
(薬) 薬物代謝学	2007年04月	－	継続中
(薬) 薬物治療学	2007年09月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習 I	2009年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習 II	2011年04月	－	継続中
(薬) 特別実習	2011年11月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本臨床薬理学会［評議員、認定医、指導医］	1985年12月	－	継続中
日本薬理学会［評議員］	1989年07月	－	継続中
厚生労働省薬剤師国家試験委員会［委員］	2006年04月	－	2012年03月
厚生労働省医道審議会［専門委員］	2012年03月	－	2014年03月

奥羽大学 薬学部 薬学科

柏木　良友

KASHIWAGI Yoshitomo

薬学科

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 准教授［本務］　2005年04月 － 2009年03月

論文

1) Voltammetric Behavior of Mediator Modified Electrode by Electrochemical Copolymerization of Nitroxyl Radical Precursor Containing Pyrrole Side Chain and Thiophenes. [Heterocycles, 83 (11), (2011), 2517-2524]

   Tetsuya Ono, Makiko Tsunoda, and Yoshitomo Kashiwagi

2) Electrocatalytic Oxidation of Amines on a Mediator-Modified Electrode by Electrochemical Copolymerization of Nitroxyl Radical Precursor Containing Pyrrole Side Chain and Bithiophene. [Electroanalysis, 25, (2013), 2575-2577]

   Yoshitomo Kashiwagi, Yumiko Takamori, Kentaro Yoshida and Tetsuya Ono

3) Electrochemical decomposition of layer-by-layer thin films composed of TEMPO-modified poly(acrylic acid) and poly(ethyleneimine). [Colloid and Polymer Science, 292, (2014), 771-776]

   Shigehiro Takahashi, Yu Aikawa, Tomotaka Kudo, Tetsuya Ono, Yoshitomo Kashiwagi, and Jun-ichi Anzai

4) Design of Electrode Providing Preparative Stereoselective Synthesis. [Int. J. Soc. Mater. Eng. Resour., 20, (2014), 49-53]

   Tetsuo Osa, Yoshitomo Kashiwagi, Tetsuya Ono, Futoshi Kurashima, and Uichi Akiba

5) Electrochemical Determination of D-Glucose Using Nortropine-N-oxyl under Physiological Conditions. [Electroanalysis, 27, (2015), 印刷中]

   Katsuhiko Sato, Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Toshinori Ito, and Yoshitomo Kashiwagi

著書

1) 第 6 版 電気化学便覧. [丸善,2013]

   柏木良友

研究発表

ナノ粒子を用いた交互累積膜の調製 [みちのくシンポジウム 2012]
（2012年07月21日，米沢）

交互累積膜法を用いた電気応答カプセルの作製と電気化学応答 [みちのくシンポジウム 2012]
（2012年07月21日）

TEMPO 含有電気応答ミクロカプセルの作製と電気化学応答 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月07日，青森）

ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜及びミクロカプセルの調製 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月07日，青森）

電解重合法により作製したニトロキシルラジカル置換ピロール固定化電極を用いた電解触媒酸化反応 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月07日，青森）

TEMPO 含有電気応答ミクロカプセルの調製 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月07日，青森）

ポリスチレン粒子を用いた凝集体及びミクロカプセルの調製 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月26日 － 2013年03月30日，横浜）

電解重合法により作製した TEMPO 修飾電極の電極反応挙動 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月26日 － 2013年03月30日，横浜）
電解重合法を利用したメディエーター修飾電極作製の効率化 [第 43 回複素環化学討論会]
（2013年10月17日 － 2013年10月19日，岐阜）
電気応答交互累積膜を利用した 5,10,15,20-Tetraphenyl-21H,23H-prophinetetrasulfonic acid の放出挙動 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台）
ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜の調整および pH 応答性 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台）
重合単量体構造設計によるメディエーター修飾電極作製の効率化 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台）
Design of Electrode Providing Preparative Stereoselective Synthesis [The Seventh International Conference on Materials Engineering for Resources]
（2013年11月20日 － 2013年11月22日，秋田）
FITC—BSA 封入電気応答交互累積膜ミクロカプセルの電気化学応答 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月26日 － 2014年03月30日，熊本）
電解重合法により作製した TEMPO 修飾グラフェン電極の電極反応挙動 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月26日 － 2014年03月30日，熊本）
重合単量体構造設計によるメディエーター修飾電極作製の効率化 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月26日 － 2014年03月30日，熊本）
グラフェン表面の修飾した単分子膜の pKa 挙動 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月26日 － 2014年03月30日，熊本）
ポリスチレン粒子と PNIAm 共重合体を用いた交互累積膜の pH および温度応答性 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月26日 － 2014年03月30日，熊本）
重合単量体構造設計による電解重合複素環ポリマーの作製制御 [第 44 回複素環化学討論会]
（2014年09月10日 － 2014年09月12日，札幌）
PQQ-酵素複合固定化電極を用いた電解触媒還元反応 [電気化学会第 82 回大会]
（2015年03月15日 － 2015年03月17日，横浜）
ミクロカプセルで構成された交互累積膜の調整と性質 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月26日 － 2015年03月30日，神戸）
酵素固定化電極による継続的還元反応 [日本農芸化学会 2015 年度大会]
（2015年03月26日 － 2015年03月29日，岡山）

奥羽大学 薬学部 薬学科

小谷　政晴

KOTANI Masaharu　　生年月日 1955年01月05日

薬学科

出身大学院

東京農業大学・農学研究科・家畜育種学・博士課程　　1985年 単位取得満期退学

取得学位

博士　東京大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 准教授［本務］　　2005年04月 － 2009年03月
奥羽大学薬学部薬学科 教授［本務］　　2009年04月 － 継続中

所属学会・委員会

日本生化学学会
日本分子生物学会
日本神経科学学会
日本薬学会

論文

1) NYAP: a phosphoprotein family that links PI3K to WAVE1 signaling in neurons. [EMBO J, 30 (23), (2011), 4739-4754]

   Yokoyama, K., Tezuka, T., Kotani, M., Nakazawa, T., Hoshina, N., Shimoda, Y., Katuta, S., Sudo, K., Watanabe, K., Iwakura, Y., and Yamamoto, T

2) Characterization of a monoclonal antibody, Namu mAb, which reacts to the subventricular zone in mouse brain. [NeuroReport, 23, (2012), 830-834]

   Kotani, M., Itoh, K., Ito, T., Yamashita, T., and Imada, M

3) Tissue distribution of intravenously administrated insoluble microparticles: Report II. [Japanese Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences, 38 (9), (2012), 559-567]

   Sugawara, T., Kotani, M., Kuramoto, K., Arai, K., Shiraishi, T. and Shoji, T

4) Prevention of status epilepticus-induced brain edema and neuronal cell loss by repeated treatment with high-dose levetiracetam. [Brain Research, 1608, (2015), 225-234]

   Itoh, K,. Inamine, M., Oshima, W., Kotani, M., Chiba, Y., Chiba, Y., Ueno, M. and Ishihara, Y

研究発表

Identification of a cell membrane surface antigen, INCA antigen, expressed on the neuroepithelial and ependymal cells in mouse brains[第 36 回日本神経科学大会・第 56 回日本神経化学会大会・第 23 回日本神経回路学会大会合同大会]
（2013年06月20日 － 2013年06月23日，京都）

Identification of a novel neuroepithelial and ependymal cell membrane surface antigen, INCA antigen, by its recognition monoclonal antibody[第 86 回日本生化学会大会]
（2013年09月11日 － 2013年09月13日，横浜）

てんかん原性における細胞死と脳浮腫に対するレベチラセタムの予防的治療効果 [第 47 回日本てんかん学会学術集会]
（2013年11月11日 － 2013年11月12日，北九州）

担当授業科目

生化学実習	2006年04月	－	継続中
分子生物学	2007年09月	－	継続中
ゲノム創薬概論	2007年09月	－	継続中
総合薬学演習	2008年04月	－	継続中
特別実習	2008年04月	－	継続中
総合薬学演習 I	2009年04月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

堀江　均

HORIE Hitoshi

薬学科

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 准教授［本務］	2005年04月	―	2009年03月
奥羽大学薬学部薬学科 教授［本務］	2009年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本ウイルス学会
日本生化学会
日本薬学会

論文

1) Sodium deoxycholate synergistically enhances the antimicrobial activity of β-lactam antibiotics against β-lactamase-producing Staphylococcus aureus. [Journal of Human Nursing Studies, 10, (2012), 9-14]

Hitoshi Horie, Satomi Tanaka, Kano Hirano, Asaka Yaegashi, et al.

研究発表

Synergistic effects of sodium chenodeoxycholic acid on antimicrobial activities of β-lactam antibiotics against β-lactamase-producing Staphylococcus aureus[15th International Congress on Infectious Diseases]
（2012年06月13日 ― 2012年06月16日，タイ、バンコク）

β-ラクタマーゼ産生多剤耐性黄色ブドウ球菌に対するステロイド誘導体のβ-ラクタム剤感受性増強効果［第５１回日本薬学会東北支部大会］
（2012年10月07日，青森大学（青森市））

担当授業科目

基礎薬学演習	2006年12月	―	継続中
微生物学実習	2007年04月	―	継続中
微生物学Ⅰ	2007年09月	―	継続中
特別実習	2007年10月	―	継続中
総合薬学演習Ⅰ	2008年04月	―	継続中
微生物学Ⅱ	2008年11月	―	継続中
ゲノム創薬概論	2011年04月	―	継続中
総合薬学演習Ⅱ	2011年04月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

早坂　正孝

HAYASAKA Masataka

薬学科

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部 教授［本務］　2011年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本静脈経腸栄養学会
日本薬学会

論文

1) 実務実習事前学習におけるロールプレイ実習に対する薬学生の満足度とその要因. [日本病院薬剤師会雑誌, 47 (8), (2011), 1033-1037]

波多江　崇，倉本 敬二，渡辺 由香，深谷 朋美，金子　俊幸，早坂　正孝，多田　均，東海林　徹

2) 実務実習事前学習における改善策の導入と顧客満足度分析を用いた評価. [日本病院薬剤師会雑誌, 47 (9), (2011), 1189-1193]

波多江　崇，倉本 敬二，渡辺 由香，深谷 朋美，金子　俊幸，早坂　正孝，多田　均，東海林　徹

3) うつ症状、労働状況、および睡眠薬 · 抗不安薬服薬状況に関する社団法人仙台市薬剤師会による実態調査. [医薬品相互作用研究, 35 (3), (2012), 41-45]

佐藤倫広、小原拓、高橋将喜、早坂正孝、鎌田裕、北村哲治

4) 葉酸の神経管閉鎖障害リスク低下効果に関する薬剤師の認識. [医薬品情報学会誌, 13 (4), (2012), 167-172]

小原拓、村井ユリ子、猪狩有紀恵、原梓、岸川幸生、早坂正孝、鎌田裕、眞野成康、高橋將喜、生出泉太郎、北村哲治

5) 後発医薬品に対する薬剤師の認識：社団法人仙台市薬剤師会. [医薬品相互作用研究, 36 (3), (2013), 167-172]

高橋則男、小原拓、猪狩有紀恵、高橋武、東二丁裕子、遠藤孝、眞野成康、早坂正孝、高橋將喜、鎌田裕、北村哲治

研究発表

うつ症状と労働状況、および睡眠薬服用状況に関する実態調査：社団法人仙台市薬剤師会 [第 21 回日本医療薬学会年会]
（2011年09月09日 － 2011年09月11日，神戸）

実務実習事前学習における薬学生の手指衛生効果の検討 [日本薬学会第 133 年会]
（2012年03月27日 － 2012年03月30日，横浜）

含糖酸化鉄注射液（フェジン®静注）の分光測色計を用いた安定性試験 [第 18 回福島県薬剤師研究発表会]
（2012年10月21日，郡山市）

学生アンケートによる 6 年制実務実習の問題点と今後の課題検討 [第 22 回日本医療薬学会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日）

含糖酸化鉄注射液（フェジン®静注）の pH 変化と電解質溶液との配合変化について [第 68 回医薬品相互作用シンポジウム]
（2013年05月25日 － 2013年05月26日）

葉酸と出生児の神経管閉鎖障害リスク抑制に関する薬学生の認識 [第 16 回日本医薬品情報学会総会 · 学術大会]
（2013年08月10日 － 2013年08月11日，名古屋）

葉酸と出生児の神経管閉鎖障害リスク抑制に関する薬学生の認識 [第 16 回日本医薬品情報学会]
（2013年08月10日 － 2013年08月11日，名古屋）

薬剤師における後発医薬品に関する認識の変遷 (ジェネリック医薬品、有害事象 · 副作用) [第 23 回日本医療薬学会年会]
（2013年08月28日 － 2013年08月30日）

薬剤師における後発医薬品に関する認識の変遷 (使用状況調査 · 意識調査) [第 23 回医療薬学会年会]
（2013年08月28日 － 2013年08月30日，神戸）
病院薬剤師における院内感染防止対策業務に関する実態調査 [第 23 回日本医療薬学会]
（2013年09月21日 － 2013年09月23日，仙台）
病院薬剤師における院内感染防止対策業務に関する実態調査 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台）
東日本大震災後の病院薬剤師における防災対策に関するアンケート調査 [日本病院薬剤師会東北ブロック第 4 回学術大会]
（2014年05月30日 － 2014年06月01日，仙台）
ヒト肺線維芽細胞の遊走性に関する研究 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日，神戸）
BIOTIN PROMOTES THE GROWTH OF CANDIDA ALBICANS IN PARENTERAL NUTRITION SOLUTIONSWITHOUT LIPID [37th The European Society for Clinical Nutrition and Metabolism (ESPEN)]
（2015年09月05日 － 2015年09月08日，LISBON，Portugal）

担当授業科目

(薬) 総合薬学演習 I	2010年04月	－	継続中
(薬) 特別実習	2010年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習 II	2010年04月	－	継続中
(薬) 医療薬学総論	2010年04月	－	継続中
(薬) 病院 · 薬局実務実習	2010年05月	－	継続中
(薬) 調剤学実習	2010年09月	－	継続中
(薬) 病院 · 薬局事前実習	2010年09月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

５年生クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2011年04月	－	継続中
茶道部 ［活動区分 ：学友会 · 同好会等の指導］	2015年04月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

大島　光宏

OHSHIMA Mitsuhiro

薬学科

出身大学院

東京医科歯科大学・歯学研究科・歯科臨床学系歯科保存学第２専攻・博士課程　　1987年 修了

取得学位

博士　東京医科歯科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部 教授［本務］　　2010年04月　－　継続中

所属学会・委員会

口腔病学会
日本歯周病学会
歯科基礎医学会
国際歯科研究学会 (IADR)
日本生化学会
マトリックス研究会

論文

1) Characterization of human lung cancer-associated fibroblasts in three- dimensional in vitro co-culture model. [Biochemical and Biophysical Research Communications, 423 (1), (2012), 158-163]

Masafumi Horie, Akira Saito, Yu Mikami, Mitsuhiro Ohshima, Yasuyuki Morishita, Jun Nakajima, Tadashi Kohyama, Takahide Nagase

2) An integrated expression profiling reveals target genes of TGF-〓 and TNF-α possibly mediated by microRNAs in lung cancer cells. [PLoS One, 2014, (2013), e56587]

Saito A, Suzuki HI, Horie M, Ohshima M, Morishita Y, Abiko Y, Nagase T

3) A promoter-level mammalian expression atlas. [Nature, 507 (7493), (2014), 426-470]

FANTOM Consortium and the RIKEN PMI and CLST (DGT), Forrest AR, Kawaji H, Rehli M, Baillie JK, de Hoon MJ, Haberle V, Lassman T, Kulakovskiy IV, Lizio M, Itoh M,Andersson R, Mungall CJ, Meehan TF, Schmeier S, Bertin N, Jørgensen M, Dimont E,Arner E, SchmidlC, Schaefer U, Medvedeva YA, Plessy C, Vitezic M, Severin J, Semple C, Ishizu Y, Young RS, Francescatto M, Alam I, AlbaneseD, Altschuler GM, Arakawa T,Archer JA, Arner P, Babina M, Rennie S, Balwierz PJ, Beckhouse AG, Pradhan-Bhatt S,Blake JA, Blumenthal A, Bodega B, Bonetti A, Briggs J, Brombacher F, BurroughsAM,Califano A, Cannistraci CV, Carbajo D, Chen Y, Chierici M, Ciani Y, Clevers HC, Dalla E,Davis CA, Detmar M, Diehl AD, Dohi T, Drabløs F, Edge AS, Edinger M, Ekwall K, Endoh M, EnomotoH, FagioliniM, FairbairnL, FangH, Farach-Carson MC, Faulkner GJ, Favorov AV, Fisher ME, Frith MC, Fujita R, Fukuda S, Furlanello C, Furino M, Furusawa J,Geijtenbeek TB, Gibson AP, Gingeras T, Goldowitz D, Gough J, Guhl S, Guler R,Gustincich S, Ha TJ, Hamaguchi M, Hara M, Harbers M, Harshbarger J, Hasegawa A,Hasegawa Y, Hashimoto T, Herlyn M, Hitchens KJ, Ho Sui SJ, Hofmann OM, Hoof I, Hori F, Huminiecki L, Iida K, Ikawa T, Jankovic BR, Jia H, Joshi A, Jurman G, Kaczkowski B,Kai C, Kaida K, Kaiho A, Kajiyama K, Kanamori-Katayama M, Kasianov AS, Kasukawa T,Katayama S, Kato S, Kawaguchi S, Kawamoto H, Kawamura YI, Kawashima T, Kempfle JS, Kenna TJ, Kere J, Khachigian LM, Kitamura T, Klinken SP, Knox AJ, Kojima M, Kojima S, Kondo N, Koseki H, Koyasu S, Krampitz S, Kubosaki A, Kwon AT, Laros JF, Lee W,Lennartsson A, Li K, Lilje B, Lipovich L, Mackay-Sim A, Manabe R, Mar JC, Marchand B,Mathelier A, Mejhert N, Meynert A, Mizuno Y, de Lima Morais DA, Morikawa H, Morimoto M, Moro K, Motakis E, Motohashi H, Mummery CL, Murata M, Nagao-Sato S, Nakachi Y,Nakahara F, Nakamura T, Nakamura Y, Nakazato K, van Nimwegen E, Ninomiya N,Nishiyori H, Noma S, Noma S, Noazaki T, Ogishima S, Ohkura N, Ohimiya H, Ohno H, Ohshima M, Okada-Hatakeyama M, Okazaki Y, Orlando V, Ovchinnikov DA, Pain A,Passier R, Patrikakis M, Persson H, Piazza S, Prendergast JG, Rackham OJ, Ramilowski JA, Rashid M, Ravasi T, Rizzu P, Roncador M, Roy S, Rye MB, Saijyo E, Sajantila A, Saka A, Sakaguchi S, Sakai M, Sato H, Savvi S, Saxena A, Schneider C, Schultes EA, Schulze-Tanzil GG, Schwegmann A, Sengstag T, Sheng G, Shimoji H, Shimoni Y, Shin JW, Simon C, Sugiyama D,

Sugiyama T, Suzuki M, Suzuki N, Swoboda RK, 't Hoen PA, Tagami M,Takahashi N, Takai J, Tanaka H, Tatsukawa H, Tatum Z, Thompson M, Toyodo H, Toyoda T, Valen E, van de Wetering M, van den Berg LM, Verado R, Vijayan D, Vorontsov IE,Wasserman WW, Watanabe S, Wells CA, Winteringham LN, Wolvetang E, Wood EJ,Yamaguchi Y, YamamotoM, YonedaM, Yonekura Y, Yoshida S, Zabierowski SE, Zhang PG, Zhao X, Zucchelli S, Summers KM, Suzuki H, Daub CO, Kawai J, Heutink P, Hide W,Freeman TC, Lenhard B, Bajic VB, Taylor MS, Makeev VJ, Sandelin A, Hume DA, Carninci P, Hayashizaki Y

4) Ceruloplasmin is a novel adipokine which is overexpressed in adipose tissue of obese subjects and in obesity-associated cancer cells . [PLoS One, 9 (3), (2014), e80274]

Arner E, Forrest AR, Ehrlund A, Mejhert N, Itoh M, Kawaji H, Lassmann T,Laurencikiene J, Rydén M, Arner P; FANTOM Consortium

5) Differential roles of epigenetic changes and Foxp3 expression in regulatory T cell-specific transcriptional regulation. [Proceedings of National Academy of Science USA, 111 (14), (2014), 5289-5294]

Morikawa H, Ohkura N, Vandenbon A, Itoh M, Nagao-Sato S, Kawaji H, Lassmann T,Carninci P, Hayashizaki Y, Forrest AR, Standley DM, Date H, Sakaguchi S; FANTOM Consortium

6) Expression and localization of laminin 5, laminin 10, type IV collagen, and amelotin in adult murine gingiva. [Journal of Molecular Histology, 45 (3), (2014), 293-302]

Sawada T, Yamazaki T, Shibayama K, Kumazawa K, Yakmaguchi Y, Ohshima M

7) CCL2 enhances pluripotency of human induced pluripotent stem cells by activating hypoxia related genes. [Scientific Reports, 4, (2014), 5228]

Hasegawa Y, Tang D, Takahashi N, Hayashizaki Y, Forrest AR; FANTOM Consortium, Suzuki H

8) High-frequency low-level diode laser irradiation promotes proliferation and migration of primary cultured human gingival epithelial cells. [Lasers in Medical Science, 29 (4), (2014), 1339-1347]

Ejiri K, Aoki A*, Yamaguchi Y, Ohshima M*, Izumi Y

9) Differential knockdown of TGF-β ligands in a three-dimensional co-culture tumor- stromal interaction model of lung cancer. [BMC Cancer, 14, (2014), 580]

Horie M, Saito A, Noguchi S, Yamaguchi Y, Ohshima M, Morishita Y, Suzuki HI, Kohyama T, Nagase T

10) An integrative analysis of the tumorigenic role of TAZ in human non-small cell lung cancer. [Clinical Cancer Research, 20 (17), (2014), 4660-4672]

Noguchi S, Saito A, Horie M, Mikami Y, Suzuki HI, Morishita Y, Ohshima M, Abiko Y, Mattsson JS, König H, Lohr M, Edlund K, Botling J, Micke P, Nagase T

11) The statistical geometry of transcriptome divergence in cell-type evolution and cancer. [Nat Commun, 6, (2015), 6066]

Liang C; FANTOM Consortium, Forrest AR, Wagner GP

12) Three-dimensional Co-culture Model for Tumor-stromal Interaction. [J Vis Exp, 96, (2015), e52469]

Horie M, Saito A, Yamaguchi Y, Ohshima M, Nagase T

13) Feasibility study of a salivary occult blood test to correlate with periodontal measures as indicators of periodontal inflammation in a population of pregnant women. [J Oral Sci, 57 (1), (2015), 55-58]

Reed SG, Manz MC, Snipe SM, Ohshima M, Wagner CL

14) Discovery of molecular markers to discriminate corneal endothelial cells in the human body. [PLoS One, 10 (3), (2015), e0117581]

Yoshihara M, Ohmiya H, Hara S, Kawasaki S; FANTOM consortium, Hayashizaki Y, Itoh M, Kawaji H, Tsujikawa M, Nishida K

15) Ultrastructural immunolocalization of laminin 332 (laminin 5) at dento-gingival interface in Macaca fuscata monkey. [Med Mol Morphol, 48 (2), (2015), 104-111]

Sawada T, Yamazaki T, Shibayama K, Yamaguchi Y, Ohshima M

著書

1) 最新 動物細胞培養の手法と細胞死・増殖不良・細胞変異を防止する技術．[情報技術協会,2014]
山口洋子，大島光宏，佐久間淳

総説・解説記事

1) 歯周炎薬物治療のパラダイムシフト．[日本薬理学雑誌, 141（6），(2013), 314-320]
大島光宏，山口洋子

2) 歯周炎の原因で新たな仮説．[Medical Tribune, 47（45），(2014), 6]
大島光宏

3) 新しい歯周炎の見方と多因子性疾患発症の BINGO モデル仮説．[医薬品相互作用研究, 38（2），(2014), 82-88]
大島光宏，山口洋子

4) 歯周炎治療のパラダイムシフト．[奥羽大学歯学誌, 42（1,2），(2015), 1-6]
大島　光宏

研究発表

生薬が担う歯周炎薬物療法のパラダイムシフト [医療薬学フォーラム 2014　第 22 回　クリニカルファーマシーシンポジウム]
（2014年06月28日）
歯周炎和漢薬療法のパラダイムシフト [第 31 回 和漢医薬学会学術大会シンポジウム 1]
（2014年08月30日 － 2014年08月31日）
がん浸潤モデルを用いた浸潤阻害剤の検討 [第８７回　日本生化学会大会]
（2014年10月15日 － 2014年10月18日）

担当授業科目

分子薬理学	2010年05月	－	継続中
生化学Ⅰ	2010年09月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本歯周病学会［評議員］	2011年04月	－	2016年03月

奥羽大学 薬学部 薬学科

竹元　万壽美

TAKEMOTO Masumi

薬学科

取得学位

博士　静岡県立大学

論文

1) The Enzymatic Synthesis of Theaflavin and Functionals against Lifestyle-related Disease. [AIMECS 11, 8th AFMC International Medicinal Chemistry Symposium, Tokyo, (2011)]

   Masumi Takemoto and Hiroaki Takemoto

2) Theaflavin attenuates ischemica-reperfusion injury in a mouse fatty liver model. [Biochemical and Biophysical Research Communications, 7, (2012), 287-293]

   Xiao-Yu　Luo, Terumi Takahara, Jiangang Hou, Kengo Kawai, Toshiro Sugiyama, Kazuhiro Tsukada, Masumi Takemoto, Masao Takeuchi, Liang Zhong, Xiao-Kang Li

3) The enzymatic manufacturing method of theaflavin tea and functionals against lifestyle-related disease. [Proceedings of The 5th International Conference on O-CHA (Tea) Culture and Science, (2013)]

   Masumi Takemoto, and Hiroaki Takemoto

4) Synthesis of Theaflavins with Camellia sinensis cell culture and inhibition of increase in blood sugar values in high-fat diet mice subjected to sucrose or glucose loadin. [Tetrahedron Lett ｅｒｓ, (55), (2014), 5038-5040]

   Masumi Takemoto, Hiroaki Takemoto, Asuka Sakurada

著書

1) 新版　茶の機能. [農文協,2013]

   竹元万壽美　他

2) 基礎有機化学問題集. [廣川書店,2013]

   廣田耕作、片岡貞、西井喜代治、竹元万壽美　他

3) 薬学生のための基礎化学. [廣川書店,2015]

   竹元万壽美, 中山尋量、岩木和夫　他

研究発表

酵素制御法の開発と応用展開ー立体選択的合成から食品製造まで [日本薬学会東北支部総会]
（2011年07月06日，仙台）

The Enzymatic Synthesis of Theaflavin and Functionals against Lifestyle-related Disease[AIMECS 11 (Tokyo)]
（2011年11月29日 － 2011年12月02日，Ｔｏｋｙｏ）

ストレス緩和作用を有するテアフラビン含有茶の開発 [第 15 回生体触媒化学シンポジウム（東京）]
（2011年12月21日 － 2011年12月22日，慶応大学）

生活習慣病を予防するテアフラビン含有食品の製造方法 [日本薬学会年会第 132 年会]
（2012年03月30日，札幌）

紅茶テアフラビンの鎮静作用 [日本薬学会東北支部第 51 会]
（2012年10月07日，青森）

ストレス緩和作用を有する紅茶テアフラビン含有茶の食品製造方法 [日本薬学会東北支部第 51 会]
（2012年10月07日，青森）

テアフラビンの人介 入試験 3 (抗疲労効果) [日本薬学会年会第 133 年会]
（2013年03月，横浜）
生活習慣病を予防するテアフラビン含有食品の製造方法 [日本薬学会年会第 133 年会]
（2013年03月，横浜）
テアフラビンの人介 入試験１ (血糖値上昇抑制活性) [日本薬学会年会第 133 年会]
（2013年03月，横浜）
テアフラビンの人介 入試験 2 (抗ストレス効果) [日本薬学会年会第 133 年会]
（2013年03月，横浜）
紅茶含有テアフラビンの鎮静作用及びストレス関連物質に対する影響 [　日本薬学会東北支部第 52 回]
（2013年10月20日，仙台）
単純作業時におけるテアフラビンの作業能率向上効果（ヒト介入試験）[日本薬学会東北支部第 52 回]
（2013年10月20日，仙台）
The Enzymatic Manufacturing Method of Theaflavin Tea and Functionals against Lifestyle-related Disease. [ICOS2013]
（2013年10月26日 － 2013年10月28日，静岡）
テアフラビンの人介入試験４（米飯負荷試験時の血糖値上昇抑制活性）[日本薬学会年会第 134 年会]
（2014年03月，熊本）
テアフラビンのヒト介入試験５（抗ストレス活性）[日本薬学会年会第 135 年会]
（2015年03月，神戸）

奥羽大学 薬学部 薬学科

山下　俊之

YAMASHITA Toshiyuki　　生年月日 1959年10月03日

薬学科

出身大学院

北海道大学・薬学研究科・薬学専攻・博士課程　1986年 中退

取得学位

博士 北海道大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 准教授［本務］	2006年10月	―	2013年03月
奥羽大学薬学部薬学科 教授［本務］	2013年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本薬学会

論文

1) Characterization of a monoclonal antibody, Namu mAb, which reacts to the subventricular zone in mouse brain.. [NeuroReport, 23 (14), (2012), 830-834]

Masaharu Kotani, Kouichi Itoh, Toshinori Ito, Toshiyuki Yamashita, and Masato Imada

研究発表

マスト細胞の高親和性 IgE 受容体を介するシグナル伝達 —受容体チロシンリン酸化の制御機構—[第 36 回東北薬学セミナー]
（2014年12月06日，宮城県仙台市）

リン酸化部位特異的抗体を用いた高親和性 IgE 受容体 γ 鎖のチロシンリン酸化の解析 [日本薬学会第 136 年会]
（2016年03月27日，横浜）

担当授業科目

生化学実習	2007年04月	―	継続中
基礎免疫学	2007年04月	―	継続中
内分泌学	2007年09月	―	継続中
臨床免疫学	2007年09月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

高橋　則男

TAKAHASHI Norio

薬学科

論文

1) 揮発性抗癌剤について．[逓信医学, 63（5）,（2011）, 309-314]

高橋　則男

2) シンバスタチン服用前後の脂質・血糖・血圧の変化：市販後調査データを用いた検討．[医薬品相互作用研究, 36（2）,（2012）, 15-20]

小原　拓，猪狩　有紀恵，小林　寛子，高橋　武，高橋　則男，岸川　幸生，村井　ユリ子，眞野　成康，高橋　将喜

3) 後発医薬品に対する薬剤師の認識：社団法人仙台市薬剤師会．[医薬品相互作用研究, 36（3）,（2013）, 7-11]

高橋　則男，小原　拓，猪狩　有紀恵，高橋　武，東二町　裕子，遠藤　孝，真野　成康，早坂　正孝，高橋　將喜，鎌田裕，北村　哲治

研究発表

後発医薬品に対する薬剤師の認識の変遷 [逓信医学年次大会]
（2012年11月）

シクロスポリン A による耐糖能異常発現機構と EPA 併用によるその改善効果の検討 [日本病院薬剤師会東北ブロック第 4 回学術大会 (2014)]
（2014年05月31日，仙台）

奥羽大学 薬学部 薬学科

井上　忠夫

Inoue Tadao

薬学科

取得学位

博士　共立薬科大学

所属学会・委員会

日本薬学会
日本医療マネジメント学会
日本クリニカルパス学会
日本医療薬学会
日本臨床腫瘍学会
日本癌治療学会

論文

1) ベイズ・メタ解析を用いた進行性胃がんに対する S-1 併用療法と 5-FU 併用療法の臨床評価. [日本病院薬剤師会雑誌, 48 (12), (2012), 1467-1470]

   伊與田 友和, 井上 忠夫, 山本 渉, 荒川 一郎, 上塚 芳郎

2) 大学病院における転倒転落事故の状況と外傷発生の影響要因　報告されたインシデントレポートの分析から. [安全医学, 9 (1), (2013), 15-23]

   中島 範宏, 金子 恵美子, 奥津 康祐, 加藤 多津子, 井上 忠夫, 上塚 芳郎

3) ベイズ・メタ解析を用いた転移性乳がんに対するラパチニブの臨床評価. [癌と化学療法誌, 41 (3), (2014), 347-352]

   井上 忠夫, 伊與田 友和, 山本 渉, 上塚 芳郎

4) がん化学療法における 5-HT3 受容体拮抗剤"パロノセトロン静注"の薬剤経済学的検討. [日本緩和医療薬学雑誌, 7 (2), (2014), 37-43]

   山西 由里子, 田島 博樹, 池田 俊也, 山田 治美, 井上 忠夫, 武田 弘志

著書

1) 問題解決技法に基づいた　がん薬物療法トレーニングブック. [じほう,2011]

   井上忠夫、野村久祥、橋本浩伸、岡澤美貴子

2) エビデンスに基づいたがん薬物療法エキスパートマニュアル. [総合医学社,2012]

   石岡千加史、井上忠夫

3) 臨床薬剤経済学. [篠原出版新社,2013]

   井上忠夫、上塚芳郎

4) 早引き　薬辞典. [ナツメ社,2014]

   西崎　純

総説・解説記事

1) 【抗がん剤外来治療コンセプトシート 2013】 各職種の役割　抗がん剤治療にかかわる薬剤師の教育と実践. [医学のあゆみ, 46 (9), (2013), 743-749]

井上忠夫

研究発表

Drug therapy of next generation for cancer: A meta-analysis on clinical evaluation of S-1 vs Fluorouracil in patients with advanced gastric cancer using Bayesian Modeling [日本臨床腫瘍学会学術集会]
（2011年07月21日 － 2011年07月23日）

エビデンスに基づいたがん薬物療法に対するレジメンの統合評価 [日本癌治療学会]
（2011年10月27日 － 2011年10月29日）

がん薬物療法評価：ベイズ統計を用いた乳がん患者における Lapatinib の臨床評価 [日本癌治療学会]
（2011年10月27日 － 2011年10月29日）

5-HT3 受容体拮抗剤の薬剤経済評価　モンテカルロシミュレーションによる分析 [日本薬剤疫学会学術総会]
（2011年11月05日 － 2011年11月06日）

がん薬物治療評価　ベイズ統計を用いた大腸がん患者における panitumumab の臨床評価 [日本薬学会年会]
（2012年03月28日 － 2012年03月31日）

大学病院における睡眠導入剤の処方傾向 [日本医療・病院管理学会]
（2012年10月18日 － 2012年10月19日）

切除不能進行・再発大腸癌患者における COX 及び SOX 療法の科学的な選択と評価：臨床判断分析法によるがん薬物療法の評価 [日本医療薬学会年会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日）

分子標的治療薬の無増悪生存期間 (PFS) は、生存期間 (OS) の代替指標となりうるか　Bayes Regression model による解析 [日本医療薬学会年会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日）

進行・再発大腸がん患者における panitumumab の臨床評価：ベイズ統計を用い た Number needed to treat (NNT) のメタ解析 [医療薬学フォーラム 2013 ／第 21 回クリニカルファーマシーシンポジウム]
（2013年07月20日 － 2013年07月21日）

A cost-effectiveness analysis of gemcitabine plus cisplatin vs gemcitabine only for Advanced Biliary Tract Cancer in Japan [ISPOR 16th Annual European Congress]
（2013年11月02日 － 2013年11月06日, Dublin, Ireland）

進行胆道癌に於ける Gemcitabine 療法/Cisplatin+Gemcitabine 療法に関する費用効果分析 [第 52 回日本癌治療学会学術集会]
（2014年08月28日 － 2014年08月30日）

ベイズ統計を用いた進行・転移性胃がん治療における Mixed treatment comparisions meta-analysis の臨床評価 [第 24 回日本医療薬学会年会]
（2014年09月27日 － 2014年09月28日, 名古屋国際会議場）

切除不能進行・再発胃がん患者における SP 及び XP 療法の臨床評価 [第 24 回日本医療薬学会年会]
（2014年09月27日 － 2014年09月28日, 名古屋国際会議場）

学会・委員会等活動

日本クリニカルパス学会［理事］	1999年06月	－	継続中
日本医療マネジメント学会［評議委員、編集委員］	2007年10月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

西屋　禎

NISHIYA Tadashi

薬学科

出身大学院

北海道大学・薬学研究科・博士課程　1999年 修了

取得学位

博士　北海道大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 教授［本務］　2014年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本生化学会
日本薬理学会
日本分子生物学会

論文

1) The ECS(SPSB) E3 ubiquitin ligase is the master regulator of the lifetime of inducible nitric-oxide synthase.. [Biochemical and Biophysical Research Communications, (2011)]

   Kazuma Matsumoto, Tadashi Nishiya, Satoshi Maekawa, Takahiro Horinouchi, Kouetsu Ogasawara, Takashi Uehara, Soichi Miwa

2) On-off system for PI3-kinase-Akt signaling through S-nitrosylation of phosphatase with sequence homology to tensin (PTEN).. [Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America, (2011)]

   Naoki Numajiri, Kumi Takasawa, Tadashi Nishiya, 他

3) Screening systems for the identification of S-nitrosylated proteins.. [Nitric Oxide, (2011)]

   Takashi Uehara, Tadashi Nishiya

4) Function and regulation of endothelin type A receptor-operated transient receptor potential canonical channels.. [Journal of Pharmacological Sciences, (2011)]

   Takahiro Horinouchi, Koji Terada, Tsunaki Higa, Hiroyuki Aoyagi, Tadashi Nishiya, Hiroyuki Suzuki, Soichi Miwa

5) Adenylate cyclase/cAMP/protein kinase A signaling pathway inhibits endothelin type A receptor-operated Ca^{2} 〓 entry mediated via transient receptor potential canonical 6 channels.. [Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics, (2012)]

   Takahiro Horinouchi, Koji Terada, Tsunaki Higa, Hiroyuki Aoyagi, Tadashi Nishiya, Hiroyuki Suzuki, Soichi Miwa

6) Nicotine- and tar-free cigarette smoke induces cell damage through reactive oxygen species newly generated by PKC-dependent activation of NADPH oxidase.. [Journal of Pharmacological Sciences, (2012)]

   Hiroshi Asano, Takahiro Horinouchi, Yosuke Mai, Osamu Sawada, Shunsuke Fujii, Tadashi Nishiya, Masabumi Minami, Takahiro Katayama, Toshihiko Iwanaga, Koji Terada, Soichi Miwa

7) NKG2D 〓 IFN-γ 〓 CD8 〓 T cells are responsible for palladium allergy. [PLoS One, (2014)]

   Mitsuko Kawano, Masafumi Nakayama, Yusuke Aoshima, Kyohei Nakamura, Mizuho Ono, Tadashi Nishiya, Syou Nakamura, Yuri Takeda, Akira Dobashi, Akiko Takahashi, Misato Endo, Akiyo Ito, Kyosuke Ueda, Naoki Sato, Shigehito Higuchi, Takeru Kondo, Suguru Hashimoto, Masamichi Watanabe, Makoto Watanabe, Tetsu Takahashi, Keiichi Sasaki, Masanori Nakamura, Takehiko Sasazuki, Takayuki Narushima, Ryuji Suzuki, Kouetsu Ogasawara

8) Correlation between attenuation of protein disulfide isomerase activity through S-mercuration and neurotoxicity induced by methylmercury.. [Neurotoxicity Research, (2015)]

Makino K, Nishiya T 他

研究発表

CDC14A は Elongin B/C-Cul5-SPSB 型 E3 ユビキチンリガーゼの基質である [第 85 回日本生化学会大会]
（2012年12月14日 － 2012年12月16日）

SPSB ファミリー蛋白質を介した CDC14A phosphatase のユビキチン—プロテアソーム依存的分解機構 [第 86 回日本薬理学会年会]
（2013年03月21日 － 2013年03月23日）

E3 ユビキチンリガーゼ “ ECS(SPSB) ” の新規基質の網羅的同定 [第 36 回日本分子生物学会年会]
（2013年12月03日 － 2013年12月06日）

E3 ユビキチンリガーゼ ECS(SPSB) の新規基質の網羅的探索 [第 87 回日本薬理学会年会]
（2014年03月19日 － 2014年03月21日）

新規 E3 ユビキチンリガーゼ ECS(SPSB) の基質同定 [第 134 回日本薬学会年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）

E3 ユビキチンリガーゼ ECS(SPSB) による転写制御因子 FOG-2 の寿命制御 [第 125 回日本薬理学会近畿部会]
（2014年06月20日）

担当授業科目

(薬) 特別実習	2014年04月	－	継続中
(薬) 新薬概論	2014年05月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習 II	2014年05月	－	継続中
(薬) 薬理学実習	2014年05月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習 I	2014年07月	－	継続中
(薬) 疾患薬理学III	2014年11月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本薬理学会［学術評議員］	2013年04月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

河野　晴一

KOHNO Haruichi　　生年月日 1954年01月01日

薬学科

取得学位

博士　北里大学

所属学会・委員会

日本病院薬剤師会
日本薬学会
日本臨床薬理学会
日本感染症学会
日本化学療法学会
日本ジェネリック医薬品研究会

担当授業科目

(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2014年04月	―	継続中
(薬) 病院・薬局事前実習	2014年04月	―	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2014年04月	―	継続中
(薬) ゲノム創薬概論	2014年05月	―	2014年06月
(薬) 病院・薬局実務実習	2014年07月	―	継続中
(薬) 生物薬剤学	2014年09月	―	継続中
(薬) 特別実習	2014年11月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

中村　郁子

NAKAMURA Ikuko

薬学科

取得学位

博士　東北大学

総説・解説記事

1) 青森大学実務実習報告ー実務実習発表会および学生アンケート調査結果. [医薬品相互作用研究, 35 (1), (2011), 35-38]

中村　郁子

2) 学生の報告が語る実務実習の成果と課題. [医薬ジャーナル, 49 (3), (2013), 174-177]

中村　郁子

3) 文献紹介. [医薬品相互作用研究, 38 (2), (2014), 128-129]

中村　郁子

研究発表

歯科における抗菌薬の使用傾向 (5)-私立歯科大学附属病院における使用実態調査 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 ー 2015年03月28日，神戸）

歯科における抗菌薬の使用傾向 (5)-私立歯科大学附属病院における使用実態調査 [歯科薬剤セミナー]
（2015年06月07日，東京）

担当授業科目

(薬) 医療薬剤学　2015年09月 ー 2016年01月

奥羽大学 薬学部 薬学科

山本　正雅

YAMAMOTO Naomasa

薬学科

論文

1) Soluble amyloid precursor protein 770 is released from inflamed endothelial cells and activated platelets: a novel biomarker for acute coronary syndrome. [J Biol Chem, (2012)]

   Kitazume S, Yoshihisa A, Yamaki T, Oikawa M, Tachida Y, Ogawa K, Imamaki R, Hagiwara Y, Kinoshita N, Takeishi Y, Furukawa K, Tomita N, Arai H, Iwata N, Saido T, Yamamoto N, Taniguchi N.

2) Soluble amyloid precursor protein 770 is a novel biomarker candidate for acute coronary syndrome. [Proteomics Clin Appl, (2013)]

   itazume S, Yoshihisa A, Yamaki T, Oikawa M, Tachida Y, Ogawa K, Imamaki R, Takeishi Y, Yamamoto N, Taniguchi N

3) Involvement of gangliosides in the process of Cbp/PAG phosphorylation by Lyn in developing cerebellar growth cones.. [J Neurochem, (2013)]

   Sekino-Suzuki N, Yuyama K, Miki T, Kaneda M, Suzuki H, Yamamoto N, Yamamoto T, Oneyama C, Okada M, Kasahara K

4) Novel Bernard-Soulier syndrome variants caused by compound heterozygous mutations (case I) or a cytoplasmic tail truncation (case II) of GPIb α. [Thrombosis Research, (2013)]

   Yamamoto N, Akamatsu N, Sakuraba H, Matsuno K, Hosoya R, Nogami H, Kasahara K, Mitsuyama S, Arai M

5) Clot retraction is mediated by factor XIII-dependent fibrin-α IIb β 3-myosin axis in platelet sphingomyelin-rich membrane rafts. [Blood, (2013)]

   Kasahara K, Kaneda M, Miki T, Iida K, Sekino-Suzuki N, Kawashima I, Suzuki H, Shimonaka M, Arai M, Ohno-Iwashita Y, Kojima S, Abe M, Kobayashi T, Okazaki T, Souri M, Ichinose A, Yamamoto N

6) An anti-sulfatide antibody O4 immunoprecipitates sulfatide rafts including Fyn, Lyn and the G protein α subunit in rat primary immature oligodendrocytes. [Glycoconj J, (2013)]

   Miki T, Kaneda M, Iida K, Hasegawa G, Murakami M, Yamamoto N, Asou H, Kasahara K

7) Update Review「血小板による血栓形成メカニズム研究の最新動向」. [実験医学, (2014)]

   笠原浩二、山本正雅

8) Rapid induction of the growth hormone gene transcription by glucocorticoids in vitro：possible involvement of membrane glucocorticoid receptors and phosphatidylinositol 3-kinase activation. [Journal of Neuroendocrinology, (2016)]

   H Nogami, N Yamamoto, Y Hiraoka, S Aiso, K Sugimoto, S Yoshida, F Shutoh, S Hisano

著書

1) 内蔵のしくみ・はたらき事典. [西東社,2011]

   野上晴雄、山本正雅、山口俊平

研究発表

Translocation of fibrin and myosin into platelet membrane rafts is an important process for clot retraction via a functional property of GPIIB/IIIA [International Society on Thrombosis and Haemostasis]
(2011年06月23日 － 2011年06月28日, Kyoto)

Acquired Bernard-Soulier syndrome/Glanzmann ’s Thrombasthenia caused by autoantibodies against [International Society on Thrombosis and Haemostasis]
（2011年06月23日 － 2011年06月28日）
血小板の血液凝固第 XIII 因子基質としてのビンキュリン分解産物 [日本生化学会関東支部例会]
（2011年06月25日）
血小板スフィンゴミエリン特異的膜ラフトへのフィブリン移行と血餅退縮 [日本血栓止血学会]
（2012年04月22日 － 2012年04月24日）
血小板スフィンゴミエリン特異的ラフトへのフィブリン移行と血餅退縮 [第７回スフィンゴテラピイ研究会]
（2012年07月13日）
血管内皮障害および血小板活性化にともなって放出される可溶型アミロイドβ前駆体タンパク質 770：急性冠症候群の新規マーカーとしての可能性 [第 85 回日本生化学会大会]
（2012年12月14日 － 2012年12月16日，福岡国際会議場）
血液凝固第 XIII 因子基質としての血小板ビンキュリン分解産物 [第３５回日本血栓止血学会学術集会]
（2013年05月31日）
血小板の血液凝固第 XIII 因子基質としてのビンキュリン分解産物 [第 5 回トランスグルタミナーゼ研究会&日本ポリアミン学会合同学術集会]
（2013年09月10日）
Electromagnetic irradiation to PRP by Pipetector preserves platelet ’ s viability [日本血液学会]
（2013年10月11日 － 2013年10月13日）
NMR パイプテクターの抗酸化作用がもたらす生体への影響 [マイクロダイアリシス研究会]
（2013年12月01日，東京お茶の水大学）
Clot retraction is mediated by factor XIII-dependent fibrin-alphaIIbbeta3-myosin axis in platelet sphingomyelin-rich membrane rafts. Keystone Symposia "New Frontier in the Discovery and Treatment of Thrombosis" [Keystone Symposia]
（2014年01月26日 － 2014年01月30日）
ケモカイン SDF-1 α の血小板脂質ラフトを介するシグナル伝達 [第 37 回日本血栓止血学会学術集会]
（2015年05月21日 － 2015年05月23日，甲府市総合市民会館）

奥羽大学 薬学部 薬学科

佐藤　栄作

Satoh Eisaku

薬学科

出身大学院

東北大学・薬学研究科・修士課程　1990年 修了

取得学位

博士　秋田大学
修士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 教授［本務］　2015年01月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬理学会
日本生化学会
日本循環器学会
日本心脈管作動物質学会

担当授業科目

(薬) 疾患薬理学Ⅱ　2015年04月　－　継続中
(薬) 新薬概論　2015年04月　－　継続中
(薬) 薬理学実習　2015年04月　－　継続中

学会・委員会等活動

日本薬理学会［評議員］　2004年04月　－　継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

山岸　丈洋

YAMAGISHI Takehiro

薬学科

出身大学院

東京薬科大学・薬学研究科・博士課程　1997年 修了

取得学位

博士　東京薬科大学

論文

1) Diastereoselective Synthesis of the Leu-Pro Type Phosphinyl Dipeptide Isostere.. [J. Org. Chem. , 76, (2011), 5472-5476]

   Yamagishi, T.; Tashiro, N.; Yokomatsu,

2) A Chemo-enzymatic Synthesis of Optically Active 1,1-Diethoxyethyl(aminomethyl)phosphinates: Useful Chiral Building Blocks for Phosphinyl Dipeptide Isosteres.. [Tetrahedron: Asymmetry, 22, (2011), 1358-1363]

   Yamagishi, T.; Mori, J.; Haruki, T.; Yokomatsu, T.

3) Diastereoselective Synthesis of Pro-Phe Phosphinyl Dipeptide Isosteres.. [Tetrahedron: Asymmetry, 23, (2012), 1633-1639]

   Yamagishi, T.; Kinbara, A.; Okubo, N.; Sato, S.; Fukaya, H.

4) A Safe and Scalable Procedure for Preparation of alpha-Picoline-Borane from Sodium Mono-acyloxyborohydrides and alpha-Picoline. . [Org. Process Res. Dev. , 16, (2012), 495-498]

   Kawase, Y.; Yamagishi, T.; Kutsuma, T.; Zhibao, H.; Yamamoto, Y.; Kimura, T.; Nakata, T.; Kataoka, T.; Yokomatsu,

5) Synthesis of Phenol Derivatives from Cyclohex-2-enones Bearing an Alkyne through Lewis Acid-Catalyzed Enolization and Intramolecular Alder-Rickert Reaction.. [J. Org. Chem., 77, (2012), 8999-9005]

   Kinbara, A.; Yamagishi, T.; Hanzawa, N.; Kawashima, E.; Miyaoka, H.

6) One-Pot Synthesis of Phenol Derivatives by the Novel Intramolecular Alder-Rickert Reaction: Effects of Aryl Substituent at the 3-Position of Cyclohexenone Derivatives on Reactivity.. [Chem. Pharm. Bull. , 61, (2013), 768-775]

   Kinbara, A.; Yamagishi, T.; Fujishige, T.; Miyaoka

7) Total Synthesis and Structural Revision of Incargutines A and B. . [Synlett, 24, (2013), 1998-2002]

   Kinbara, A.; Yamagishi, T.; Ouchi, H.; Miyaoka, H

8) Reductive Alkylation of Hydrazine Derivatives with alpha-Picoline-Borane and Its Application to the Synthesis of Useful Compounds Related to Active Pharmaceutical Ingredients. . [Synthesis, 46, (2014), 455-464]

   Kawase, Y.; Yamagishi, T.; Kato, J.; Kutsuma, T.; Kataoka, T.; Iwakuma, T.; Yokomatsu, T.

著書

1) 基礎有機化学問題集. [廣川書店,2013]

   廣田 耕作, 片岡　貞, 西出　喜代治

総説・解説記事

1)　リン原子の不斉を利用したホスフィニルジペプチドイソスターの立体制御合成. [薬学雑誌, 134, (2014), 915-924]
　　山岸　丈洋

研究発表

Pro-Phe 型ホスフィニルジペプチドイソスターの合成研究 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月，横浜）
(±)-Incargutine A 及び B の合成研究 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月，横浜）
分子内 Alder-Rickert 反応を用いた (±)-Incargutine A 及び B の全合成 [第 39 回反応と合成の進歩シンポジウム]
（2013年11月，福岡）
リン原子の不斉を利用したホスフィニルニルジペプチドイソスターの立体制御合成 [日本薬学会東北支部 第 35 回東北薬学セミナー]
（2013年11月30日，仙台）
(±)-Incargutine A 及び B の全合成と構造の訂正 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月，熊本）
ニッケル触媒を用いた H-ホスフィナートのアリール化反応の開発 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日，神戸）

担当授業科目

有機化学 I	2010年04月	－	継続中
薬化学実習	2010年06月	－	継続中
有機化学 II	2010年09月	－	継続中
(薬) 化学	2012年04月	－	継続中
(薬) 機器分析学	2012年09月	－	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

薬学教育モデル · コアカリキュラム改訂に関する調査研究チーム 2G グループ委員 ［活動区分 ：その他］	2012年09月	－	2013年09月

奥羽大学 薬学部 薬学科

伊藤　鍛

ITO Kitae

薬学科

出身大学院

東北大学・薬学研究科・修士課程　1986年 修了

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 准教授［本務］　2012年01月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本法中毒学会
日本医療薬学会

総説・解説記事

1) 南相馬市立総合病院薬局での東日本大震災の記録. [日本病院薬剤師会雑誌, (2011)]

伊藤　鍛

2) 東日本大震災でのある病院薬局での記録. [月刊薬事, (2011)]

伊藤　鍛ら

3) 奥羽大学薬学部の事前学習の概要. [医薬品相互作用研究, 38 (2), (2014), 31-35]

伊藤　鍛ら

研究発表

「東日本大震災とくすり」前半: 現場で何がおきたのか～「原発事故後に何がおきたか」～ [日本社会薬学会第 30 年会]
（2011年09月04日 － 2011年09月05日）

シンポジウム災害時における薬剤師の支援：過去から未来　震災でのある病院薬局の記録　～ 原発 23km 地点の病院で何が起きたか ～ [日本病院薬剤師会第 1 回東北ブロック学術大会]
（2011年11月26日 － 2011年11月27日）

含糖酸化鉄注射液（フェジン®静注）の分光測色計を用いた安定性試験 [第 18 回福島県薬剤師研究発表会]
（2012年10月21日）

学生アンケートによる 6 年制実務実習の問題点と今後の課題検討 [第 22 回日本医療薬学会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日）

実務実習事前学習における薬学生の手指衛生効果の検討 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月27日 － 2013年03月30日）

含糖酸化鉄注射液（フェジン®静注）の pH 変化と電解質溶液との配合変化について [第 68 回医薬品相互作用シンポジウム]
（2013年05月26日 － 2013年05月27日）

東日本大震災後の保険薬局における防災対策に関するアンケート調査 [第 19 回福島県薬剤師研究発表会]
（2013年11月03日）

薬学部における ALS シミュレーターを取り入れた事前学習の構築とその評価 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）

東日本大震災後の病院薬剤師における防災対策に関するアンケート調査 [日本病院薬剤師会東北ブロック第 4 回学術大会]
（2014年05月31日 － 2014年06月01日）

奥羽大学 薬学部 薬学科

伊藤　徳家

ITOH Noriie

薬学科

所属学会・委員会

日本薬学会
薬用植物栽培研究会
日本生薬学会

著書

1)　植物工場経営の重要課題と対策. [情報機構,2014]

伊藤　徳家、高辻　正基、古在　豊樹

2)　カラーグラフィック　薬用植物　第４版. [廣川書店,2015]

北中　進、寺林　進、高野　昭人

研究発表

甘草の国内栽培研究 [千葉県医薬品小売商業組合研修会]
（2012年07月01日）
甘草の栽培方法と甘草利用製品開発のポイント [情報機構　医薬セミナー]
（2013年09月09日）
国内栽培甘草の特性研究 [日本薬学会東北支部会]
（2013年10月20日）
薬用植物と色 [宮城県薬用植物園セミナー]
（2014年07月24日）

担当授業科目

(薬) 薬用植物学	2012年04月	―	継続中
(薬) 漢方薬学概論	2012年04月	―	継続中
(薬) 生薬学	2012年04月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

多根井　重晴

SHIGEHARU Tanei

薬学科

論文

1) 保険薬局における処方情報の入力から調剤薬に関する問合せまでの管理を目的とした総合的な調剤支援システムの構築と評価. [医療薬学, 39 (11), (2013), 668-674]

松波さおり, 山下修司, 窪田傑文, 多根井重晴, 井口和弘, 野口義紘, 水野直樹, 櫻井　潔, 杉山　正

2) 調剤鑑査システムの導入状況と付加機能に関するアンケート調査. [薬局薬学, 6 (1), (2014), 57-61]

松波さおり, 山下修司, 窪田傑文, 多根井重晴, 井口和弘, 野口義紘, 後藤絵美, 杉山　正

3) LED 照明下及び蛍光灯照明下における各種医薬品の色調変化. [医療薬学, 41 (3), (2015), 198-204]

山下修司，野口義紘，窪田傑文，井口和弘，青木慎也，多根井重晴，中村光浩，寺町ひとみ，杉山　正

4) Simultaneous phosphate and nitrite ions removal from aqueous solution by waste biomass derived from soybean. [Journal of Colloid Interface Science, (2015)]

緒方文彦, 多根井重晴, 川﨑直人

5) Follow-up Study on Behavior Modification by Specific Medical Checkup and Health Guidance. [日本健康体力栄養学会, (2015)]

緒方文彦, 多根井重晴、川﨑直人

著書

1) わかりやすい薬事関係法規・制度. [廣川書店,2015]

多根井重晴, 神村英利, 木方正, 佐藤拓夫, 安田一郎

2) 必須問題集. [評言社,2015]

多根井重晴, 鈴木順子

3) 薬学と社会. [評言社,2015]

多根井重晴, 山川洋平, 鈴木順子, 宮本法子

研究発表

ラジオ番組を利用した新たなコミュニケーション能力開発教育システムの構築 [日本社会薬学会]
(2014年09月14日 － 2014年09月15日，慶応義塾大学)

学園祭を利用した薬物乱用防止啓発活動—薬物乱用 防止教育を皆で考える [日本社会薬学会]
(2014年09月14日 － 2014年09月15日，慶応義塾大学)

小学校高学年における薬物乱用防止教育と医薬品適正使用の義務教育化における薬剤師の重要性 [日本薬剤師会学術大会]
(2014年10月12日 － 2014年10月13日，山形県)

ラジオ放送を利用した薬物乱用防止教育における情報提供と啓発活動 [日本薬剤師会学術大会]
(2014年10月12日 － 2014年10月13日，山形県)

薬物乱用防止啓発キャラバンカーを利用した教育の実践 [日本薬剤師会学術大会]
(2014年10月12日 － 2014年10月13日，山形県)

小中学生における薬物乱用防止教育　ドーピング防止教育と医薬品適正使用教育の関連性 [日本薬剤師会学術大会]
(2014年10月12日 － 2014年10月13日，山形県)

ラジオ番組を利用した薬物乱用防止啓発活動 [北陸信越薬剤師会・福井県薬剤師会学術大会]
(2014年11月02日 － 2014年11月03日，福井県)

担当授業科目

(薬) 薬事関係法規Ⅰ	2014年04月	―	2014年08月
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2014年04月	―	2015年01月
(薬) 薬事関係法規Ⅱ	2014年04月	―	2014年08月
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2014年09月	―	2014年12月
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2015年04月	―	2016年01月
(薬) 薬事関係法規Ⅰ	2015年04月	―	2015年08月
(薬) 薬事関係法規Ⅱ	2015年04月	―	2015年08月
(薬) 薬学と法	2015年09月	―	2016年01月
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2015年09月	―	2015年12月

学外の社会活動（高大・地域連携等）

中日新聞 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2012年06月
奈良県家庭薬配置商業組合, 奈良県薬務課 ［活動区分 ：公開講座］	2012年09月
岐阜市 ［活動区分 ：公開講座］	2012年09月
奈良県家庭薬配置商業組合, 奈良県薬務課 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2013年09月
奈良県家庭薬配置商業組合, 奈良県薬務課 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2014年09月
郡山市薬剤師会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2015年07月
市民公開講座 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2015年09月
奈良県家庭薬配置商業組合, 奈良県薬務課 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2015年09月
女性薬剤師会 ［活動区分 ：講演会・セミナー］	2015年10月

奥羽大学 薬学部 薬学科

和田　重雄

WADA SHIGEO

薬学科

所属学会・委員会

日本科学教育学会
日本サイエンスコミュニケーション協会
日本薬学会

作品

エンターテインメント型サイエンスショー	科学演劇	「翼を振り上げる筋肉を探せ」	2008年02月	― 継続中
エンターテインメント型サイエンスショー	科学演劇	「目指せ！ 色の鑑定士」	2010年09月	― 継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

第 21 回サイエンスショーフェスティバル「つばさを振り上げる筋肉を探せ」公演　2014年02月
［活動区分 ：ボランティア活動］
いわき市立小白井小中学校出張授業　2015年06月
［活動区分 ：小中高との連携］
益田さいえんすたうん２０１５　2015年07月
［活動区分 ：小中高との連携］

奥羽大学 薬学部 薬学科

石山　玄明

ISHIYAMA Haruaki

薬学科

出身大学院

北海道大学・薬学研究科・薬学専攻・修士課程　1996年 修了

北海道大学・薬学研究科・薬学専攻・博士課程　1999年 単位取得満期退学

取得学位

博士　北海道大学
修士　北海道大学

所属学会・委員会

日本薬学会
日本生薬学会
有機合成化学協会
日本がん学会
日本化学会
米国化学会

論文

1) Halichonadins K and L, new dimeric sesquiterpenoids from a sponge Halichondria sp.. [Org. Lett., 14, (2012), 3498-3501]

   N. Tanaka, S. Suto, H. Ishiyama, T. Kubota, A. Yamano, M. Shiro, J. Fromont, J. Kobayashi,

2) Enantioselective total synthesis of eudistomidins G, H, and I. [Tetrahedron, 68, (2012), 6186-6192]

   H. Ishiyama, K. Yoshizawa, J. Kobayashi

3) Heteroaromatic alkaloids, nakijinamines,from a sponge Suberites sp.. [Tetrahedron, 68, (2012), 8545-8550]

   Y. Takahashi, N. Tanaka, T. Kubota, H. Ishiyama, A. Shibasaki, T. Gonoi, J. Fromont, J. Kobayashi,

4) First total synthesis and absolute configuration of keramamine C. [Heterocycles, 86, (2012), 1009-1014]

   H. Ishiyama, Y. Mori, T. Matsumoto, J. Kobayashi

5) Synthesis of the C1-C7 and C8-C18 segments of ent-amphidinin A. [Heterocycles, 90, (2015), 1245-1273]

   Ishiyama, H.; Hangyou, M.; Nakatsu, A.; Mori, Y.; Kobayashi, J.

6) Amphidinin G, a putative biosynthetic precursor of amphidinin A from marine dinoflagellate Amphidinium sp.. [Tetrahedron Lett., 56, (2015), 990-993]

   Kubota, T.; Iwai, T.; Ishiyama, H.; Sakai, K.; Gonoi, T.; Kobayashi, J.

著書

1) パートナー天然物化学改訂第２版. [南江堂,2012]

   小林淳一, 石山玄明, その他

研究発表

Eudistomidin G, H, および I の立体化学解明のための全合成 [日本薬学会北海道支部第 138 回例会]
（2012年06月16日 － 2012年06月17日，札幌市）

Eudistomidin G, H, および I の立体化学解明のための全合成 [第 24 回札幌万有シンポジウム]
（2012年07月07日，札幌）

Eudistomidin G, H, I の立体化学解明のための全合成 [第 19 回天然薬物の開発と応用シンポジウム]
（2012年11月01日 － 2012年11月02日，大阪市）
ケラマミン C の絶対立体配置解明のための全合成 [日本生薬学会第 60 年会]
（2013年09月07日 － 2013年09月08日，北海道石狩当別町）
アンフィジニンAの立体化学解明を目指した合成研究 [日本生薬学会第 60 年会]
（2013年09月07日 － 2013年09月08日，北海道石狩当別町）

担当授業科目

(薬) 薬品製造学	2015年04月	－	2015年09月
(薬) 基礎科学実習	2015年04月	－	2016年03月
(薬) 化学 I	2015年04月	－	2015年09月
(薬) 薬化学実習	2015年06月		
(薬) 天然物化学	2015年09月	－	2016年03月
(薬) 薬品製造学実習	2015年10月		

奥羽大学 薬学部 薬学科

鈴木　康裕

SUZUKI Yasuhiro

薬学科

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 准教授［本務］　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬理学会
日本臨床薬理学会
日本薬学会
日本循環薬理学会
日本脳循環代謝学会
日本血栓止血学会
日本医療薬学会
日本病院薬剤師会

論文

1) Urokinase-type plasminogen activator contributes to heterogeneity of macrophages at the border of damaged site during liver repair in mice. [Thrombosis and Haemostasis, (2011)]

   Kawao Naoyuki, Nobuo Nagai, Yukinori Tamura, Kiyotaka Okada, Masato Yano, Yasuhiro Suzuki, Kazuo Umemura, Shigeru Ueshima, Osamu Matsuo

2) Edaravone completely inhibits gelatinase B production increased by the combination of tissue-type plasminnogen activator and reactive oxygen species in the brain endothelial cells.. [International Journal of Neuroscience, (2012)]

   Harada K, Suzuki Y, Yamakawa K, Kawakami J, Umemura K.

3) Urokinase-type plasminogen activator and plasminogen mediate activation of macrophages phagocytosis during liver repair in vivo. . [Thrombosis and Haemostasis, (2012)]

   Kawao Naoyuki, Nobuo Nagai, Yukinori Tamura, Yoshitaka Horiuchi, Katsumi Okumoto, Kiyotaka Okada, Masato Yano, Shigeru Ueshima, Yasuhiro Suzuki, Kazuo Umemura, Osamu Matsuo.

4) Recombinant tissue-type plasminogen activator transiently enhances blood-brain barrier permeability during cerebral ischemia through vascular endothelial growth factor-mediated endothelial endocytosis in mice.. [Journal of Cerebral Blood Flow and Metabolism, (2015)]

   Suzuki Y, Nagai N, Yamakawa K, Muranaka Y, Hokamura K, Umemura K.

総説・解説記事

1) Intracranial bleeding associated with the treatment of ischemic stroke: Thrombolytic treatment of ischemia-affected endothelial cells with tissue-type plasminogen activator.. [Journal of Pharmacological Science, (2011)]

   Yasuhiro Suzuki

2) Evaluation for antithrombotic agents by a thrombotic model in animals.. [Yasuhiro Suzuki, (2012)]

   Yasuhiro Suzuki

3) 2012 Hot Topics：血管バイオロジー部門. [日本血栓止血学会誌, (2013)]

   江藤浩之、鈴木康裕、藤井　聡　協力：遠藤　大（江藤研究室）

4) t-PA と MMP との関係. [Thrombosis Medicine, (2013)]

   鈴木康裕

研究発表

10) Urokinase-type plasminogen activator and plasminogen mediate accumulation of macrophages and their phenotype heterogeneity at the border region of damaged site during liver repair.［第 76 回日本インターフェロン・サイトカイン学会、第 19 回マクロファージ分子細胞生物学国際シンポジウム合同学会］
（2011年05月25日 － 2011年05月27日）

血栓動物病態モデルによる抗血栓薬の評価［第 57 回日本薬学会東海支部総会］
（2011年07月09日）

MMP-dependent and –independent mechanisms.［XXIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haemostasis.］
（2011年07月23日 － 2011年07月28日）

Impaired accumulation of macrophages and absence of their phenotype heterogeneity during liver repair in urokinase-deficient mice［XXIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haematosis (ISTH 2011) and 57th Annual SSC Meeting］
（2011年07月23日 － 2011年07月28日）

Tissue-type plasminogen activator transiently enhanced the permeability of blood brain barrier in ischemia.［XXIII Congress of the International Society on Thrombosis and Haematosis (ISTH 2011) and 57th Annual SSC Meeting］
（2011年07月23日 － 2011年07月28日）

胚性幹細胞の移植による血管の増加と脳傷害の縮小の促進［第 84 回日本生化学会大会］
（2011年09月21日 － 2011年09月24日）

肝障害部位へのマクロファージの集積および活性化における u-PA の役割［第 61 回日本薬学会近畿支部大会］
（2011年10月22日）

肝障害部位へのマクロファージの集積および活性化における u-PA の寄与［第 85 回日本薬理学会］
（2012年03月14日 － 2012年03月16日）

脳梗塞後の行動障害における内因性組織型プラスミノゲン活性化因子の役割［第 85 回日本薬理学会年会］
（2012年03月14日 － 2012年03月16日）

虚血性脳傷害後に伴う血管透過性亢進の時間的および空間的な差異に関する検討［第 89 回日本生理学会］
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）

肝修復過程のマクロファージの集積と活性化におけるウロキナーゼ型プラスミノゲンアクチベーターとプラスミノゲンの役割［第 89 回日本生理学会］
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）

脳傷害後の修復におけるプラスミノゲン遺伝子欠損の影響［第 34 回日本血栓止血学会］
（2012年06月07日 － 2012年06月09日）

肝修復過程における u-PA によるマクロファージの機能制御［第 34 回日本血栓止血学会］
（2012年06月07日 － 2012年06月09日）

脳障害後において組織型プラスミノゲン活性化因子はアドレナリン作動性神経の機能を調節する［第 86 回日本薬理学会年会］
（2013年03月21日 － 2013年03月23日）

Roles of the fibrinolytic system in recovery responses during liver repair.［第 35 回血栓止血学会］
（2013年05月30日 － 2013年06月01日）

組織型プラスミノーゲン活性化因子は虚血培養細胞内皮細胞において血管細胞増殖因子を誘導した［第 87 回日本薬理学会年会］
（2014年03月19日 － 2014年03月21日）

脳梗塞後の神経機能制御におけるプラスミノゲンの寄与の検討［第 35 回日本血栓止血学会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日）

脳梗塞に伴う傷害部位周辺での血管透過性の亢進におけるプラスミンの関与［第 35 回日本血栓止血学会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日）

脳梗塞における線溶因子組織プラスミノゲンアクチベーター (tPA) による神経機能障害への関与の検討［第 35 回日本血栓止血学会］
（2014年05月29日 － 2014年05月31日）

脳循環における線溶系因子による悪影響［生体機能と創薬シンポジウム 2014］
（2014年08月29日 － 2014年08月30日）

マウス中大脳動脈閉塞後の血液脳関門の加圧凍結法による電子顕微鏡観察［第 88 回日本薬理学会年会］
（2015年03月18日 － 2015年03月20日）

脳梗塞後の修復における tPA の関与［第 92 回日本生理学会大会］
（2015年03月21日 － 2015年03月23日）

組織型プラスミノーゲン活性化因子 (tPA) の脳梗塞後の組織的回復への関与の検討［第 37 回日本血栓止血学会学術集会］
（2015年05月21日 － 2015年05月23日）

担当授業科目

(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2015年04月	―	継続中
(薬) 薬品分析化学Ⅱ	2015年04月	―	2015年09月
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2015年04月	―	継続中
(薬) 薬品分析化学実習	2015年05月		
(薬) 特別実習	2015年06月	―	継続中
(薬) 基礎科学実習	2015年07月	―	継続中
(薬) 基礎科学演習Ⅰ	2015年07月	―	継続中
(薬) 日本薬局方	2015年09月	―	2016年03月
(薬) 薬学演習Ⅰ	2015年09月	―	継続中
(薬) 基礎分析化学	2015年09月	―	継続中

学会・委員会等活動

日本薬理学会［評議員］	2008年04月	―	継続中
日本血栓止血学会［代議員］	2013年09月	―	継続中
日本臨床薬理学会［評議員］	2013年12月	―	継続中
日本臨床薬理学会［認定指導薬剤師］	2014年01月	―	継続中
日本医療薬学会［認定指導薬剤師］	2015年01月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

伊藤　頼位

ITO Toshinori　　生年月日 1967年07月13日

薬学科

出身大学院

東京大学・人文社会系研究科・欧米系文化研究専攻・博士課程　1998年 単位取得満期退学

取得学位

修士　東京大学
学士　埼玉大学

学内職務経歴

奥羽大学■廃止組織■　講師［本務］	1998年04月	―	2005年03月
奥羽大学薬学部薬学科　講師［本務］	2005年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本英語学会
東北英文学会
日本英文学会
日本言語学会

論文

1) Characterization of a monoclonal antibody, Namu mAb, which reacts to the subventricular zone in mouse brain. [NeuroReport, 23 (14), (2012), 830-834]

Masaharu Kotani, Kouich Itoh, Toshinori Ito, Toshiyuki Yamashita, Masato Imada

2) A Novel Monoclonal Antibody Against Neuroepithelial and Ependymal Cells and Characteristics of Its Positive Cells in Neurospheres. [Cellular and Molecular Neurobiology, (2015), 1-16]

Masaharu Kotani, Yasunori Sato, Akemichi Ueno, Toshinori Ito, Kouichi Itoh, Masato Imada

---

著書

1) 旺文社オーレックス英和辞典第２版. [旺文社,2013]

伊藤頼位

担当授業科目

薬学英語 B	2011年04月	―	2011年08月
英語Ⅱ	2011年04月	―	2012年03月
英語Ⅱ	2011年04月	―	2012年03月
薬学英語 A	2011年04月	―	2011年08月
英会話 B	2011年09月	―	2012年03月
英会話 A	2011年09月	―	2012年03月

その他教育活動及び特記事項

クラス担任 ［活動区分 ：クラス担任］	2005年04月	―	継続中
CALL 演習用各種音声教材 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2005年04月	―	2013年03月
CALL システムを利用した英語学習の実践 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2005年04月	―	2013年03月
薬学基本英単語集 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2014年04月	―	継続中

学会・委員会等活動

東北英文学会［評議委員］	2010年01月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

志村　紀子

SHIMURA Noriko

薬学科

取得学位

博士　東京理科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科　講師［本務］　2006年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本核医学会
（社）日本アイソトープ協会
（独）医薬品医療機器総合機構　専門委員会
レギュラトリーサイエンス学会
福島県薬事審議会

論文

1) Mechanism of Pigmentation by Minocycline in Murine B16 Melanoma Cells. [YAKUGAKU ZASSHI, 131 (5), (2011), 731-738]

Emi Sato, Mitsutoshi Tsukimoto, Noriko Shimura, Akira Awaya, Shuji Kojima

2) Effects of low-dose-gamma rays on the immune system of different animal models of disease.. [Dose-Response, 12, (2014), 429-465]

Noriko Shimura, Shuji Kojima

著書

1) 2011-12 年版　薬事法規 · 制度及び倫理　解説. [薬事日報社,2011]

手島邦和、伊藤哲也、西沢元仁、古澤康秀、網岡克雄、喜多代晋、志村紀子、大室弘美、廣永哲夫、児玉康夫、遠藤一司

2) 薬剤師が知っておきたい法律 · 制度　キャリアデザインを考えて. [株式会社　じほう,2011]

白神誠、大室弘美、亀井美和子、志村紀子、早瀬幸俊、藤原英俊、八木直美

3) 2012-13 年版　薬事法規 · 制度及び倫理　解説. [薬事日報社,2012]

手島邦和、伊藤哲夫、西沢元仁、古澤康秀、網岡克雄、喜多代晋、志村紀子、大室弘美、廣永哲夫、児玉康夫、遠藤一司、松田勉、今地政美

4) 世界への薬事申請書の書き方　成功へのバイブル. [技術情報協会,2012]

北岡知子、川上浩司、川崎ナナ、志村紀子、小島幸一　他

5) 2013-14 年版　薬事法規 · 制度及び倫理　解説. [薬事日報社,2013]

手島邦和、伊藤哲夫、西沢元仁、古澤康秀、網岡克雄、喜多代晋、志村紀子、大室弘美、廣永哲夫、児玉康夫、遠藤一司、松田勉、今地政美

6) 2014-15 年版　薬事法規 · 制度及び倫理　解説. [薬事日報社,2014]

手島邦和、古澤康秀、志村紀子、大室弘美、遠藤一司、伊藤哲夫、西沢元仁、網岡克雄、喜多代晋、廣永哲夫、児玉康夫、松田勉、今地政美

7) 薬学領域の放射科学. [廣川書店,2015]

小池千恵子、小崎康子、志村紀子、杉本幹治、田口忠緒、塚田秀夫、氷見敏行、松野純男

8) 2015-16 年版　薬事法規 · 制度及び倫理　解説. [薬事日報社,2015]

手島邦和、古澤康秀、志村紀子、大室弘美、遠藤一司、松田勉、伊藤哲夫、西沢元仁、網岡克雄、喜多代晋、廣永哲夫、児玉康夫、今地政美、平山佳伸、渡邉伸一、高田吉弘

9) 医療機器の薬事申請入門. [薬事日報社,2015]

手島邦和、小泉和夫、入村和子、岩片正行、志村紀子

10) 放射薬品学. [株式会社　南江堂,2015]

小佐野博史、志村紀子、原武衛、坂本光、奈良場博昭、岸本成史、小原東也

総説・解説記事

1) MONITORING POST　日本薬学会第 133 年会　印象記. [Isotope News, 713, (2013), 22-23]

志村紀子

2) 本棚　セシウムの ABC. [Isotope News, 728, (2014)]

志村紀子

3) MONITERING POST 日本薬学会第 135 年会　印象記. [Isotope News , 736, (2015), 56-59]

志村紀子

研究発表

低線量放射線の生体影響ー免疫疾患との関係についての調査研究 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月27日 ー 2013年03月30日，横浜市）
生体に影響を及ぼす低線量放射線の線量限度に関する調査研究 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 ー 2014年03月30日，熊本市）
低線量放射線を用いた疾患治療に関する調査研究 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 ー 2015年03月28日，神戸市）

担当授業科目

放射化学	2006年06月	ー	継続中
放射化学実習	2006年09月	ー	継続中
基礎薬学演習	2006年11月	ー	継続中
医療薬学総論	2010年04月	ー	継続中
薬事関係法規 I	2010年04月	ー	継続中
くすりと法	2010年09月	ー	継続中
(薬) 物理学 II	2015年06月	ー	継続中

学会・委員会等活動

日本薬学会［学会員］	1084年12月	ー	継続中
日本核医学会［学会員］	1988年06月	ー	継続中
（社）日本アイソトープ協会［協会員］	1989年03月	ー	継続中
（独）医薬品医療機器総合機構　専門委員会［委員］	2006年08月	ー	継続中
レギュラトリーサイエンス学会［学会員］	2010年09月	ー	継続中

学外の社会活動（高大・地域連携等）

原子力規制委員会　登録資格講習　第 1 種放射線取扱主任者講習　講師 ［活動区分 ：その他］	2007年01月	ー	継続中
原子力規制委員会 · 登録資格講習　第 2 種放射線取扱主任者講習 ［活動区分 ：その他］	2012年04月	ー	継続中
原子力規制委員会　登録資格講習　第 3 種放射線取扱主任者講習 ［活動区分 ：その他］	2012年04月	ー	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

阿部　賢志

ABE Kenji

薬学科

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 講師［本務］　2005年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本免疫学会
日本薬学会
日本薬理学会
日本神経科学学会

論文

1) Evaluation of hyperalgesia in spared nerve injury model using mechanical, thermal and chemical stimuli in the mouse.. [Neurological Research, 33 (6), (2011), 656-662]

   Kenji Abe, Yuichi Fujii, Hiroshi Nojima

2) IgG anti-GalNAc-GD1a antibodies bind to neuromuscular junctions of rat hemidiaphragm. [MUSCLE & NERVE, 46 (5), (2012), 705-710]

   Nagaoka T., Hotta S., Chiba T., Utsunomiya I., Abe K., Yoshino H., Koshikawa C., Taguchi K.

3) Paclitaxel increases voltage-dependent calcium channel current in dorsal root ganglion neurons of rat.. [Journal of Pharmacological Sciences, 120, (2012), 187-195]

   Kawakami K, Chiba T, Katagiri N, Saduka M, Abe K, Utsunomiya I, Hama T, Taguchi K

4) Effect of sera from seronegative myasthenia gravis patients on neuromuscular junctions.. [Neurological Science, (2013)]

   Rumi Sato, Shiho Imamoto, Iku Utsnomiya, Terumasa Chiba, Kyoji Taguchi, Kenji Abe, Keiko Tanaka, Tadashi Miyatake

5) Effect of paclitaxel on transient receptor potential vanilloid 1 in rat dorsal root ganglion.. [PAIN, 154, (2013), 882-889]

   Tomomi Hara, Terumasa Chiba, Kenji Abe, Akiko Makabe, Souichi Ikeno, Kazuyoshi Kawakami, Iku Utsunomiya, Toshihiro Hama, Kyoji Taguchi

6) Neurophysiological and immunohistochemical studies of IgG anti-GM1 monoclonal antibody on neuromuscular transmission: effects in rat neuromuscular junctions. [Neurological Science, (2013)]

   Sayoko Hotta, Takumi Nagaoka, Kyoji Taguchi, Yoshihiko Nakatani, Iku Utsnomiya, Masuda Y, Kenji Abe, Nobuhiro Yuki

7) Properties of 3-methyl-TIQ and 3-methyl-N-propargyl-TIQ for preventing MPTP-induced parkinsonism-like symptoms in mice. [Pharmacological Reports, 65 (5), (2013), 1204-1212]

   Kanako Saitoh, Kenji Abe, Terumasa Chiba, Nobuyuki Katagiri, Toshiaki Saitoh, Yoshie Horiguchi, Hiroshi Nojima, Kyoji Taguchi

8) Withdrawal of repeated morphine enhances histamine-induced scratching responses in mice.. [Drug and Chemical Toxicology, (2014)]

   Kenji Abe, Kanayo Kobayashi, Saori Yoshino, Kyoji Taguchi, Hiroshi Nojima

9) Effects of IgG anti-GM1 monoclonal antibody on neuromuscular transmission and calcium channel binding in the rat neuromuscular junction.. [Experimental and Therapeutic Medicine, (2014)]

   Sayako Hotta, Yoshihiko Nakatani, Toshie Kanbe, Kenji Abe, Yutaka Masuda, Iku Utsunomiya, Kyoji Taguchi.

10) Effect of psilocin on the extracellular dopamine and serotonin levels in the mesoaccumbens and mesocortical pathway in awake rats.. [Biological and Pharmaceutical Bulletin, (2014)]

Yuichi Sakashita, Kenji Abe, Nobuyuki Katagiri, Toshie Kanbe, Toshiaki Saitoh, Iku Utsunomiya, Yoshie Horiguchi, Kyoji Taguchi.

11) Effects of 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline derivatives on dopaminergic spontaneous discharge in substantia nigra neurons in rats. [Pharmacology, (2014)]

Hikari Chiba, Haruka Sato, Kenji Abe, Toshiaki Saito, Yoshie Horiguchi, Hiroshi Nojima, Kyoji Taguchi

12) Transient receptor potential ankyrin 1 that is induced in dorsal root ganglion neurons contributes to acute cold hypersensitivity after oxaliplatin administration. [Molecular Pain, (2015)]

Ken Yamamoto, Noriko Chiba, Terumasa Chiba, Toshie Kambe, Kenji Abe, Kazuyoshi Kawakami, Iku Utsunomiya, Kyoji Taguchi

13) Paclitaxel-induced peripheral neuropathy increases substance P release in rat spinal cord.. [European Journal of Pharmacology, (2015)]

Terumasa Chiba, Yusuke Oka, Toshie Kambe, Naoya Koizumi, Kenji Abe, Kazuyoshi Kawakami, Iku Utsunomiya, Kyoji Taguchi

14) Oxaliplatin administration increases expression of the voltage-dependent calcium channel α 2 δ-1 subunit in the rat spinal cord.. [Journal of Pharmacological Sciences, (2016)]

Ken Yamamoto, Mayuko Tsuboi, Toshie Kambe, Kenji Abe, Yoshihiko Nakatani, Kazuyoshi Kawakami, Iku Utsunomiya, Kyoji Taguchi

15) Effects of 1-cyclohexyl- and 1-cyclohexyl-N-propargyl-1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline on dopaminergic spontaneous discharge in nigral neurons of rats.. [Brain Research Bulletin, (2016)]

Momoko Abe, Hiroko Munakata, Kenji Abe, Toshiaki Saito, Yoshie Horiguchi, Hiroshi Nojima, Kyoji Taguchi

研究発表

ビンクリスチン誘発末梢神経障害モデルラットにおける TRPV1 の関与 [第 5 回日本緩和医療薬学会年会]
（2011年09月24日 － 2011年09月25日）

パクリタキセル投与により誘発される末梢神経障害と TRPV1 の関与について [第 21 回日本医療薬学会年会]
（2011年10月01日 － 2011年10月02日）

標準模擬患者満足度に及ぼす要因分析 [日本薬学会第 132 年会]
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）

Eupenicillium brefeldianum IFM52669 の生産するインドール誘導体 [日本薬学会第 132 年会]
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）

ビンクリスチン頻回投与による末梢神経障害と Substance P の検討 [日本薬学会第 132 年会]
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）

GalNAc-GD1a 及び GM1 のラット横隔膜における免疫組織化学的検討 [日本薬学会第 132 年会]
（2012年03月29日 － 2012年03月31日）

オキサリプラチン誘発末梢神経障害モデルラットにおける Transient Receptor Potential の関与 [第 6 回日本緩和医療薬学会年会]
（2012年10月06日 － 2012年10月07日）

Effect of paclitaxel on transient receptor potential vanilloid 1 in rat dorsal root ganglion[第 86 回日本薬理学会年会]
（2013年03月21日 － 2013年03月23日）

モルヒネの投薬中止がマウスのヒスタミン誘発引っ掻き行動に及ぼす影響 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日）

MPTP 誘発パーキンソン病様症状に対する 3-methyl-1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の作用 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日）

ラット黒質ドパミン神経の自発発火に及ぼす 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の影響 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月28日 － 2013年03月30日）

Paclitaxel 誘発末梢神経障害モデルラットにおける脊髄 microglia および astrocytes の関与 [第 7 回日本緩和医療薬学会年会]
（2013年09月15日 － 2013年09月16日）

オキサリプラチン誘発末梢神経障害モデルラットの冷感過敏に対する TRPA1 の関与 [第 87 回日本薬理学会年会]
（2014年03月19日 － 2014年03月21日）
ラット黒質ドパミン神経の自発発火に及ぼす 1-cyclohexyl-および 1-cyclohexyl-N-propargyl-TIQ の影響 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月28日 － 2014年03月30日）
Paclitaxel により誘発される末梢神経障害と脊髄 TRPV1 の関与 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月28日 － 2014年03月30日）
Paclitaxel 誘発末梢神経障害モデルラットにおける脊髄での microglia 及び astrocytes の関与 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月28日 － 2014年03月30日）
マウスの腓腹神経結紮モデルにおける痛覚過敏の評価 [第 58 回日本薬学関東支部大会]
（2014年10月04日）
パクリタキセル誘発末梢神経障害モデルラットにおける脊髄での P2X4 受容体の関与 [第 58 回日本薬学関東支部大会]
（2014年10月04日）
オキサリプラチン誘発末梢神経障害における Ca2+チャネルサブユニット Ca α 2 δ 1 の関与 [第 58 回日本薬学関東支部大会]
（2014年10月04日）
腓腹神経結紮により誘発される痛覚過敏モデルマウスに対するコリン作動薬の鎮痛作用 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月26日 － 2015年03月28日）
マウスの掻痒モデルを用いた六味丸エキスの鎮痒作用 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月26日 － 2015年03月28日）
MPTP 誘発パーキンソン病様症状に対する 1,2,3,4-tetrahydroisoquinoline 誘導体の作用 － 官能基に関する検討 –[日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月26日 － 2015年03月28日）

担当授業科目

薬理学実習	2007年09月	－	継続中
特別実習	2007年11月	－	継続中
医薬品毒性学	2008年04月	－	継続中
臨床免疫学	2010年12月	－	2014年01月
疾患薬理学 I	2011年09月	－	継続中

学会・委員会等活動

日本薬理学会［評議員］	2013年04月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

木田　雄一

KIDA Yuichi

薬学科

出身大学院

東京工業大学・総合理工学研究科・物理情報工学専攻・修士課程　1999年 修了

東京工業大学・総合理工学研究科・物理情報システム創造専攻・博士課程　2001年 修了

取得学位

博士　東京工業大学
修士　東京工業大学
学士　工学院大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科　助手［本務］　2005年04月　－　2008年03月
奥羽大学薬学部薬学科　講師［本務］　2009年04月　－　継続中

所属学会・委員会

電子情報通信学会
国際光工学会 (SPIE)
米国電気電子学会 (IEEE)

論文

1) Theory of the optimum approximation of vector signals based on multi-input multi-output filter banks "jointly worked". [電子情報通信学会技術研究報告, 111 (12), (2011), 71-76]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

2) The optimum approximation of vector signals with a finite number of variables using multi-input multi-output filter banks "jointly worked". [電子情報通信学会技術研究報告, 111 (166), (2011), 7-12]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

3) The optimum reconstruction of vector signals using multi-input multi-output filter banks "jointly worked". [Proceedings of 2011 17th International Conference on Digital Signal Processing (DSP), (2011), 1-6]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

4) The optimum discrete scan-type approximation of low-pass type signals bounded by a measure like Kullback-Leibler divergence "jointly worked". [Mathematics of Data/Image Pattern Coding, Compression, and Encryption with Applications XIII, Proceedings of SPIE, 8136, (2011), 813606.1-813606.12]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

5) The optimum approximation of multidimensional vector signals by multi-input multi-output matrix filter banks "jointly worked". [Mathematics of Data/Image Pattern Coding, Compression, and Encryption with Applications XIII, Proceedings of SPIE, 8136, (2011), 81360A.1-81360A.12]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

6) The optimum running approximation of band-limited signals based on new concept of multi-legged-type signals in a hyper domain "jointly worked". [Mathematics of Data/Image Pattern Coding, Compression, and Encryption with Applications XIII, Proceedings of SPIE, 8136, (2011), 81360B.1-81360B.12]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

7) Extension of the concept of multi-legged-type signals to the optimum multidimensional running approximation of multidimensional band-limited signals "jointly worked". [Mathematics of Data/Image Pattern Coding, Compression, and Encryption with Applications XIII, Proceedings of SPIE, 8136, (2011), 813607.1-813607.12]

   Yuichi Kida, Takuro Kida

8) Theory of the optimum approximation of multi-input multi-output filter banks and trans-multiplexers "jointly worked". [電子情報通信学会技術研究報告, 111 (260), (2011), 237-242]

Yuichi Kida, Takuro Kida

9) The optimum approximation of vector-signals and estimation of the velocity of an object causing Doppler shift "jointly worked". [Proceedings of 2012 5th International Symposium on Communications Control and Signal Processing (ISCCSP), (2012), 1-5]

Yuichi Kida, Takuro Kida

10) A Simple Proof of the Generalized Optimum Continuous Running-Approximation Based on a Class of Multi-Legged-Type Signals "jointly worked". [Proceedings of 2012 IEEE 75th Vehicular Technology Conference (VTC Spring), (2012), 1-6]

Yuichi Kida, Takuro Kida

11) A theory of the optimum approximation of multiple-input multiple-output filter banks and trans-multiplexers "jointly worked". [Proceedings of the 1st International Conference on Communications, Signal Processing, and their Applications (ICCSPA ' 13), (2013), 1-6]

Yuichi Kida, Takuro Kida

12) IIR-FIR shift type filter bank that is perfect reconstruction in the beginning-part of a block signal "jointly worked". [電子情報通信学会技術研究報告, IEICE-113 (37), (2013), 67-72]

Yuichi Kida, Takuro Kida

13) Multi-dimensional filter bank systems achieving the highest performance of running approximation under given limited resources "jointly worked". [Proceedings of 2013 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communications Systems (ISPACS), (2013), 269-274]

Yuichi Kida, Takuro Kida

14) Running-approximation of input-operators of an operator-filterbank by output-operators in a bounded linear-operator-space "jointly worked". [電子情報通信学会技術研究報告, IEICE-114 (295), (2014), 13-18]

Yuichi Kida, Takuro Kida

15) The optimum running approximation of a matrix filterbank by pseudo inverse matrices "jointly worked". [Proceedings of 2015 IEEE International Conference on Signal and Image Processing Applications (ICSIPA), (2015), 520-525]

Yuichi Kida and Takuro Kida

研究発表

Efficient approximate classifier of linear graphs having filtered mutual entropy weights defined on a vertex-edge square array[生命医薬情報学連合大会]
(2012年10月14日 ー 2012年10月17日, タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀4-1-1))

Multi-Dimensional Filter Bank Systems Achieving the Highest Performance of Running Approximation Under Given Limited Resources[2013 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS 2013)]
(2013年11月12日 ー 2013年11月15日, Okinawa Jichi-Kaikan (116-37, Asahimachi, Naha, Okinawa 900-0029, JAPAN))

放射状の標本点を用いる最適内挿近似とその応用 [第 36 回 情報理論とその応用シンポジウム (SITA2013)]
(2013年11月26日 ー 2013年11月29日, 伊東ホテル聚楽, 静岡県伊東市 岡281)

The Optimum Approximation on Vector Filter Banks and Plain Expression and Classification Method of Directed Graphs With Self And Mutual Entropy[第 36 回 情報理論とその応用シンポジウム (SITA2013)]
(2013年11月26日 ー 2013年11月29日, 伊東ホテル聚楽, 静岡県伊東市 岡281)

1 次元目的関数への既定関数の組合せ最適化問題の最適近似理論に基づく研究 [電子情報通信学会 2014 総合大会]
(2014年03月18日 ー 2014年03月21日, 新潟大学 五十嵐キャンパス, 新潟市西区五十嵐2の町8050)

The Optimum Approximation of a Matrix-Filterbank based on a Polar-Decomposition in the Complex Frequency Domain[3rd Japan-Korea Joint Workshop on Complex Communication Sciences (JKCCS'14)]
(2014年10月27日 ー 2014年10月28日, ParadiseHotel Busan, 1408-5, Joong-Dong, Haeundae-Gu, Busan, Korea)

Theory of the Optimum Approximation in Operator-Filterbanks based on an Extension of Pseudo-inverse Matrix to Operator-Space[3rd Japan-Korea Joint Workshop on Complex Communication Sciences (JKCCS'14)]
(2014年10月27日 ー 2014年10月28日, ParadiseHotel Busan, 1408-5, Joong-Dong, Haeundae-Gu, Busan, Korea)

Theory of the Optimum Approximation in a Filterbank Based on Complex Frequency Analysis, and its Application [第 37 回 情報理論とその応用シンポジウム (SITA2014)]
（2014年12月09日 － 2014年12月12日，宇奈月ニューオータニホテル，富山県黒部市宇奈月温泉352番地7）
2 次元目的関数への既定関数の組合せ最適化問題の最適近似理論に基づく研究 [電子情報通信学会 2015 総合大会]
（2015年03月10日 － 2015年03月13日，立命館大学 びわこ· くさつキャンパス，滋賀県草津市野路東 1 丁目 1-1）
The optimum running approximation of a matrix filterbank by pseudo inverse matrices [2015 IEEE International Conference on Signal and Image Processing Applications (ICSIPA)]
（2015年10月19日 － 2015年10月21日，Pullman Kuala Lumpur Bangsar，Kuala Lumpur，Malaysia）
The Optimum Running Approximation of Signals Having Spectrums Expressed By Nonuniform Fourier Series [電子情報通信学会 第 30 回 信号処理シンポジウム]
（2015年11月04日 － 2015年11月06日，スパリゾートハワイアンズ、福島県いわき市常磐藤原町蕨平50）
最適内挿近似理論に基づくスペクトル補間による MRI 断層画像の画質向上の研究 [電子情報通信学会 第 30 回 信号処理シンポジウム]
（2015年11月04日 － 2015年11月06日，スパリゾートハワイアンズ、福島県いわき市常磐藤原町蕨平50）
多次元目的関数への既定関数の組合せ最適化問題の最適近似理論に基づく研究 [電子情報通信学会 2016 年 総合大会]
（2016年03月15日 － 2016年03月18日，九州大学 伊都キャンパス、福岡県福岡市東区箱崎6-10-1）

担当授業科目

総合薬学演習 I	2011年04月	－	2011年12月
情報科学	2011年04月	－	2011年06月
情報科学実習	2011年05月	－	2012年01月
事前学習 (調剤学実習)	2011年10月	－	2011年12月
(薬) 情報科学	2012年04月	－	2012年05月
(薬) 特別実習	2012年04月	－	2013年03月
(薬) 情報科学実習	2012年04月	－	2013年01月
(薬) 数学 II	2012年06月	－	2012年07月
(薬) 病院 · 薬局事前実習	2012年10月	－	2012年12月
(薬) 情報科学	2013年04月	－	2013年05月
(薬) 特別実習	2013年04月	－	2014年03月
(薬) 情報科学実習	2013年04月	－	2014年01月
(薬) 数学 II	2013年06月	－	2013年07月
(薬) 病院 · 薬局事前実習	2013年10月	－	2013年12月
(薬) 情報科学	2014年04月	－	2014年05月
(薬) 特別実習	2014年04月	－	2015年03月
(薬) 情報科学実習	2014年04月	－	2015年01月
(薬) 数学 II	2014年06月	－	2014年07月
(薬) 病院 · 薬局事前実習	2014年10月	－	2014年12月
(薬) 情報科学講義	2015年04月	－	2015年05月
(薬)IT 技能演習 I	2015年04月	－	2015年07月
(薬) 特別実習	2015年04月	－	2016年03月
(薬) 基礎薬学計算	2015年04月	－	2015年05月
(薬) 数学 I	2015年06月	－	2015年07月
(薬) 数学 II	2015年09月	－	2015年12月
(薬)IT 技能演習 II	2015年09月	－	2015年12月
(薬) 病院 · 薬局事前実習	2015年10月	－	2015年12月

学外の社会活動（高大・地域連携等）

薬学共用試験センター委員 システム検討委員会大学委員 ［活動区分 ：その他］	2007年04月	－	継続中
ロボット科学教室 ［活動区分 ：小中高との連携］	2015年08月		

奥羽大学 薬学部 薬学科

八巻　史子

YAMAKI Fumiko

薬学科

出身大学院

東邦大学・薬学研究科・博士課程　2004年 修了

取得学位

博士　東邦大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 講師［本務］　2006年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬理学会
日本神経科学学会

論文

1) The enhanced effect of losartan on parasympathetic neurotransmission of urinary bladder in pithed rats.. [Journal Pharmacological Sciences, (2013)]

   Yamaki F, Goukon M, Sato H, Hoshi K, Tamashiro Y, Takata Y.

2) Angiotensin AT1-receptor blockers enhance cardiac responses to parasympathetic nerve stimulation via presynaptic AT1 receptors in pithed rats.. [Journal Pharmacological Sciences, (2013)]

   Yamaki F, Arai T, Aoyama M, Watanabe A, Takata Y.

研究発表

The enhanced effect of losartan on parasympathetic neurotransmission of urinary bladder in pithed rats.[第86回日本薬理学会年会]
（2013年03月21日 － 2013年03月23日）

ロサルタンによる副交感神経刺激に伴う膀胱内圧上昇反応増強作用における ATP とアセチルコリン遊離の関与.[日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）

Time-dependent changes in the pelvic nerve activity in streptozotocin-induced type 1 diabetic rats.[第 88 回日本薬理学会年会]
（2015年03月18日 － 2015年03月20日）

担当授業科目

薬理学実習	2007年09月	－	継続中
基礎薬理学	2009年04月	－	継続中
内分泌学	2010年04月	－	継続中
疾患薬理学 I	2011年04月	－	2012年03月
新薬概論	2011年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

薬理学実習実習書の作成　2007年09月　－　継続中
［活動区分 ：教科書 · 教材の開発］

学会・委員会等活動

日本薬理学会［評議員］　2012年04月　－　継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

関　健二郎

SEKI Kenjiro

薬学科

取得学位

博士　新潟大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科　講師［本務］　2011年10月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本薬理学会
日本栄養・食糧学会

論文

1) Exendin-4 promotes the membrane trafficking of the AMPA receptor GluR1 subunit and ADAM10 in the mouse neocortex..［Regulatory Peptides, 1090-191, (2014), 1-11］

Nobuaki Ohtake, Mieko Saito, Masaaki Eto, Kenjiro Seki

2) 2 型糖尿病患者におけるシタグリプチンとベザフィブラート併用療法の血糖, 脂質, 肝腎機能に対する効果.［薬理と治療, 42 (10), (2014), 739-744］

斉藤美恵子, 大槻修平, 関健二郎, 瀧上茂, 衛藤雅昭

3) Lipopolysaccharide-induced depressive-like behavior is associated with α 1-adrenoceptor dependent down-regulation of the membrane GluR1 subunit in the mouse medial prefrontal cortex and ventral tegmental area..［International Journal of Neuropsychopharmacology, 18 (1), (2014), 1-12］

Miyu Sekio, Kenjiro Seki

4) Age-related decrease in glucagon-like peptide-1 in mouse prefrontal cortex but not in hippocampus despite the preservation of its receptor..［American Journal of BioScience, 3 (1), (2015), 11-27］

Ryo Ohshima, Kanae Hotsumi, Christian Holscher, Kenjiro Seki

5) The development of depression-like behavior is consolidated by IL-6-induced activation of locus coeruleus neurons and IL-1 β-induced elevated leptin levels in mice.［Psychopharmacology, (2015)］

Natsuki Kurosawa, Koh Shimizu, Kenjiro Seki

6) 長期隔離飼育マウスの攻撃性獲得と抑うつ症状発症に対するオイゲノール芳香の予防効果.［Aroma Research, 16 (4), (2015), 368-375］

佐藤佳澄、八代彩愛、関 健二郎

7) The role of the AMPA receptor and 5-HT3 receptor on aggressive behavior and depressive-like symptoms in chronic social isolation-reared mice.［Physiology & Behavior, 153, (2016), 70-83］

Koh Shimizu, Natsuki Kurosawa, Kenjiro Seki

研究発表

てんかん発作におよぼす海馬 AMPA 受容体 GluR2 および HCN1 チャネル発現制御機構を介したエストロゲンの効果［日本薬学会東北支部大会］
（2012年10月07日，青森大学）

17 β-estradiol によるマウス海馬 GluR2 サブユニットのセリン残基(Ser880)のリン酸化阻害及び internalization 阻害作用とてんかん重積発作後の生存率上昇効果に関する研究［日本薬理学会］
（2013年03月19日 － 2013年03月21日，仙台国際センター）

LPS によって誘発されるマウス前頭皮質および腹側被蓋野におけるアドレナリン α 1 受容体刺激を介した AMPA 受容体 GluR1 サブユニットの internalization と炎症性抑うつ症状の発症機序に関する研究［日本薬理学会］
（2013年03月19日 － 2013年03月21日，仙台国際センター）

アミロイド前駆体タンパク質及びシナプス可塑性に及ぼす GLP-1 受容体アゴニスト Exendin-4 の効果に関する研究 [日本薬理学会]
（2013年03月19日 － 2013年03月21日，仙台国際センター）
シクロスポリンによる耐糖能異常発現機構と EPA による改善効果の検討 [日本病院薬剤師会 東北ブロック第 4 回学術大会]
（2014年05月31日 － 2014年06月01日，仙台国際センター）
Lipopolysaccharide による抑うつ行動と脳内報酬系における α 1 受容体を介した AMPA 受容体 GluR1 サブユニットの internalization に関する研究 [日本薬理学会北部会]
（2014年09月26日 － 2014年09月27日，福島市）
老齢マウスにおける大脳皮質特異的 GLP-1 産生量の低下と CREB リン酸化を介した GLP-1 受容体刺激による大脳皮質シナプス可塑性促進作用 [日本薬理学会北部会]
（2014年09月26日 － 2014年09月27日，福島市）
シクロスポリンによる耐糖能異常発現機構とエイコサペンタエン酸の抗炎症作用による薬剤惹起性の耐糖能異常改善効果の検討 [日本医療薬学会年会]
（2014年09月27日 － 2014年09月28日，名古屋国際会議場）
抑うつ症状発症における IL-6 に依存した青斑核ノルアドレナリン神経の活性化と IL-1 β によるレプチン濃度上昇の関与 [日本薬理学会]
（2015年03月18日 － 2015年03月21日，名古屋国際会議場）
GLP-1 受容体刺激によるシナプス可塑性促進作用と老齢マウスにおける大脳皮質特異的 GLP-1 産生量低下に関する研究 [日本薬理学会]
（2015年03月18日 － 2015年03月21日，名古屋国際会議場）
マウス長期隔離飼育による衝動的攻撃性の獲得と視床下部及び中脳水道周囲灰白質における 5-HT3 受容体発現レベルの低下に関する研究 [日本薬理学会]
（2015年03月18日 － 2015年03月21日，名古屋国際会議場）

担当授業科目

疾患薬理学III	2011年10月	－	2014年03月
総合薬学演習 II	2011年10月	－	継続中
(薬) 特別実習	2012年01月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習 I	2012年04月	－	継続中
(薬) 薬理学実習	2012年05月	－	継続中
(薬) 疾患薬理学 I	2012年09月	－	継続中
(薬) 基礎薬学演習	2014年09月	－	継続中
(薬) 新薬概論	2015年04月	－	継続中
(薬) フレッシュマンセミナー	2015年04月		
(薬) 基礎科学実習	2015年12月		

学外の社会活動（高大・地域連携等）

奥羽大学公開講座　2012年10月
［活動区分 ：公開講座］
会津 · 街なかライブ　2013年06月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］
平成 25 年度歯と薬の健康講座　2013年08月
［活動区分 ：講演会 · セミナー］

奥羽大学 薬学部 薬学科

佐藤　亜希子

SATOU Akiko

薬学科

学内職務経歴

奥羽大学歯学部附属病院 職員（医療系）［兼務］　2012年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本生化学会
日本分子生物学会
日本病院薬剤師会
日本医療薬学会

総説・解説記事

1)　文献紹介. [医薬品相互作用研究, ３６（１）, (2012)]

佐藤亜希子

研究発表

昨年度の一包化実習を振り返る [第 18 回福島県薬剤師研究発表会]
（2013年11月03日，奥羽大学）

昨年度の一包化実習を振り返る [日本薬学会第１３４年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日，熊本）

1 年生基礎生物学講義においてブロッコリーから DNA を抽出する手作り動画を見せたことは遺伝子に対する興味を誘導するのか？ [第 24 回日本医療薬学会年会]
（2014年09月27日 － 2014年09月28日，名古屋）

１年生基礎生物学の試験で正解者が１名だった問題内容の紹介（考える力を見た）[第 25 回日本医療薬学会年会]
（2015年11月21日 － 2015年11月23日，横浜）

担当授業科目

(薬) 医療薬学総論	2012年04月	－	継続中
(薬) 特別実習	2012年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2012年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2012年04月	－	継続中
(薬) 薬局管理学	2012年06月	－	2012年07月
(薬) 病院・薬局事前実習	2012年09月	－	継続中
(薬) 基礎生物学	2013年04月	－	2014年06月
(薬) フレッシュマンセミナー	2015年04月		

その他教育活動及び特記事項

病院・薬科系大学に勤務する薬剤師のための臨床研究セミナー２０１２受講 ［活動区分 ：実務の経験を有する者についての特記事項］	2012年11月	－	継続中
日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師 ［活動区分 ：実務の経験を有する者についての特記事項］	2013年03月	－	継続中
日本静脈経腸栄養学会認定　教育セミナー（2013 年春期コ・メディカル教育セミナー東京）修了 ［活動区分 ：実務の経験を有する者についての特記事項］	2013年04月	－	継続中
病院・大学・薬局薬剤師のための臨床研究セミナー２０１３受講 ［活動区分 ：実務の経験を有する者についての特記事項］	2014年01月	－	継続中
第 37 回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ修了 ［活動区分 ：その他特記事項］	2014年08月	－	継続中
日本医療薬学会　平成 27 年第 2 回薬物療法専門薬剤師集中講義受講 ［活動区分 ：実務の経験を有する者についての特記事項］	2015年12月	－	継続中
奥羽大学研究倫理に関するセミナー受講 ［活動区分 ：その他特記事項］	2015年12月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

渡邉　哲也

TETSUYA Watanabe

薬学科

出身大学院

城西大学・薬学研究科・博士課程　2002年 修了

取得学位

博士　城西大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部　講師［本務］　2015年04月　－　継続中

著書

1) 次世代経皮吸収型製剤の開発と応用. [株式会社シーエムシー,2011]

渡邉哲也, 他

2) 皮膚の測定評価法バイブル. [株式会社技術情報協会,2013]

渡邉哲也, 小西良士　他

3) 注射剤 · 経口製剤に代わる新しい薬剤投与デバイスの開発. [株式会社技術情報協会,2014]

渡邉哲也, 小西良士　他

担当授業科目

(薬) 生物薬剤学　2015年04月　－　継続中
(薬) 薬物送達システム概論　2015年04月　－　継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ　2015年04月　－　継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅰ　2015年04月　－　継続中
(薬) 薬剤学実習　2015年06月

奥羽大学 薬学部 薬学科

佐藤　安訓

SATO Yasunori　　生年月日 1981年03月11日

薬学科

出身大学院

東邦大学・薬学研究科・博士課程　　2010年 修了

取得学位

博士　東邦大学
修士　東邦大学
学士　東邦大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 助手［本務］　2010年04月 － 2011年03月
奥羽大学薬学部薬学科 助教［本務］　2011年04月 － 継続中

所属学会・委員会

日本基礎老化学会
日本薬学会
日本栄養・食糧学会
日本ビタミン学会
日本生化学会

論文

1) Ascorbic Acid Deficiency Leads to Epidermal Atrophy and UVB-Induced Skin Pigmentation in SMP30/GNL Knockout Hairless Mice. [Journal of Investigative Dermatology, (2012)]

   Sato Y, Arai KY, Nishiyama T, Nomura Y, Kishimoto Y, Aizawa S, Maruyama N, Ishigami A

2) Effects of ascorbic acid deficiency on protein and lipid oxidation in livers from SMP30/GNL knockout mice. [Journal of Nutritional Science and Vitaminology, (2013)]

   Amano A, Sato Y, Kishimoto Y, Takahasi K, Handa S, Aigaki T, Maruyama N, Ishigami A

3) Vitamin C prevents cigarette smoke-induced pulmonary emphysema in mice and provides pulmonary regeneration. [American journal of respiratory cell and molecular biology, (2014)]

   Koike Y, Ishigami A, Sato Y, Hirai T, Yuan Y, Kobayashi E, Tobino K, Sato T, Sekiya M, Takahasi K, Fukuchi Y, Maruyama N, Seyama K

4) Ascorbic acid prevents protein oxidation in livers of SMP30/GNL knockout mice. [Geriatrics & Gerontology International, (2014)]

   Sato Y, Amano A, Kishimoto Y, Takahashi K, Handa S, Maruyama N, Ishigami A

5) Luteolin attenuates Doxorubicin-induced cytotoxicity to mcf-7 human breast cancer cells. [Biological and Pharmaceutical Bulletin, (2015)]

   Sato Y, Sasaki N, Saito M, Endo N, Kugawa F, Ueno A

6) A novel monoclonal antibody against neuroepithelial and ependymal cells and characteristics of its positive cells in neurospheres.. [Cellular and Molecular Neurobiology, (2015)]

   Kotani M, Sato Y, Ueno A, Ito T, Ito K, Imada M

総説・解説記事

1) ビタミン C 欠乏は表皮萎縮および UVB 照射による色素沈着を増加する：SMP30/GNL-ノックアウトヘアレスマウスでの解析.［ビタミン, (2013)］

佐藤安訓, 新井浩司, 西山敏夫, 野村義宏, 岸本祐樹, 相澤真悟, 丸山直記, 石神昭人

学会・委員会等活動

日本薬学会［東北支部会　幹事］　2013年02月　－　2014年01月

奥羽大学 薬学部 薬学科

大原　宏司

OHARA Hiroshi

薬学科

取得学位

博士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部 助教［本務］　2012年02月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会
日本分子生物学会
日本研究皮膚科学会
日本医療薬学会
医薬品相互作用研究会
福島県病院薬剤師会郡山支部
日本医薬品情報学会
郡山薬剤師会

論文

1) Nickel differentially regulates NFAT and NF-κ B activation in T cell signaling.. [Toxicology and Applied Pharmacology, 254 (3), (2011), 245-255]

Rumiko Saito, Satoshi Hirakawa, Hiroshi Ohara　Other

2) Dual oxidase 1 induced by Th2 cytokines promotes STAT6 phosphorylation via oxidative inactivation of protein tyrosine phosphatase 1B in human epidermal keratinocytes.. [Journal of immunology, 186 (8), (2011), 4762-4770]

Satoshi Hirakawa, Rumiko Saito, Hiroshi Ohara　Other

3) 奥羽大学薬学部の事前学習の概要. [医薬品相互作用研究, 38 (2), (2014), 31-35]

伊藤　鍛, 大原　宏司, 早坂　正孝

総説・解説記事

1) Differential pharmacology and benefit/risk of azilsartan compared to other sartans. [医薬品相互作用研究, 36 (1), (2012), 65-67]

大原宏司、戸上紘平、佐藤亜希子、多田均

研究発表

含糖酸化鉄注射液（フェジン®静注）の分光測色計を用いた安定性試験 [第 18 回福島県薬剤師研究発表会]
（2012年10月21日，福島）
学生アンケートによる 6 年制実務実習の問題点と今後の課題検討 [第 22 回日本医療薬学会]
（2012年10月27日 － 2012年10月28日，新潟）
実務実習事前学習における薬学生の手指衛生効果の検討 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月27日 － 2013年03月30日，横浜）
含糖酸化鉄注射液（フェジン®静注）の pH 変化と電解質溶液との配合変化について [第 68 回医薬品相互作用シンポジウム]
（2013年05月25日 － 2013年05月26日，山形）
葉酸と出生児の神経管閉鎖障害リスク抑制に関する薬学生の認識 [第 16 回日本医薬品情報学会総会 · 学術大会]
（2013年08月10日 － 2013年08月11日，名古屋）
病院薬剤師における院内感染防止対策業務に関する実態調査（報告①）[第 23 回日本医療薬学会]
（2013年09月21日 － 2013年09月22日，仙台）

病院薬剤師における院内感染防止対策業務に関する実態調査（報告②）[第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台）
病院薬剤師における院内感染防止対策業務に関する実態調査（報告③）[第 19 回福島県薬剤師研究発表会]
（2013年11月03日，福島）
東日本大震災後の保険薬局における防災対策に関するアンケート調査 [第 19 回福島県薬剤師研究発表会]
（2013年11月03日，福島）
成分栄養剤用フレーバー添加時の浸透圧上昇リスクは予測できるか？ [日本病院薬剤師会東北ブロック第 3 回学術大会]
（2013年11月16日 － 2013年11月17日，秋田）
看護師免許を持つ薬剤師による薬学生に対する看護理論教育の有用性について [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日，熊本）
薬学部における ALS シミュレーターを取り入れた事前学習の構築とその評価 —Plus/Delta 法を用いた症例振り返り並びに他症例事象を検討することの有用性について—[日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日，熊本）
シクロスポリンによる耐糖能異常発現機構と EPA による改善効果の検討 [日本病院薬剤師会東北ブロック第 4 回学術大会]
（2014年05月31日 － 2014年06月01日，仙台）
東日本大震災後の病院薬剤師における防災対策に関するアンケート調査 [日本病院薬剤師会東北ブロック第 4 回学術大会]
（2014年05月31日 － 2014年06月01日，仙台）
東日本大震災後の病院薬剤師における防災対策に関する アンケート調査（報告②）[第 53 回日本薬学会東北支部会]
（2014年10月05日，いわき）
ヒト肺線維芽細胞の遊走性に関する研究 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日，神戸）
アレグラ錠及びディレグラ錠の用法の違い に関する薬物動態学的考察 [日本薬学会北海道支部会]
（2015年05月16日 － 2015年05月17日，北海道）
割線入りジルチアゼム徐放性製剤の 半割による溶出挙動の変化 [日本病院薬剤師会東北ブロック第 5 回学術大会]
（2015年06月06日 － 2015年06月07日，山形）
日本および米国における薬剤師の臨床試験の論文利用に関する意識調査 [第 18 回日本医薬品情報学会 · 総会学術大会]
（2015年06月27日 － 2015年06月28日，岡山）
新規 PPN 製剤パレプラス輸液の物理化学的性質に関する検討 [第 18 回　日本注射薬臨床情報学会]
（2015年09月05日，三重県）
Biotin Promotes the Growth of Candida albicans in Parenteral Nutrition Solutions wituout Lipid [European Society for Clinical Nutrition and Metabolism]
（2015年09月05日 － 2015年09月08日，Lisbon）

担当授業科目

(薬) 医療薬学総論	2012年04月	－	継続中
(薬) 病院 · 薬局実務実習	2012年04月	－	継続中
(薬) 病院 · 薬局事前実習	2012年09月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

実務実習事前学習における薬学生の手指衛生効果の検討 ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2012年10月	－	継続中
薬学部における ALS シミュレーターを取り入れた事前学習の構築とその評価 —Plus/Delta 法を用いた症例振り返り並びに他症例事象を検討することの有用性について— ［活動区分 ：教育方法 · 実践に関する発表、講演］	2013年10月	－	継続中

学会・委員会等活動

医薬品相互作用研究会［第 67 回医薬品相互作用研究会シンポジウム実行委員及び事務局］	2012年05月		
郡山薬剤師会［薬学実務実習方略検討カンファレンス　研修会運営委員］	2013年12月		
福島県病院薬剤師会郡山支部［薬学生実務実習担当委員］	2014年04月	－	継続中
郡山薬剤師会［医薬分業対策委員］	2014年04月	－	継続中
福島県病院薬剤師会郡山支部［病診委員］	2014年04月	－	継続中
郡山薬剤師会［郡山版お薬手帳作成事業　実行委員］	2014年07月	－	継続中
郡山薬剤師会［第 37 回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ タスクフォース］	2014年08月		
郡山薬剤師会［厚生労働省予算事業（薬局 · 薬剤師を活用した健康情報拠点推進事業）　実行委員］	2014年11月	－	2015年01月

郡山薬剤師会［第 41 回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ　2015年10月
タスクフォース］

奥羽大学 薬学部 薬学科

中楯　奨

NAKADATE Shou

薬学科

出身大学院

星薬科大学・薬学研究科・修士課程　2005年 修了

取得学位

博士　星薬科大学
修士　星薬科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部 助手［本務］	2005年04月	―	2012年03月
奥羽大学歯学部 奥羽大学歯学部附属病院薬剤師［兼務］	2007年08月	―	2007年11月
奥羽大学薬学部 助教［本務］	2012年04月	―	継続中

所属学会・委員会

日本薬学会

論文

1) An Antifungal Substance isolated from Eupenicillium javanicum IFM 58214. [Mycotoxins, 61 (2), (2011), 41-45]

Shou NAKADATE, Kohei NOZAWA, Takashi YAGUCHI

2) Two new eujindoles, from Eupenicillium javanicum. . [Heterocycles, 83 (8), (2011), 1867-1871]

S. Nakadate, K. Nozawa and T. Yaguchi

研究発表

Eupenicillium brefeldianum IFM 52669 の生産するインドール誘導体 [日本薬学会第 132 年会]
（2012年03月28日 ― 2012年03月31日，札幌）

パイプテクターによる PRP への電磁波の照射は血小板のバイアビリティを延長する [第 75 回日本血液学会学術集会]
（2013年10月11日 ― 2013年10月13日，札幌）

国内栽培カンゾウの特性研究 (第一報) [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台）

パイプテクターの抗酸化作用がもたらす生体への影響 [第 24 回マイクロダイアリシス研究会]
（2013年12月14日，お茶の水女子大学）

担当授業科目

薬化学実習	2006年04月	―	2012年05月
生薬学実習	2011年10月	―	2011年11月
(薬) 基礎化学	2012年04月	―	2012年08月
(薬) 総合薬学演習 II	2012年04月	―	2013年02月
(薬) 総合薬学演習 I	2012年04月	―	2013年01月
(薬) 基礎化学	2013年04月	―	2013年08月
(薬) 総合薬学演習 I	2013年04月	―	2014年02月
(薬) 総合薬学演習 II	2013年04月	―	2014年02月
(薬) 生薬学実習	2013年10月	―	2013年11月
(薬) 基礎化学	2014年04月	―	2014年08月
(薬) 総合薬学演習 I	2014年04月	―	2015年01月
(薬) 総合薬学演習 II	2014年04月	―	2015年02月
(薬) 総合薬学演習 II	2015年04月	―	2016年02月
(薬) 総合薬学演習 I	2015年04月	―	2016年01月
(薬) 薬品分析化学実習	2015年05月		
(薬) 数学 I	2015年06月	―	2015年07月
(薬) 薬化学実習	2015年06月		
(薬) 機器分析学	2015年09月	―	2016年02月

(薬) 薬品製造学実習	2015年10月		
(薬) 生薬学実習	2015年10月	―	2015年11月

その他教育活動及び特記事項

ミニレポート・ミニテストの実施 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2006年04月	―	2012年05月
実習書の作成・改訂 ［活動区分 ：教科書・教材の開発］	2006年04月	―	2012年05月
プレレポートの実施 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年04月	―	2012年05月
学生による授業評価の実施 ［活動区分 ：教育内容・方法の工夫］	2007年04月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

小野　哲也

ONO Tetsuya

薬学科

出身大学院

東北大学・薬学研究科・修士課程　2006年 修了

取得学位

博士　東北大学
修士　東北大学
学士　東北大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 助手［本務］　2006年04月 － 2012年03月
奥羽大学薬学部薬学科 助教［本務］　2012年04月 － 2016年03月

所属学会・委員会

日本薬学会
日本分析化学会

論文

1) Voltammetric Behavior of Mediator-Modified Electrode by Electrochemical Copolymerization of Nitroxyl Radical Precursor Containing Pyrrole Side Chain and Thiophenes. [HETEROCYCLES, 83 (11), (2011), 2517-2524]

   Yoshitomo Kashiwagi, Makiko Tsunoda, Tetsuya Ono

2) Voltammetric Determination of Salicylic Acid and Derivatives Based on Ferroceneboronic Acid. [SENSOR LETTERS, 9 (5), (2011), 1-4]

   Shigehiro Takahashi, Nobuhiro Haraguchi, Naoyuki Abiko, Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Jun-Ichi Anzai

3) Voltammetric response of ferroceneboronic acid to diol and phenolic compounds as possible pollutants. [Journal of Environmental Sciences, 23 (6), (2011), 1027-1032]

   Shigehiro Takahashi, Naoyuki Abiko, Nobuhiro Haraguchi, Hiroyuki Fujita, Eriko Seki, Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Jun-ichi Anzai

4) Electrocatalytic Oxidation of Amines on a Mediator-Modified Electrode by Electrochemical Copolymerization of Nitroxyl Radical Precursor Containing Pyrrole Side Chain and Bithiophene. [Electroanalysis, 25 (12), (2013), 2575-2577]

   Yoshitomo Kashiwagi, Yumiko Takamori, Kentaro Yoshida, Tetsuya Ono

5) Electrochemical decomposition of layer-by-layer thin films composed of TEMPO-modified poly(acrylic acid) and poly ethyleneimine). [Colloid and Polymer Science, 292, (2014), 771-776]

   Shigehiro Takahashi, Yu Aikawa, Tomotaka Kudo, Tetsuya Ono, Yoshitomo Kashiwagi, Jun-ichi Anzai

6) pH-Dependent Release of Insulin from Layer-by-Layer-Deposited Polyelectrolyte Microcapsules. [polymers, (2015)]

   Kentaro Yoshida, Tetsuya Ono, Yoshitomo Kashiwagi, Shigehiro Takahashi, Katsuhiko Sato, Jun-ichi Anzai

7) Electrochemical Determination of D-Glucose Using Nortropine-N-Oxyl under Physiological Conditions. [Electroanalysis, (2015)]

   Katsuhiko Sato, Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Toshinori Ito, Yoshitomo Kashiwagi

研究発表

ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜とミクロカプセルの調製 [みちのく分析化学シンポジウム]
（2011年07月）
電解重合法により作製したニトロキシルラジカル置換ピロール固定化電極を用いた電解触媒酸化反応と電極の再利用性 [第 41 回複素環化学討論会]
（2011年10月20日 － 2011年10月22日）
電解重合法により作製したニトロキシルラジカル置換ピロール固定化電極を用いた電解触媒酸化反応と電極の再利用性 [日本薬学会第 132 年会]
（2012年03月28日 － 2012年03月31日）
ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜及びミクロカプセルの調製 [日本薬学会第 132 年回]
（2012年03月28日 － 2012年03月31日）
ナノ粒子を用いた交互累積膜の調製 [みちのく分析科学シンポジウム 2012]
（2012年07月）
ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜及びミクロカプセルの調製 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月）
電解重合法により作製したニトロキシルラジカル置換ピロール 固定化電極を用いた電解触媒酸化反応 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月07日）
電解重合法により作製した TEMPO 修飾電極の電極反応挙動 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月27日 － 2013年03月30日）
ポリスチレン粒子を用いた凝集体及びミクロカプセルの調製 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月27日 － 2013年03月30日）
電解重合法を利用したメディエーター修飾電極作製の効率化 [第 43 回複素環化学討論会]
（2013年10月17日 － 2013年10月19日）
重合単量体構造設計によるメディエーター修飾電極作製の効率化 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日）
電解重合法により作製した TEMPO 修飾グラフェン電極の電極反応挙動 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）
重合単量体構造設計によるメディエーター修飾電極の効率的作製 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）
FITC-BSA 封入電気応答交互累積膜ミクロカプセルの電気化学応答 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）
ポリスチレン粒子とポリスチレン粒子と PNIPA m共重合体を用いた交互累積膜の pH 及び温度応答性 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）
グラフェン表面に修飾した単分子膜の pKa 挙動 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）
重合単量体構造設計による電解重合複素環ポリマーの作製制御 [第 44 回複素環化学討論会]
（2014年09月10日 － 2014年09月12日）
ミクロカプセルで構成された交互累積膜の調製と性質 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日）
ポリスチレン及び NIPAm 共重合体で 構成された交互累積膜の pH 及び熱応答性 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月25日 － 2015年03月28日）
アミン類の中性水溶媒系電解触媒酸化反応 [日本薬学会第 136 年会]
（2016年03月26日 － 2016年03月29日）
ミクロカプセルで構成された交互累積膜によるインスリンの放出と pH 応答性 [日本薬学会第 136 年会]
（2016年03月26日 － 2016年03月29日）
ニトロキシルラジカル修飾電極を用いた糖アルコールの水溶媒系電解触媒酸化反応 [日本薬学会第 136 年会]
（2016年03月26日 － 2016年03月29日）

担当授業科目

物理化学実習	2006年04月	－	継続中
薬剤学実習	2009年09月	－	継続中
(薬) 物理化学Ⅱ	2012年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2012年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2012年04月	－	継続中
(薬) 物理学	2012年04月	－	2014年08月
(薬) 物理化学Ⅰ	2012年04月	－	2014年08月
(薬) 基礎薬学演習	2012年11月	－	継続中
(薬) 薬学演習Ⅰ	2015年02月	－	継続中
(薬) 化学熱力学入門	2015年09月	－	継続中

(薬) 物理化学Ⅰ　2015年09月　－　継続中
(薬) 生薬学実習　2015年10月　－　2015年11月

その他教育活動及び特記事項

物理化学実習書の作成　2006年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］
薬剤学実習書の作成　2009年04月　－　継続中
［活動区分 ：教科書・教材の開発］

奥羽大学 薬学部 薬学科

吉田　健太郎

YOSHIDA Kentaro

薬学科

論文

1) Colorimetric response of fluorescein-modified multilayer thin films induced by electrolysis of water.. [Materials Science and Engineering C, (2011)]

   Munenari Nagasaka, Kentaro Yoshida, Shigehiro Takahashi, Katsuhiko Sato, Jun-ichi Anzai

2) Voltammetric Determination of Salicylic Acid and Derivatives Based on Ferroceneboronic Acid.. [Sensor Letters, (2011)]

   Shigehiro Takahashi, Nobuhiro Haraguchi, Naoyuki Abiko, Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Jun-ichi Anzai

3) pH- and sugar-sensitive layer-by-layer films and microcapsules for drug delivery.. [Advanced Drug Delivery Reviews, (2011)]

   Katsuhiko Sato, Kentaro Yoshida, Shgehiro Takahashi, Jun-ichi Anzai

4) Voltammetric response of ferroceneboronic acid to diol and phenolic compounds as possible pollutants.. [Journal of environmental Sciences, (2011)]

   Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Jun-ichi Anzai

5) Insulin-containing layer-by-layer films deposited on poly(lactic acid) microbeads for pH-controlled release of insulin.. [Colloids and Surfaces B: Biointerfaces, (2012)]

   Ryosuke Hashide, Kentaro Yoshida, Yasushi Hasebec, Shigehiro Takahashi, Katsuhiko Sato, Jun-ichi Anzai

6) Use of anionic polysaccharides for the preparation of insulin-containing layer-by-layer films and their pH stability.. [Polymer Bulletin, (2012)]

   Ryosuke Hashide, Kentaro Yoshida, Kenta Kotaki, Takumi Watanabe, Ryota Watahiki, Shigehiro Takahashi, Katsuhiko Sato, Jun-ichi Anzai

7) Layer-by-layer films composed of poly(allyamine) and insulin for pH-triggerd release of insulin.. [Colloids and Surfaces B:Biointerfaces, (2012)]

   Kentaro Yoshida, Ryosuke Hashide, Tsuyoshi Ishii, Shigehiro Takahashi, Katsuhiko Sato, Jun-ichi Anzai

8) Electrocatalytic oxidation of amines on a mediator-modified electrode by electrochemical copolymerization of nitroxyl radical precursor containing pyrrole side chain and bithiophene.. [Electoroanalysis, (2013)]

   Yoshitomo Kashiwagi, Yumiko Takamori, Kentaro Yoshida, Tetsuya Ono

9) Layer-by-layer deposited nano- and micro-assemblies for insulin delivery: A review.. [Materials Science and Engineering C, (2014)]

   Kentaro Yoshida, Yasushi Hasebe , Shigehiro Takahashi , Katsuhiko Sato , Jun-ichi Anzai

10) Electrochemical Determination of D-Glucose Using Nortropine-N-oxyl under Physiological Conditions.. [Electoroanalysis, (2015)]

    Katsuhiko Sato, Tetsuya Ono, Kentaro Yoshida, Toshinori Ito, Yoshitomo Kashiwagi

11) pH-Dependent Release of Insulin from Layer-by-Layer-Deposited Polyelectrolyte Microcapsules. [Polymers, (2015)]

    Kentaro Yoshida, Tetsuya Ono, Yoshitomo Kashiwagi, Shigehiro Takahashi, Katsuhiko Sato, Jun-ichi Anzai

研究発表

ポリスチレン粒子を用いた 交互累積膜とミクロカプセルの調製 [みちのく分析科学シンポジウム 2011]
（2011年07月）
電解重合法により作製したニトロキシルラジカル置換ピロール固定化電極を用いた電解触媒酸化反応と電極の再利用性 [第 41 回複素環化学討論会]
（2011年10月20日 － 2011年10月22日）
ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜及びミクロカプセルの調製 [日本薬学会第 132 年回]
（2012年03月）
ナノ粒子を用いた交互累積膜の調製 [みちのく分析科学シンポジウム 2012]
（2012年07月）
ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜及びミクロカプセルの調製 [第 51 回日本薬学会東北支部大会]
（2012年10月）
ポリスチレン粒子を用いた凝集体及びミクロカプセルの調製 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月）
電解重合法により作製した TEMPO 修飾電極の電極反応挙動 [日本薬学会第 133 年会]
（2013年03月）
電解重合法を利用したメディエーター修飾電極作製の効率化 [第 43 回複素環化学討論会]
（2013年10月17日 － 2013年10月19日）
重合単量体構造設計によるメディエーター修飾電極作製の効率化 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日）
ポリスチレン粒子を用いた交互累積膜の調製と pH 応答性 [薬学会東北支部会物理 · 分析系若手研究者セミナー]
（2013年12月）
ポリスチレン粒子とポリスチレン粒子と PNIPA m共重合体を用いた交互累積膜の pH 及び温度応答性 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月）
グラフェン表面に修飾した単分子膜の pKa 挙動 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月）
電解重合法により作製した TEMPO 修飾グラフェン電極の電極反応挙動 [日本薬学会第 134 年会]
（2014年03月27日 － 2014年03月30日）
重合単量体構造設計による電解重合複素環ポリマーの作製制御 [第 44 回複素環化学討論会]
（2014年09月10日 － 2014年09月12日）
ポリスチレン及び NIPAm 共重合体で 構成された交互累積膜の pH 及び熱応答性 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月）
ミクロカプセルで構成された交互累積膜の調製と性質 [日本薬学会第 135 年会]
（2015年03月）

奥羽大学 薬学部 薬学科

熊本　隆之

KUMAMOTO Takayuki　　生年月日 1982年02月21日

薬学科

出身大学院

東京理科大学・薬学研究科・薬学専攻・修士課程　　2006年 修了

取得学位

博士　東京理科大学
修士　東京理科大学
学士　東京理科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 助教［本務］　　2014年04月　－　継続中
奥羽大学薬学部 助手［本務］　　2006年04月　－　2014年03月

所属学会・委員会

日本毒性学会
日本薬学会
日本 DOHaD 研究会
日本衛生学会
日本アンドロロジー学会
日本食生活学会
日本内分泌撹乱化学物質学会

論文

1) Fetal exposure to diesel exhaust affects X-chromosome inactivation factor expression in mice.. [Journal of Toxicological Sciences, 38 (2), (2013), 245-254]

   Takayuki Kumamoto, Naomi Tsukue, Hirohisa Takano, Ken Takeda, Shigeru Oshio

2) Effect of fetal exposure to bisphenol A on brain mediated by X-chromosome inactivation. [Journal of Toxicological Sciences, 38 (3), (2013), 485-494]

   Takayuki Kumamoto and Shigeru Oshio

3) 東日本大震災前後における奥羽大学学生の食事・栄養調査 ～ BDHQ を用いた解析 ～ . [日本食生活学会誌, 24 (2), (2013), 124-129]

   熊本隆之、上野明道、押尾茂

研究発表

奥羽大学学生の摂食状況 ～ BDHQ 質問票による食事・栄養調査 ～ [第 51 回日本薬学会東北支部会]
（2012年10月07日，青森・青森大学）
ビスフェノール A 胎仔期曝露が脳神経系に及ぼす影響 ～ X 染色体不活性化機構を中心とした解析 ～ [フォーラム 2012：衛生薬学環境トキシコロジー]
（2012年10月25日 － 2012年10月26日，名古屋・名古屋観光ホテル）
ビスフェノール A 胎仔期曝露が脳神経系に及ぼす影響の X 染色体不活性化を指標とした解析 [第 83 回日本衛生学会学術総会]
（2013年03月25日 － 2013年03月27日，金沢・金沢大学）
東日本大震災前後における奥羽大学学生の食事・栄養調査 ～ BDHQ を用いた解析 ～ [第 46 回日本食生活学会大会]
（2013年06月01日，千葉・淑徳大学）
X 染色体不活性化を中心とした化学物質胎仔期曝露の脳神経系への影響 [第 2 回日本 DOHaD 研究会年会]
（2013年06月07日 － 2013年06月08日，東京・厚生労働省戸山庁舎）
NSAIDs 胎仔期投与がマウス雄性生殖機能に及ぼす影響 [第 19 回精子形成・精巣毒性研究会]
（2013年07月26日 － 2013年07月27日，大阪・大阪国際会議場）
東日本大震災前後における食事・栄養摂食状況の変化 ～ 奥羽大学学生を対象とした栄養調査 ～ [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
（2013年10月20日，仙台・東北大学）

Effect of fetal exposure to bisphenol A on brain mediated by X-chromosome inactivation [国際 DOHaD 研究会　8th world congress on Developmenal Origins of Health and Disease]
（2013年11月16日 － 2013年11月20日，Suntec Singapore　サンテック．シンガポール国際会議展示場）
妊娠期に使用される解熱鎮痛薬の胎仔期投与がマウス雄性生殖機能に及ぼす影響 [第 41 回日本毒性学会学術年会]
（2014年07月02日 － 2014年07月04日，神戸．神戸コンベンションセンター）
X 染色体不活性化機構を指標とした脳神経系へ及ぼすベンゾ [a] ピレン胎仔期曝露の影響解析 [第 3 回 DOHaD 研究会学術集会]
（2014年07月25日 － 2014年07月26日，東京．国立成育医療研究センター）
ベンゾ [a] ピレン胎仔期曝露は雄性生殖機能を障害する [フォーラム 2014：衛生薬学．環境トキシコロジー]
（2014年09月19日 － 2014年09月20日，つくば．つくば国際会議場）
ベンゾ [a] ピレン胎仔期曝露が次世代雄性生殖機能に及ぼす影響 [第 21 回精子形成．精巣毒性研究会]
（2014年10月11日，東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館）
ベンゾ [a] ピレン胎仔期曝露が脳神経系に及ぼす影響の X 染色体不活性化を指標とした解析 [第 42 回 日本毒性学会学術年会]
（2015年06月29日 － 2015年07月01日，金沢．金沢音楽堂）
マウス胎生期低葉酸投与がX染色体不活性化因子に及ぼす影響 [第４回日本 DOHaD 研究会学術集会]
（2015年08月01日 － 2015年08月02日，東京．昭和大学）
DOHaD 研究と葉酸 [第 11 回 DOHaD 寺子屋]
（2015年09月19日，東京．昭和大学）
X 染色体不活性化を中心とした新たな毒性メカニズムに関する研究 [日本薬学会第 14 回医療薬学若手研究者セミナー]
（2015年10月17日，仙台．東北大学）
X 染色体不活性化と脳発達関連遺伝子を中心とした新たな毒性メカニズムに関する研究 [東京理科大学博士会]
（2015年10月25日，東京．東京理科大学）
東日本大震災前後における奥羽大学学生の食事．栄養調査 ～ 摂食状況と栄養学的諸問題 ～ [福島県食と安全安心セミナー]
（2015年11月12日，郡山．奥羽大学）
X 染色体からの DOHaD へのアプローチ [第 12 回 DOHaD 寺小屋]
（2015年11月14日，東京．早稲田大学）

担当授業科目

微生物学実習	2007年04月	－	継続中
衛生化学実習	2007年04月	－	継続中
(薬) 衛生化学	2014年04月	－	2015年03月
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2014年04月	－	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2014年04月	－	継続中
(薬) 食品衛生学	2015年04月	－	継続中
(薬) 環境毒性学	2015年04月	－	継続中
(薬) 基礎科学演習Ⅰ	2015年04月	－	継続中
(薬) 基礎科学演習Ⅱ	2015年04月	－	継続中
(薬) 放射化学実習	2015年04月	－	継続中
(薬) 基礎科学実習	2015年04月	－	継続中

その他教育活動及び特記事項

関連講義．実習の教科書．教材の開発 ［活動区分 ：教科書．教材の開発］	2006年04月	－	継続中
OSCE 関連業務 ［活動区分 ：教育方法．実践に関する発表、講演］	2007年04月	－	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

金原　淳

KINBARA Atsushi　　生年月日 1980年04月16日

薬学科

出身大学院

北海道大学・薬学研究科・創薬化学専攻・修士課程　　2006年 修了

取得学位

博士　東京薬科大学
修士　北海道大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 助教［本務］　　2014年04月　－　継続中
奥羽大学薬学部薬学科 助手［本務］　　2010年04月　－　2014年03月

所属学会・委員会

日本薬学会
有機合成化学協会

論文

1) Synthesis of Phenol Derivatives from Cyclohex-2-enones Bearing an Alkyne through Lewis Acid-Catalyzed Enolization and Intramolecular Alder-Rickert Reaction. [The Journal of Organic Chemistry, 77 (20), (2012), 8999-9005]

   Atsushi Kinbara, Takehiro Yamagishi, Naoko Hanzawa, Etsuko Kawashima, Hiroaki Miyaoka

2) Diastereoselective synthesis of Pro-Phe phosphinyl dipeptide isosteres. [Tetrahedron: Asymmetry, 23 (24), (2012), 1633-1639]

   Takehiro Yamagishi, Atsushi Kinbara, Noriko Okubo, Shunpei Sato, Haruhiko Fukaya

3) Total Synthesis and Structural Revision of Incargutines A and B. [Synlett, 24, (2013), 1998-2002]

   Atsuhi Kinbara,Takehiro Yamagishi, Hiroki Ouchi, Hiroaki Miyaoka

4) One-Pot Synthesis of Phenol Derivatives by the Novel Intramolecular Alder-Rickert Reaction: Effects of Aryl Substituent at the 3-Position of Cyclohexenone Derivatives on Reactivity. [Chemical and Pharmaceutical Bulletin, 61 (7), (2013), 768-775]

   Atsushi Kinbara, Takehiro Yamagishi, Takeshi Fujishige, Hiroaki Miyaoka

研究発表

Alder-Rickert 反応を用いた Incargutine A 及び B の合成研究 [日本薬学会第 132 年会]
(2012年03月)
新規 Alder-Rickert 反応による多置換フェノール誘導体の合成 [第 38 回反応と合成の進歩シンポジウム]
(2012年11月)
(±)-Incargutine A 及び B の合成研究 [日本薬学会第 133 年会]
(2013年03月)
Pro-Phe 型ホスフィニルジペプチドイソスターの合成研究 [第 52 回日本薬学会東北支部大会]
(2013年10月)
分子内 Alder-Rickert 反応を用いた (±)-Incargutine A 及び B の全合成 [第 39 回反応と合成の進歩シンポジウム]
(2013年11月)
(±)-Incargutine A 及び B の全合成と構造の訂正 [日本薬学会第 134 年会]
(2014年03月)
ニッケル触媒を用いた H-ホスフィナートのアリール化反応の開発 [日本薬学会第 135 年会]
(2015年03月)

担当授業科目

薬化学実習　　2010年06月　－　継続中
薬品製造学実習　　2010年10月　－　継続中

(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2014年04月	―	継続中
(薬) 薬品分析化学実習	2014年05月		
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2014年05月	―	継続中
(薬) 日本薬局方	2014年09月	―	2014年11月
(薬) 基礎薬学演習	2014年12月		

奥羽大学 薬学部 薬学科

横田　理

YOKOTA SATOSHI

薬学科

出身大学院

東京理科大学・薬学研究科・薬学専攻・博士課程　2013年 修了

取得学位

博士　東京理科大学

学内職務経歴

奥羽大学薬学部薬学科 助教［本務］　2015年04月　－　継続中

所属学会・委員会

日本薬学会

論文

1) Effects of Nanomaterials on Next Generation..［YAKUGAKU ZASSHI, (2011)］

   Takeda K, Shinkai Y, Suzuki K, Yanagita S, Umezawa M, Yokota S, Tainaka H, Oshio S, Ihara T, Sugamata M

2) Exposure to diesel exhaust during fetal period affects behavior and neurotransmitters in male offspring mice..［The Journal of Toxicological Sciences., (2013)］

   Yokota S, Moriya N, Iwata M, Umezawa M, Oshio S, Takeda K

3) Gene expression changes in the olfactory bulb of mice induced by exposure to diesel exhaust are dependent on animal rearing environment..［PLoS One., (2013)］

   Yokota S, Hori H, Umezawa M, Kubota N, Niki R, Yanagita S, Takeda K

4) Dose-dependent biodistribution of prenatal exposure to rutile-type titanium dioxide nanoparticles on mouse testis..［Journal of Nanoparticle Research., (2014)］

   Kubo-Irie M, Uchida H, Mastuzawa S, Yoshida Y, Shinkai Y, Suzuki K, Yokota S, Oshio S, Takeda K

5) In utero exposure of mice to diesel exhaust particles affects spatial learning and memory with reduced N-methyl-D-aspartate receptor expression in the hippocampus of male offspring..［Neurotoxicology, 50, (2015), 108-115］

   Yokota S, Sato A, Umezawa M, Oshio S, Takeda K

総説・解説記事

1) 物理科学的相互作用が生体内でのナノマテリアルの運命を決定する.［ファルマシア (トピックス) , (2011)］

   横田　理

研究発表

Characterization of synaptic vesicles using high-speed atomic force microscopy［International Symposium on Learning, Memory and Cognitive function］
（2011年12月）

網膜 ON 型双極細胞機能欠損モデルマウスの投射経路解析［第 63 回日本薬学会近畿支部総会］
（2013年10月）

Gene expression changes in the olfactory bulb of mice induced by exposure to diesel exhaust are dependent on animal rearing environment［Neuroscience 2013］
（2013年11月）

胎仔期ディーゼル排ガス曝露が次世代マウスの行動及び神経伝達物質に及ぼす影響［第 41 回日本毒性学会学術年会］
（2014年07月）

The evaluation of visual temporal resolution in the behaving mouse [第 37 回日本神経科学大会]
（2014年09月）
The evaluation of visual temporal resolution in the behaving mouse[Neuroscience 2014]
（2014年11月）
オペラントシステムを用いたマウス視覚時間分解能評価系の確立 [包括脳シンポジウム]
（2014年12月）
オペラントシステムを用いたマウスの視覚時間特性の評価 [第 135 年回日本薬学会]
（2015年03月）

担当授業科目

(薬) 保健衛生学	2015年04月	―	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅱ	2015年04月	―	継続中
(薬) 総合薬学演習Ⅰ	2015年04月	―	継続中
(薬) 基礎科学実習	2015年04月	―	継続中
(薬) 微生物学実習	2015年04月	―	継続中
(薬) 生化学実習	2015年04月	―	継続中
(薬) 衛生化学実習	2015年04月	―	継続中
(薬) 基礎科学演習Ⅰ	2015年04月	―	継続中
(薬) 基礎科学演習Ⅱ	2015年04月	―	継続中
(薬) 生物学Ⅱ	2015年04月	―	継続中

奥羽大学 薬学部 薬学科

緑川　信幸

MIDORIKAWA Nobuyuki　　生年月日 1987年08月01日

薬学科

所属学会・委員会

日本病院薬剤師会
日本医療薬学会

奥羽大学 薬学部 薬学科

浅倉 聖岳

Asakura Kiyotake

薬学科

奥羽大学 薬学部 薬学科

奥山　ひばり

OKUYAMA HIBARI

薬学科